取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

Hondaインターナビシステム

このたびは Honda 車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この本は、Honda インターナビシステムについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。

この本はナビゲーションシステムおよび VICS、通信機能、オーディオ、ハンズフリー電話の取り扱いを説明しています。
車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
この Honda インターナビシステムでお使いいただける機能については、「主な機能について」*(→ P4)* を参照してください。

- 操作パネル色や地図色の設定がこの本に記載の画像と異なる場合があります。設定の変更については、*「機能設定」(→ P170)* を参照してください。
- 仕様変更などにより、この本の内容と実車が一致しない場合もありますのでご了承ください。
- 撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

はじめに

主な機能について

- Honda インターナビシステムでお使いいただける機能については、下記の機能一覧表をご覧ください。

このナビゲーションシステムは、はじめてナビゲーションシステムをお使いのかたが簡単に操作できる簡単操作モードと、いろいろな機能を使用できる標準操作モードがあります。

必要に応じて操作モードを切り換えてご使用ください。 *(→ P29)*

機能の有無 (○ : 有り　× : 無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
基本操作			
ポイントメニューやカスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) を表示する	○	○	P26
画面に壁紙を表示する	×	○	P28
操作モードの切り換え	○	○	P29
地名 / 路線名表示	○ 簡単操作モードでは地名固定	○	P32
画面表示			
2 画面にする	×	○	P51
2 画面時に右画面の縮尺を変える	×	○	P46
2 画面の向きを変える	×	○	P48
3D マップにする	×	○	P49
ドライビングマップにする	×	○	P51
行程ガイド	×	○	P52
高速ガイド	○	○	P52
高速道路の施設の情報を見る	○	○	P53
ランドマークを表示する	○	○	P55
ランドマーク表示の設定を詳細に変える	×	○	P57
ユーザーランドマークを登録、編集する	×	○	P192
施設の情報を見る	○	○	P59

機能の有無(○:有り　×:無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
マーク			
自宅などよく行く地点を登録する	○(自宅のみ)	○	P66
好きな場所にマークをつける	×	○	P77
マークを編集する	×	○	P78
目的地検索			
地図を見ながら場所を探す	○	○	P89
近くにある施設を探す(周辺検索)	○	○	P90
ルート上周辺の施設を探す(周辺検索)	×	○	P91
施設の提携駐車場を探す(周辺検索)	○	○	P90
施設のジャンルから場所を探す	○	○	P93
施設の名前で場所を探す	○	○	P97
住所で場所を探す	○	○	P100
電話番号で場所を探す	○	○	P102
郵便番号で場所を探す	×	○	P102
マップコードで場所を探す	×	○	P103
自宅に帰る	○	○	P104
よく行く地点から場所を探す	×	○	P105
地図に付けたマークで場所を探す	×	○	P105
目的地履歴リストから場所を探す	×	○	P106
インターナビドライブ情報で目的地を探す	×	○	P109
おすすめドライブナビゲーターで目的地を探す	×	○	P444
ルート設定			
学習ルートを考慮する	○	○	P116
回避エリアの設定をする	×	○	P116
ルートを確認する	×	○	P117
ルートを複数から選ぶ	○	○	P117
経由地を設定する	×	○	P118
高速道路の乗り降り口を変える	×	○	P119

つづく ➔

機能の有無 (○ : 有り　× : 無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
ルート案内			
誘導音声案内	○	○	P127
オートリルート	○	○	P128
ルート情報	×	○	P129
ルートスクロール	×	○	P130
区間表示	×	○	P130
迂回ルート	×	○	P131
目的地 (経由地) までのルート条件を変える	×	○	P133
経由地の順番を変える	×	○	P136
目的地周辺の駐車場に行く	×	○	P138
ルート案内を中止する	○	○	P140
再度ルート案内をはじめる	○	○	P140
VICS			
VICS	○ 簡単操作モードでは表示方法の設定などができない	○	P142
インターナビからの VICS 情報	○ 設定は標準操作モードのみ対応 (簡単操作モードでは、その設定に従う)	○	P157
ナビゲーション設定			
画面表示の設定を変える (表示設定)	○ 簡単操作モードでは [時計表示][サマータイム表示] のみ設定が可能	○	P172
誘導案内の設定を変える (誘導設定)	×	○	P175
到着予想時刻の表示	○	○	P175
到着予想時刻の車速設定	×	○	P176
警告案内の設定を変える (警告設定)	×	○	P183
メニューをカスタマイズする	×	○	P185

機能の有無 (○：有り　×：無し)

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
通信機能			
通信機能を利用したマーク情報	×	○	P85
インターナビ情報	○	○	P234
メール	○ 簡単操作モードでは メールの受信のみ対応	○	P240
カーカルテ	○	○	P256
インターナビ・ウェザー	○	○	P267
便利な機能			
PC カード	×	○	P278
ハンズフリー電話	○	○	P286
アドレス帳	○	○	P306
スケジュール	×	○	P316
音声メモ	○	○	P325
シークレットモードを設定する	○	○	P328
オーディオ・テレビ			
ラジオ	○	○	P349
CD	○	○	P354
MP3 ディスク	○	○	P357
WMA ディスク	○	○	P357
テレビ	○	○	P363
DVD ビデオ	○	○	P369
サウンドコンテナ	○	○	P386

説明書について

Honda インターナビシステムの取扱説明書は、用途によって次の 3 冊から構成されています。

■ナビガイド

ナビゲーションシステムやオーディオなどのよく使う操作を説明しています。

■取扱説明書　本編

ナビゲーションシステムおよび VICS、通信機能、オーディオ、テレビ、ハンズフリー電話、その他便利な機能の取り扱いについて説明しています。

■取扱説明書　音声操作編

音声操作での取り扱い、主な音声コマンドについて説明しています。

もくじ

安全にお使いになるために

この本は、Honda インターナビシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。

■安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

表示	内容
⚠ 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠ 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

■安全に関する記号

🚫 禁止（してはいけないこと）を示します。

■その他の表示

お知らせ

- 知っておくと便利な操作や情報です。

お願い

- お車のために守っていただきたいことです。

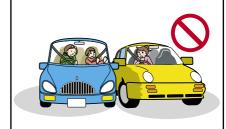
アドバイス

- 使いこなすために便利な操作や情報です。

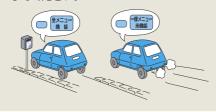
⚠ 警告

テレビや DVD ビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お願い

- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

- 安全のため、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。

- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。

- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

本書の見かた

■本書の構成と分類

本書では、Honda インターナビシステムのさまざまな機能を、機能内容ごとに以下のように分類して説明しています。また、分類された章と色はもくじ *(→ P9)* や章扉と本文ページの右端にあるインデックスと対応しています。

インデックス

章扉

本文ページ

※このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

章	色	説明内容の分類
1 ～ 10	緑	主にナビゲーション機能に関する情報と操作説明
11 ～ 14	青	主にインターネットを利用したサービスやハンズフリー電話など、便利な機能に関する情報と操作説明
15 ～ 16	茶	映像や音楽をお楽しみいただける AV(オーディオ・ビジュアル) 機能に関する情報と操作説明
17 ～ 20	黄	ナビゲーション機能に関するその他の情報や困ったときの対処方法など

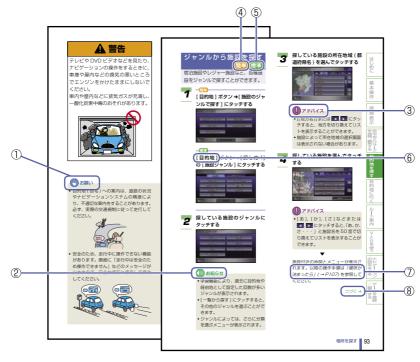
■見たいところの探しかた

特徴から探す →*P4 ～ P7*
目次で探す※1 →*P9 ～ P11*
索引で探す※2 →*P470 ～ P483*

※1：各章の扉には、更に詳細な目次がついています。

※2：索引には *「メニュー索引」(→ P470)* と *「用語索引」(→ P478)* があります。

■本書の表記のしかた

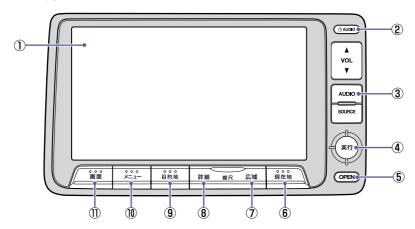
本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。

※このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

表記	意味
① お願い	お車のために守っていただきたいこと
② お知らせ	知っておくと便利な操作や情報
③ アドバイス	使いこなすために便利な操作や情報
④ 簡単 ※	簡単操作モードでできる機能と操作
⑤ 標準 ※	標準操作モードでできる機能と操作
⑥ [　]	操作パネルのボタンや、画面上で選べるタッチスイッチ 例：**[目的地] ボタンを押す、[完了] にタッチする**
⑦ *斜体*	参照するページ、本文タイトルや他の説明書がある場合 例：→ *「場所を探す」(P88)*
⑧ つづく ➔	操作手順に続きがある場合

※選択しているモードによって操作や画面表示が違うため、本書では上記マークを使ってそれぞれを説明しています。

各部の名前とはたらき

ナビゲーション機能を操作するとき

■パネルが閉じているとき

① 液晶表示画面
いろいろな表示ができます。

お願い
- 液晶表示画面の表面は、キズが付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすらないでください。
- 画面がよごれたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

② [⏻ AUDIO] ボタン
テレビ・オーディオを起動または終了するときに使います。

③ [AUDIO] ボタン
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えるときに使います。

④ ジョイスティック
地図のスクロールや、メニューの選択・決定 (実行)、文字入力時のカーソル移動を行うときに使います。

⑤ [OPEN] ボタン
パネル部分を開くときに使います。CD/DVD ビデオディスク、PC カードを出し入れするときに使います。

⑥ [現在地] ボタン
現在地の地図画面にするときに使います。

⑦ [広域] ボタン
地図のスケールを広域にします。広い範囲を見るときに使います。

⑧ [詳細] ボタン
地図のスケールを詳細にします。詳しい範囲を見るときに使います。

⑨ [目的地] ボタン
目的地を選ぶときに使います。

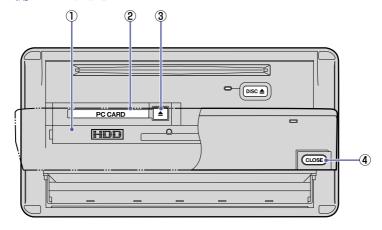
⑩ [メニュー] ボタン
メニュー画面にするときに使います。

⑪ [画面] ボタン
画面を設定、調節するときに使います。

■パネルが開いているとき

① HDD(ハードディスク)

地図のデータが保存されており、またサウンドコンテナが保存されます。

お願い

- HDDは取り外さないでください。

② PCカード挿入口

PCカードは、マークやスケジュール設定などのデータを保存したり、読み込むときに使います。

お願い

- PCカードを使うときには、必ず指定されたカードをお使いください。指定以外のカードを使うと、故障の原因となります。

③ [▲] ボタン(PCカード取り出しボタン)

PCカードを取り出すときに使います。

お願い

- 画面に書き込み中のテロップが表示されている状態でPCカードを脱着しないでください。

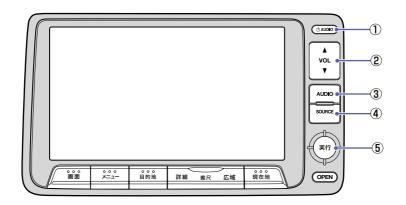
④ [CLOSE] ボタン

パネル部分を閉じるときに使います。

注意

- CD、DVDビデオディスクを出し入れしたあとは、必ずパネルを閉めてください。パネルが開いていると、衝突したときなどにパネルにぶつかって思わぬ事故につながります。

オーディオ機能を操作するとき

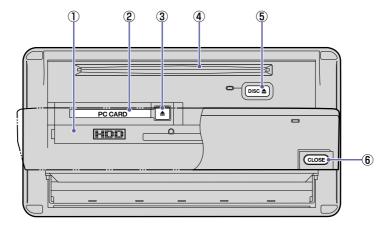
■パネルが閉じているとき

① [⏻ AUDIO] ボタン
テレビ・オーディオを起動または終了するときに使います。

② [VOL] ボタン
スピーカーの音量を調節します。

③ [AUDIO] ボタン
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えるときに使います。

④ [SOURCE] ボタン
オーディオの音源やテレビに切り換えるためのオーディオソース切り換え画面を表示するときに使います。

⑤ ジョイスティック
上下左右に倒して項目を選んだり、押して選んだ項目を決定するときなどに使います。

■パネルが開いているとき

① **HDD(ハードディスク)**
地図のデータが保存されており、またサウンドコンテナが保存されます。

お願い
- HDD は取り外さないでください。

② **PC カード挿入口**
PC カードを使用するときに使います。

お願い
- PC カードを使うときには、必ず指定されたカードをお使いください。指定以外のカードを使うと、故障の原因となります。

③ **[⏏] ボタン (PC カード取り出しボタン)**
PC カードを取り出すときに使います。

お願い
- 画面に書き込み中のテロップが表示されている状態で PC カードを脱着しないでください。

④ **ディスク挿入口**
CD や DVD ビデオなどのディスクを挿入します。

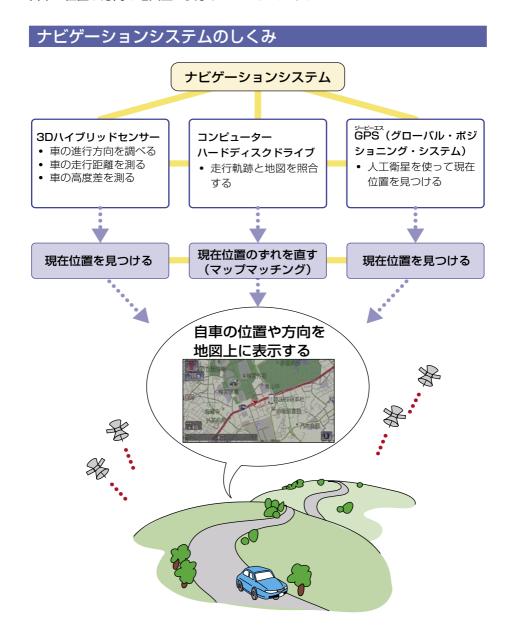
⑤ **[DISC ⏏] ボタン**
(ディスク取り出しボタン)
挿入されている CD や DVD ビデオなどのディスクを取り出すときに使います。

⑥ **[CLOSE] ボタン**
パネル部分を閉じるときに使います。

⚠ 注意
- CD、DVD ビデオディスクを出し入れしたあとは、必ずパネルを閉めてください。パネルが開いていると、衝突したときなどにパネルにぶつかって思わぬ事故につながります。

ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションシステムは、自車のセンサーや人工衛星を利用して集めた情報を基に、自車の位置や方向を地図上に表示するシステムです。

ナビゲーションシステムのしくみ

GPS(ジーピーエス)について

GPSとは、Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム／全地球測位システム)の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で周回している3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

GPSで現在地を測位しているときは、画面の左下に「GPS」の文字が表示されます。

お知らせ

- ナビゲーションシステムが作動してしばらくの間は、電波を受信しやすい場所にいても測位ができません。また、ナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPSが測位するまでの時間が長くなります。
- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたとき)は、GPSが測位するまでの時間が長くなります。

ハードディスクナビに関する注意点

市販のナビゲーションソフトのご利用について

市販されている CD-ROM や DVD のナビゲーションソフトを読み込んで利用することはできません。

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録 (マークやよく行く地点など)、サウンドコンテナへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

バージョンアップについて

本ナビゲーションシステムは、ハードディスクを利用したシステムです。本機をバージョンアップするには、内蔵ハードディスクのデータを書き換えます。
バージョンアップを行うときは、Honda 販売店にご連絡ください。

お客様の登録されたデータについて

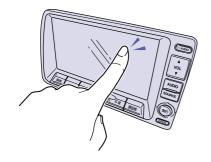
- 本機のバージョンアップおよび修理において、お客様の登録されたデータおよびサウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- 本機が故障した場合、お客様の登録されたデータおよびサウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- お車を譲られるときなど、お客様が録音されたサウンドコンテナ内の曲を別のハードディスクなどに複製することは、著作権法上できません。
- お車を譲られるときは、お客様が録音されたサウンドコンテナ内の曲は、著作権法上消去してください。
- PC カードを利用すると、マークデータや画像ファイルなどを保管することができます。

その他

- 弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の周辺に磁気を近づけないでください。故障の原因になります。
- 本製品のハードディスクを取り外さないでください。故障の原因になります。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 著作権保護のため、法人登録車ではサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

基本操作

タッチ操作のしかた

Honda インターナビシステムでは、画面に直接タッチすることで、“選ぶ”、“決定”の操作が行えるタッチパネルを採用しております。
ここでは、“選ぶ”操作、“決定”操作について説明します。

■「～にタッチする」

画面にタッチして“決定”される操作について、本書では「～にタッチする」と表記しています。

例 :

[施設ジャンル] にタッチする

■「～を選んでタッチする」

リストから項目を探す必要がある操作について、本書では「～を選んでタッチする」と表記しています。

例 :

施設を選んでタッチする

、 にタッチすると 1 つずつリストを選ぶことができます。

、 にタッチすると 1 ページ毎に表示を送ることができます。

▼

探している項目が画面に表示されましたら直接その項目にタッチします。

■ボタンの操作と本書の表記

操作パネルやナビゲーションシステム本体、ハンドル操作ボタンのボタンやメニュー項目、機能を本書では以下のように表記しています。

操作パネルやナビゲーションシステム本体、ハンドル操作ボタンのボタンは［○○］ボタンと表記しています。
例：
［目的地］ボタン

メニュー項目や機能は、［○○］と表記しています。
例：
［マーク情報］

メニュー画面を操作するとき

ボタンを押して表示されるメニューから、タッチ操作で項目を選んで、表示を切り換えていきます。
例：
［目的地］ボタン→［施設ジャンル］→［一覧から探す］にタッチする

ポイントメニュー、カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示する

簡単　標準

現在地やスクロールした場所のカーソル位置に対し、メニューを表示させることができます。

■ポイントメニューを表示する

スクロールや［目的地］ボタンより探した場所のカーソル位置に対して、メニューを表示させることができます。

場所を探す

→ *「場所を探す」(P88)*

▼

ポイントメニューが表示されます。

お知らせ

- 検索のしかたや場所により表示されるメニュー項目は異なります。
→ *「場所が決まったら」(P107)*

■現在地の地図画面にカスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示させる

現在地では、標準操作モードのカスタマイズメニュー、簡単操作モードのワンプッシュメニューが表示されます。

1 ［現在地］ボタンを押す

2 ［ ］にタッチする

▼

簡単

ワンプッシュメニューが表示されます。

標準

カスタマイズメニューが表示されます。

アドバイス

- カスタマイズメニューはお好みのメニューに変更することができます。→ *「メニューをカスタマイズする」(P185)*

画面を表示する / 消す 標準

お願い

- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- 安全のために、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。エンジンを始動してからお使いください。

お知らせ

- 表示部に液晶を採用しているため、画面が明るくなるまで時間がかかることがあります。また、極低温のときや急激な温度上昇で装置が結露したときなどは、画面の表示に特に時間がかかることがあります。
- ナビゲーションシステム本体の温度が高温または低温になると、画面に動作不可能の旨のメッセージが出たり、画面が部分的に黒ずんだり、ハードディスクが読めなくなったりすることがありますが、温度が常温になれば元通りに操作できるようになります。
- 画面の中には小さな黒点・輝点がありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。

初めて画面を表示するとき

1 **エンジンスイッチを“I”または“II”にする**

初期画面が表示されたあと、ナビゲーション画面またはオーディオ画面が表示されます。

お知らせ

- オーディオ画面からナビゲーション画面に切り換えるときは、[AUDIO] ボタンまたは [現在地] ボタンを押してください。

▼

お知らせ

- 初期画面が表示された後に大切なメッセージが表示されます。必ずお読みください。
- 操作モードは、簡単操作モードと標準操作モードがあります。(→ P29)

ナビゲーション画面 / オーディオ画面を消す

ナビゲーション / オーディオ画面を壁紙表示にしたり、消すことができます。

お知らせ

- 再度画面を表示させるときは、[現在地] ボタン、[メニュー] ボタン、[目的地] ボタン、[画面] ボタン、[AUDIO] ボタンのいずれかを押します。

■簡単操作モードで画面を消す 簡単

簡単操作モードでは以下の操作で画面を消すことができます。

1 **[画面] ボタン ➜ [画面を消す] にタッチする**

▼

画面が消えます。

■標準操作モードで画面を消す 標準

壁紙の表示も消し、画面表示をすべて消すことができます。

壁紙表示中に [表示 OFF] にタッチする

→ *「壁紙を表示する」(P28)*

▼

画面が消えます。

■壁紙を表示する 標準

ナビゲーション画面やオーディオ画面を消し、壁紙を画面に表示することができます。

アドバイス

- 壁紙にはあらかじめ「Honda ナビゲーション」と「星空」が用意されていて、選ぶことができます。また、お好みの画像を壁紙として登録することもできます。詳しくは *「壁紙の設定をする」(→ P187)* を参照してください。

1 **[画面] ボタン ➜ [画面消] にタッチする**

▼

壁紙が表示されます。

お知らせ

- 時計表示の設定が [する] の場合は、壁紙にも時計が表示されます。
→ *「機能設定」(P174)*

アドバイス

- [壁紙設定] にタッチすることにより、壁紙を設定することができます。

操作モード（簡単 / 標準）の切り換えかた

本機のナビゲーション機能を操作するには、よく使う機能をわかりやすく表示した「簡単操作モード」と、全機能を操作できる「標準操作モード」の２つから選ぶことができます。

お知らせ

- すでに目的地を設定しているときは、操作モードを切り換えると目的地が解除されます。

■標準操作モードに切り換える 簡単

1 ［メニュー］ボタン ➜［標準モードにする］にタッチする

2 ［標準モードにする］にタッチする

▼

標準操作モードに切り換わります。

■簡単操作モードに切り換える 標準

1 ［メニュー］ボタン ➜［簡単モード］にタッチする

2 ［簡単モードにする］にタッチする

▼

簡単操作モードに切り換わります。

はじめに
基本操作
画面表示
自宅およびマークを登録、編集する
目的地を探す
目的地に行く
ルート案内
VICSを使う
ナビゲーションの設定をする
データを登録／編集する

■簡単操作モードと標準操作モードのメニュー画面

[メニュー] ボタンを押したときに表示されるメニュー

簡単操作モード　　　　　　　　　　標準操作モード

[画面] ボタンを押したときに表示される画面 / 地図メニュー

簡単操作モード　　　　　　　　　　標準操作モード

[目的地] ボタンを押したときに表示される目的地設定メニュー

簡単操作モード　　　　　　　　　　標準操作モード

ナビゲーション画面の見かた

地図に自車位置を表示している画面をナビゲーション画面と言います。
ナビゲーション画面では、通常自車位置が画面の中央に表示され、地図は走行に応じて自動的に動きます。

ナビゲーション画面

①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨

画面は標準操作モードのものです

① 方角マーク

地図の方角を示します。
進行方向を上にした場合、赤い三角が北を示します。

② スケール表示

下の ▭ がスケールの距離を示します。
(2D マップのみ)

③ 自車位置マーク

○は、現在の位置を示します。
▲ は、車の方向を示します。

④ 走行軌跡

今までに通った約 100km 分の走行軌跡が表示できます。
走行軌跡は地図のスケールが 50km 以下のときに表示されます。

アドバイス

- 走行軌跡の表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P172)*
- いままでの走行軌跡を消去することができます。→ *「機能設定」(P172)*
- 自宅に到着すると自動的に軌跡を消去することができます。
  軌跡自動消去は、[自宅到着時 (消去する)]/[しない] を選べます。
  → *「機能設定」(P172)*

⑤ 現在時刻

現在の時刻は、GPS 衛星から受信した電波に基づいて表示します。時刻を合わせる必要はありません。

つづく →

アドバイス

- 時刻表示は、[する]/[しない] を選べます。→「機能設定」(P174)
- 24 時間表示と 12 時間表示を切り換えることができます。→「機能設定」(P174)

⑥ 現在地の地名

都道府県名と市区町村名が表示されます。

アドバイス

- 現在地情報表示は、[地名]/[路線名]/[しない] を選べます。[地名] を選ぶと市区町村名などが表示され、[路線名] を選ぶと走行中の道路名などが表示されます。→「機能設定」(P173)
- 地名は地図スケールが 10m ～ 50m で市街地図が表示されている場合、市区町村名、住所名などが表示されます。(市街地図が表示されていない場合は市区町村名などが表示されます。)
- 地名は地図のスケールが 1km ～ 5km の場合、都道府県名と市区町村名が表示されます。
  スケールが 10km 以上の場合、都道府県名を表示します。
- 場所によっては、地名や路線名が表示されないところもあります。

⑦ 交差点名

案内交差点に名称がある場合は交差点名称が表示されます。

⑧ レーン情報

交差点の手前 500m 以内に近づくと、場所により表示します。

アドバイス

- レーン情報は、[表示する]/[表示しない] を選べます。→「機能設定」(P175)

⑨ 方面看板表示

交差点の手前 500m 以内に近づくと、一般道方面看板を表示します。（東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点のみ）

お知らせ

- 方面看板表示は、実際の標識と異なる場合があります。
- 方面看板表示は、[すべての交差点]/[案内交差点のみ]/[しない] を選べます。→「機能設定」(P175)

アドバイス

- スケールが 200m 以下の詳細表示のとき 3D アイコン、3D ポリゴン (3D マップ時) を表示させることができます。
  3D アイコン表示、3D ポリゴン表示は、[する]/[しない] を選べます。→「機能設定」(P172)

3D アイコン

3D ポリゴン

- 道幅 5m 未満の道路 (細街路) 以外を走行しているときは、細街路は表示されません。

地図記号の見かた

地図表示

一方通行表示

画面は標準操作モードです

お願い

- 画面に表示される一方通行表示は、実際の道路と異なった表示をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

アドバイス

- 道路のふち取り表示は、[する]/[しない] を選べます。(画面はふち取り表示なし)
→ *「機能設定」(P173)*

施設

- 交差点
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ・ランプ
- ジャンクション
- 料金所
- 出口ランプ
- 駐車場
- 路上パーキング
- 冬期閉鎖
- 空港
- 港・フェリー埠頭
- 都道府県庁
- 市役所・区役所（東京都のみ）
- 町、村役場、区役所（東京都以外）
- 官公庁
- 自衛隊
- 警察署・派出所・駐在所
- 消防署
- 病院
- 学校
- 大学・短期大学
- 図書館
- 郵便局
- 銀行
- ホテル
- ショッピング
- 工場・工場敷地
- 美術館
- 博物館
- 競技場・スタジアム
- 指示点
- 史跡
- 山
- タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 海水浴場
- 遊園地
- キャンプ場
- 公園
- マリーナ･ヨットハーバー
- JRA 競技場 (WINS)
- 神社
- 寺
- 教会
- 墓地
- 城・城跡
- ガソリンスタンド
- カー用品
- ホンダ店
- 交通教育センター
- オートテラス
- 事故多発地点

お知らせ

- 冬期閉鎖マークは、閉鎖区間の中央地点付近に表示されます。
- 冬期通行止めの情報は、過去の実績を考慮しています。実際の情報を確認してください。

見たい地図を探す 簡単 標準

地図をスクロールさせて、見たい場所の地図を探すことができます。

■地図をスクロールする

地図の見たい方向や位置にタッチする

タッチした部分が画面の中心になるようにスクロールします。スクロール中はスクロール方面名称が表示されます。

▼

スクロールが終わると、現在地からの直線距離などが表示され、ポイントメニュー (→P26) が表示されます。

お知らせ

- ジョイスティックを上下左右斜めに動かすことでもスクロールします。同じ方向に約 2 秒以上倒し続けると、地図が速く動きます。
- 3D マップ時にスクロールすると 2D マップになります。
- ドライビングマップ時にスクロールすると 1 画面地図になります。
- 走行中は、画面にタッチしてのスクロールはできません。ジョイスティックでスクロールしてください。
- 走行中にジョイスティックを 1 度倒すと倒した方向にある程度スクロールし、止まります。
- 走行中は、同じ方向に約 2 秒以上倒してもスクロールできません。
- 走行中に市街地図を表示しているときは、スクロールできません。
- [現在地] ボタンを押すと、現在地画面に戻ります。

つづく →

アドバイス

- 地図の向きや表示を切り換えることができます。(→ P48)
- カーソル周辺にある施設を探すことができます。(→ P89)
- 探した場所にマークをつけることができます。(→ P77)
- 探した場所を目的地にすることができます。(→ P107)
- 市街地図表示のときは、建物の情報を見ることができます。(→ P60)
- スクロールの方面名称表示は [する]/[しない] を設定できます。→「機能設定」(P174)
- 2 画面のとき、左画面に連動して右画面のスクロールを [する]/[しない」を設定できます。→「機能設定」(P174)

遠くの場所を早く探す

[広域] ボタンを押して広域の地図にする

地図をスクロールする

地図をスクロールし、場所を探します。カーソルの中心を探している場所に合せます。

3

[詳細] ボタンを押して詳細の地図にする

4

地図をスクロールし場所を探す

■メニューを表示する

地図をスクロールする

スクロールが終わるとポイントメニューを表示します。

アドバイス

- 標準操作モードで、地図が現在地のときに [ ] にタッチして表示させるメニューは、よく使う項目など、お好みのメニューに変更することができます。(カスタマイズメニュー)
→「メニューをカスタマイズする」(P185)

音量を調節する / 消す 簡単 標準

音声による案内の音量を調節できます。
また、音声を消すこともできます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[音声音量を変える] にタッチする

[メニュー] ボタン ➜[音声音量設定] にタッチする

2 [−] または [＋] にタッチする

お知らせ

- [−] または [＋] をタッチするたびに案内音が流れ、音量を確認できます。
- [−] にタッチし続け、バーの点灯がなくなると、案内音を消すことができます。

3 [決定] にタッチする

案内音の音量が設定されます。

文字入力のしかた

場所の名称や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力する必要があります。
ここでは、メニュー操作中に表示される、文字または数字の入力画面の操作のしかたについて説明します。

お知らせ

- ひらがな、カタカナ、英数、記号、漢字が利用できます。
  ただし、文字の入力を必要とする項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、[施設名称] やマークの [読み] の場合、ひらがな入力以外は選べません。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

1.文字種を切り換える

↓

2.全角 / 半角または大文字 / 小文字を切り換える

↓

3.文字を入力する

↓

4.無変換、変換を行う

↓

5.文字入力を終了する

1. 文字種を切り換える

1 **文字種にタッチする**

文字種

文字種はひらがな、カタカナ、英数、記号、漢字から選ぶことができます。

切り換わった文字種が表示されます。

2. 全角 / 半角または大文字 / 小文字を切り換える

全角 / 半角 (カタカナ、英字、数字、記号) または大文字 / 小文字 (ひらがな、カタカナ、英字) を選びます。

全角 / 半角を切り換えるとき

1 **入力キーボード中の [全 / 半角] にタッチする**

切り換わった内容が表示されます。

大文字 / 小文字を切り換えるとき

1 **入力キーボード中の [大 / 小] にタッチする**

切り換わった内容が表示されます。

3. 文字を入力する

1 **入力キーボードから入力したい文字にタッチする**

▼

タッチした文字が入力されます。

アドバイス

- 入力キーボードの配列をパソコンと同様の配列に変更することができます。
  → *「入力キーボードの配列を変更する」(P40)*

4. 無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

変換を行わないとき

1 **入力キーボード中の [無変換] にタッチする**

▼

入力した文字がひらがなで確定されます。

アドバイス

- [入力完了] にタッチしてもそのままの状態で確定されます。

つづく →

変換を行うとき

1 **入力キーボード中の [変換] にタッチする**

2 **候補から入力したい漢字を選んでタッチする**

▼

タッチした漢字が入力されます。

5. 文字入力を終了する

1 **入力キーボード中の [入力完了] にタッチする**

▼

文字入力が終了します。

お知らせ

- 機能によっては [入力完了] は表示されず [検索開始] などが表示される場合があります。

入力キーボードの配列を変更する

入力キーボードの配列をパソコンのキーボードと同様の配列にすることができます。

1 **入力キーボード中の [キーボード変更] にタッチする**

2 **[50 音配列] または [JIS 配列] にタッチする**

▼

お知らせ

- [JIS 配列] を選ぶとパソコンのキーボードと同様の配列でローマ字入力が行えるようになります。

漢字表から入力する

JIS 第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

1 入力キーボード中の [漢字] にタッチする

→「1. 文字種を切り換える」(P38)

2 入力したい漢字を選んでタッチする

▼

選んだ漢字が入力されます。

お知らせ

- [上] または [下] にタッチすると、前のページまたは次のページが表示されます。

文字を削除する

1 ジョイスティックを左右に倒して、削除したい文字の右にカーソルを移動させる

お知らせ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- カーソルを移動させなくても、カーソルの左の文字は削除できます。

お知らせ

- パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。

2 [修正] にタッチする

カーソルの左の文字が削除されます。

お知らせ

- [修正] を約 2 秒以上タッチし続けると、同じ色で表示されているカーソルの左側の文字を一度に削除することができます。

スペースを空ける

1 入力キーボード中の [スペース] にタッチする

▼

スペースが空きます。

文字を挿入する

1 **ジョイスティックを左右に倒して、挿入したい場所にカーソルを移動させる**

お知らせ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。

挿入したい文字にタッチする

→「3. 文字を入力する」(P39)

改行する

1 **入力キーボード中の [改行] にタッチする**

▼

改行され、次の行が入力できるようになります。

お知らせ

- [改行] は、メールや署名を編集するときに使用できます。

定型文を入力する

メールのタイトルや宛先、本文の入力では、定型文を使うことができます。

■入力する

1 **入力キーボード中の [キーボード変更]➜[定型文] にタッチする**

2 **使用したい定型文のカテゴリにタッチする**

カテゴリ

3 **使用したい定型文を選んでタッチする**

定型文が入力されます。

お知らせ

- [ユーザー定型文] では登録した定型文を使用できます。

■ユーザー定型文を登録する 標準

お知らせ

- 簡単操作モードではユーザー定型文を登録することはできません。
- ユーザー定型文は 20 件まで登録できます。

1 ［メニュー］ボタン➔［付加機能］にタッチする

2 ［ユーザー定型文編集］にタッチする

▼

ユーザー定型文編集画面が表示されます。

3 ［新規作成］を選んでタッチする

4 定型文を入力する

→ *「3. 文字を入力する」(P39)*

お知らせ

- 定型文は全角で 32 文字 (半角で 64 文字) まで入力できます。

5 ［入力完了］にタッチする

定型文が登録されます。

■ユーザー定型文を編集する 標準

お知らせ

- 簡単操作モードではユーザー定型文を編集することはできません。

1 ユーザー定型文編集画面で、編集するユーザー定型文を選んでタッチする

→ *「ユーザー定型文を登録する」(P43)*

2 ［編集］にタッチする

以降の操作手順は、*「ユーザー定型文を登録する」(→ P43)* の手順 4 以降と同じです。

■ユーザー定型文を消去する

1 ユーザー定型文編集画面で、消去するユーザー定型文を選んでタッチする

→ *「ユーザー定型文を登録する」(P43)*

お知らせ

- すべてのユーザー定型文を消去する場合は、［全消去］にタッチします。

2 ［消去］にタッチする

つづく ➔

[消去する] にタッチする

▼

ユーザー定型文が消去されます。

画面表示

地図のスケールを切り換える

10m ～ 300km までの範囲で地図のスケールを変えることができます。

地図を詳しく / 広く見る

- 200m スケールより広域の地図のときは、細街路は表示しません。

1 [広域] ボタンまたは [詳細] ボタンを押す

スケールバーが表示され、スケールレベルを確認できます。

[広域] ボタン	地図が広域で表示され、広い範囲を見ることができます。
[詳細] ボタン	地図が詳細表示され、詳しく見ることができます。

アドバイス

- 画面の 100m にタッチすることでも、スケールバーが表示されます。
- スケールバーの [広域]、[詳細] にタッチすることでも同様の操作が行えます。

お知らせ

- スケールバーで赤色に表示されているスケールでは、VICS 情報を表示することができます。→ *「地図上で VICS 情報を見る」(P144)*

■ 2 画面で表示している場合 標準

[広域] ボタンまたは [詳細] ボタンを押すと、左画面のスケールのみ変わります。

右画面のスケールを変えるには

1 [画面] ボタン ➜ [右画面縮尺] にタッチする

2 [広域] ボタンまたは [詳細] ボタンを押してスケールを変更する

アドバイス

- 右画面の 100m にタッチすることでも右画面のスケールバーが表示されます。
- スケールバーの [広域]、[詳細] にタッチすることでも同様の操作が行えます。

お知らせ

- スケールバーが表示されている間のみ右画面のスケールを変えることができます。

市街地図を表示させる

10m ～ 50m の地図のスケールで、道幅や建物の形などがわかる詳細な市街地図を表示することができます。

お知らせ

- 都市部では詳細な市街地図、都市部以外では簡易的な市街地図を表示させることができます。（簡易市街地図）
- 10m、25m スケールの市街地図を表示しているときに、およそ 90km/h 以上で走行すると、50m スケールの市街地図になります。（およそ 80km/h 以下の走行になると、再度元の 10m または 25m スケールの市街地図を表示します。）

2D マップでの市街地図

各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。

お知らせ

- 詳細な市街地図と簡易的な市街地図の境目では、道路幅が異なる場合があります。

3D マップでの市街地図 標準 （ビル立体表示）

代表的なビルなどの建物が立体表示されます。（ある程度手前に来ると、表示されなくなります。）また、各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。

お知らせ

- すべての建物が立体表示されるわけではありません。
- 建物の外見は、実際と異なる場合があります。
- 簡易市街地図では、建物は立体表示されません。
- 地図をスクロールすると、2D マップ表示となります。また、走行中は地図をスクロールできません。

アドバイス

- ビル立体表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。
→ *「機能設定」(P172)*

地図の向きを変える

さまざまな状況に応じて、地図の向きを変えることができます。

1

簡単

[画面] ボタン ➜ [地図向きを変える] にタッチする

標準

[画面] ボタン ➜ [方位・マップモード切換] にタッチする

アドバイス

• 方角マークにタッチすることでも同様の操作が行えます。

方角マーク

2 **画面上部の切り換えたい地図向きのマークにタッチする**

簡単

標準 1 画面の場合

標準 2 画面の場合

3 **[設定終了] にタッチする**

地図の向きが変更されます。

お知らせ

- マップモードが 2 画面地図以外の場合は、右画面の地図向きを変更することはできません。→「マップモードを切り換える」(P50)
- 地図の向きは次の中から選ぶことができます。

	北を上に表示 (→ P49)
	進行方向を上に表示 (→ P49)
	3D マップ※ (→ P49)

※簡単操作モードでは、3D マップにすることはできません。

- スケールが 300km のときは (進行方向を上に表示)、 (3D マップ) はできません。

地図向きの種類

■北を上に表示 簡単 標準

■進行方向を上に表示 簡単 標準

■3D マップ 標準

上空から見ているような地図が表示されます。

都市部では、10m 〜 50m スケールのときに立体的な市街地図が表示されます。(ビル立体表示)

お知らせ

- 10m、25m スケールの市街地図を表示しているときに、およそ 90km/h 以上で走行すると、50m スケールの市街地図になります。(およそ 80km/h 以下の走行になると、再度、元の 10m または 25m スケールの市街地図を表示します。)
- 地図をスクロールすると、3D マップは 2D マップに切り換わります。
- スケールが 300km のときは [3D マップ] を選んでも「北を上に表示」で表示され、3D マップは表示されません。

アドバイス

- 地図を見る角度は変更できます。
  →「機能設定」(P172)
- ビル立体表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。
  →「機能設定」(P172)

マップモードを切り換える

標準操作モードでは、さまざまな状況に応じてマップモードを切り換えることができます。
簡単操作モードでは、1 画面地図が表示され高速道路を走行すると高速ガイドが表示されます。

マップモードを切り換える 標準

1 [画面] ボタン ➜[方位・マップモード切換] にタッチする

アドバイス

- 方角マークにタッチすることでも同様の操作が行えます。

方角マーク

2 画面下部の切り換えたいマップモードのマークにタッチする

3 [設定終了] にタッチする

マップモードが変更されます。

お知らせ

- マップモードは次の中から選ぶことができます。

マップモード
1 画面地図 (→ P51)
2 画面地図 (→ P51)
ドライビングマップ (→ P51)
行程ガイド※ 1(→ P52)
高速ガイド※ 2(→ P52)

※ 1ルート案内中のみ選ぶことができます。
※ 2高速道路走行中のみ選ぶことができます。

表示方法の種類

■1 画面地図 簡単 標準

通常の地図 (平面の地図) で表示されます。

都市部では、10m ～ 50m スケールのときに詳細な市街地図が表示されます。

お知らせ

- 10m、25m スケールの市街地図を表示しているときに、およそ 90km/h 以上で走行すると、50m スケールの市街地図になります。(およそ 80km/h 以下の走行になると、再度元の 10m または 25m スケールの市街地図を表示します。)

都市高速道路を走行すると、高速道路、有料道路、主要な道路、インターチェンジのみ表示されます。(都市高速マップ)

アドバイス

- 50m ～ 5km スケールで表示できます。(市街地図は除きます。)
- 都市高速マップの表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。(標準操作モードのみ) → *「機能設定」(P174)*

■2 画面地図 標準

画面が左右に 2 分割されて表示されます。
詳細地図と広域地図を同時に見たいときに便利です。

アドバイス

- 2 画面のとき、左画面に連動して、右画面をスクロールさせることができます。(2 画面同時スクロール) → *「機能設定」(P174)*
- 右画面のスケールの変更は、*「地図のスケールを切り換える」*(→ *P46*) で変更できます。

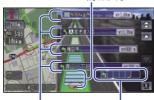
■ドライビングマップ 標準

ドライバーの視線から見たような地図が表示されます。
信号やお店などの目印となる建物が立体的に表示されます。(一部の地域では表示されないことがあります。) 左側には地図が表示されます。

お知らせ

- ドライビングマップ時にスクロールすると 1 画面地図になります。
- 走行速度がおよそ 90km/h を超えると表示できなくなり、およそ 80km/h 以下になると再表示します。

■行程ガイド 標準

ルート案内中、右側に現在地より前方の案内地点と現在地からの距離が表示されます。左側には地図が表示されます。

お知らせ

- ルート案内中に設定することができます。
- [▲]、[⏶] にタッチすると先の案内地点の情報を見ることができ、[▼]、[⏷] にタッチすると戻ります。
- 案内地点を選んでタッチすると、案内地点周辺の地図を確認することができます。
- 一般道路を走行しているときは、次の交差点のレーン情報や、先の交差点の誘導方向が表示されます。
- 高速道路を走行中は、料金所に近づくと料金が表示されます。
- *「高速ガイドの施設情報を見る」(→ P53)* と同様の操作で高速道路のサービスエリア / パーキングエリアは情報を見ることができます。
- VICS 情報表示を設定している場合は、VICS 情報センターから受信した道路交通情報が表示されます。→ *「地図上で VICS 情報を見る」(P144)*

アドバイス

- 通過する IC(インターチェンジ) の表示を入口 IC と出口 IC のみにし、その間の IC を省略 [する]/[しない] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P173)*

■高速ガイド 簡単 標準

高速道路走行時に表示される専用画面で自動的に高速ガイドに切り換わります。高速ガイドでは前方の高速道路施設の情報が表示され、左側には地図が表示されます。

お知らせ

- 高速ガイド表示中に手動で別のマップモードに切り換えることもできます。(標準操作モードのとき)
- 一般道路に入ると通常の地図表示に切り換わります。
- 高速道路の施設情報を見ることができます。
  → *「高速ガイドの施設情報を見る」(P53)*
- 高速ガイドに表示される内容は、実際と異なる場合があります。
- 高速道路によっては、高速ガイドを表示できないことがあります。
- VICS 情報表示を設定している場合は、VICS 情報センターから受信した道路交通情報が表示されます。→ *「地図上で VICS 情報を見る」(P144)*

アドバイス

- 高速ガイド自動表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。(標準操作モードのとき) → *「機能設定」(P173)*

高速ガイドの施設情報を見る 簡単 標準

高速道路走行中に高速ガイドに切り換わると、前方のインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。
高速ガイドでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。また、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見ることも可能です。

■走行中の高速道路の施設を見る

高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。

お知らせ

- 高速ガイドの自動表示は、[する]/[しない] を選ぶことができます。→*「機能設定」(P173)*(標準操作モードのみ)
- 複雑なジャンクションにおいては、同じ名称の施設や路線が表示される場合があります。
- 通過した施設は見ることができません。
- ジャンクションやインターチェンジなどの高速道路に併設されている施設を通過して高速道路を降りる場合は、高速道路を降りるまで高速ガイドで表示されます。一般道に入ると、通常の地図表示に戻ります。

■ジャンクションの分岐先の情報を見るには

お知らせ

- ルート案内中は分岐先を選ぶことはできません。

1 ジャンクションを選んでタッチする

2 情報が見たい分岐先にタッチする

分岐先の情報が表示されます。

お知らせ

- [全画面地図] にタッチするとジャンクション周辺の地図が表示されます。
- [拡大図表示] にタッチするとジャンクションの画像が表示されます。

■サービスエリアやパーキングエリアの情報を見る

画面にサービスエリアやパーキングエリアの施設情報が表示されているときは、施設の詳細情報を見ることができます。

▲ または ▼ にタッチして施設を探し、情報が見たい施設の［情報］にタッチする

▲ にタッチすると３件毎に先の施設へ移動し、▼ にタッチすると３件毎に戻ります。

［詳細情報］にタッチする

▼

施設の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- ［全画面地図］にタッチすると施設周辺の地図が表示されます。
- 走行中は情報を表示することはできません。

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

施設情報が表示されます
（最大８つまで表示できます）

ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例：出光興産）	
FAX	レストラン
インフォメーション	休憩所
お風呂	軽食
コインシャワー	身障者施設
コインランドリー	ベビーベッド
コイン洗車	宝くじ
コーヒー	名産
ドラッグ	キャッシュコーナー
ハイウェイ情報ターミナル	トイレ
	自動販売機
ベッド	公衆電話
ポスト	

料金表示について

お知らせ

- 高速道路上でルートを指定した場合は、料金が表示されない場合があります。
- 早朝夜間割引などの特別な料金は考慮されません。
- 料金表示が可能なのは、都市高速・都市間高速・一部の有料道路です。表示される料金は、地図データ作成時点によるもので、表示されない場合があります。
- 実際の料金と異なる場合があります。

ランドマークを表示 / 非表示にする

表示させるランドマークをジャンルごとに細かく設定することができます。

アドバイス

- 新たにランドマークを登録することができます。(ユーザーランドマーク) →*「ユーザーランドマークを登録 / 編集する」(P192)*

ランドマークを表示する 簡単 標準

さまざまな施設のランドマークを地図上に表示させることができます。

■ すべての種類のランドマークを表示する

すべての種類のランドマークを地図上に表示させることができます。

[画面] ボタン ➜ [ランドマーク表示] にタッチする

簡単

標準

[すべて表示する] にタッチする

簡単

標準

▼

すべての種類のランドマークが表示されます。

お知らせ

- 標準操作モードで、[詳細設定のみ表示] にタッチすると詳細設定で設定されたランドマークをすべて表示します。→*「ランドマークの詳細表示設定をする」(P57)*

■分類ごとにランドマークを表示する

さまざまな施設のランドマークを地図上に表示させることができます。

[画面] ボタン ➔[ランドマーク表示] にタッチする

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

表示させたいランドマークの分類を選んでタッチする

お知らせ

- 簡単操作モードでは、[表示する] と [表示しない](何も表示されません。) の切り換えのみになり、以降の操作は必要ありません。

[全表示する] または [(ランドマーク)] にタッチする

[全表示する]	すべての関連施設のランドマークが表示されます。
[表示しない]	ランドマークを表示しません。*(→ P58)*
[(ランドマーク)]	詳細設定で設定された施設のランドマークが表示されます。
[詳細設定]	表示するランドマークを設定します。*(→ P57)*

表示する設定がされると、リストの項目の色が変わります。
引き続き施設を選ぶことができます。

ランドマークの詳細表示設定をする 標準

詳細設定では、ランドマークを表示するとき、各施設を最大３つまでに限定して表示することができます。

1 **[画面] ボタン ➜[ランドマーク表示] にタッチする**

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

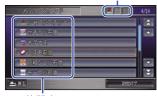
2 **詳細設定したいランドマークの分類を選んでタッチする**

ランドマークの表示方法を選択するメニューが表示されます。

3 **[詳細設定] にタッチする**

4 **ランドマークを表示させたい施設を選んでタッチする**

▼

表示設定の内容

施設名

表示する設定がされるとリストの項目の色が変わります。また、選んだ施設のマークが右上に表示されます。引き続き選ぶことができます。

お知らせ

- 再度選んだ施設にタッチすると、項目の色が戻り、選択が解除されます。

5 **[設定終了] にタッチする**

▼

ランドマーク表示設定画面に戻り、選んだ施設マークが表示設定に表示されます。

ランドマークを非表示にする

簡単 標準

表示させたランドマーク（→ P55）を表示させなくする（非表示）ことができます。

■すべての種類のランドマークを非表示にする

1 **[画面] ボタン ➜ [ランドマーク表示] にタッチする**

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

2 **[すべて表示しない] にタッチする**

簡単

標準

▼

すべての種類のランドマークが非表示にされます。

■分類ごとにランドマークを非表示にする

1 **[画面] ボタン ➜ [ランドマーク表示] にタッチする**

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

2 **非表示にさせたいランドマークの分類を選んでタッチする**

ランドマークの表示方法を選択するメニューが表示されます。

 お知らせ

- 簡単操作モードでは、[表示する] と [表示しない]（何も表示されません。）の切り換えのみになり、以降の操作は必要ありません。

3 **[表示しない] にタッチする**

▼

地図上に選んだ施設のランドマークが表示されなくなります。

引き続き施設を選ぶことができます。

施設情報を表示する 標準

検索した施設の詳細情報を見ることができます。

施設を探す

→「場所を探す」(P88)

[情報] にタッチする

▼

施設情報が表示されます。

お知らせ

- 施設に出入口の情報がある場合、[出入口] にタッチすると、出入口付近を目的地に設定することができます。
- 選んだ場所に複数の施設がある場合、施設のリストが表示されます。施設を選んでタッチしてください。
- 建物内に複数の会社、店などがある場合、建物内にある店舗リストが表示されます。店舗を選んでタッチしてください。
- [全画面地図] にタッチすると、詳細情報を表示している地点周辺の地図が表示されます。
- [次のページ] が表示されているときは、施設情報に続きがあることを示しています。続きを見るときは、[次のページ] にタッチしてください。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、[発信] にタッチしてください。
→「地図に登録された電話番号にかける」(P297)
- [画像表示] にタッチすると、その場所に設定された画像が表示されます。

■建物の絵に合わせたとき

市街地図 *(→ P47)* では、建物の情報を見ることができます。

が表示される建物の絵にカーソルを合わせ、[情報] にタッチする

お知らせ

- カーソルを合わせた建物に名称の情報がある場合、画面に名称が表示されます。

▼

建物の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 建物内に複数の会社、店などがある場合、建物内にある店舗リストが表示されます。店舗を選んでタッチしてください。

■ランドマークに合わせたとき

ランドマークの詳細情報を確認することができます。

ランドマークにカーソルを合わせ、[情報] にタッチする

お知らせ

- カーソルを合わせたランドマークにアイコンと名称の情報がある場合、画面にアイコンと名称が表示されます。

ランドマークの詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 選ばれているランドマークを表示させなくすることができます。
  表示させなくするには、[非表示] にタッチします。
  非表示にしたランドマークは [非表示設定データ] で確認することができます。→ *「ランドマークを非表示設定にする」(P197)*

■ユーザーランドマークに合わせたとき

ユーザーランドマークの詳細情報を確認することができます。

ユーザーランドマークにカーソルを合わせ、［ 情報 ］にタッチする

お知らせ

- カーソルを合わせたユーザーランドマークにアイコンと名称の情報がある場合、画面にアイコンと名称が表示されます。

▼

ユーザーランドマークの詳細情報が表示されます。ユーザーランドマークの情報画面から名称、読み、マーク、電話番号、位置を*「自宅やよく行く地点を編集する」(→P68)*と同様に編集することができます。

■自宅やよく行く地点、マークに合わせたとき

自宅やよく行く地点、マークの詳細情報を確認することができます。

自宅やよく行く地点またはマークにカーソルを合わせ、［ 情報 ］にタッチする

▼

自宅や、よく行く地点またはマークの詳細情報が表示されます。情報画面から各情報を編集することができます。*→「自宅やよく行く地点を編集する」(P68)、→「マークを編集する」(P78)*

走行中の画面表示

ここでは走行中に行われるさまざまな案内について説明します。

 お知らせ

- ルート走行中にのみ表示される案内については、*「いろいろな案内」(→P124)* を参照してください。

ふらつき検知警報

車のふらつきを検知すると、音声とテロップ表示で警報します。

アドバイス

- ふらつき検知警報は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P183)*

速い速度でカーブに近づくと

速い速度でカーブを走行しようとすると音声とマーク表示で警告します。

アドバイス

- カーブ警告の設定は、[舗装路]/[圧雪路]/[しない] を選べます。
→ *「機能設定」(P183)*

シートベルト警告

運転席のシートベルトが装着されていないときは音声で警告します。

アドバイス

- シートベルト警告は [する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P183)*

パーキングブレーキ警告

パーキングブレーキがかかった状態で走行すると、音声で警告します。

アドバイス

- パーキングブレーキ警告は [する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P183)*

県境を過ぎると

県境を過ぎると、音声とテロップ表示で案内します。

アドバイス

- 県境案内の表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P183)*

都市高速マップ

都市高速道路を走行しているときは、高速道路、有料道路、主要な道路のみを表示します。

都市高速マップ表示中

通常 1 画面地図

アドバイス

- 50m ～ 5km スケールで表示できます。（市街地図は除きます。）
- 2 画面地図のときは、左画面のみ都市高速マップを表示します。
- 都市高速マップの表示は [する]/[しない] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P174)*

画面の明るさを調節する

画面の明るさ、コントラスト、黒レベルを調節することができます。

アドバイス

- 画面の色の設定は、*「機能設定」(→P172)* で設定します。ここで行う明るさの設定と合わせて、お好みの画面でご利用ください。

1

簡単

[画面] ボタン ➜ [画面明るさ調整] にタッチする

標準

[画面] ボタン ➜ [画面調整] にタッチする

2

各項目の [−]、[+] または [黒]、[灰] にタッチして調節する

3

[決定] にタッチする

画面設定メニューに戻ります。

 お知らせ

- 画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合で、別々に設定することができます。
- テレビ、DVD、ナビゲーション画面 (その他オーディオ画面含む) ごとに設定することができます。
- メーターのイルミネーションコントロールで車幅灯点灯時の明るさを最大よりさらに明るくさせようとすると各明るさの設定が車幅灯の OFF 時と同じ設定になります。(イルミキャンセル)

自宅およびマークを登録 / 編集する

自宅などよく行く地点を登録 / 編集する

お知らせ

- 標準操作モードで自宅の位置を変更する場合は、「よく行く地点」から行えます。→ *「自宅やよく行く地点を編集する」(P68)*
- 標準操作モードで自宅を消去する場合は、「よく行く地点」から行えます。→ *「自宅やよく行く地点を消去する」(P76)*

自宅を登録する 簡単 標準

自宅を登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。

お知らせ

- 登録すると自宅のマーク ( ) が地図上に表示されます。

1 簡単

[目的地] ボタン ➜[自宅を登録する] にタッチする

現在地周辺の地図が表示されます。以降の操作は手順 3 に進みます。

アドバイス

- [メニュー] ボタン→ [設定を変える] にタッチしても [自宅登録] を選べます。

標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [自宅登録] にタッチする

2 **場所を探す**

→ *「場所を探す」(P88)*

3 **自宅にカーソルを合わせる**

4 **[自宅セット] にタッチする**

探した地点が自宅として登録されます。

お知らせ

- 自宅の登録後に [自宅へ誘導](簡単操作モード [自宅に帰る]) にタッチすると、自宅までのルート計算が始まります。
- 自宅を登録すると、[自宅] という名前と [じたく] という読みが自動的に入力されます。
- 自宅を登録した地点には、自宅マーク ( ) が自動的に設定されます。

自宅を変更する 簡単

登録した自宅の位置を変更することができます。

1 [メニュー] ボタン ➜[設定を変える] にタッチする

2 [自宅変更] にタッチする

▼

自宅周辺の地図が表示されます。

3 変更したい位置にカーソルを合わせる

4 [自宅セット] にタッチする

▼

自宅の位置が変更されます。

自宅を消去する 簡単

登録した自宅を消去することができます。

1 [メニュー] ボタン ➜[設定を変える] にタッチする

2 [自宅変更] にタッチする

▼

自宅周辺の地図が表示されます。

3 [自宅消去] にタッチする

▼

自宅が消去されます。

よく行く地点を登録する 標準

あらかじめ気に入った場所を探して、「よく行く地点」に登録することができます。

お知らせ

- よく行く地点は「自宅」を除き5ヶ所まで登録できます。
- 登録すると登録番号のマークが地図上に表示されます。

1 **[目的地]ボタン➜[探し方1]の[よく行く地点]にタッチする**

2 **未登録の番号を選んでタッチする**

3 **場所を探す**

→ *「場所を探す」(P88)*

4 **[地点○セット]にタッチする**

▼

探した場所が、よく行く地点のリストに登録されます。

アドバイス

- よく行く地点の名称などは変更することができます。→ *「自宅やよく行く地点を編集する」(P68)*

自宅やよく行く地点を編集する 標準

よく行く地点に関する情報(名称、読み、接近音声、方向/距離、地図上に表示、位置修正、電話番号、メモ、画像、E-mail)の設定、変更をすることができます。

お知らせ

- マークは変更することができません。
- 自宅は名称、読み、マークを編集することはできません。

■よく行く地点の編集画面を表示する

よく行く地点の情報を編集するには次の手順で画面を表示させます。

1 **[目的地]ボタン➜[探し方1]の[よく行く地点]にタッチする**

よく行く地点のリストが表示されます。

2 **変更したい地点を選んでタッチする**

3 **[編集]にタッチする**

▼

よく行く地点の編集画面が表示されます。

■名称を変更するとき

登録時に付けられた名称を変更することができます。

編集画面の [名称] を選んでタッチする

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)

2

名称を入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- 名称は、全角で 24 文字 (半角で 48 文字) まで入力することができます。

[入力完了] にタッチする

よく行く地点の名称が変更されます。

■読みを設定 / 変更するとき

音声操作でよく行く地点を呼び出すには、よく行く地点に設定されている「読み」が使われます。
よく行く地点の読みを覚えやすいものに変更して、音声操作を使いやすくすることができます。
接近音声 (→P70) を [マーク名称読み上げ] に設定すると、ここで設定した「読み」が読み上げられます。

編集画面の [読み] を選んでタッチする

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)

読みを入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- 全角で 24 文字まで登録することができます。
- 音声操作を使用しないときは、読みの設定は不要です。
- 「ん○○」「っ○○」など日本語として発声できない読みは付けないでください。
- 「げんざいち」などの音声コマンドと同じ読みは付けないでください。誤動作の原因となります。

[入力完了] にタッチする

よく行く地点の読みが設定 / 変更されます。

■接近音声を設定 / 変更するとき

接近音声を設定すると、よく行く地点に自車が近づいたときに接近音声が鳴ります。

編集画面の [接近音声] を選んでタッチする

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)*

2 変更したい接近音声にタッチする

タッチすると音声の確認ができます。

3 [セット] にタッチする

▼

よく行く地点の接近音声が設定 / 変更されます。

お知らせ

- 自車が [方向 / 距離] で設定された範囲 (100m、300m、500m) に近づくと接近音声が鳴ります。

■接近する方向を設定 / 変更するとき

よく行く地点に自車が近づくときの方向を指定できます。指定した方向から近づくと接近音声を鳴らすことができます。

お知らせ

- 接近音声が [接近音声 OFF] に設定している場合は、指定した方向から近づいても接近音声は鳴りません。

1 編集画面の [方向 / 距離] を選んでタッチする

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)*

お知らせ

- 接近音声が [接近音声 OFF] の場合は、[方向 / 距離] を選ぶことはできません。

[方向指定] にタッチする

お知らせ

- [全方向] を選んだときは、手順 4 に進んでください。よく行く地点に、どの方向から接近しても音声が鳴ります。

3 ［↙］または［↘］にタッチして方向を指定する

60° の幅を約 6° 単位で調節できます。

4 [設定終了] にタッチする

よく行く地点の接近する方向が設定 / 変更されます。

お知らせ

- 画面上部のメニュー ([100m]、[300m]、[500m]) にタッチすると接近音声の距離を選ぶことができます。

■距離を設定 / 変更するとき

よく行く地点に何メートル (100m、300m、500m) まで自車が近づくと接近音声を鳴らすか、距離を設定できます。

お知らせ

- 接近音声が [接近音声 OFF] に設定している場合は、指定した距離まで近づいても接近音声は鳴りません。

1 編集画面から [方向 / 距離] を選んでタッチする

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)

2 変更したい距離にタッチする

▼

よく行く地点の接近する距離が設定 / 変更されます。

地図上に表示する / しないとき

よく行く地点のマークを地図上に表示させたくないときや、再度表示させたいときに以下の設定を行います。

1 編集画面の [地図上に表示] を選んでタッチする

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)

2 [する] または [しない] にタッチする

▼

よく行く地点のマークを地図上に表示する / しないの設定が完了します。

■自宅やよく行く地点の位置を変更するとき

編集画面の［位置修正］を選んでタッチする

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)*

2 **新たに登録したい位置にカーソルを合わせ、［地点○セット］にタッチする**

▼

よく行く地点の位置が変更されます。

■電話番号を設定／変更するとき

電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

編集画面の［電話番号］を選んでタッチする

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)*

2 **電話番号を入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

3 **［完了］にタッチする**

よく行く地点の電話番号が設定／変更されます。

お知らせ

- 施設ジャンル検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 携帯電話の番号も設定することができます。
- 電話番号が設定されている場合は、編集画面の［発信］にタッチすると、電話をかけることができます。→ *「施設情報の画面から電話をかける」(P297)*

■メモを設定 / 変更するとき

よく行く地点にメモをつけることができます。

編集画面の [メモ] を選んでタッチする

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)*

2 **メモを入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

- メモは、全角で 256 文字 (半角で 512 文字) まで入力することができます。
- すでにメモが入力済みの場合は、[メモ編集] にタッチすることで、メモを編集することができます。

[入力完了] にタッチする

よく行く地点のメモが設定 / 変更されます。

■画像を設定 / 変更するとき

デジタルカメラなどで撮影した画像やインターナビ情報センターから取得した画像を設定することができます。

- 設定できる画像ファイルについては *「画像を確認する」(→ P313)* を参照してください。

編集画面の [画像] を選んでタッチする

→ *「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)*

設定したい画像を選んでタッチする

※ 画像はサンプルのため、実車とは異なります。

つづく →

はじめに
基本操作
画面表示
自宅およびマークを登録、編集する
目的地を探す
目的地に行く
ルート案内
VICSを使う
ナビゲーションの設定をする
データを登録／編集する

3 [画像登録] にタッチする

▼

よく行く地点の画像が設定 / 変更されます。

お願い

- 画像の設定 (または変更) 操作をした直後は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PC カードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PC カードのデータが壊れることがあります。

お知らせ

- PC カードをセットしている場合は、PC カード内の画像もリストに表示されます。
- すでに画像が設定されている場合は、古い画像を消去しないと新しい画像は設定できません。

画像を解除する

よく行く地点に設定した画像を解除することができます。

1 編集画面の [画像] を選んでタッチする

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)

設定した画像が表示されます。

2 [消去] にタッチする

3 [消去する] にタッチする

▼

設定されていた画像が解除されます。

お知らせ

- 設定した画像を解除しても、画像はハードディスクから消去されません。マークリスト *(→ P77)* の場合は消去されることがあります。

壁紙に設定する

よく行く地点に設定した画像を壁紙に設定することができます。

1 編集画面の [画像] を選んでタッチする

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)

設定した画像が表示されます。

2 [壁紙に設定] にタッチする

▼

設定されていた画像が壁紙に設定されます。

■ メールを設定 / 変更するとき

よく行く地点にメールアドレスを設定することができます。
メールアドレスを設定すると、よく行く地点の編集画面からメールを作成することができます。

1 編集画面の [E-mail] を選んでタッチする

→「よく行く地点の編集画面を表示する」(P68)

2 メールアドレスを入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- メールアドレスは、半角で 64 文字まで入力することができます。

3 [入力完了] にタッチする

よく行く地点のメールアドレスが設定 / 変更されます。

アドバイス

- メールアドレスが設定されている場合は、編集画面の [アドレス帳登録] にタッチすると、アドレス帳にメールアドレスを登録することができます。また、[メール作成] にタッチすると、メールを作成することができます。
→「メールを作成する」(P244)

自宅やよく行く地点を確認する 標準

登録した地点の位置を地図画面で確認することができます。

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [よく行く地点] にタッチする**

よく行く地点のリストが表示されます。

2 **確認したい地点を選んでタッチする**

よく行く地点の詳細情報が表示されます。

3 **[全画面地図] にタッチする**

▼

登録した地点の位置が全画面地図で表示されます。

自宅やよく行く地点を消去する 標準

自宅やよく行く地点を消去することができます。

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [よく行く地点] にタッチする**

よく行く地点のリストが表示されます。

2 **消去したい地点を選んでタッチする**

よく行く地点の詳細情報が表示されます。

3 **[消去] にタッチする**

4 **[消去する] にタッチする**

▼

よく行く地点が消去されます。

マークを登録 / 編集する 標準

友人宅やお気に入りの場所にマークを付けて登録 / 編集することができます。

お知らせ

- マークの登録は、最大 200 件までできます。それを超えて登録しようとしたときは、メッセージが表示されますので、いらないマークを消去してください。
→ *「マークを消去する」(P79)*
- シークレットモードを [ON] にしていると、マーク情報は表示されません。
→ *「シークレットモードを使う」(P328)*

アドバイス

- 登録したマークの名称やマーク、電話番号などの情報は、変更することができます。→ *「マークを編集する」(P78)*
- 登録したマークはお客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報と同期させて、最新情報に更新することができます。→ *「マークリストを同期する」(P80)*
- [メニュー] ボタン→ [付加機能] → [データ編集] → [マークリスト] でも同様にマークの登録 / 編集を行うことができます。

マークを新規登録する

お好みの場所をマークに登録するときは、以下のような操作で行います。

1 **場所を探す**

→ *「場所を探す」(P88)*

2 **[マークセット] にタッチする**

マークが登録されます。

アドバイス

- スクロール後のポイントメニュー *(→ P26)* 画面で [マークセット] にタッチしても登録することもできます。*(→ P108)* また、カスタマイズメニューに [マークセット] が登録されている場合 *(→ P185)* も、同様の手順で現在地を登録することができます。

マークを編集する

マークに関する情報(名称、読み、マーク、接近音声、方向/距離、地図上に表示、位置修正、電話番号、メモ、画像、E-mail)の設定/変更をすることができます。

[目的地]ボタン➜[探し方2]の[マークリスト]にタッチする

▼

マークのリスト画面が表示されます。

2 編集したいマークを選んでタッチする

アドバイス

- [登録順]または[マーク順]にタッチするとリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき[(アイコン)]または ◀、▶ (8種類以上のときのみ)にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

3 [マーク情報]にタッチする

▼

マーク情報の画面が表示されます。各データの以降の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」*(→*P68*)と同じです。

■マークを変更するとき

地図画面に表示させるマークを変更することができます。

マーク情報の画面の[マーク]を選んでタッチする

→*「マークを編集する」(P78)*

2 変更したいマークにタッチする

▼

マークが変更されます。

マークを確認する

登録したマークの位置を地図画面で確認することができます。

1 [目的地]ボタン➜[探し方2]の[マークリスト]にタッチする

2 確認したいマークを選んでタッチする

アドバイス

- [登録順]または[マーク順]にタッチするとリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき[(アイコン)]または ◀、▶ (8種類以上のときのみ)にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

3 [全画面地図]にタッチする

▼

マークが登録された地点の地図が表示されます。

マークを消去する

登録したマークを消去することができます。

1 [目的地]ボタン➜[探し方2]の[マークリスト]にタッチする

2 消去したいマークを選んでタッチする

お知らせ

- すべてのマークを消去する場合は、[全消去]にタッチします。

アドバイス

- [登録順]または[マーク順]にタッチするとリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき[(アイコン)]または ◀、▶ (8種類以上のときのみ)にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

つづく ➜

[消去] にタッチする

[消去する] にタッチする

▼

選んだマークが消去されます。

マークリストを同期する

登録していたマークリストと、お客様がパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報を同期させて、最新情報に更新します。

お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン･携帯電話向けのサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P214)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないと、サーバーと同期することができません。詳しくは、*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P216)*
- サービス内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [マークリスト] にタッチする

[設定] にタッチする

3 [パーソナル HP と同期] にタッチする

お知らせ

- [同期設定] にタッチすると画像の同期を設定することができます。画像の同期は [する]/[しない] を選ぶことができます。（初期状態では [しない] に設定されています。）

▼

サーバーとの同期が始まります。

お願い

- 同期中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、携帯電話を取り外さないでください。

お知らせ

- パーソナル・ホームページと同期した日付が画面の上部に表示されます。
  マークリストを編集すると最終同期日の色が変わります。パーソナル・ホームページと同期すると通常の表示に戻ります。

- マークリストの同期は、ナビゲーションシステム本体とパーソナル・ホームページで日付の新しい情報に更新されます。
- 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

PC カードへのマークの保存 / 読み込み

マークを PC カードに保存したり読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P278)* を参照してください。
- 読み込み可能数以上のマークを PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。*→「PC カードを初期化する」(P284)*

1 **マークのリスト画面で、[設定] にタッチする**

→「マークを編集する」(P78)

2 **[PC カード] にタッチする**

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■PC カードにマークを保存する

登録したマークを PC カードに保存することができます。

1 **PC カードのメニュー画面で、[データ保存] にタッチする**

→「PC カードへのマークの保存 / 読み込み」(P82)

▼

登録したマークのリストが表示されます。

2 **保存したいマークを選んでタッチする**

お知らせ

- PC カード内にすべてのマークを保存する場合は、[すべて保存] にタッチします。
- [登録順] または [マーク順] にタッチすることでリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

PC カードへの保存が完了します。

■PC カードからマークを読み込む

PC カードに保存されたマークを読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で、[データ読み込み] にタッチする

→「PC カードへのマークの保存 / 読み込み」(P82)

▼

PC カード内のマークのリスト画面が表示されます。

2 読み込みたいマークを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべてのマークを読み込む場合は、[すべて読込み] にタッチします。
- [登録順] または [マーク順] にタッチすることでリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

PC カードからの読み込みが完了します。

■PC カードからマークを消去する

PC カード内のマークを消去することができます。

PC カードのメニュー画面で、[データ消去] にタッチする

→「PC カードへのマークの保存 / 読み込み」(P82)

▼

PC カード内のマークのリスト画面が表示されます。

2 消去したいマークを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべてのマークを消去する場合は [全消去] にタッチします。
- [登録順] または [マーク順] にタッチすることでリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

つづく →

[消去する] にタッチする

▼

PC カード内の選んだマークの消去が完了し、マークのリスト画面に戻ります。

マークの詳細情報を見る 標準

通信機能を利用して登録したマークや、施設ジャンルから登録したマークなどでは、情報や写真を確認することができます。

お知らせ

- 通信機能に関しては、*「インターナビ情報を見る」*（→ *P234*）を参照してください。
- 通信機能を利用して取得した同じマーク（位置、名称）の場合は、その情報の作成日の古いものから順に自動的に上書きされます。

アドバイス

- PC カードを接続していると、PC カード内のマークのデータをハードディスクに保存したり、ハードディスクの情報を PC カードに読み込んだりすることができます。詳しくは *「PC カードへのマークの保存／読み込み」*（→ *P82*）を参照してください。

1 ［目的地］ボタン ➜［探し方 2］の［マークリスト］にタッチする

情報を見たいマークを選んでタッチする

アドバイス

- ［登録順］または［マーク順］にタッチするとリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき［（アイコン）］または ◀、▶（8 種類以上のときのみ）にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

［マーク情報］にタッチする

つづく ➔

[詳細情報] にタッチする

▼

詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 通信機能を利用せずに取得したマークは、詳細情報の文章がないため [詳細情報] を選ぶことはできません。
- 電話番号が登録されている場合は、[発信] にタッチすると、電話をかけることができます。*→「施設情報の画面から電話をかける」(P297)*
- メールアドレスが登録されている場合は [アドレス帳登録] にタッチすると、アドレス帳にメールアドレスおよび名称、読み、電話番号を登録することができます。また、[メール作成] にタッチすると、メールを作成することができます。*→「メールを作成する」(P244)*
- インターナビ情報センターから取得した写真を確認するには、マーク情報の [画像] を選んでタッチします。

■パーソナル・ホームページの位置情報を追加する

ご自宅のパソコンからパーソナル・ホームページよりダウンロードした位置情報を PC カードに保存し、その PC カードを使って位置情報をマークリストに追加することができます。

お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン･携帯電話向けのサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→P214)*

1 PC カードのメニュー画面で、[位置情報追加] にタッチする

→「PC カードへのマークの保存 / 読み込み」(P82)

PC カード内の位置情報がマークリストに追加されます。

目的地を探す

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所を探すことから始まります。
目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、施設情報を見たりすることができます。

検索方法の種類 簡単 標準

さまざまな状況に応じて場所を探せるように、以下のような検索方法が用意されています。

簡単

●地図を見ながら場所を探す（→ P89）
地図上で直接探す場合

●近くにある施設を探す（→ P90、P108）
現在地およびカーソル周辺の施設を探す場合

●ジャンルから施設を探す（→ P93）
各種施設をジャンルで探す場合

●施設の名前で場所を探す（→ P97）
施設の名称がわかっている場合

●地名で場所を探す（→ P99）
地名がわかっている場合

●住所で場所を探す（→ P100）
住所や地名などがわかっている場合

●電話番号で場所を探す（→ P102）
目的地の電話番号がわかっている場合

●自宅に帰る（→ P104）
自宅が登録されている場合

標準

標準操作モードでは、［探し方 1］と［探し方 2］があります。［目的地］ボタンを押し、［探し方 1］または［探し方 2］にタッチすると選ぶことができます。

●地図を見ながら場所を探す（→ P89）
地図上で直接探す場合

●近くにある施設を探す（→ P90、P108）
現在地およびカーソル周辺の施設、ルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探す場合

●ジャンルから施設を探す（→ P93）
各種施設をジャンルで探す場合

●施設の名前で場所を探す（→ P97）
施設の名称がわかっている場合

●地名で場所を探す（→ P99）
地名がわかっている場合

●住所で場所を探す（→ P100）
住所や地名などがわかっている場合

●電話番号で場所を探す（→ P102）
目的地の電話番号がわかっている場合

●郵便番号で場所を探す（→P102）
目的地の郵便番号がわかっている場合

●マップコードで場所を探す（→P103）
目的地のマップコードがわかっている場合

●自宅に帰る（→P104）
自宅が登録されている場合

●よく行く地点から場所を探す（→P105）
よく行く地点が登録されている場合

●地図につけたマークから場所を探す（→P105）
地図にマークが登録されている場合

●目的地の履歴リストから場所を探す（→P106）
過去に目的地とした場所から探す場合

●インターナビドライブ情報で探す（→P109）
インターナビドライブ情報センターに接続してお勧めの場所やコースから探す場合

●おすすめドライブナビゲーターで探す（→P444）
日本の観光コースから探す場合

地図を見ながら場所を探す

簡単　標準

地図上で場所を探します。

地図をスクロールし、目的地にカーソルを合わせる

以降の操作手順は*「場所が決まったら」（→P107）*を参照してください。

アドバイス

- 標準操作モードでは［目的地］ボタンを押して、［探し方 1］の［地図から］にタッチしても、同様に操作することができます。

近くにある施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やカーソル周辺の施設、またはルート案内中はルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探すことができます。

■ 探した場所周辺の施設を探す

簡単 標準

ポイントメニュー（→P26）から周辺の施設を探すことができます。

場所を探す

→「場所を探す」（P88）

［周辺検索］にタッチする

3 探している施設のジャンルを選んでタッチする

お知らせ

- ジャンルから［ビル］を選ぶと、選んだビル内の各階ごとの施設を検索できます。また、選んだ施設の施設情報を確認することができます。→「ビル内の施設情報を見る」（P92）

お知らせ

- ジャンルから［駐車場］を選んだ場合は駐車場リストを表示したり、駐車場の空車状況などの情報を表示することができます。
→「駐車場情報を見る」（P94）
- 選ぶジャンルによっては、施設のジャンルをさらに詳細にしたメニューが表示されます。

4 探している施設を選んでタッチする

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は「場所が決まったら」（→P107）を参照してください。

■現在地やルート周辺の施設を探す 標準

1 **[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [周辺検索] にタッチする**

2 **[経由地周辺] または [目的地周辺]、[現在地周辺]、[ルート周辺] にタッチする**

お知らせ

- [経由地周辺]、[目的地周辺]、[ルート周辺] は、それぞれルートや経由地が設定されている場合に選ぶことができます。
- 経由地が複数設定されている場合は、[経由地周辺] にタッチすると、経由地を選ぶ画面が表示されます。その中から経由地を選んでその周辺の検索をすることができます。

3 **探している施設のジャンルを選んでタッチする**

お知らせ

- ジャンルから [ビル] を選ぶと、選んだビル内の各階ごとの施設を検索できます。また、選んだ施設の施設情報を確認することができます。→ *「ビル内の施設情報を見る」(P92)*
- ジャンルから [駐車場] を選んだ場合は駐車場リストを表示したり、駐車場の空車状況などの情報を表示することができます。
→ *「駐車場情報を見る」(P94)*
- 選ぶジャンルによっては、施設のジャンルをさらに詳細にしたメニューが表示されます。

4 **探している施設を選んでタッチする**

▼

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P107)* を参照してください。

■ビル内の施設情報を見る 簡単 標準

選んだビル内の各階ごとの施設を検索できます。また、選んだ施設の施設情報を確認することができます。

1 施設のジャンルリスト画面で [ビル] を選んでタッチする

→「近くにある施設を探す」(P90)

2 探しているビルを選んでタッチする

3 探している施設を選んでタッチする

アドバイス

- [○○ F] または ◀ 、▶ にタッチするとビルの階数を切り換えてリストを表示することができます。

▼

施設の詳細情報が表示されます。

お知らせ

- [全画面地図] にタッチすると、ビル周辺の地図が表示されます。
- [次のページ] が表示されているときは、施設情報に続きがあることを示しています。続きを見るときは、[次のページ] にタッチしてください。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、[発信] にタッチしてください。
→「地図に登録された電話番号にかける」(P297)

ジャンルから施設を探す

簡単 標準

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探すことができます。

簡単

[目的地] ボタン ➔[施設のジャンルで探す] にタッチする

標準

[目的地] ボタン ➔[探し方 1] の [施設ジャンル] にタッチする

2

探している施設のジャンルにタッチする

お知らせ

- 学習機能により、過去に目的地や経由地として設定した回数が多いジャンルが表示されます。
- [一覧から探す] にタッチすると、その他のジャンルを選ぶことができます。
- ジャンルによっては、さらに分類を選ぶメニューが表示されます。

3

探している施設の所在地域 (都道府県名) を選んでタッチする

アドバイス

- [(地方名)] または ◀、▶ にタッチすると、地方を切り換えてリストを表示することができます。
- 施設によって所在地域の選択画面は表示されない場合があります。

探している施設を選んでタッチする

アドバイス

- [あ]、[か]、[さ] などまたは ◀、▶ にタッチすると、「あ、か、さ・・・」と施設名を 50 音で切り換えてリストを表示することができます。

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」* *(➔ P107)* を参照してください。

ジャンル一覧について

[一覧から探す] にタッチすると最初に表示されているジャンルとは別のジャンルを選ぶことができます。

アドバイス

- [(ジャンル名)] または ◀、▶ にタッチすると、ジャンルの種類を切り換えてリストを表示することができます。

お知らせ

- ジャンルで [観光・宿泊] の [祭事] を選んだ場合、リストの並びを切り換えることができます。
  - [月順に表示] にタッチすると、月順で並べられたリストが表示されます。
  - [名前順に表示] にタッチすると、名前順で並べられたリストが表示されます。

- 選ぶジャンルによっては、施設のジャンルをさらに詳細にしたメニューが表示されます。

■駐車場情報を見る

指定する地域の駐車場を探すことができます。

簡単

[目的地] ボタン ➜[施設のジャンルで探す] にタッチする

施設ジャンルの画面が表示されます。

[目的地] ボタン ➜[探し方 1] の [施設ジャンル] にタッチする

施設ジャンルの画面が表示されます。

2 **[一覧から探す] にタッチする**

3 **[駐車場] を選んでタッチする**

▼

駐車場のメニュー画面が表示されます。

アドバイス

- ◀、▶ にタッチし、[車] を選ぶと [駐車場] を早く選べます。

[駐車場データ] にタッチする

5 探している駐車場の所在地域（都道府県）を選んでタッチする

アドバイス

- [(地方名)]または ◀、▶ にタッチすると、地方を切り換えてリストを表示することができます。

▼

駐車場リスト画面が表示されます。

6 探している駐車場を選んでタッチする

アドバイス

- [あ]、[か]、[さ]などまたは ◀、▶ にタッチすると、「あ、か、さ・・・」と施設名を50音で切り換えてリストを表示することができます。

▼

駐車場付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→P107)*を参照してください。

車両の大きさを考慮して駐車場を探す

駐車場リストを、車両の大きさを考慮して絞り込んで検索することができます。

1 駐車場リスト画面で［車体制限で絞る］にタッチする

→*「駐車場情報を見る」(P94)*

▼

車両の大きさを考慮して絞り込んだ駐車場リストが表示されます。

アドバイス

- 車両の大きさでの絞り込みは、キャリア、ルーフボックスなどの大きさは考慮されません。

2 探している駐車場を選んでタッチする

駐車場付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→P107)*を参照してください。

■ VICS 情報から駐車場の利用状況を確認する

VICS 情報やインターナビ VICS から駐車場の利用状況や詳細情報を確認することができます。
インターナビ VICS から受信する駐車場情報は *「駐車場情報の条件設定」(→ P165)* で条件を設定することができます。

お知らせ

- インターナビ VICS から駐車場の利用状況を確認するには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P214)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとインターナビ VICS はご利用できません。詳しくは *「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P216)*
- VICS およびインターナビ VICS については、*「VICS とは」(→ P142)* を参照してください。

1 駐車場のメニュー画面で [VICS 駐車場] にタッチする

→ 「駐車場情報を見る」(P94)

お知らせ

- 標準操作モードでは、[メニュー] ボタン→ [VICS] → [駐車場情報] でも同様に駐車場の情報を確認することができます。→ *「駐車場情報を見る」(P148)*
- 駐車場の情報が 1 つもない場合、[VICS 駐車場] を選ぶことができません。

2 情報を見たい駐車場を選んでタッチする

お知らせ

- ルート案内中の場合は、目的地から近い順に、ルートを案内していない場合は現在地から近い順に一般道路の駐車場、続けて SA/PA(サービスエリア / パーキングエリア) がリストで表示されます。
- リストの駐車場名の左には駐車場の利用状況を示すアイコンが表示されます。アイコンについては、*「VICS 情報マークの種類」(→ P145)* を参照してください。
- 走行中は安全のため 2 件分のリストが表示されます。
- [SA/PA] にタッチするとサービスエリア / パーキングエリアの駐車場が表示されます。元のリストに戻すときは、[一般駐車場] にタッチします。

3 ［情報］にタッチする

▼

選んだ駐車場の情報が表示されます。

施設の名前で場所を探す

簡単　標準

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名前で探すことができます。

1

簡単

［目的地］ボタン➜［名称で探す］にタッチする

［目的地］ボタン➜［探し方 2］の［名称で探す］にタッチする

2 ［施設名］にタッチする

お知らせ

- ［地名］にタッチすると、地名を入力して検索することができます。→*「地名で場所を探す」(P99)*

つづく ➜

3 名称を入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- ひらがな以外の文字種に切り換えることはできません。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます。(キーワード検索)
- 濁音 (゛) や半濁音 (゜) の入力は不要です。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が 1 万件以下になると、ジャンルや地域 (都道府県など) での絞り込みが可能になります。
- 部分一致検索 (入力した文字が含まれる場所をすべて検索) では、検索対象が多すぎて絞り込みができるまでの間は、自動的に先頭一致検索 (先頭部分が入力した文字と完全に一致する場所を検索) を行います。
- 部分一致、先頭一致の区別および絞り込まれている件数は、画面上部に表示されます。

[検索開始] にタッチする

探している施設を選んでタッチする

アドバイス

- [地域で絞る] にタッチすると、エリア選択のリストが表示され、地域 (都道府県名、市区町村名) による絞り込みができます。選んだ項目の都道府県内のすべての市区町村を選びたい場合は、[○○○すべて] にタッチします。
(例 :[青森県すべて])
- [ジャンルで絞る] にタッチすると、ジャンルによる絞り込みができます。選んだ項目すべてを選びたい場合は、[○○○すべて] にタッチします。(例 :[食事すべて])
また、このとき、[名前順に表示] と [カテゴリ別に表示] でリストの順序を切り換えることができます。

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」*(→ *P107*) を参照してください。

地名で場所を探す 簡単 標準

地名を入力して探すことができます。

簡単

[目的地] ボタン ➜[名称で探す] にタッチする

標準

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [名称で探す] にタッチする

2 **[地名] にタッチする**

お知らせ

- [施設名] にタッチすると、施設名を入力して検索することができます。→ *「施設の名前で場所を探す」(P97)*

3 **地名を入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

お知らせ

- ひらがな以外の文字種に切り換えることはできません。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます。(キーワード検索)
- 濁音 (゛) や半濁音 (゜) の入力は不要です。
- 部分一致検索 (入力した文字が含まれる場所をすべて検索) では、検索対象が多すぎて絞り込みができるまでの間は、自動的に先頭一致検索 (先頭部分が入力した文字と完全に一致する場所を検索) を行います。
- 部分一致、先頭一致の区別および絞り込まれている件数は、画面上部に表示されます。

[検索開始] にタッチする

5 **探している場所を選んでタッチする**

つづく ➜

アドバイス

- [あ]、[か]、[さ] などまたは ◀、▶ にタッチすると、「あ、か、さ・・・」と施設名を 50 音で切り換えてリストを表示することができます。

▼

選んだ場所付近の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→ P107)* を参照してください。

住所で場所を探す 簡単 標準

住所で探すことができます。

簡単

[目的地] ボタン ➔ [住所で探す] にタッチする

標準

[目的地] ボタン ➔ [探し方 1] の [住所] にタッチする

2

都道府県名を選んでタッチする

アドバイス

- [(地方名)] または ◀、▶ にタッチすると、地方を切り換えてリストを表示することができます。

3 市区町村名を選んでタッチする

アドバイス

- [あ]、[か]、[さ] などまたは ◀、▶ にタッチすると、「あ、か、さ・・・」と市区町村名を 50 音で切り換えてリストを表示することができます。

4 地名 (丁目) を選んでタッチする

5 番地を選んでタッチする

6 号を選んでタッチする

▼

選んだ住所を中心とする地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P107)* を参照してください。

お知らせ

- 丁目および番地は、[数字入力] にタッチすると、数字入力することができます。入力後、[検索開始] にタッチすると入力した住所を中心とする地図が表示されます。

- 丁目や番地、号を入力しないで [全画面地図] にタッチすると、入力したところまでの住所の代表地点の地図が表示されます。
- 入力した丁目や番地、号がデータにない場合は、主要部の代表地点が表示されます。

電話番号で場所を探す 簡単 標準

目的地の電話番号を入力して探すことができます。

アドバイス

- マークリストやよく行く地点も電話番号を登録していた場合は、検索することができます。

1 簡単

[目的地] ボタン ➜ [電話番号で探す] にタッチする

標準

[目的地] ボタン ➜ [探し方 1] の [電話番号] にタッチする

2 電話番号を入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

3 [検索開始] にタッチする

▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は「場所が決まったら」(→ P107) を参照してください。

お知らせ

- 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は、すべて入力しなくても検索できます。[検索開始] にタッチすると、その時点で入力された番号で検索が始まります。
- 該当する電話番号がない、または番号をすべて入力しなかった場合は、入力した電話番号に近い地点の地図が表示されます。

郵便番号で場所を探す 標準

目的地の郵便番号を入力して探すことができます。

1 [目的地] ボタン ➜ [探し方 2] の [郵便番号] にタッチする

2 郵便番号を入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- 番号は 7 桁まで入力してください。

3 [検索開始] にタッチする

4 場所を選んでタッチする

お知らせ

- 場所を選んでタッチすると詳細な住所を検索できます。（大口事務所などの場合は地図を表示する場合があります。）

▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」（→P107）*を参照してください。

マップコードで場所を探す 標準

目的地のマップコードを入力して探すことができます。

マップコードとは

- マップコードは、特定の場所の位置データをコード化し、1 ～ 12 桁の番号と「＊」（アスタリスク）でその場所を特定することができるものです。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
- マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソー
マップコードプロジェクト
電話番号 0566-61-4210
受付時間 10:00 ～ 12:00
13:00 ～ 16:00
（土・日、会社休日を除く）
ホームページ
http://guide2.e-mapcode.com/

※マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

MAPCODE®

つづく ➔

1 [目的地]ボタン➜[探し方2]の[マップコード]にタッチする

マップコードを入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

• [検索開始]にタッチした時点で、入力されているコードを基に検索が始まります。

[検索開始]にタッチする

▼

マップコードに該当する地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」*(→P107)を参照してください。

自宅に帰る 簡単 標準

自宅が登録されている場合は、自宅へルート案内することができます。

簡単

[目的地]ボタン➜[自宅に帰る]にタッチする

[目的地]ボタン➜[探し方1]の[自宅へ誘導]にタッチする

自動的にルート計算が開始されます。以降は*「目的地に行くまでのルートを計算させる」*(→P114)を参照してください。

お知らせ

• 自宅が登録されていない場合は、[自宅登録]が表示されます。→*「自宅を登録する」(P66)*

よく行く地点から場所を探す 標準

[よく行く地点]として登録された場所がある場合は、そのリストから場所を探すことができます。

お知らせ

- よく行く地点には、5件までの地点を登録することができます。詳しくは*「自宅などよく行く地点を登録／編集する」(→P66)*を参照してください。

1 **[目的地]ボタン➜[探し方1]の[よく行く地点]にタッチする**

2 **地点を選んでタッチする**

お知らせ

- 走行中は、選んだ地点が目的地としてセットされます。

▼

よく行く地点周辺の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→P107)*を参照してください。

地図につけたマークから場所を探す 標準

地図につけたマークやインターナビ情報センターに接続して取得したデータから場所を探すことができます。

1 **[目的地]ボタン➜[探し方2]の[マークリスト]にタッチする**

2 **地点を選んでタッチする**

お知らせ

- 走行中は、選んだ地点が目的地としてセットされます。

アドバイス

- [登録順]または[マーク順]にタッチすると、リストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき[(アイコン)]または ◀、▶ (8種類以上のときのみ)にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

マーク周辺の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は*「場所が決まったら」(→P107)*を参照してください。

目的地の履歴リストから場所を探す 標準

目的地や経由地を設定した場合、その場所が履歴として最大 100 件保存されます。その履歴から場所を探すことができます。

お知らせ

- 履歴は 100 件を超すと古いものから上書きされます。

1 [目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [目的地履歴] にタッチする

2 探している施設を選んでタッチする

お知らせ

- 走行中は、選んだ地点が目的地としてセットされます。

▼

施設周辺の地図とメニューが表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」 (→ P107)* を参照してください。

■履歴を消去する

1 [目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [目的地履歴] にタッチする

目的地の履歴リストが表示されます。

2 消去したい履歴を選んでタッチする

お知らせ

- すべての履歴を消去する場合は、[全消去] にタッチします。

3 [消去] にタッチする

4 [消去する] にタッチする

▼

選んだ履歴が消去されます。

場所が決まったら 簡単 標準

目的地など探していた場所が決まったら、画面にメニューが表示されます。各メニュー項目を操作すると、以下のようになります。

お知らせ

- 場所を選んでタッチしたとき、地点が高速道路付近の場合、以下の選択画面が表示され、選んだ地点を高速道路上に設定するかしないかを選ぶことができます。

■ [目的地セット][経由地セット] を選んだとき (→ P114)

選んだ場所を目的地または経由地として設定して、ルートを計算することができます。

▼

▼

計算されたルートの画面が表示されます。

■その他のメニュー項目を選んだとき

その他のメニューには主に次のような項目があります。場所の探しかたによって表示される項目は異なります。

マークセット (→P77)

選んだ場所にマークをつけて登録します。場所を探すときに使用したり、地図上にマークを表示したりできます。登録した場所はリストで管理できます。また登録情報に電話番号やメールアドレスがあれば、電話やメールをすることもできます。

周辺検索 (→P90)

現在地またはスクロール地点、(地図上のカーソルの位置)などの周辺から、施設を検索することができます。

情報 (→P59)

選んだ施設や地点に詳細情報があれば、情報や地図を表示したり、電話をかけたりできます。自宅やよく行く地点、ランドマークの場合は、編集画面が表示され編集することができます。施設の詳細画面では、酒( )·タバコ( )、ATM( )、24 時間営業( )、ドライブスルー( )の取り扱いがわかるようにアイコンが表示されます。

地図方位 (→P48)

地図の向きを切り換えることができます。

全画面地図

選んだ場所を中心とした地図を、全画面で表示します。場所をさらに細かく探すことができます。

マーク情報 (→P78)

マークの編集画面が表示されます。マークを編集することができます。

編集 (→P68)

よく行く地点の編集画面が表示されます。よく行く地点の編集をすることができます。

消去 (→P76、P79、P106)

マークやよく行く地点、目的地履歴を消去することができます。

提携駐車場

選んだ施設に提携駐車場がある場合は、リストと地図を表示することができます。

出入口

駅を検索したとき、選んだ駅に出入り口がある場合は、リストと地図を表示することができます。

出入口 / 提携駐車場

選んだ施設に提携駐車場と出入り口がある場合は、リストと地図を表示することができます。

インターナビドライブ情報で目的地を探す 標準

インターナビ情報センターに接続して、お勧めの場所やコースを調べたり、お好みの場所をジャンルから探したりできます。

お知らせ

- インターナビドライブ情報を使うには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。(→P214)
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証(ログイン)を行わないとメールはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。(→P216)
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

メニューを見る

1 [目的地]ボタン ➜[探し方 2]の [internavi ドライブ情報]にタッチする

▼

internavi ドライブ情報画面が表示されます。

特集スポットから選ぶ

internavi ドライブ情報画面を表示する

→ *「メニューを見る」(P109)*

[特集] を選んでタッチする

3 お好みの項目を選んでタッチする

▼

特集の内容を読むことができます。

4 [スポット検索] にタッチする

特集のテーマに沿ったスポットのリストが表示されます。

お知らせ

- メール本文をスクロールさせるときは、メール本文中に [▲]、[▼] または [⏫]、[⏬] にタッチします。

5 お好みのスポットを選んでタッチする

6 [地点] にタッチする

アドバイス

- サーバーとの接続を切断する場合は、[回線切断] にタッチします。
- 音声で読み上げる場合は、[読み上げ] にタッチします。
- ほかの情報を見る場合は、[前の情報]、[次の情報] にタッチします。
- スポットに画像が登録されている場合は、[画像表示] にタッチすると、スポットの画像を見ることができます。→ *「スポットの画像を見る」(P111)*
- スポットに電話番号が登録されている場合は、電話番号にタッチすると、スポットに電話をかけることができます。→ *「ハンズフリー電話を使う」(P292)*

選んだスポットの地図画面が表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P107)* を参照してください。

■スポットの画像を見る

特集の情報画面を表示する

→ *「特集スポットから選ぶ」(P110)*

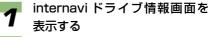
[画像表示] にタッチする

▼

画像が表示されます。

- ほかの画像を見る場合は、[次の画像] にタッチします。画像が 1 枚のみの場合は [次の画像] を選ぶことはできません。
- 画像をハードディスクに保存する場合は、[画像保存] にタッチします。また、保存した画像を確認することもできます。→ *「画像を確認する」(P313)*

お勧めスポットから選ぶ

1 internavi ドライブ情報画面を表示する

→ *「メニューを見る」(P109)*

2 [お勧めスポット] を選んでタッチする

3 お好みのテーマを選んでタッチする

4 詳細なテーマを選んでタッチする

▼

スポットの情報が表示されます。

つづく →

5 [スポット検索] にタッチする

6 お好みのスポットを選んでタッチする

スポットの情報が表示されます。

アドバイス

- サーバーとの接続を切断する場合は、[回線切断] にタッチします。
- 音声で読み上げる場合は、[読み上げ] にタッチします。
- ほかの情報を見る場合は、[前の情報]、[次の情報] にタッチします。
- スポットに画像が登録されている場合は、[画像表示] にタッチすると、スポットの画像を見ることができます。
- スポットに電話番号が登録されている場合は、電話番号にタッチすると、スポットに電話をかけることができます。→ *「ハンズフリー電話を使う」(P292)*

7 [地点] にタッチする

選んだスポットの地図画面が表示されます。以降の操作手順は *「場所が決まったら」(→ P107)* を参照してください。

目的地に行く

目的地に行くまでのルートを計算させる

検索した場所を目的地として設定すると、現在地から目的地までのルートが計算され、ルート案内開始画面が表示されます。

目的地を探す

→「場所を探す」(P88)

[目的地セット] にタッチする

▼

目的地までのルート計算が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

標準

[ルート計算条件](→P176)に従い、始めに 1 本のルートが計算されます。

お知らせ

- 現在地、目的地、経由地(→P118)付近では、道幅 5m 未満の細街路を含めてルート計算し、誘導経路を表示します。
- 目的地が高速道路付近にあるときは、高速道路を指定するか確認する画面が表示されることがあります。[しない] または [指定する] にタッチしてください。
- 有料道路によっては、料金が実際と異なったり、料金が表示されないことがあります。
- サービスエリアなど高速道路施設を目的地とした場合、料金が表示されないことがあります。

アドバイス

- [5 ルート] にタッチすると、5 本のルートから選ぶことができます。(→P117) ただし、以下の場合は複数のルートは計算できません。([ルート計算条件](→P176) に従い、ルートが 1 本だけ計算されます。)
  - 経由地を設定したとき(→P118)
  - 乗り降り IC(インターチェンジ) を指定したとき(→P119)
  - 音声操作でルート計算したとき(→音声操作編)
  - おすすめドライブナビゲーターでルートを設定したとき(→P444)

ルート案内開始画面の見かた

計算条件
現在選ばれているルートの
計算条件が表示されます。

メニュー表示
経由地や乗り降りインターチェンジを設定した場合は、[5 ルート]は選べません。
→ *「他のルートを選ぶ」(P117)*
(簡単操作モードでは[ルート情報]、[経由地設定]、[IC 設定]は表示されません。)

情報表示
現在選ばれているルートの所要時間、総距離、料金が表示されます。

画面は標準操作モードのものです。

推奨ルート
(インターチェンジ)
利用する高速道路の最初の IC と最後の IC が表示されます。

ルート表示
現在選ばれている
ルートが概略表示
されます。

ルート案内開始画面のメニュー

- IC 指定 *(→ P119)* 標準
- ルート情報 *(→ P117)* 標準
- 経由地設定 *(→ P118)* 標準
- 5 ルート *(→ P117)* 簡単 標準
- 案内開始 *(→ P121)* 簡単 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは[案内開始]と[5 ルート]のみメニュー表示されます。
- [ルート情報]、[経由地設定]、[IC 指定]の表示に時間がかかることがあります。

計算条件

最初にルート計算させる条件は、*「機能設定」(→ P176)* の[ルート計算条件]で設定された条件となります。
[5 ルート]の場合は、[推奨]、[一般道]、[距離]、[道幅]の各ルートと[別ルート]が計算条件となります。→ *「他のルートを選ぶ」(P117)*

学習ルート計算

いつも通る道をルート計算に考慮させることができます。

お知らせ

- 学習した道が必ず使われるとは限りません。

アドバイス

- 学習ルート計算は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P176)*
- ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことができます。→ *「ルートの学習内容を消去する」(P209)*

VICS 情報を考慮したルート計算

VICS 情報をもとに渋滞や交通規制を考慮したルート計算ができます。→ *「VICS を使ったルート計算について」(P155)*

また、インターナビ情報センターから VICS 情報を取得してルート計算を行えば、過去の統計に基づいた渋滞予測情報を活用することができます。→*「インターナビ VICS」(P157)*

お知らせ

- VICS 情報が取得できないときは、VICS 情報を考慮した計算ができないことがあります。

アドバイス

- VICS ルート計算は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P177)*

回避エリアを考慮したルート計算

回避エリアを登録すると、その場所をなるべく通らないようにルート計算します。

→ *「回避エリアを登録 / 編集する」(P203)*

アドバイス

- 回避エリアを考慮したルート計算は [する]/[しない] を選べます。→*「機能設定」(P175)*

時間曜日規制を考慮したルート計算

地図データに含まれる時間曜日規制を考慮したルート計算ができます。

アドバイス

- 時間曜日規制考慮計算は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P178)*

冬期閉鎖道路を考慮したルート計算

冬期期間中 (11 月 1 日～翌年 3 月 31 日まで) に閉鎖している道路をなるべく通らないようにルート計算ができます。

アドバイス

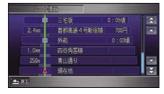
- 冬期閉鎖道路を考慮したルート計算は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P177)*

ルートを確認する 標準

設定されたルートの情報をリスト形式で表示させて、現在地から目的地までの間に通る道路名や区間距離、高速道路の料金 (高速道路を使用する場合) などの情報を確認できます。

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

[ルート情報] にタッチする

▼

ルート情報画面が表示されます。

他のルートを選ぶ 簡単 標準

通常のルート計算では、異なる条件によって 5 本のルートが計算されます。この中から、お好みのルートを選ぶことができます。

お知らせ

- 以下の場合、[5 ルート] は選ぶことができません。
  - 経由地を設定したとき *(→ P118)*
  - 乗り降り IC(インターチェンジ) を設定したとき *(→ P119)*
  - 音声操作でルート計算したとき *(→音声操作編)*
  - おすすめドライブナビゲーターでルートを設定したとき *(→ P444)*

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

[5 ルート] にタッチする

簡単

標準

つづく →

設定したいルートの条件にタッチする

[決定] にタッチする

ルートが変更され、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- [推奨] では、目的地まで高速道路や幹線道路を優先して使うルートを案内します。
- [一般道] では、目的地まで一般道を優先して使うルートを案内します。(高速道路を優先して使うこともあります)
- [距離] では、目的地まで、できるだけ最短なルートを案内します。
- [道幅] では、目的地まで道幅の広い道路を優先したルートを案内します。
- [別ルート] では、目的地まで推奨ルートとは別のルートを案内します。
- 道路の状況によっては [距離] が最短とならない場合があります。
- 計算条件が異なっても、同じルートを案内することがあります。
- [推奨] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。

ルートを詳細に設定する 標準

目的地までのルートの途中に、立ち寄りたい場所 (経由地) や乗り降りしたい IC(インターチェンジ) を設定することができます。

お知らせ

- ルートを詳細に設定すると、ルートは 1 本のみ計算され、[5 ルート] は選べません。

■経由地を設定する

目的地までのルートの途中に立ち寄りたい場所 (経由地) を設定します。
目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

[経由地設定] にタッチする

経由地リスト画面が表示されます。

[未設定] のいずれかにタッチする

アドバイス

- 経由地はお好みの場所 ([1 未設定] ～ [5 未設定]) に設定できます。

経由地を探す

→「場所を探す」(P88)

4 [経由地セット] にタッチする

さらに経由地を追加したいときは、手順２～４を繰り返します。

お知らせ

- 経由地を設定するとインターチェンジの指定は自動的に解除されます。

5 [ルート再計算] にタッチする

経由地を通るルート計算が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- 複数の経由地を指定した場合は、リストの並び順に経由地を通るように、ルート計算されます。
- 複数の経由地を現在地から近い順に並び換える場合は、[自動入れ替え] にタッチします。

アドバイス

- 設定した経由地にタッチすると、経由地を編集できます。→ *「経由地を追加／変更する」(P134)*

■入口、出口 IC(インターチェンジ) を指定する

高速道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

お知らせ

- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初と最後の入口または出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 [IC 指定] にタッチする

2 入口 IC または出口 IC にタッチする

つづく ➔

入口または出口にしたいインターチェンジにタッチする

乗り降り IC 変更画面に戻ります。

お知らせ

- 入口 IC、出口 IC は、現在指定されているインターチェンジを除いて前後 2 つの中から指定できます。ただし、ジャンクション (JCT) は含まれません。
- ジャンクション (JCT) を選ぶと、分岐先の高速道路の路線リストが表示されます。
- 複雑なジャンクション付近では、候補として表示されないインターチェンジ、ジャンクションがある場合があります。

[ルート再計算] にタッチする

▼

指定したインターチェンジを通るルート計算が始まり、ルート案内が開始されます。

入口、出口 IC(インターチェンジ) を解除する

ルート案内開始画面から次の操作を行います。

[IC 指定] にタッチする

IC 指定画面が表示されます。

2 解除したい入口 IC または出口 IC にタッチする

3 [IC 指定解除] にタッチする

入口または出口のインターチェンジが解除され、ルートが再計算されます。

目的地までのルートを案内させる

目的地までのルート設定 *(→P114)* が終了したら、ルート案内に従って出発します。

■ルート案内を開始する

ルート案内開始画面で［案内開始］にタッチする

ルート情報が音声で案内され、ルート案内ができる状態になります。

2 設定されたルート上を走行する

到着予想時刻、到着距離

走行を始めると自動的にルート案内が始まり、目的地に近づくとルート案内は終了します。

お知らせ

- VICS 情報 *(→P142)* を受信しているときは、VICS 情報の内容が到着予想時刻に反映されます。
- 場所によっては、方面案内とレーンの情報が表示されないことがあります。
- 場所によっては、目的地付近や経由地付近まで、ルートに誘導経路が表示されないことがあります。ルート計算については、*「おすすめルートについて」(→P434)* を参照してください。
- 場所によっては、交差点案内図が表示されないことがあります。
- 画面をスクロールしている間は、交差点に近づいても交差点案内図は表示されません。
- 標準操作モードでは、経由地を設定しているときに表示されている到着予想時刻は、経由地に到着する推定時刻です。設定により目的地の到着予想時刻を表示させることもできます。→ *「機能設定」(P175)*
- 到着距離の表示は、到着予想時刻の設定に連動して目的地と経由地が切り換わります。(標準操作モードのみ)

目的地を消す

ルート案内を中止（→P140）しても経由地や目的地の情報は残っています。設定した経由地や目的地の情報を消去したい場合は以下の手順を行います。

簡単

[目的地] ボタン ➜[目的地を消去する] にタッチする

標準

[目的地] ボタン ➜[目的地消去] にタッチする

▼

目的地が消去されます。

ルート案内

いろいろな案内

ここではルート案内中に行われるさまざまな案内について説明します。

■表示による誘導・案内

アドバイス

- 直線誘導線表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P175)*

案内地点に近づくと

案内地点の手前 300m(高速道路では手前 1km) に近づくと、拡大図となり、交差点の曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離が表示されます。

拡大図

お知らせ

- 拡大図の場合、通過したルートの誘導経路は消去されます。
- [現在地] ボタンを押すと拡大図を解除します。再度 [現在地] ボタンを押すと拡大図を再表示します。

リアル拡大図

案内地点の手前 300m に近づくとリアル拡大図の情報がある交差点で表示され、曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離が表示されます。

アドバイス

- リアル拡大図表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P175)*

方面看板表示

交差点の手前 500m 以内に近づくと、一般道方面看板を表示します。(東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点のみ)

方面看板表示

アドバイス

- 方面看板内の案内方面を示す方向は、色が変わります。
- 方面看板表示は、[すべての交差点]/[案内交差点のみ]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P175)*

レーン情報

ルート案内中に数車線のレーンが存在する場合、レーン情報が表示されます。

レーン情報

アドバイス

- レーン情報の表示は、[表示する]/[表示しない] を選べます。→ *「機能設定」(P175)*

繁華街に近づくと

目的地が繁華街にある場合、繁華街に近づくと、周辺の駐車場を検索して表示します。

アドバイス

- 繁華街駐車場の設定は、[通知する]/[通知しない] を選べます。→ *「機能設定」(P177)*
- ルート案内中に、最寄りの駐車場に目的地を変更することができます。→ *「駐車場を指定する」(P138)*

合流地点に近づくと

高速道路および都市高速を走行中、700m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク表示で案内します。
JCT 渡り路を走行中、300m 前方に合流地点が存在する場合、音声とマーク表示で案内します。

アドバイス

- 合流案内の表示は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P178)*

踏み切りに近づくと

ルート案内中、300m 前方に踏み切りが存在する場合､音声とマーク表示で案内します。

アドバイス

- 踏み切り案内の表示は､[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P178)*

事故多発地点に近づくと

ルート案内中、600m 前方に事故多発地点が存在する場合、音声とマーク表示で案内します。

アドバイス

- 事故多発地点案内の表示は、[する]/[しない] を選べます。→*「機能設定」(P178)*

都市高速入口に近づくと

ルート上の都市高速入口の手前 300m に近づくと、イラストが表示されます。(データがある都市高速入口のみ)

高速道路の分岐に近づくと

ルート上の高速道路分岐 (ジャンクション) の手前 1km に近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。(データがあるジャンクションのみ)

行程ガイド

ルート案内中に [マップモード切換] で [行程ガイド] を選ぶと、以下のような画面が表示されます。→ *「マップモードを切り換える」(P50)*

目的地 (経由地) に近づくと

目的地 (経由地) の約 100m 手前に近づくと、「まもなく目的地 (経由地) 周辺です。」と案内します。

■音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、音声で道案内を行います。

進行方向案内

進行方向 (8 方向) は、音声で図のように案内されます。

種類	案内例
右左折方向案内	およそ○○ m 先、右折です。
方面案内	およそ○○ m 先、左方向、○○方面です。
高速 (有料) 道路入口 / 出口案内	およそ○○ m 先、○○インターチェンジ、左方向、出口です。
高速 (有料) 道路料金所案内	およそ○○ km 先、料金所です。
交差点目印案内	まもなく左折です。○○が目印です。

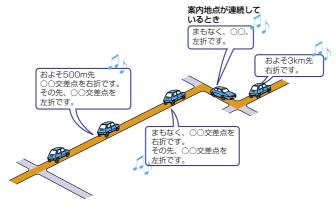
お知らせ

- 誘導される右左折の方向は実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 料金案内では、高速道路に入る前にルート設定した、入口から出口までの料金が案内されます。高速道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 都市高速・都市間高速・一部高速道路の料金案内は、データの作成時点のものです。正しくは料金窓口で確認してください。
- 交差点目印や交差点名称などの音声案内は、[する]/[しない] を選べます。→ *「機能設定」(P179)*
- 音声案内中にオーディオへ切り換えると音声が途切れることがあります。

音声での案内を聞き逃したとき

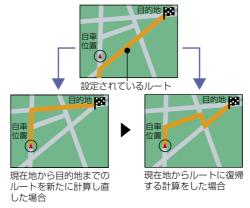
[現在地] ボタンを押すと、再度音声による案内を聞くことができます。
拡大図表示時は、2 回押すと案内が流れます。

一般道路走行時の案内例

車の速度に合わせ、交差点の手前で音声の案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

■ルートから外れた場合

案内中のルートから外れた場合、状況に合わせて自動的にルートを計算し直すことができます。(オートリルート)

現在地から目的地までのルートを新たに計算し直した場合

現在地からルートに復帰する計算をした場合

お知らせ

- ルート再計算の判断は、オートリルートを繰り返した回数およびルートから外れた場所の進入角度、走行している道路の有効性などをもとに行われます。(センシングリルート)
- センシングリルートは、[する]/[しない]を選ぶことができます。→ *[機能設定](P176)*
- 自車位置がルートから外れた場合は、しばらく走行しているとオートリルートが働きます。

アドバイス

- 手動で行うことができます。→ *「ルートを再計算する」(P133)*

ルートを確認する 標準

案内ルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示（ルート情報）することができます。また、目的地までのルートをスクロール表示（ルートスクロール）させることや現在地から経由地／経由地から目的地までの区間地図を表示（区間表示）することができます。

［メニュー］ボタン ➔［ルート］にタッチする

2 ［全ルート表示］にタッチする

▼

全ルート画面が表示されます。

3 ［ルート情報］にタッチする

▼

ルート情報画面が表示されます。

ルートスクロールする

出発地から目的地までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを確認できます。

全ルート画面で [ルートスクロール] にタッチする

→「ルートを確認する」(P129)

▼

ルートが自動スクロールされます。

アドバイス

- 自動スクロールする方向を、“目的地から現在地”、“現在地から目的地”に変えることができます。自動スクロール中に [▲] または [▼] にタッチしてください。
- 自動スクロール中に区間を“目的地から経由地”、“経由地から経由地”、“経由地から現在地”に変えることができます。自動スクロール中に [⏫] または [⏬] にタッチするとその区間にスキップすることができます。
- 自動スクロールを停止するときは、[■] にタッチします。

区間表示する

現在地から経由地、経由地から目的地などの区間地図を表示します。

1 全ルート画面で [区間表示] にタッチする

→「ルートを確認する」(P129)

▼

最初の区間が表示されます。

2 [⏫] または [⏬] にタッチする

▼

前の区間または次の区間が表示されます。

ルートを変更する

迂回ルートにする 標準

ルート案内中に、現在地から 2km、5km、10km 先までを迂回して、元のルートに戻ることができます。高速道路を走行中は、高速道路を使用しないルートに設定したり、高速道路を一時回避するルートを選ぶことができます。

1 **[メニュー] ボタン ➔ [ルート] にタッチする**

ルートのメニューが表示されます。

2 **[迂回計算] にタッチする**

3 一般道路走行時

迂回したい距離にタッチする

高速道路走行時

迂回の方法にタッチする

▼

ルートが再計算され、迂回したルートが表示されます。

お知らせ

- 高速道路走行時に [高速を一時回避] にタッチすると、約 20km を迂回距離として再計算されます。
- 高速道路走行時に [高速を利用しない] にタッチすると、一般道路優先で再計算されます。

別のルート候補から選ぶ

簡単 標準

計算条件の違う別のルート候補（最大５本）から、お好みのルートを選んでルート案内することができます。

お知らせ

- 以下の場合は、[5 ルート計算] は選ぶことができません。
  - 経由地を設定したとき *(→ P118)*
  - 乗り降り IC(インターチェンジ) を設定したとき *(→ P119)*
  - 音声操作でルート計算を行ったとき
  - おすすめドライブナビゲーターでルートを設定したとき *(→ P444)*

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[ルートを変える]➜[ルート表示]➜[5 ルート] にタッチする

▼

標準

[メニュー] ボタン ➜[ルート]➜[5 ルート計算] にタッチする

2 **お好みの計算条件にタッチする**

3 **[決定] にタッチする**

ルート案内開始画面が表示されます。

お知らせ

- [推奨] では、目的地まで高速道路や幹線道路を使ったルートを案内します。
- [一般道] では、目的地まで一般道を使うルートを案内します。(高速道路を使うこともあります)
- [距離] では、目的地までの最短ルートを案内します。
- [道幅] では、目的地まで道幅の広い道路を優先したルートを案内します。
- [別ルート] では、目的地まで推奨ルートとは別のルートを案内します。
- 道路の状況によっては [距離] が最短とならない場合があります。
- 計算条件が異なっても、同じルートを案内することがあります。
- [推奨] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。

ルートを再計算する 簡単 標準

設定されているルートを、もう一度同じ計算条件で計算し直すことができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[ルートを変える]➜[ルート再計算] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[ルート] ➜[ルート再計算] にタッチする

▼

ルートの再計算が始まります。

ルートの条件を変える 標準

設定されているルートを、計算条件を変えて再計算させることができます。

1 **[メニュー] ボタン ➜[ルート] にタッチする**

ルートのメニューが表示されます。

2 **[計算条件変更] にタッチする**

3 **お好みの計算条件にタッチする**

▼

新しい条件でルート計算が開始されます。

お知らせ

- ルートを走行中でも、再計算できます。ただし、走行中のルートと同じルートが設定されることがあります。
- すでに通過した経由地は、ルートを再設定しても考慮されません。

経由地を追加 / 変更する 標準

経由地を追加または削除したいときは、経由地を編集してルートを設定し直すことができます。

お知らせ

- 経由地を設定するとインターチェンジの指定は自動的に解除されます。

以下の手順で設定した経由地の一覧を確認することができます。

[メニュー] ボタン ➜ [ルート] にタッチする

ルートのメニューが表示されます。

2 [経由地リスト] にタッチする

経由地リスト画面が表示されます。

■経由地を追加する

ルート設定後に経由地を設定することができます。

経由地リスト画面で [未設定] にタッチする

→*「経由地を追加 / 変更する」(P134)*

経由地の探しかたを選ぶ画面が表示されます。以降の操作手順は*「経由地を設定する」(→ P118)* の手順 3 以降と同じです。

■経由地を変更する

ルート設定後に経由地を変更することができます。

経由地リスト画面で変更したい経由地にタッチする

→*「経由地を追加 / 変更する」(P134)*

2 [変更] にタッチする

▼

経由地の探しかたを選ぶ画面が表示されます。以降の操作手順は*「経由地を設定する」(→ P118)* の手順 3 以降と同じです。

■経由地を消去する

ルート設定後に経由地を消去することができます。

経由地リスト画面から消去したい経由地にタッチする

→「経由地を追加／変更する」(P134)

[消去] にタッチする

▼

経由地が消去されます。

[ルート再計算] にタッチする

▼

経由地を消去してルートを再計算します。

■経由地を通らないようにする

設定した経由地に立ち寄る必要がなくなったときなどに、その経由地を通らないようにして、ルートを再計算することができます。

経由地リスト画面で通らない経由地にタッチする

→「経由地を追加／変更する」(P134)

[通らない] にタッチする

3 [ルート再計算] にタッチする

▼

[通らない]に設定した経由地をスキップして、ルートが再計算されます。

お知らせ

- [通らない] はルート案内中にのみ選ぶことができます。
- 再び通過するように設定する場合は、[通らない] に設定した経由地にタッチし、[再誘導] にタッチします。

■走行中に経由地を通らないようにする

走行中に現在地から最寄りの経由地を通らないルートを再計算することができます。

[メニュー] ボタン ➜[ルート] にタッチする

ルートのメニューが表示されます。

2

[経由地○スキップ] にタッチする

▼

現在地から最寄りの経由地を通らないルートが再計算され、ルート案内が再開されます。

■経由地を移動 (並び換え) する

ルート設定後に経由地に立ち寄る順番を、現在地から近い順に並び換え (自動入れ替え) たり、任意の順番にすることができます。

経由地リスト画面で移動したい経由地を選んでタッチする

→「経由地を追加 / 変更する」(P134)

お知らせ

- [自動入れ替え] にタッチすると、複数の経由地を現在地から近い順に並び換えることができます。自動入れ換え後、手順 4 に進んでください。

[移動] にタッチする

移動先を選んでタッチする

[設定終了] にタッチする

5 **[ルート再計算] にタッチする**

▼

経由地を並び換えてルートを再計算します。

■経由地を確認する

ルート設定後に経由地を確認することができます。

経由地リスト画面から確認したい経由地にタッチする

→「経由地を追加／変更する」(P134)

[全画面地図] にタッチする

▼

経由地を地図画面で確認できます。

入口､出口IC(インターチェンジ)を指定する 標準

ルート上で高速道路を使用するときは、入口と出口のインターチェンジを指定し直すことができます。

お知らせ

- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初と最後の入口または出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

[メニュー] ボタン ➜[ルート] にタッチする

ルートのメニューが表示されます。

[IC 指定] にタッチする

▼

インターチェンジを選ぶ画面が表示されます。以降の操作手順は *「入口、出口 IC(インターチェンジ) を指定する」 (→ P119)* の手順 2 以降と同じです。

お知らせ

- 入口、出口 IC を指定済みで走行中の場合は、[IC 指定] は [入口 IC 指定解除] や [出口 IC 指定解除] と表示されます。

駐車場を指定する 標準

繁華街に目的地を設定した場合、目的地に近づくと最寄りの駐車場に目的地を変更することができます。

お知らせ

- 駐車場 (繁華街駐車場) の案内は、[通知する]/[通知しない] を選ぶことができます。
  → *「機能設定」(P177)*

ルート走行中、目的地付近になったとき、駐車場の表示をうながすテロップが表示されます。

1 **[表示する] にタッチする**

駐車場候補周辺の地図と駐車場を選ぶメニュー画面が表示されます。

■駐車場オートガイドで指定する

自動的に最寄りの駐車場候補までのルートを案内させることができます。

1 **駐車場を選ぶメニュー画面を表示する**

→ *「駐車場を指定する」(P138)*

2 **[オートガイド] にタッチする**

▼

最寄りの駐車場までのルート案内が開始されます。
最初の駐車場候補に到着するとメッセージが表示されます。

3 **案内された駐車場に車を停めるときは、[しない] にタッチする**

お知らせ

- 別の駐車場を選ぶ場合は、[誘導する] にタッチします。
  以降の操作は手順 2 以降と同じです。

駐車場オートガイドが終了します。

■手動で駐車場を指定する

手動で最寄りの駐車場候補を選び、選んだ駐車場までのルートを案内させることができます。

駐車場を選ぶメニュー画面を表示する

→「駐車場を指定する」(P138)

2 [リスト表示] にタッチする

アドバイス

- [前候補] または [次候補] にタッチすることでも駐車場を選ぶことができます。

3 お好みの駐車場を選んでタッチする

お知らせ

- [車体制限で絞る] にタッチすると駐車場の条件を絞りこんで検索することができます。以降の操作手順は*「車両の大きさを考慮して駐車場を探す」*(→ P95) の手順 2 以降と同じです。

[目的地セット] にタッチする

▼

ルート案内開始画面が表示されます。

はじめに
基本操作
画面表示
自宅およびマークを登録、編集する
目的地を探す
目的地に行く
ルート案内
VICSを使う
ナビゲーションの設定をする
データを登録／編集する

ルート案内を一時中止 / 再開する

ルート案内が不要になった場合は、案内を一時中止することができます。また、再度ルート案内を開始することもできます。

ルート案内を一時中止する

目的地を設定したままルート案内を中止することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜ [ルートを変える] ➜ [誘導中止] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜ [ルート] ➜ [誘導中止] にタッチする

▼

ルート案内が一時中止されます。

お知らせ

- ルート案内を中止しても、設定した目的地や経由地は消えません。

お知らせ

- 目的地を消去する場合は、*「目的地を消す」(→ P122)* を参照してください。

ルート案内を再開する

「ルート案内を一時中止する」(→ P140) の手順でルート案内を一時中止した場合は、中止前に設定した目的地や経由地のままで、再度ルート案内を開始することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜ [ルートを変える] ➜ [誘導開始] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜ [ルート] ➜ [誘導開始] にタッチする

ルートの再計算が行われ、ルート案内が再開されます。

VICS を使う

VICS とは 簡単 標準

VICS(Vehicle Information and Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、1996 年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

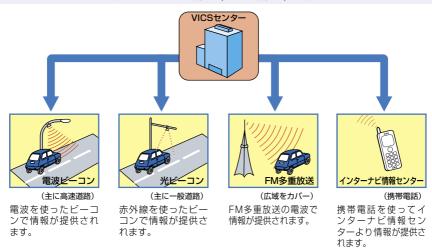
VICS 情報の提供方法

道路·交通に関するさまざまな情報は、一度 VICS センターに集められます。その後、次の 4 つの方法で、最新の道路交通情報 (VICS 情報) が提供されます。

（主に高速道路）
電波を使ったビーコンで情報が提供されます。

（主に一般道路）
赤外線を使ったビーコンで情報が提供されます。

（広域をカバー）
FM多重放送の電波で情報が提供されます。

（携帯電話）
携帯電話を使ってインターナビ情報センターより情報が提供されます。

ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。
電波ビーコンと光ビーコンは、別売のビーコンアンテナキットを装着することにより受信できます。ビーコンアンテナキットの装置やご利用についてはHonda販売店にご相談ください。

ナビゲーションシステム本体に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

インターナビ情報センターからのVICS情報受信については、インターナビ・プレミアムクラブの会員登録が必要です。会員登録手続後暗証番号を設定すると受信できるようになります。

アドバイス

- VICS センターからの情報は、VICS サービスエリア内でのみ情報の提供を受けることができます。また、サービスエリアの詳しい情報は VICS センターにお問い合わせください。(→ P438)

お知らせ

- VICS 情報は月々の情報料をお支払いいただくことなく、ご利用いただけます。情報料は、お買い上げいただいたシステムの価格に含まれており、その一部が FM 多重放送の有料放送視聴料となっていますので、巻末の「VICS 情報有料放送サービス契約約款」をご一読ください。(ただし、インターナビ情報センターから情報を受信する場合は、通信料が発生します。)
- 提供される VICS 情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
- 提供される VICS 情報は最新のものではない場合もあります。
- インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」(→ P214)* を参照してください。

※ VICS は、(財) 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS 情報の表示形態

VICS 情報には、レベル 1 からレベル 3 までの 3 種類の表示形態があります。運転者は VICS センターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

●渋滞情報 (順調情報も含む)　●旅行時間情報　●交通障害情報
●交通規制情報　●駐車場情報

レベル 1: 文字
文字で道路交通情報が表示されます。

レベル 2: 簡易図形
簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。

レベル 3: 地図
ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。

お知らせ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。
- VICS の地図表示は、10m スケール表示から 1km スケール表示のときに表示されます。(通行止めなど一部の規制マークは、 1km 以上のスケールでも表示されます。)

地図上で VICS 情報を見る

レベル 3(地図) の表示形態では、VICS センターから受信した道路交通情報を渋滞の矢印や VICS 情報マークで地図上に表示します。

インターナビ情報センターで作成した交通情報 (インターナビ・フローティングカー情報) の渋滞情報 (渋滞、混雑、順調) については、点線で表示されます。

一般道路への表示

	渋滞	赤色
	混雑	橙色
	順調	青色

有料道路への表示

	渋滞	赤色に黒い縁取り
	混雑	橙色に黒い縁取り
	順調	青色に黒い縁取り

VICS 情報提供時刻表示

お知らせ

- エンジンスイッチを“I”または“II”にしてから受信した VICS 情報が表示されるまで、時間がかかる場合があります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→ *「VICS 放送局を選ぶ」(P153)*
- 表示される VICS 情報提供時刻は 12 時間表示と 24 時間表示の選択ができます。(時間表示) → *「機能設定」(P174)*
- VICS 情報は、保持する時間を [30 分]/[60 分] と選ぶことができます。(標準操作モードのみ) → *「機能設定」(P181)* 情報受信後、VICS 設定で情報保持時間に設定した時間が経過しても、データが更新されない場合は VICS 情報は消去されます。
- 表示される VICS 情報の渋滞表示が見えにくいときは、VICS 情報を強調することができます。(標準操作モードのみ)VICS 情報を強調すると、VICS 対象路線が目立たない色になるため、渋滞矢印などの VICS 情報が強調されてわかりやすい表示になります。→ *「機能設定」(P181)*
- 表示される VICS 情報の渋滞表示を点滅させないようにすることができます。(標準操作モードのみ) → *「機能設定」(P180)*

お知らせ

- 行程ガイドや高速ガイドを表示しているときは、行程ガイドや高速ガイドにもVICS 情報が表示されます。赤色は渋滞、橙色は混雑、青色は順調を示しています。
- 行程ガイドや高速ガイドでの VICS 情報は各案内区間や施設間を４区間または３区間に区切って表示されます。

VICS 情報表示

VICS 情報マークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。地図上に表示されている VICS 情報マークの詳細情報を見ることも可能です。→ *「VICS 情報マークの詳細を見るには」(P149)*

大型通行止め	故障車
作業	路上障害
チェーン規制	凍結
進入禁止	入口制限
通行止め・閉鎖	入口閉鎖
工事中	オフランプ規制
片側交互通行	対面通行
車線規制	徐行
速度規制（数字は制限速度）	タイムズ 24(空き：青)※
駐車場閉鎖	タイムズ 24(混雑：橙)※
駐車場（空き：青）	タイムズ 24(満車：赤)※
駐車場（混雑：橙）	タイムズ 24(不明：無色)※
駐車場（満車：赤）	
駐車場（不明：黒）	

※インターナビ情報センターから取得する情報です。

VICS 情報提供時刻について

受信した VICS 情報の提供時刻を表示します。

VICS 4:31 全道路 — VICS 情報の提供時刻

VICS 情報の提供時刻は、受信した情報に入っている時刻であり、情報を受信した時刻ではありません。（おもに情報の収集や編集時の時刻のため、受信した時の時刻より数分前の時刻になります。）提供時刻は、ナビゲーションシステムが受信しているレベル３表示用の VICS 情報で画面内に表示されている情報の最新の提供時刻を表示しています。そのため、受信している情報の内容、場所によっては、表示している時刻より提供時刻が古い場合があります。また、地図のスケール変更時や、自車位置の移動にともなって提供時刻が変化する場合もあります。

2 つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

ナビゲーションシステムは、現在地周辺の VICS 情報（渋滞表示など）と別のエリア（隣接する都道府県など）の VICS 情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

■ビーコン情報の自動表示

別売のビーコンアンテナキットが装着されているときは、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容が表示されます。
表示された情報は、しばらくすると自動的に消えます。また [戻る] にタッチして消すこともできます。

お知らせ

- 交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。

アドバイス

- 自動割り込みした情報を再表示したい場合は、*「VICS ビーコン情報を見る」(→ P150)* を参照してください。
- 自動的に表示させないようにすることができます。→ *「機能設定」(P180)*

■緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。
[確認] にタッチすると、地図画面に戻ります。

VICS 情報を見る

VICS による文字情報と図形情報を見ることができます。

VICS FM 多重の文字情報を見る 簡単 標準

VICS FM 多重から受信した文字情報を表示することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[VICS 文字情報] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[VICS 文字情報] にタッチする

2 見たい情報の番号にタッチする

▼

渋滞や交通規制などに関する文字情報が表示されます。

- 停車中は 3 件分の文字情報が 1 画面に表示されます。
- 走行中は安全のため、1 件分の文字情報のみ表示されます。
- 情報画面が複数のページにおよぶときは、[次ページ]、[前ページ] にタッチし、ページを送ります。

VICS FM多重の図形情報を見る 簡単 標準

VICS FM多重から受信した簡易図形情報を表示することができます。

1

簡単

[メニュー]ボタン➜[VICS交通情報を見る]➜[VICS図形情報]にタッチする

[メニュー]ボタン➜[VICS]➜[VICS図形情報]にタッチする

2

見たい情報の番号にタッチする

▼

渋滞や交通規制などに関する簡易図形情報が表示されます。

お知らせ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、[次ページ]、[前ページ]にタッチし、ページを送ります。

駐車場情報を見る 標準

VICSやインターナビ情報センターから受信した駐車場情報を見ることができます。インターナビVICSから受信する駐車場情報は*「駐車場情報の条件設定」（→P165）*で条件を設定することができます。

1

[メニュー]ボタン➜[VICS]➜[駐車場情報]にタッチする

▼

駐車場のリストが表示されます。

2

情報を見たい駐車場を選んでタッチする

お知らせ

- 走行中は、安全のため駐車場のリストは2件のみ表示されます。
- [SA/PA]にタッチするとサービスエリア／パーキングエリアの駐車場が表示されます。元のリストに戻すときは、[一般駐車場]にタッチします。

3 [情報] にタッチする

選んだ駐車場の情報が表示されます。

VICS 情報マークの詳細を見るには 簡単 標準

地図上に表示されている VICS 情報 (規制情報など) マークの詳細な情報を見ることができます。

1 地図をスクロールさせ VICS 情報マークにカーソルを合わせる

2 [情報] にタッチする

▼

VICS 情報マークの詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 選んだ場所に複数の情報がある場合、情報のリストが表示されます。情報を選んでタッチしてください。

VICS ビーコン情報を見る 簡単 標準

ビーコンアンテナキット装着車は、ビーコンから受信した簡易図形情報や文字情報を表示することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➔[VICS 交通情報を見る]➔[割込情報] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➔[VICS]➔[割込情報] にタッチする

▼

一番最近割り込んだビーコン図形が表示されます。

お知らせ

- 受信済みの割り込み情報が複数ある場合は、[次ページ]、[前ページ] が表示され、タッチすると表示を切り換えることができます。
- VICS 設定の [文字情報割込み] を [する] に設定していないと割り込み表示できません。また簡単操作モードでは文字情報の割り込み表示はしません。
- 緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報など、文字情報を受信しているときは、[メッセージ] が表示され、[メッセージ] にタッチすると再表示することができます。
- 緊急情報と注意警戒情報を同時に受信したときは、緊急情報が先に表示され、[次ページ] にタッチすると注意警戒情報が表示されます。
- 緊急情報などの文字情報を表示中に図形情報が受信された場合、「ビーコンを受信しました」とメッセージのみが表示されます。
- 文字情報表示中に [図形] にタッチすると、図形情報画面に戻ります。
- 簡単操作モードでは、情報を受信後 30 分経過すると消去されます。標準操作モードでは、情報を保持する時間を設定することができます。情報を保持する時間は、[30 分]/[60 分] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P181)*

ルート上の交通情報を見るには 簡単 標準

ルート案内中に、渋滞情報や規制情報がある場合、これから向かうルート上の渋滞や規制を画面に表示することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[この先の交通情報] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン➜[VICS]➜[この先の交通情報] にタッチする

▼

渋滞ポイントまたは規制ポイント周辺の地図が表示されます。

お知らせ

- [音声案内] にタッチすると、表示中の情報の音声案内を確認することができます。
- 情報が複数ある場合は、[次の情報]、[前の情報] が表示され、タッチすると表示を切り換えることができます。
- [音量調整] にタッチすると、音量調節の画面が表示されます。

VICS 情報を表示 / 非表示にする 簡単

VICS 情報を地図上に表示するかしないかを選ぶことができます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは渋滞表示、混雑表示、順調表示、規制表示、駐車場表示の 5 種類の情報をこの操作で一括して表示 / 非表示にすることができます。

1 **[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る] にタッチする**

VICS メニューが表示されます。

[VICS 情報表示] にタッチする

▼

地図上から VICS 情報が表示 / 非表示されます。

VICS の表示設定を変更する

標準

高速道路や一般道路の渋滞や規制情報の表示 / 非表示など、VICS に関する設定を行うことができます。

1 **[メニュー] ボタン ➔[VICS] にタッチする**

VICS メニューが表示されます。

2 **[VICS 設定] にタッチする**

設定を変更するメニュー画面が表示されます。

3 **変更したい設定項目を選んでタッチする**

VICS 設定の設定内容については *「機能設定」 (→ P180)* を参照してください。

お知らせ

- 設定を初期の状態に戻すときは、[初期値にする] にタッチします。

VICS 放送局を選ぶ 標準

VICS 情報を受信する場合、自車位置でもっとも受信感度のよい放送局を選ぶ (自動選局) ことや、地域を固定して受信する (リスト選択) ことができます。また、周波数を指定して受信する (マニュアル選局) こともできます。エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、自動選局になります。

都道府県リストから選局する

これから向かおうとする地域やその他の地域の VICS 情報を受信したいときに、放送局を都道府県のリストから選ぶことができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS] にタッチする

VICS メニューが表示されます。

[VICS 地域選択] にタッチする

VICS FM 多重放送を行っている都道府県のリストが表示されます。

3

都道府県を選んでタッチする

アドバイス

• [(地方名)] または ◀、▶ にタッチすると、地方を切り換えてリストを表示することができます。

選んだ地域に VICS 局が固定されます。

お知らせ

• 固定された都道府県に色が付き「固定」と表示されます。

地域固定の表示

マニュアルで選局する

VICS FM 多重放送を行っている放送局の周波数を指定して、放送局を選ぶことができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[VICS 地域選択] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[VICS 地域選択] にタッチする

VICS FM 多重放送を行っている都道府県のリストが表示されます。

2 **[マニュアル選局] にタッチする**

周波数を指定する表示画面が表示されます。

3 **[−] または [＋] にタッチする**

[−] または [＋] にタッチすると周波数が変化します。希望の放送局に合わせます。

4 **[受信開始] にタッチする**

周波数が設定されます。

自動選局に戻す

地域または周波数を固定していた場合、自動選局に戻すことができます。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[VICS 地域選択] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[VICS 地域選択] にタッチする

VICS FM 多重放送を行っている都道府県のリストが表示されます。

2 **[自動選局] にタッチする**

▼

自動選局になります。

お知らせ

• 自動選局された都道府県に色が付きます。

VICS を使ったルート計算について

VICS 情報を考慮してルート計算を行うことができます。
VICS ルート計算を設定する場合は、*「機能設定」*（→ *P177*）をご覧ください。

お知らせ

- VICS ルート計算は、リンク旅行時間情報、規制情報（通行止め、ランプ閉鎖など）を使用して行います。リンク旅行時間情報は、高速道路では電波ビーコン、FM 多重、インターナビ VICS から提供され、一般道路では、光ビーコン、インターナビ VICS から提供されます。また、規制情報は、電波ビーコン、光ビーコン、FM 多重、インターナビ VICS から提供されます。
- 5 ルートからルートを選ぶ場合、[推奨] または [一般道] では、VICS 情報（リンク旅行時間情報、規制情報）を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報（規制情報）を考慮したルートを案内します。
- VICS ルート計算によるルート案内は、あくまで参考情報としてご利用ください。
- 提供される VICS 情報は、最新の情報がそろっていない場合があるため、実際の交通状況とは異なる場合があります。また、適切な迂回ルートがない場合や遠方の通行止め・ランプ閉鎖については、通行止め・ランプ閉鎖の箇所を通るルートを案内する場合があります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

ルート計算について

誘導設定（→ *P177*）で [VICS ルート計算] を [する] に設定している場合は、ルート計算やルート再計算を行ったときに受信済みの VICS 情報が考慮されます。
一般道路で渋滞情報を考慮して VICS ルート計算を行うには光ビーコンやインターナビ VICS からの VICS 情報が必要です。また、高速道路では、電波ビーコン、FM 多重、インターナビ VICS からの VICS 情報が必要です。

■代替ルート計算

ルート走行中に渋滞や規制などの VICS 情報を受信した場合、渋滞や規制の情報を考慮して自動でルート再計算が行われ、渋滞区間の回避や迂回ルートを案内します。

お知らせ

- 代替ルート計算は、著しく進行を妨げると判断された場合のみ行われます。また、再計算されたルートにも渋滞が発生している場合があります。
- 代替ルート計算を [する] に設定している必要があります。→*「機能設定」(P175)*

■インターナビ VICS を使ったルート計算について

ルート計算に使用する VICS 情報は、インターナビ情報センターから取得することもできます。情報の取得は場所や周期などを任意に設定することができます。詳しくは*「インターナビ VICS」*（→ *P157*）を参照してください。

つづく →

お知らせ

- 自動ルート再計算を[する]に設定している場合は、ルート計算後に自動的にインターナビ情報センターに接続してVICS情報を取得します。取得したVICS情報を考慮し、新たなルートが見つかった場合、ルートを更新します。→*「機能設定」(P182)*

VICSの音声による案内について

ルート案内中は、通常のナビゲーションシステムの音声による案内に加え、VICS情報による交通規制、災害、事故、渋滞の発生や故障車の存在なども音声により案内します。VICSの音声による案内は、VICS情報の更新のたびにルート上のVICS情報を案内します。

お知らせ

- ルート案内中に[現在地]ボタンを押すと、ナビゲーションシステムの音声による案内と共に、VICSの音声による案内もします。

インターナビ VICS

インターナビ VICS では、自車位置や目的地などの特定の場所の VICS 情報を取得したり、お客様が指定した場所の VICS 情報を取得することができます。FM 多重の VICS とは異なり、あらかじめ遠方の VICS 情報を確認することができます。また、VICS センターからは提供されない駐車場の情報や、お客様から提供いただいた情報 (フローティングカー情報) から作成した交通情報 (インターナビ・フローティングカー情報)、簡易図形情報、過去の VICS 情報から統計、予測処理を行って作成した、渋滞予測情報の提供も行います。

お知らせ

- インターナビ VICS を使うには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P214)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないとインターナビ VICS はご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→ P216)*
- 目的地が遠方 (約 200km 以上) の場合は、案内ルートの途中までしか VICS 情報を受信しません。また、途中の区間は高速道路の情報のみ受信します。
- 管理者システムで情報収集されていない道路については、VICS 情報は提供されません。
- VICS センターのメンテナンスなどにより VICS 情報が提供されない場合があります。

インターナビ VICS を使ったルート計算について

インターナビ情報センターに接続して、VICS 情報を取得します。

ルート計算について

VICS 設定*(→ P182)*で [自動ルート再計算] を [する] に設定している場合は、通常のルート計算後に、自動的にインターナビ VICS の情報を受信しルート再計算が行われます。
また、ルート案内中にインターナビ情報センターに接続し、VICS 情報を取得したときは、渋滞情報などを考慮したルートの再計算が行われます。その結果、新しいルートが見つかった場合、自動でルートの更新が行われます。

お知らせ

- 5 ルートからルートを選ぶ場合、[推奨] または [一般道] では、VICS 情報 (リンク旅行時間情報、規制情報) を考慮したルートを案内します。[距離]、[道幅]、[別ルート] では、VICS 情報 (規制情報) を考慮したルートを案内します。
- 情報受信中でも、[回線切断] にタッチすると、接続を中止することができます。

インターナビ情報センターに接続している経過時間が表示されます。

- 電話の通話状態が悪いと接続されないことがあります。
- 通話などで携帯電話を使用しているときは、VICS 情報を受信できません。

渋滞予測情報について

インターナビ VICS では、過去の VICS 情報から、統計・予測処理を行って作成した渋滞予測情報 (予測リンク旅行時間情報) が提供されます。渋滞予測情報は、VICS を使ったルート計算や、到着予想時刻に使用します。

お知らせ

- 予測リンク旅行時間情報が提供されている箇所においても、地図上に表示している渋滞、混雑、順調矢印は予測情報ではありません。
  よって、地図上が順調矢印でも予測リンク旅行時間情報が長いとその箇所を避けるルートを案内したり、渋滞矢印でも予測リンク旅行時間情報が短いとその箇所を通るルートを案内する場合があります。

受信ポイントでは

ルートを走行しているときに自動更新ポイントに近づくと、自動的にインターナビ情報センターに接続し、目的地方面の VICS 情報を受信します。自動でインターナビ情報センターに接続する地点にはマーク ( ) が表示されます。
また、インターチェンジ手前では目的地方面の高速道路情報などを、インターナビ VICS から取得し、簡易図形として表示します。
一部、表示されない場所もあります。

アドバイス

- 自動更新ポイント設定では、自動的に受信を [する]/[しない] が選べます。→*「機能設定」(P182)*
- 受信ポイントを登録することができます。→ *「受信地点を登録する」(P161)*
- 簡易図形の割り込み表示は、[する]/[しない] を選べます。→*「機能設定」(P182)*

お知らせ

- [状況変化時] を選んだときは、自動更新ポイントでの受信はしません。

時間を決めて自動受信するには

自動受信する周期 (時間) を決めて、自動的にインターナビ情報センターに接続し、目的地方面の VICS 情報を受信することができます。
設定できる周期は [状況変化時]/[5 分]/[15 分]/[30 分]/[60 分]/[しない] から設定できます。詳しくは、*「機能設定」(→ P181)* を参照してください。

現在地またはスクロール地点の VICS 情報を取得する

現在地やスクロールしたカーソル周辺の VICS 情報を取得することができます。またルート案内中であれば渋滞情報を考慮したルートの再計算が行われます。

1 カスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー) またはポイントメニューを表示する *(→ P26)*

2 [internavi VICS 接続] にタッチする

簡単

標準

▼

インターナビ情報センターに接続し、現在地または、カーソル周辺の VICS 情報を受信します。

選んだ地点の VICS 情報を取得する

情報を取得したい地点を目的地や経由地、検索した地点など、お好みの場所にすることができます。

■場所を探して VICS 情報を取得する

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜ [internavi VICS] にタッチする

2

[検索して選択] にタッチする

3

場所を探す

→「場所を探す」(P88)

情報を取得したい場所にカーソルを合わせて [internavi VICS 接続] にタッチする

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報が受信されます。

お知らせ

- [戻る] にタッチするとインターナビ VICS のメニューに戻りますので、引き続き地点を探すことができます。

■登録した地点の VICS 情報を取得する

あらかじめ受信地点を登録しておくと *(→ P161)*、その地点の VICS 情報を取得することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜ [internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

[登録リスト] にタッチする

3

情報を取得したい地点を選んでタッチする

▼

編集メニューが表示されます。

4

[VICS 情報受信] にタッチする

お知らせ

- 地図を画面全体に表示する場合は、[全画面地図] にタッチします。
- 登録した地点の情報 (名称、読み、接近音声、方向設定、位置修正、距離) を編集する場合は、[詳細設定] にタッチします。編集の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P68)* と同じです。

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報が受信されます。

■ルート周辺の VICS 情報を取得する

現在地、目的地、経由地周辺の VICS 情報を取得することができます。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

2 **[現在地周辺] または [目的地周辺]、[経由地○周辺] にタッチする**

3 **情報を取得したい地点にカーソルを合わせて [internavi VICS 接続] にタッチする**

▼

インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺の VICS 情報が受信されます。

受信地点を登録する

よく通る地点などを登録しておくと走行中、登録された地点に近づいたとき、自動でインターナビ情報センターに接続し、VICS 情報を受信します。

■地点登録のしかた

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

2 **[登録リスト] にタッチする**

3 **[新規登録] を選んでタッチする**

つづく ➜

場所を探す

→ *「場所を探す」(P88)*

登録したい場所にカーソルを合わせて [登録地点セット] にタッチする

▼

選んだ地点が登録され、登録リストに戻ります。
登録された地点には VICS のマーク ( ) が表示されます。

アドバイス

- 登録した地点は、登録リストから地点を選んでタッチし、[詳細設定] にタッチすると、名称、読み、接近音声、方向設定などを編集することができます。編集のしかたは、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P68)* と同じです。

■地点リストを消去する

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜ [internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

2

[登録リスト] にタッチする

登録リストが表示されます。

3

消去したい地点を選んでタッチする

編集メニューが表示されます。

4

[消去] にタッチする

5 [消去する] にタッチする

▼

選んだ地点が消去され、登録リストに戻ります。

交通情報を音声で案内する

すでに受信済みの渋滞情報や規制情報がある場合、それらの交通情報を音声で確認することができます。

お知らせ

- 情報を受信していないときや、情報を受信してからある一定の時間が経過したときは、再度交通情報を受信します。

1 簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[internavi VICS] にタッチする

インターナビ VICS のメニューが表示されます。

2 [交通情報読み上げ] にタッチする

3 確認したい交通情報を選んでタッチする

選んだ交通情報の本文表示画面が表示されます。

つづく ➜

アドバイス

- すべての交通情報を音声で読み上げる場合は、[全件読み上げ] にタッチします。

[読み上げ] にタッチする

▼

自動的に読み上げが開始されます。

お知らせ

- [停止] にタッチすると、読み上げが停止します。
- [全件読み上げ] にタッチしたときは、[次の情報]、[前の情報] が表示され、タッチすると読み上げる内容を切り換えることができます。
- [本文表示] にタッチすると、元の本文表示画面に戻ります。
- [−] または [＋] にタッチすると読み上げの音量を調節できます。

インターナビ・フローティングカーシステムについて

お客様が走行した路線 / 時間の情報をナビゲーションシステムで記憶して、インターナビ情報センターに提供していただき、提供いただいた情報 (フローティングカー情報) を蓄積、編集処理を行い、該当路線の交通情報 (インターナビ・フローティングカー情報) を作成します。フローティングカー情報は、インターナビ VICS 情報受信時にインターナビ情報センターに通知します。また、インターナビ情報センターで作成されたインターナビ・フローティングカー情報も、インターナビ VICS 情報受信時に VICS 情報と合わせて提供します。都市高速などのジャンクションの手前では、フローティングカー情報をもとにして、車線別の走行所要時間を考慮した VICS 情報を提供します。

お知らせ

- インターナビ・フローティングカー情報での渋滞 / 混雑 / 順調の情報は点線で表示されます。
- フローティングカー情報のインターナビ情報センターへの提供およびインターナビ･フローティングカー情報の受信は、[フローティングカーシステム] が [する] に設定されている場合です。→ *「機能設定」(P182)*
- フローティングカー情報は、統計処理した情報ですので、あくまでも参考情報としてご利用ください。
- インターナビ・フローティングカー情報の対象となる道路は事前に設定された特定の道路です。お客様が走行した全ての区間が記憶されるわけではありません。
- 提供いただいたフローティングカー情報は、提供いただいたお客様が特定できない形式で処理 / 保存します。
- 提供いただいたフローティングカー情報は、交通情報作成のための処理を行う以外の目的では一切使用しません。

駐車場情報の条件設定 標準

インターナビ VICS の駐車場情報では、取得する駐車場の条件を設定することができます。設定した条件で取得した駐車場情報は、*「VICS 情報から駐車場の利用状況を確認する」*(→ P96) または *「駐車場情報を見る」*(→ P148) で確認することができます。

取得する駐車場情報を「条件つき」にする

お知らせ

- 設定した駐車場情報の検索条件に合わせて駐車場情報を取得するときは、ナビゲーションシステムの［駐車場セレクト］の設定をあらかじめ行う必要があります。→ *「機能設定」(P182)*
- 駐車場情報を表示するには、あらかじめ [VICS 駐車場マーク表示] を [する] に設定しておく必要があります。→ *「機能設定」(P181)*

[メニュー] ボタン ➜ [機能設定] ➜ [VICS 設定] にタッチする

[駐車場セレクト] ➜ [条件つき] にタッチする

- 取得する駐車場情報を [条件つき] にして駐車場情報を受信すると、インターナビ情報センターから受信した駐車場以外は表示されなくなります。

はじめに
基本操作
画面表示
自宅およびマークを登録/編集する
目的地を探す
目的地に行く
ルート案内
VICSを使う
ナビゲーションの設定をする
データを登録/編集する

インターナビ情報センターに接続して取得する駐車場情報の条件を設定する

［メニュー］ボタン➜［機能設定］➜［VICS 設定］にタッチする

［駐車場セレクト条件設定］を選んでタッチする

［優先順位の設定］または［検索条件の設定］にタッチする

- ［ご利用案内］にタッチすると、VICS 駐車場に関する案内を確認することができます。

設定したい条件を選んでタッチする

5 設定したい条件の内容にタッチする

条件が変更されます。
引き続き設定条件を選んで変更することができます。

6 ［設定終了］にタッチする

駐車場情報の条件が設定されます。
駐車場情報を表示すると、設定した条件にあった駐車場情報が表示されます。

お知らせ

- 検索条件にあてはまる駐車場が 1 つもない場合、優先順位にあてはまる駐車場を表示します。

FM 文字多重放送を見る 簡単 標準

FM 放送局の文字放送 (見えるラジオなど) を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

リストから選局する

自車の位置で受信可能な放送局をリストから選ぶことができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[FM 文字多重] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[FM 文字多重] にタッチする

2 見たい放送局にタッチする

▼

FM 文字多重放送を受信します。

マニュアルで選局する

受信可能な放送局の周波数を指定して、放送局を選ぶことができます。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[VICS 交通情報を見る]➜[FM 文字多重] にタッチする

リスト選局画面が表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[VICS]➜[FM 文字多重] にタッチする

リスト選局画面が表示されます。

2 [マニュアル選局] にタッチする

3 [−] または [＋] にタッチして周波数を合わせる

[−] にタッチすると低い周波数、[＋] にタッチすると高い周波数に変化します。希望の放送局に合わせます。

4 [受信開始] にタッチする

FM 文字多重放送を受信します。

FM 文字多重放送を見る

見たい番組の番号にタッチする

▼

番組が表示されます。

お知らせ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、[次ページ]、[前ページ] にタッチし、ページを送ります。
- 停車中は、1 画面に最大 3 件分の文字情報が表示されます。
- 走行中は安全のため、緊急情報、交通情報、気象情報など一部の情報しか表示できません。
- 図形情報の目次を受信したとき、[図形] が表示されます。[図形] にタッチすると、図形情報の目次を表示することができます。
- 文字情報の目次を受信したとき、[メッセージ] が表示されます。[メッセージ] にタッチすると、文字情報の目次を表示することができます。

ナビゲーションの設定をする

機能設定

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。
ナビゲーションの設定項目は、簡単操作モード、標準操作モードごとに機能がそれぞれ次のように分類されています。

簡単

- 表示設定 *(→ P172)*
- VICS 情報表示 *(→ P180)*
- 通信機能設定 *(→ P224)*
- 電話設定 *(→ P287)*

標準

- 表示設定 *(→ P172)*
- 誘導設定 *(→ P175)*
- VICS 設定 *(→ P180)*
- 通信機能設定 *(→ P224)*
- 電話設定 *(→ P287)*
- その他設定 *(→ P183)*
- 現在地修正 *(→ P189)*

設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更することができます。

お知らせ

- 通信機能設定は *「通信機能の設定をする」(→ P224)* をご覧ください。
- 電話設定は *「電話の設定をする」(→ P287)* をご覧ください。
- 現在地修正は *「現在地を修正する」(→ P189)* をご覧ください。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜ [設定を変える] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜ [機能設定] にタッチする

2

設定を変更したい機能にタッチする

簡単

標準

3 変更したい設定項目を選んでタッチする

アドバイス

- すべての設定項目を初期状態に戻す場合は、[初期値にする] にタッチします。

4 設定にタッチする

▼

設定が変更され、直前の画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

アドバイス

- [表示設定] や [VICS 設定](簡単操作モードは [VICS 情報表示])、[通信機能設定]、[電話設定] は各機能のメニューから表示させることができます。
  - [表示設定] は [画面] ボタンを押し、[表示設定] にタッチします。
  - [VICS 設定]([VICS 情報表示]) は [メニュー] ボタン→[VICS](簡単操作モードは [VICS 交通情報を見る]) → [VICS 設定]([VICS 情報表示]) にタッチします。
  - [通信機能設定] と [電話設定] は [メニュー] ボタン→ [電話](簡単操作モードは [電話をかける]) → [通信機能設定] または [電話設定] にタッチします。

設定内容の詳細

■表示設定 簡単 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。
※簡単操作モードでは [時計表示]、[サマータイム表示] のみ設定を行うことができます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
ビル立体表示	市街地図表示 (10、25、50m スケール) で 3D(立体) マップのとき、付近のビルを立体的に表示させることができます。	[**する**] : ビルを立体表示します。 [しない] : ビルを立体表示しません。	[しない] 固定
3D アイコン表示	地図に目印になる建物を立体的なマーク (3D アイコン) で表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 3D アイコンを表示します。 [しない] : 3D アイコンを表示しません。	
3D ポリゴン表示	3D マップを表示したとき、目印になる建物を立体図形 (3D ポリゴン) で表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 3D ポリゴンを表示します。 [しない] : 3D ポリゴンを表示しません。	
走行軌跡表示	画面に走行軌跡を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 走行軌跡を表示します。 [**しない**] : 走行軌跡を表示しません。	
走行軌跡表示消去	それまでの走行軌跡をナビゲーションから消去します。		消去できません。
軌跡自動消去	自宅に到着すると自動的に軌跡を消去するかしないかを選ぶことができます。	[自宅到着時] : 自宅に到着すると自動的に消去します。 [**しない**] : 自動で消去しません。	[しない] 固定
施設文字	地図に施設の名前を表示するかしないかを選ぶことができます。また、文字の表示サイズを選ぶことができます。	[**標準**] : 標準サイズで表示します。 [小文字] : 小さいサイズで表示します。 [表示しない] : 施設の名前を表示しません。	[標準] 固定
3D 角度調整	地図を 3D マップにしたときの視野角度を調節できます。	[**5**] : [▲] または [▼] にタッチして 10 段階で選択できます。	設定はありません。
地図色 昼	昼間 (車幅灯を消しているとき) の地図色を 4 色の中から選ぶことができます。	[**ホワイト**] : 地図色をホワイトに設定します。 [ブルー] : 地図色をブルーに設定します。 [グリーン] : 地図色をグリーンに設定します。 [ベージュ] : 地図色をベージュに設定します。	[ホワイト] 固定

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
地図色 夜	夜間 (車幅灯をつけているとき) の地図色を４色の中から選ぶことができます。	[ホワイト] : 地図色をホワイトに設定します。 [**ブルー**] : 地図色をブルーに設定します。 [グリーン] : 地図色をグリーンに設定します。 [ベージュ] : 地図色をベージュに設定します。	[ブルー] 固定
操作パネル色	画面 (操作パネル) の色を４色の中から選ぶことができます。	[**ブルー**] : 表示色をブルーに設定します。 [グリーン] : 表示色をグリーンに設定します。 [アンバー] : 表示色をアンバーに設定します。 [レッド] : 表示色をレッドに設定します。	[ブルー] 固定
道路ふち取り表示	道路のふち取りを表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 道路のふち取りを表示します。 [**しない**] : 道路のふち取りを表示しません。	[しない] 固定
現在地情報の表示	現在地画面に地名または路線名を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**地名**] : 市区町村名などを表示します。 [路線名] : 路線名を表示します。 [しない] : 何も表示しません。	[地名] 固定
路線番号表示	走行中の道路の路線番号を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 路線番号を表示します。 [しない] : 路線番号を表示しません。	[しない] 固定
高速ガイド表示	高速道路に入った場合、自動的に高速ガイドを表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 高速道路で高速ガイドにします。 [しない] : 高速ガイドにしません。現状の地図表示モードを維持します。	[する] 固定
行程ガイド IC 省略	行程ガイド中で通過する IC(インターチェンジ) の表示を入口 IC と出口 IC のみにし、その間の IC を省略するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 通過する IC の表示を省略します。 [**しない**] : 通過する IC を全て表示します。	[しない] 固定

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
都市高速マップ表示	都市高速道路を走行しているときは、高速道路、有料道路、主要な道路のみ表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：都市高速を走行中に都市高速マップを表示します。	[しない] 固定
		[しない]：都市高速マップを表示しません。現状の地図表示モードを維持します。	
スクロール方面表示	地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面案内を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：スクロール中、方面案内を表示します。	[する] 固定
		[しない]：方面案内を表示しません。	
時計表示	画面上に時計を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：時計を表示します。	
		[しない]：時計を表示しません。	
サマータイム表示	時計の表示を夏季に 1 時間進める (サマータイム表示) かどうかを設定します。	[する]：サマータイム表示します。時計の文字が黄色になります。	
		[**しない**]：サマータイム表示しません。	
時間表示	時計の表示を 12 時間表示 /24 時間表示から選ぶことができます。	[**12 時間表示**]：12 時間表示します。	[12 時間表示] 固定
		[24 時間表示]：24 時間表示します。	
地図色時刻連動	日没 / 日出時刻連動で画面の配色を切り換えるか切り換えないかを選ぶことができます。	[する]：日没 / 日出時刻連動で切り換えます。	[しない] 固定
		[**しない**]：車幅灯の ON/OFF で画面の配色が切り換わります。	
行政界色分け表示	市街地図において、行政界 (市区町村、大字など) ごとに各境界の背景色を色分けするかしないかを選ぶことができます。	[する]： 色分けします。	[しない] 固定
		[**しない**]：色分けしません。	
2 画面同時スクロール	2 画面表示中、スクロールするときに左右の地図が連動してスクロールするかしないかを選ぶことができます。	[する]：左右連動でスクロールします。	[しない] 固定
		[**しない**]：左画面のみスクロールします。	

■誘導設定 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
リアル拡大図表示	主要な交差点でリアルな拡大図 (3D イラスト表示) を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : リアル拡大図を表示します。 [しない] : 平面拡大図表示します。	[する] 固定
到着予想時刻表示	到着予想時刻と残距離の対象となるポイントの選択および表示をするかしないかを選ぶことができます。	[目的地] : 目的地まで到着予想時刻と距離を表示します。 [**経由地**] : 次の経由地までの到着予想時刻と距離を表示します。 [しない] : 到着予想時刻と距離を表示します。	[目的地] 固定
直線誘導線表示	ルート案内中に目的地 (経由地) までの方向を示す直線誘導線を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 直線誘導線を表示します。 [**しない**] : 直線誘導線を表示しません。	[しない] 固定
方面看板表示	東京、名古屋、大阪周辺の主要な交差点で方面看板を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**すべての交差点**] : ルート上にある交差点で方面看板を表示します。 [案内交差点のみ] : 曲がる必要がある交差点のみ方面看板が表示されます。 [しない] : 方面看板を表示しません。	[すべての交差点] 固定
レーン情報	レーン情報を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**表示する**] : レーン情報を表示します。 [表示しない] : レーン情報を表示しません。	[表示する] 固定
代替ルート計算	ルート走行中、渋滞や規制などの情報から別ルートが見つかった場合、自動的にルートを再計算し案内を開始するかしないかを選べます。	[**する**] : 自動的にルートを再計算し案内を開始します。 [しない] : ルートの更新を行いません。	[する] 固定
回避エリア考慮	ルート計算時、回避エリアを通らないルートを計算するかしないか、回避エリアを地図画面に表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 回避エリアを通らないルートが計算され、回避エリアが地図画面に表示されます。 [しない] : 回避エリアは考慮されません。また、回避エリアは地図画面に表示されません。	設定できません。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
センシングリルート	ルート案内中、意図的にルートから外れた場合、ドライバーの意図を考慮したルートの計算条件に再計算するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：ドライバーの意図を考慮したルートに再計算します。 [しない]：案内中だったルートに戻るルートを計算します。	[する] 固定
一般道路の車速	一般道路走行時、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を選ぶことができます。	[**25km/h**]：、にタッチして、5km/h ～ 80km/h の間を 5km/h 刻みで選択できます。	[25km/h] 固定
高速道路の車速	高速道路走行時、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を選ぶことができます。	[**70km/h**]：、にタッチして、5km/h ～ 120km/h の間を 5km/h 刻みで選択できます。	[70km/h] 固定
有料道路の車速	有料道路走行時、到着予想時刻を計算するときの基準となる速度を選ぶことができます。	[**50km/h**]：、にタッチして、5km/h ～ 100km/h の間を 5km/h 刻みで選択できます。	[50km/h] 固定
ルート計算条件	ルートを計算させるとき、最初に計算させる基準を設定します。(設定後のルート計算から反映されます。)	[**推奨**]：おすすめの基準でルートが計算されます。 [一般道]：有料道路を使わないルートが計算されます。 [距離]：距離を優先してルートが計算されます。 [道幅]：道幅の広い道路を優先してルートが計算されます。	標準操作モードの設定と同じになります。
ルート学習	ルート計算時に学習機能を使うか使わないかを選ぶことができます。ルート学習とは元のルートから外れて同じルートを数回走行するとそのルートを学習する機能です。次回走行時よりそのルートを計算しやすくなります。走行ルートによっては学習しないこともあります。	[**する**]：学習したルートを考慮します。 [しない]：学習したルートを考慮しません。 [リセット]：ルート学習の記録を消去します。	[する] 固定

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
冬期閉鎖考慮	11 月から 3 月までの冬の間、通行止めになる道路を避けてルートを計算するかしないかを選ぶことができます。冬期通行止め情報は過去の実績を考慮しています。実際の情報を確認してください。	[する] : 冬期期間中に、冬期閉鎖道路を避けてルートを計算します。4 月から 10 月は通常のルートを計算します。	[しない] 固定
		[**しない**] : 通常のルートを計算します。	
繁華街駐車場	繁華街などの入りくんだ場所に目的地を設定した場合、近隣の駐車場まで案内するかしないかを選ぶことができます。※設定時も案内しない場合があります。	[**通知する**] : 繁華街などでは、近隣の駐車場まで案内します。	[通知しない] 固定
		[通知しない] : 通常の案内で、目的地を設定した地点までの案内となります。	
フェリー使用	フェリーを利用できる場合に、フェリーを利用するルートを計算するかしないかを選ぶことができます。	[する] : フェリーを優先的に利用します。フェリーを利用するルートを計算できない場合もあります。一般道路を優先したルート計算では、フェリー使用を [する] にしてもなるべくフェリーを利用しないルートを案内します。	[しない] 固定
		[**しない**] : フェリーをなるべく利用しないようにルート計算します。フェリーを利用しないと目的地に行くことができない場合、フェリー使用を [しない] にしてもフェリーを利用するルートを計算します。	
横付けルート計算	中央分離帯がある道路などで、目的地が反対車線に位置する場合、目的地が進行方向となるように考慮したルートを計算することができます。	[**する**] : 考慮したルートを計算します。	[する] 固定
		[しない] : 考慮せずにルートを計算します。	
VICS ルート計算	目的地までのルートを計算するときに VICS 情報やインターナビ VICS 情報を考慮するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : VICS 情報を考慮したルートを探します。	
		[しない] : VICS 情報を考慮しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
時間曜日規制考慮	曜日や時間帯で規制の入る道路を避けて計算するかしないかを選ぶことができます。 時間曜日規制は現在地周辺の情報を考慮します。	[**する**] : 時間、曜日の規制を考慮します。	[する] 固定
		[しない] : 考慮しません。	
合流案内	ルート案内中、合流地点に近づいたときに案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 合流地点に近づくと のマークを表示して音声で案内します。	
		[しない] : 案内しません。	
踏み切り案内	ルート案内中、踏み切りに近づいたときに案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 踏み切りに近づくと のマークを表示して音声で案内します。	
		[しない] : 案内しません。	
右左折専用レーン案内	直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 案内します。	
		[しない] : 案内しません。	
事故多発地点案内	事故多発地点を案内するかしないかを選ぶことができます。※ルート走行中に 50m ～ 200m スケールの地図で表示させることができます。	[**する**] : 事故多発地点に近づくと のマークを表示して音声で案内します。	
		[しない] : 案内しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
音声案内設定※			
VICS 案内	VICS 情報を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] :VICS 情報を音声で案内します。 [しない] : 音声案内を行いません。	[する] 固定
到着予想時刻案内	到着予想時刻を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 到着予想時刻を音声で案内します。 [しない] : 音声案内を行いません。	
交差点目印案内	交差点に近づいたとき交差点目印を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 交差点目印を音声で案内します。 [**しない**] : 音声案内を行いません。	[しない] 固定
料金案内	料金所に近づいたとき料金を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 料金を音声で案内します。 [しない] : 音声案内を行いません。	[する] 固定
交差点名称案内	交差点に近づいたとき交差点名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 交差点名称を音声で案内します。 [**しない**] : 音声案内を行いません。	[しない] 固定
JCT 名称案内	高速道路のジャンクションに近づいたときジャンクション名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : ジャンクション名称を音声で案内します。 [しない] : 音声案内を行いません。	[する] 固定
一般道方面名称案内	一般道路走行中に方面名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 方面名称を音声で案内します。 [**しない**] : 音声案内を行いません。	[しない] 固定
高速道方面名称案内	高速道路走行中に方面名称を音声で案内するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 方面名称を音声で案内します。 [**しない**] : 音声案内を行いません。	

※ [シンプル設定] にタッチすると、音声案内設定の [VICS 案内] のみが [する] になります。
※ [詳しい設定] にタッチすると、音声案内設定のすべての項目が [する] になります。

■VICS 設定 (VICS 情報表示) 簡単 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

※簡単操作モードの VICS 情報表示には設定画面がありません。[VICS 情報表示] にタッチするごとに、VICS 情報の表示 / 非表示が切り換えられます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
図形情報割込み	地図上に受信した VICS 図形情報を割込み表示するかどうかを選ぶことができます。	[**する**] : 割込み表示をします。	[する] 固定
		[しない] : 割込み表示をしません。	
文字情報割込み	地図上に受信した VICS 文字情報を割込み表示するかどうかを選ぶことができます。	[する] : 割込み表示をします。	[しない] 固定
		[**しない**] : 割込み表示をしません。	
一般道情報表示	受信した VICS 情報を一般道路に表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 一般道路に VICS 情報を表示します。	[する] 固定
		[しない] : 一般道路に VICS 情報を表示しません。	
高速道情報表示	受信した VICS 情報を高速道路に表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 高速道路に VICS 情報を表示します。	
		[しない] : 高速道路に VICS 情報を表示しません。	
渋滞表示	地図上に渋滞矢印を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 渋滞矢印を表示します。	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [点滅表示] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
		[**点滅表示**] : 渋滞矢印を点滅表示します。	
		[しない] : 渋滞矢印を表示しません。	
混雑表示	地図上に混雑矢印を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : 混雑矢印を表示します。	
		[点滅表示] : 混雑矢印を点滅表示します。	
		[しない] : 混雑矢印を表示しません。	
順調表示	地図上に順調矢印を表示するかしないかを選ぶことができます。	[する] : 順調矢印を表示します。	
		[点滅表示] : 順調矢印を点滅表示します。	
		[**しない**] : 順調矢印を表示しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
規制表示	交通規制に関する VICS 情報マークと規制区間を表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：規制情報を表示します。	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [する] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
		[しない]：規制情報を表示しません。	
VICS 駐車場マーク表示	地図上に VICS 駐車場マークを表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：駐車場マークを表示します。	
		[しない]：駐車場マークを表示しません。	
VICS 強調地図表示	VICS 対象路線を目立たない色にし、VICS 情報の矢印表示を強調してわかりやすく表示する地図にするかしないかを選ぶことができます。	[する]：強調表示します。	[しない] 固定
		[**しない**]：強調表示しません。	
情報保持時間	受信した VICS 情報を保持する時間を選ぶことができます。	[**30 分**]：受信した VICS 情報を 30 分間保持します。	[30 分] 固定
		[60 分]：受信した VICS 情報を 60 分間保持します。	
インターナビ VICS 設定			
情報受信接続設定	インターナビ情報センターに自動で接続する周期を選ぶことができます。	[状況変化時]：ルート案内中に 10 分おきに自動接続し、ルート上に状況変化 (重要な規制の有無や渋滞発生や渋滞解消など) があるときのみ、交通情報を取得します。他の項目とは異なり接続時間を短くすることができます。また、[ルート案内開始時連動取得] を [する] に設定していると接続時に天気情報も同時に取得します。(情報変化時) → *「取得情報の設定をする」(P272)*	標準操作モードの設定と同じになります。
		[5 分]：5 分おきに自動接続し、情報を取得します。	
		[15 分]：15 分おきに自動接続し、情報を取得します。	
		[30 分]：30 分おきに自動接続し、情報を取得します。	
		[60 分]：60 分おきに自動接続し、情報を取得します。	
		[**しない**]：自動接続しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
自動ルート再計算	ルート計算後やルート案内中に、インターナビVICSの情報を取得してから、自動的にルート再計算をするかしないかを選ぶことができます。	[**する**]:自動でルートを再計算します。 [しない]:ルートを再計算しません。	標準操作モードの設定と同じになります。
自動更新ポイント設定	自動更新ポイントに近づくと、自動的にインターナビVICSの情報を取得するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]:自動的に受信します。 [しない]:自動受信しません。	
フローティングカーシステム	インターナビ・フローティングカー情報を取得するかしないかを設定します。→*「インターナビ・フローティングカーシステムについて」(P164)*	[**する**]:車両から走行データをインターナビ情報センターへ送信すると共に、他のメンバーが収集した交通情報を取得します。 [しない]:走行データを送信しないと共に、他のメンバーが収集した交通情報を取得しません。	
簡易図形割込み	受信したVICS情報の簡易図形を割込み表示するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]:簡易図形を割込み表示します。 [しない]:簡易図形を割込み表示しません。	
駐車場セレクト	駐車場セレクトの条件設定を有効にするかどうかを設定します。	[**すべて**]:設定した条件に関係なくすべての駐車場情報を取得します。 [条件つき]:設定した条件の駐車場情報を取得します。	
駐車場セレクト条件設定	インターナビVICSから取得する駐車場情報の条件を設定することができます。	設定方法については*「駐車場情報の条件設定」(→P165)*を参照してください。	

■その他設定 標準

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
メニュー音声読み上げ	メニューの表示内容を音声で読み上げるか読み上げないかを選ぶことができます。	[する] : メニューの読み上げをします。	[走行中のみ] 固定
		[しない] : メニューの読み上げをしません。	
		[**走行中のみ**] : 走行中のみメニューを読み上げます。	
ふらつき検知警報	ルートの案内中に関係なく、車両のふらつきを感知した場合、音声と画面表示で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : ふらつきを感知した場合、メッセージを表示して音声で警告します。	[する] 固定
		[しない] : 警告しません。	
カーブ警告	ルートの案内中に関係なく、速い速度でカーブを走行しようとしたとき、音声と画面表示で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**舗装路**] : 状況に応じてメッセージを表示して音声で警告します。	[舗装路] 固定
		[圧雪路] : [舗装路] を選んだときよりも警告が出やすくなります。	
		[しない] : 警告しません。	
シートベルト警告	ルートの案内中に関係なく、運転席のシートベルトを着用していない状態で走行しようとしたとき、音声と画面表示で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : メッセージを表示して音声で警告します。	[する] 固定
		[しない] : 警告しません。	
パーキングブレーキ警告	ルートの案内中に関係なく、パーキングブレーキをかけた状態で走行しようとしたとき、音声と画面表示で警告するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : メッセージを表示して音声で警告します。	
		[しない] : 警告しません。	
県境案内	ルートの案内中に関係なく、県境を通過したとき、音声と画面表示で案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**] : メッセージを表示して音声で案内します。	
		[しない] : 案内しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
ETC 案内※	Honda 純正の ETC 車載器 (ナビ連動タイプ) を装着しているときに、ETC 情報を案内するかしないかを選ぶことができます。	[**する**]：ETC 情報を案内します。	[する] 固定
		[しない]：ETC 情報を案内しません。	
カーソル移動音量	▲ ▼や⏫ ⏬、またはジョイスティックで各項目を選ぶときの操作音の音量を選ぶことができます。	[**2**]：3 段階で選択できます。	標準操作モードの設定と同じになります。
選択実行音量	各項目をタッチしたときや [目的地] ボタン、[メニュー] ボタンなどを押したときの操作音の音量を選ぶことができます。	[**2**]：3 段階で選択できます。	

※ ETC 車載器を装着していなくても [する] に設定しているときは、ルート案内中に都市高速道路 (首都高速道路など) を走行すると、料金所の案内図が表示されます。(データがある地点のみ)

※ ETC の案内図は、実際のレーンの位置と異なる場合があります。

メニューをカスタマイズする 標準

カスタマイズメニューおよび internavi ダイレクトは、よく使う項目などを登録して、メニューをカスタマイズすることができます。

お知らせ

- 簡単操作モードのワンプッシュメニューはカスタマイズできません。

1 [メニュー] ボタン➜[付加機能] にタッチする

2 [カスタマイズ] にタッチする

3 [カスタマイズメニュー] にタッチする

お知らせ

- [internavi ダイレクト] にタッチすると [internavi ダイレクト] 内に表示されるメニューを同様の操作でカスタマイズすることができます。
→ *「internavi ダイレクトを設定する」(P237)*

4 変更したい項目を選んでタッチする

現状のカスタマイズメニューの項目が表示されます。

お知らせ

- カスタマイズメニューの [internavi ダイレクト] を入れ換えることはできません。

5 新たにメニューに入れたい項目を選んでタッチする

▼

カスタマイズメニューが変更されます。

つづく ➔

アドバイス

- メニュー項目を初期状態に戻す場合は、[初期値にする] にタッチします。

お知らせ

- カスタマイズメニューで入れ換え可能な項目は以下の通りです。
  - 表示設定の項目 *(→ P172)*
  - 誘導設定の項目 *(→ P175)*
  - VICS 設定の項目 *(→ P180)*
    ※駐車場セレクト条件設定を除く
  - 電話設定の項目 *(→ P287)*
  - その他設定の項目 *(→ P183)*
  - 現在地修正 *(→ P189)*
  - PC カード編集 *(→ P281)*
  - 音声メモ *(→ P325)*
  - ハードディスク容量 *(→ P442)*
  - マークセット *(→ P77)*
  - 地図方位 *(→ P48)*
  - 周辺検索 *(→ P90)*
  - internaviVICS 接続 *(→ P157)*

壁紙の設定をする 標準

画面を消したときの画面表示 (壁紙) をメールなどで取り込んだお好みの画像に設定することができます。
壁紙は、ハードディスクにあらかじめ登録されている [Honda ナビゲーション]、[星空] のほか、PC カード内の画像データも設定することができます。

アドバイス
- 壁紙として設定できる画像ファイルについては、*「画像を確認する」(→ P313)* を参照してください。

1 [画面] ボタン ➔ [画面消] にタッチする

2 [壁紙設定] にタッチする

3 壁紙にしたい画像を選んでタッチする

※ 壁紙の画像はサンプルのため、実車とは異なります。

お知らせ
- PC カードをセットしている場合は、PC カード内の画像もリストに表示されます。

4 [壁紙セット] にタッチする

▼

壁紙が設定されます。

お願い
- 画像の設定 (または変更) 操作をした直後は、エンジンスイッチを “0” にしたり、PC カードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PC カードのデータが壊れることがあります。

つづく ➔

お知らせ

- PC カード内の画像データを選んでいた場合、[壁紙セット] と同時にハードディスク内にその画像が保存されます。

アドバイス

- [メニュー] ボタン→ [付加機能] → [壁紙設定] からも同様に壁紙を設定することができます。→*「画像を確認する」(P313)*
- 画像を確認したいとき、[画像確認] にタッチします。
- 画像を消去したいとき、[消去] にタッチします。

現在地を修正する 標準

GPS の測位の状態によっては、現在地のずれを自動的に修正できないことがあります。現在地がずれたときは、以下の方法で修正してください。

1 [メニュー] ボタン➜[機能設定]➜[現在地修正] にタッチする

2 ジョイスティックで自車がいる地点にカーソルを合わせ、[セット] にタッチする

3 [↙] または [↘] にタッチし自車マークの向きを合わせる

▼

自車位置が修正されます。

4 [セット] にタッチする

▼

自車位置が修正されます。

お知らせ

- 一般道路と高速道路が併設する道路にカーソルを合わせた場合、自車の位置を一般道路と高速道路のどちらに修正するかを選ぶ画面が表示されます。

[一般道にセット] または [高速道にセット] にタッチします。

データを登録 / 編集する 標準

ユーザーランドマークを登録 / 編集する

標準

ユーザーランドマークを登録する

ナビゲーションシステムが用意しているランドマークとは別に、ランドマークを登録することができます。(非表示設定データとあわせて最大 100 件)
新たに開業した施設のランドマークを表示させたいときなどに、この操作をします。登録したランドマークは、「ユーザーランドマーク」として登録されます。

ユーザーランドマークについて次の操作ができます。

- 新しく登録する *(→ P192)*
- 登録したユーザーランドマークの情報を見る / 編集する *(→ P193)*
- 登録したユーザーランドマークを消去する *(→ P194)*

1 **[メニュー] ボタン ➔ [付加機能] にタッチする**

2 **[データ編集] にタッチする**

3 **[ランドマークデータ] にタッチする**

お知らせ

- 地図データ更新したあとに、この操作を行うと、ランドマークの更新画面が表示されます。→ *「地図データ更新時のデータ登録について」 (P210)*

4 **[ユーザーランドマーク] にタッチする**

▼

ユーザーランドマークのリストが表示されます。

5 **[新規登録] を選んでタッチする**

6 場所を探す

→「場所を探す」(P88)

7 [ランドマークセット] にタッチする

8 分類を選んでタッチする

選んだ分類によっては、さらに詳細なランドマークを選ぶことができます。

ユーザーランドマークが登録されます。

登録したユーザーランドマークの情報を見る / 編集する

登録したユーザーランドマークの情報 (名称、読み、マーク、電話番号、位置修正) を確認したり、編集したりすることができます。

1 ユーザーランドマークのリスト画面で、情報を見たい / 編集したいユーザーランドマークを選んでタッチする

→「ユーザーランドマークを登録する」(P192)

お知らせ

- ユーザーランドマークのリストを並び変える場合は、[マーク順] または [登録順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

2 [マーク情報] にタッチする

お知らせ

- 地図を画面全体に表示する場合は、[全画面地図] にタッチします。

ユーザーランドマーク情報が表示されます。以降の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P68)* と同様に行います。

登録したユーザーランドマークを消去する

登録したユーザーランドマークは消去することができます。

ユーザーランドマークのリスト画面で、消去したいユーザーランドマークを選んでタッチする

→ *「ユーザーランドマークを登録する」(P192)*

アドバイス

- すべてのユーザーランドマークを消去する場合は、[全消去] にタッチします。

2 **[消去] にタッチする**

3 **[消去する] にタッチする**

▼

選んだユーザーランドマークが消去されます。

PC カードへのユーザーランドマークの保存 / 読み込み

ユーザーランドマークを PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」*(→ *P278*) を参照してください。
- 読み込み可能数以上のユーザーランドマークを PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。
→ *「PC カードを初期化する」(P284)*

1 **ユーザーランドマークのリスト画面で [PC カード] にタッチする**

→ *「ユーザーランドマークを登録する」(P192)*

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■PC カードにユーザーランドマークを保存する

登録したユーザーランドマークを PC カードに保存することができます。

PC カードのメニュー画面で [データ保存] にタッチする

→「PC カードへのユーザーランドマークの保存 / 読み込み」(P194)

保存したいユーザーランドマークを選んでタッチする

お知らせ

- PC カードにすべてのユーザーランドマークを保存する場合は、[すべて保存] にタッチします。
- 登録したユーザーランドマークのリストを並び換える場合は、[マーク順] または [登録順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または 、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

PC カードにユーザーランドマークを保存します。

■PC カードからユーザーランドマークを読み込む

PC カードに保存されたユーザーランドマークを読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で [データ読み込み] にタッチする

→「PC カードへのユーザーランドマークの保存 / 読み込み」(P194)

PC カード内のユーザーランドマークのリスト画面が表示されます。

読み込みたいランドマークを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべてのユーザーランドマークを読み込む場合は、[すべて読込み] にタッチします。
- PC カード内のユーザーランドマークのリストを並び換える場合は、[マーク順] または [登録順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

PC カードからユーザーランドマークを読み込みます。

■ PC カードのユーザーランドマークを消去する

PC カード内のユーザーランドマークを消去することができます。

PC カードのメニュー画面で［データ消去］にタッチする

→「PC カードへのユーザーランドマークの保存／読み込み」(P194)

▼

PC カード内のユーザーランドマークのリスト画面が表示されます。

2 消去したいユーザーランドマークを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべてのユーザーランドマークを消去する場合は、［全消去］にタッチします。
- PC カード内のユーザーランドマークのリストを並び換える場合は、［マーク順］または［登録順］にタッチします。
- マーク順のとき［(アイコン)］または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

3 ［消去する］にタッチする

▼

PC カード内の選んだユーザーランドマークが消去されます。

ランドマークを非表示設定にする 標準

非表示設定データに登録する

ナビゲーションシステムが用意しているランドマークは個別に表示させないようにすることができます。
(ユーザーランドマークとあわせて最大 100 件)
なくなった施設のランドマークを表示させないときなどに、この操作をします。非表示にしたランドマークは「非表示設定データ」として登録されます。

お知らせ

- ユーザーランドマークは非表示設定データに登録することはできません。

1 ランドマークにカーソルを合わせて [情報] にタッチする

お知らせ

- カーソルを合わせたランドマークにアイコンと名称の情報がある場合、画面上にアイコンと名称が表示されます。
- カーソルを合わせた位置に複数の施設があった場合、施設のリストが表示されます。いずれかを選んでタッチします。

▼

ランドマークの詳細情報が表示されます。

2 [非表示] にタッチする

▼

選んだランドマークが地図上から消え、非表示設定データとして登録されます。

お知らせ

- 地図データを更新したあとは、[非表示] を選ぶことはできません。ランドマークの更新を行ってください。→*「地図データ更新時のデータ登録について」(P210)*

非表示設定データを解除する

非表示設定データの登録を解除し、再び元の位置にランドマークを表示させることができます。

［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［データ編集］にタッチする

2

［ランドマークデータ］にタッチする

3

［非表示設定データ］にタッチする

お知らせ

- 非表示設定データが1件も登録されていない場合、［非表示設定データ］を選ぶことはできません。

▼

非表示設定データのリストが表示されます。

再び表示させたいランドマークを選んでタッチする

お知らせ

- すべての非表示設定データを再び表示させる場合は、［全解除］にタッチします。
- 非表示設定データのリストを並び換える場合は、［マーク順］または［登録順］にタッチします。
- マーク順のとき［(アイコン)］または ◀、▶ (8種類以上のときのみ)にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

［非表示設定解除］にタッチする

お知らせ

- 地図を画面全体に表示する場合は、［全画面地図］にタッチします。

非表示設定データの登録が解除され、選んだ非表示設定データが再び地図上の元の位置に表示されます。

PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み

非表示設定データを PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P278)* を参照してください。
- 読み込み可能数以上の非表示設定データを PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。
  → *「PC カードを初期化する」(P284)*

1 **非表示設定データのリスト画面で、[PC カード] にタッチする**

→ *「非表示設定データを解除する」(P198)*

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■ PC カードに非表示設定データを保存する

登録した非表示設定データを PC カードに保存することができます。

1 **PC カードのメニュー画面で [データ保存] にタッチする**

→ *「PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み」(P199)*

2 **保存したい非表示設定データを選んでタッチする**

お知らせ

- PC カード内にすべての非表示設定データを保存する場合は、[すべて保存] にタッチします。
- 登録した非表示設定データのリストを並び換える場合は、[マーク順] または [登録順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀ 、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

PC カードに非表示設定データを保存します。

■ PC カードから非表示設定データを読み込む

PC カードに保存された非表示設定データを読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で [データ読み込み] にタッチする

→ *「PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み」(P199)*

▼

PC カード内の非表示設定データのリスト画面が表示されます。

2 読み込みたい非表示設定データを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべての非表示設定データを読み込む場合は、[すべて読込み] にタッチします。
- PC カード内の非表示設定データのリストを並び換える場合は、[マーク順] または [登録順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

PC カードから非表示設定データを読み込みます。

地図データのバージョンが異なったとき

PC カード内とナビゲーションシステムの地図データベースのバージョンが異なったとき、PC カード内の非表示設定データの情報を保持して読み込むか保持しないで読み込むかを選ぶことができます。

お知らせ

- 地図データを更新したあと、非表示にした施設が表示されている場合に PC カードの非表示設定データを使って、再び非表示にするか、表示したままとするかを選ぶことができます。

1 PC カードのメニュー画面で [データ読み込み] にタッチする

→ *「PC カードから非表示設定データを読み込む」(P200)*

2 読み込みたい非表示設定データを選んでタッチする

ランドマーク更新画面が表示されます。

3 設定したい非表示設定データを選んでタッチする

お知らせ

- [すべて読込み] を選んでいた場合は、PC カード内のすべての非表示設定データが表示されます。

お知らせ

- すでにナビゲーションシステムの地図データが以下のように更新されており、読み込む必要がなくなったデータは、施設名称のあとに [読み込まない] と表示され、選ぶことはできません。
  - 施設がなくなっている。
  - 施設の位置が変更されている。
  - 別の施設になっている。

4 [保持する] または [保持しない] にタッチする

[保持する]	PC カード内の非表示設定データを読み込み、選んだ施設を非表示に設定します。
[保持しない]	PC カード内の非表示設定データを読み込まずに、選んだ施設は、表示させたままにします。

お知らせ

- 選んだ非表示設定データ周辺の地図を確認するときは、[全画面地図] にタッチします。

▼

ランドマーク更新画面に戻ります。すべての非表示設定データを読み込んでいた場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返し、読み込む非表示設定データをすべて設定します。

5 [設定終了] にタッチする

▼

PC カードから選んだ非表示設定データだけを読み込みます。

■ PC カードの非表示設定データを消去する

PC カード内の非表示設定データを消去することができます。

1 PC カードのメニュー画面で [データ消去] にタッチする

→「PC カードへの非表示設定データの保存 / 読み込み」(P199)

▼

PC カード内の非表示設定データのリスト画面が表示されます。

2 消去したいランドマークを選んでタッチする

つづく →

お知らせ

- PC カード内のすべての非表示設定データを消去する場合は、[全消去] にタッチします。
- PC カード内の非表示設定データのリストを並び換える場合は、[マーク順] または [登録順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

[消去する] にタッチする

▼

PC カード内の選んだ非表示設定データが消去されます。

回避エリアを登録 / 編集する 標準

回避エリアを登録する

工事中の道路や渋滞しがちな道路など通りたくない場所(回避エリア)を、5 か所まで登録しておくことができます。
回避エリアを登録しておくと、これらの場所を通らないようにルートを計算させることができます。

1 [メニュー] ボタン➜[付加機能] にタッチする

2 [データ編集] にタッチする

3 [回避エリア] にタッチする

▼

回避エリアのリストが表示されます。

4 [新規登録] を選んでタッチする

5 場所を探す

→「場所を探す」(P88)

6 [位置セット] にタッチする

7 [拡大] または [縮小] にタッチして範囲を指定する

8 [範囲セット] にタッチする

お知らせ

- 指定範囲の中央付近の地名などが、回避エリアの名称として登録されます。

つづく →

9 [登録する] にタッチする

▼

回避エリアが登録されます。

お知らせ

- 回避エリアは桃色で表示されます。
- 100m ～ 800m 四方を回避エリアとして登録できます。
- ルート計算時に他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが計算されることがあります。

アドバイス

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。
→ *「回避エリアの情報を見る / 編集する」(P204)*
- 回避エリア考慮の設定は [する]/[しない] を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P175)*

回避エリアの情報を見る / 編集する

回避エリアの名称、読み、範囲、曜日指定、時間指定、位置修正を変更することができます。

1 回避エリアのリスト画面で、情報を確認 / 編集したい回避エリアを選んでタッチする

→ *「回避エリアを登録する」(P203)*

2 [回避エリア情報] にタッチする

お知らせ

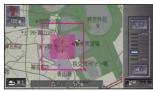
- 地図を画面全体で表示する場合は [全画面地図] にタッチします。

回避エリアの情報画面が表示されます。以降の操作手順は、*「自宅やよく行く地点を編集する」(→ P68)* と同様に行います。

範囲を編集するとき

1 **回避エリアの情報画面で [範囲] を選んでタッチする**

→「回避エリアの情報を見る / 編集する」(P204)

2 **[拡大] または [縮小] にタッチして範囲を指定する**

3 **[範囲セット] にタッチする**

範囲が変更されます。

曜日指定を編集するとき

1 **回避エリアの情報画面で [曜日指定] を選んでタッチする**

→「回避エリアの情報を見る / 編集する」(P204)

2 **[曜日指定] にタッチする**

お知らせ

- 曜日指定を解除する場合は [毎日] にタッチします。

3 **回避する曜日にタッチする**

お知らせ

- 回避する曜日は複数選ぶことができ、選んだ曜日は色付きで表示されます。
- 解除するときは色付きの曜日にタッチします。

4 **[設定終了] にタッチする**

回避する曜日が変更されます。

時間指定を編集するとき

1 **回避エリアの情報画面で [時間指定] を選んでタッチする**

→「回避エリアの情報を見る / 編集する」(P204)

2 **[時間指定] にタッチする**

お知らせ

- 時間指定を解除するときは、[終日] にタッチします。

3 **回避する時間を入力する**

→「文字入力のしかた」(P38)

[完了] にタッチする

回避する時間が変更されます。

回避エリアを消去する

回避エリアを消去することができます。

回避エリアのリスト画面で、消去したい回避エリアを選んでタッチする

→ *「回避エリアを登録する」(P203)*

アドバイス

- すべての回避エリアを消去する場合は、[全消去] にタッチします。

2 **[消去] にタッチする**

3 **[消去する] にタッチする**

▼

選んだ回避エリアが消去されます。

PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み

回避エリア情報を PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P278)* を参照してください。
- 読み込み可能数以上の回避エリア情報を PC カードに保存した場合は、PC カードを初期化することでデータを消去することができます。
  → *「PC カードを初期化する」(P284)*

1 **回避エリアのリスト画面で [PC カード] にタッチする**

→ *「回避エリアを登録する」(P203)*

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■ PC カードに回避エリア情報を保存する

登録した回避エリアの情報を PC カードに保存することができます。

PC カードのメニュー画面で [データ保存] にタッチする

→「PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み」(P206)

保存したい回避エリアを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべての回避エリア情報を保存する場合は、[すべて保存] にタッチします。

PC カードに回避エリアの情報を保存します。

■ PC カードから回避エリア情報を読み込む

PC カードに保存された回避エリア情報を読み込むことができます。

PC カードのメニュー画面で [データ読み込み] にタッチする

→「PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み」(P206)

PC カード内の回避エリアのリスト画面が表示されます。

読み込みたい回避エリアを選んでタッチする

- PC カード内のすべての回避エリア情報を読み込む場合は、[すべて読込み] にタッチします。

PC カードから回避エリアの情報を読み込みます。

■ PC カードの回避エリア情報を消去する

PC カード内の回避エリアの情報を消去することができます。

PC カードのメニュー画面で [データ消去] にタッチする

→「PC カードへの回避エリア情報の保存 / 読み込み」(P206)

▼

PC カード内の回避エリアのリスト画面が表示されます。

2 消去したい回避エリアを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべての回避エリアの情報を消去する場合は、[全消去] にタッチします。

3 [消去する] にタッチする

▼

PC カード内の選んだ回避エリアの情報が消去されます。

ルートの学習内容を消去する 標準

本機はふだん使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に計算します。([ルート学習] が [する] のとき→ P176) したがって、他に効率のよい道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときは、ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

[メニュー] ボタン ➜ [機能設定] にタッチする

2 [誘導設定] にタッチする

3 [ルート学習] を選んでタッチする

4 [リセット] にタッチする

お知らせ

- [する] にタッチするとルートを学習する設定になります。
- [しない] にタッチするとルートを学習しない設定になります。

5 [リセットする] にタッチする

▼

学習したルートが消去されます。

地図データ更新時のデータ登録について

標準

地図データをバージョンアップすると、ランドマークの更新を行うまで新たにユーザーランドマークや非表示設定データを登録できません。

お知らせ

- ユーザーランドマーク (→P192) および非表示設定データ (→P197) が 1 件も登録されていない場合は、以下の操作は必要ありません。

1 [メニュー] ボタン➔[付加機能]➔[データ編集] にタッチする

2 [ランドマークデータ] にタッチする

▼

情報の検索が開始されます。

▼

検索が終了すると、ランドマーク更新画面が表示されます。

3 更新したい施設を選んでタッチする

お知らせ

- 施設のリストを並び換える場合は、[登録順] または [マーク順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

4 [保持] または [登録]、[消去] にタッチする

選んだ施設によってメニューは以下のように表示されます。

ユーザーランドマークのとき

[登録]	更新後の地図にユーザーランドマークを表示します。
[消去]	ユーザーランドマークを削除します。

非表示設定データのとき

[保持]	地図データ更新後の施設も非表示設定にします。
[消去]	非表示設定データを消去し、更新後の地図に施設を表示させます。

お知らせ

- ナビゲーションシステムの地図データが、以下のように更新されており、保持する必要がなくなった非表示設定データは [消去] のみになります。
  - 施設がなくなっている
  - 施設の位置が変更されている
  - 別の施設になっている
- 選んだ施設周辺の地図を確認するときは、[全画面地図] にタッチします。

5 [設定終了] にタッチする

▼

ユーザーランドマークおよび非表示設定データが更新されます。

通信機能を使う

インターナビ・プレミアムクラブとは

簡単 標準

インターナビ・プレミアムクラブとは、Honda 車に乗るオーナーのための新しいサービス・ネットワークです。
もっと快適に、自由に、安心してドライブを楽しんでいただくためのさまざまなサービスをご利用できます。
サービスのご利用にあたっては、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただき、携帯電話を使ってインターナビ情報センターに接続する必要があります。

● インターナビ・プレミアムクラブのホームページ
http://premium-club.jp/

■もっと快適に

「より新しく正確な情報を提供し、ストレスなく快適なドライブを実現します」

- 全国どこからでも最新の交通情報を入手して、目的地までの最短時間ルートを案内します。*(→ P155)*
- お好みの条件にあわせた駐車場情報を取得することができます。*(→ P165)*
- 新車ご登録後 24 か月目に (1 回のみ) 無償にて最新の地図データへの更新サービスがあります。詳しくは巻末の*「インターナビ・プレミアムクラブハードディスク地図データ更新について」*をご覧ください。

■もっと自由に

「運転中でも使える、自由にコミュニケーションできる、情報環境を実現します」

- メールやニュースなどの音声呼び出し / 読み上げができます。*(→ P274)*
- 待ち合わせなどに便利な位置情報付きメールを送ることができます。*(→ P248,249)*
- パソコンや携帯電話にお客様専用のホームページ「パーソナル・ホームページ」を開設し、メンテナンス情報などを記録できます。

■もっと安心を

「Honda ネットワークによる安心のカーライフサポートをお届けします」

- 総走行距離に基づき、適切なメンテナンス時期をお知らせします。
- Honda ネットワークによる安心のカスタマーケア「QQ コール」をご利用いただけます。(有料サービス)
詳しくは Honda 販売店にご相談ください。

QQコール

お知らせ

- 通信機能を使って、インターナビ・プレミアムクラブの各種サービスをご利用いただくためには、インターナビ・プレミアムクラブへのご入会があらかじめ必要となります。詳しくはHonda 販売店にご相談ください。
- 携帯電話は、PDC 方式、au(CDMA 1X) 方式および Bluetooth(ブルートゥース) 方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth 方式以外の携帯電話を接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。Honda 販売店にご相談ください。
- 携帯電話の対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
- 通信カードは対応しておりません。PC カード挿入口に挿入しないでください。
- Bluetooth 通信機能のない、NTT ドコモの「FOMA/ フォーマ」には対応しておりません。
- Bluetooth 通信機能のない、ソフトバンクの「3G」には対応しておりません。
- Bluetooth 通信機能のない、au の「CDMA 1X WIN」には一部の機種を除いて対応しておりません。
- au は、パケット通信のみ利用できます。
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。最新のサービス内容は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。

※「FOMA/ フォーマ」は NTT ドコモの登録商標です。

準備

インターナビを使う前に通信機能の設定や携帯電話の接続を行います。

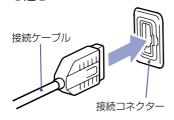
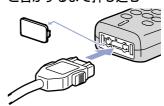
携帯電話を接続する

簡単 標準

■携帯電話を接続する

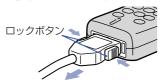
お知らせ

- エンジンスイッチを“I”にする前に携帯電話および接続ケーブルを接続コネクターに接続してください。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。
- 携帯電話を有線で接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。Honda 販売店にご相談ください。
- 接続コネクターの場所については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 対応機の接続方法については *「Bluetooth 対応機を接続する」(→ P217)* を参照してください。

1 接続コネクターに接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで差し込む

2 携帯電話の接続端子カバーを外し、接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで押し込む

お知らせ

- 携帯電話の種類によって、接続ケーブルの向きが変わります。お使いの携帯電話に合わせて接続してください。
- 携帯電話の接続コネクターからは、携帯電話の電源は供給されていません。
- Honda インターナビシステムに携帯電話を接続すると、携帯電話の電源が一度 OFF になり、その後自動的に ON になります。(呼び出し中の場合も一度電源が OFF になります。)
- Honda インターナビシステムに携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは働かなくなります。(携帯電話の電源は、エンジンスイッチの位置に連動します。)

■携帯電話を外す

左右のロックボタンを押しながら接続ケーブルを取り外す

お願い

- 携帯電話の接続コネクターを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 接続コネクターは携帯電話を使用していないときに抜き差ししてください。

Bluetooth 対応機を接続する

簡単 標準

お手持ちの携帯電話が Bluetooth（ブルートゥース）対応機の場合、ケーブルを接続することなく無線通信接続をすることができます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは

- Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.45GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。

Bluetooth®

- Honda インターナビシステムでは、Bluetooth 対応の携帯電話をケーブルを使わずに接続し、通信機能、ハンズフリー電話、電話帳の転送を行うことができます。

お知らせ

- 携帯電話の収納場所、距離によっては、通信速度が低下する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所（ナビゲーション本体の周辺など）に置くことをお勧めします。
- Bluetooth 環境でデータ通信中は、Honda インターナビシステムで電話を受けることができません。
- Bluetooth 対応の携帯電話の取り扱いについては携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔［設定を変える］にタッチする

標準

［メニュー］ボタン ➔［機能設定］にタッチする

つづく ➔

2 [通信機能設定] にタッチする

簡単

標準

3 [Bluetooth 設定] を選んでタッチする

▼

Bluetooth 設定画面が表示されます。
この後、以下の設定を行ってください。

- パスキーの設定 *(→ P218)*
- 携帯電話の登録 *(→ P219)*
- 携帯電話の選択 *(→ P220)*

■パスキーを設定する

お手持ちの携帯電話と、Honda インターナビシステムを無線接続するためのパスキー (暗証番号) を設定します。

1 Bluetooth 設定画面で [パスキー設定] を選んでタッチする

→ *「Bluetooth 対応機を接続する」(P217)*

2 [固定] にタッチする

お知らせ

- [ランダム] にタッチすると、新たに携帯電話を登録するたびに違うパスキーを自動的に生成します。

3 お好みの数字 4 桁を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

お知らせ

- 初期設定では「1212」となっています。

[完了] にタッチする

▼

パスキーの設定が完了します。
この操作の後、携帯電話の登録をしてください。→ *「携帯電話を登録する」(P219)*

■携帯電話を登録する

Bluetooth 対応の携帯電話を Honda インターナビシステムに登録し、無線接続できるように設定します。携帯電話は、最大 5 台まで登録することができます。

お知らせ

- Honda インターナビシステムに設定したパスキーを携帯電話に設定すると、Bluetooth 接続ができるようになります。
- 携帯電話を登録し、Bluetooth 接続が完了すると、再度以下の操作を行う必要はありません。
- 携帯電話のパスキーを変更したときは、再度以下の操作を行う必要があります。

Bluetooth 設定画面で [電話機登録] を選んでタッチする

→ *「Bluetooth 対応機を接続する」(P217)*

画面に表示されたパスキーをお手持ちの携帯電話に設定する

▼

お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧になり、携帯電話にパスキーを設定してください。
携帯電話の登録および Bluetooth 接続が完了します。

つづく →

お知らせ

- Bluetooth 対応の携帯電話の登録方法について、詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://premium-club.jp/
- パスキーの初期値は「1212」です。お好みのパスキー（暗証番号）を設定する場合は、*「パスキーを設定する」（→ P218）*を参照してください。
- 登録を中止する場合は、[中止] にタッチします。
- Bluetooth 接続が完了すると、画面の右上に マークが表示されます。また、地図画面の場合は画面の左下に表示されます。

マークは Honda インターナビシステムと Bluetooth 対応の携帯電話との接続状況（無線接続）を示すもので、電話回線の接続状況を示したものではありません。

■携帯電話を選択する

Honda インターナビシステムに Bluetooth 対応の携帯電話を複数登録している場合は、使用する携帯電話を選ぶ必要があります。

お知らせ

- 登録している Bluetooth 対応の携帯電話が 1 台のときは、以下の操作は必要ありません。

1 **Bluetooth 設定画面で [電話機選択] を選んでタッチする**

→「Bluetooth 対応機を接続する」（P217）

2 **使用する携帯電話を選んでタッチする**

お知らせ

- 接続中の携帯電話名称の前には マークが表示されます。

3 **[決定] にタッチする**

接続する携帯電話の選択が完了します。

お知らせ

- 接続先のプロバイダが異なる携帯電話を選択した場合は、接続先を変更する必要があります。→ *「携帯電話の接続先(プロバイダ)を変更する」(P232)*

■登録した携帯電話名称を変更する

携帯電話のリストに表示されている携帯電話の名称を変更することができます。

1 Bluetooth 設定画面で[電話機選択]を選んでタッチする

→ *「Bluetooth 対応機を接続する」(P217)*

2 変更したい携帯電話を選んでタッチする

3 [編集]にタッチする

4 [機器名称]にタッチする

お知らせ

- [機器アドレス]は編集できません。

5 携帯電話の名称を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

お知らせ

- 名称は、全角で最大 6 文字(半角で最大 12 文字)まで入力することができます。

6 [入力完了]にタッチする

7 [設定終了]にタッチする

▼

携帯電話の名称が変更されます。

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテンツ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

■登録した携帯電話を消去する

Honda インターナビシステムに登録した携帯電話を消去します。

Bluetooth 設定画面で [電話機選択] を選んでタッチする

→「*Bluetooth 対応機を接続する*」*(P217)*

2 消去したい携帯電話を選んでタッチする

お知らせ

- 携帯電話の接続方法が Bluetooth 接続の場合は、使用中の携帯電話を消去することはできません。接続方法をケーブル接続 (有線接続) に変更してから以下の操作を行ってください。→「*接続方法の切り換え*」*(P223)*

3 [消去] にタッチする

▼

選択した携帯電話が消去されます。

■Honda インターナビシステムの名称、アドレスを確認する

Bluetooth の携帯電話側から、接続先 (Honda インターナビシステム) を探すときの機器名称、機器アドレスを確認することができます。

Bluetooth 設定画面で [自機アドレス表示] を選んでタッチする

→「*Bluetooth 対応機を接続する*」*(P217)*

▼

Honda インターナビシステムの機器名称および機器アドレスが表示されます。

機器名称を変更する

機器名称を変更することができます。

お知らせ

- [機器アドレス] を編集することはできません。

1 自機アドレスを表示する

→「Honda インターナビシステムの名称、アドレスを確認する」(P222)

2 [機器名称] にタッチする

3 機器名称を変更する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- 名称は、全角で最大 6 文字 (半角で最大 12 文字) まで入力することができます。

4 [入力完了] にタッチする

→「文字入力のしかた」(P38)

▼

機器名称が変更されます。

接続方法の切り換え

簡単 標準

携帯電話の Honda インターナビシステムへの接続方法をケーブル接続 (有線接続) か Bluetooth 接続 (無線接続) に切り換えます。

お知らせ

- すでに Bluetooth 対応携帯電話を「携帯電話を登録する」(→ P219) で Honda インターナビシステムに登録している場合は、自動的に Bluetooth 接続に設定されますので以下の操作は必要ありません。
- Bluetooth 対応携帯電話からケーブル接続の携帯電話に切り換えるときに、以下の操作を行ってください。

1 簡単

[メニュー] ボタン ➔ [設定を変える] ➔ [通信機能設定] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➔ [機能設定] ➔ [通信機能設定] にタッチする

▼

通信機能設定画面が表示されます。

つづく ➔

[電話機の接続] を選んでタッチする

[ケーブル] または [Bluetooth] にタッチする

▼

接続方法の切り換えが完了します。

お知らせ

- 接続先のプロバイダが異なる携帯電話を選択した場合は、接続先を変更する必要があります。→ *「携帯電話の接続先 (プロバイダ) を変更する」(P232)*

通信機能の設定をする

通信機能をご利用になるには、会員登録手続き完了後にインターナビ情報センターから発行される暗証番号を登録するなどの通信機能の設定を行う必要があります。通信機能の設定方法には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に通信機能の設定を行うことができる *「かんたん設定で通信の設定をする」(→ P225)* と新たな接続先を追加したり、設定内容を変更するのに便利な *「マニュアル設定で通信の設定をする」(→ P227)* があります。

お知らせ

- ここで必要になる暗証番号は会員登録後、インターナビ情報センターから郵送されてくる登録完了のご案内に記載されています。
- あらかじめ用意されている接続先 (プロバイダ) のアクセスポイントが変更された場合は、インターナビ情報センターに接続しコンテンツを閲覧することで自動的に更新されます。
  マニュアル設定で新規に追加した接続先は更新されません。
- 登録されている暗証番号を Honda インターナビシステムで変更することができます。→ *「暗証番号を変更する」(P231)*

■かんたん設定で通信の設定をする

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[設定を変える]➜[通信機能設定] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[機能設定] ➜[通信機能設定] にタッチする

▼

通信機能設定画面が表示されます。

[通信設定] を選んでタッチする

3

[かんたん通信設定] にタッチする

簡単

標準

お知らせ

- 設定を初期の状態に戻す場合は、[初期値に戻す] にタッチします。

[スタート] にタッチする

お知らせ

- 以前に通信設定が完了している場合は、この画面は表示されません。手順 6 に進んでください。

つづく ➔

5 暗証番号を入力し [完了] にタッチする

→「文字入力のしかた」(P38)

▼

接続先のプロバイダのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- すでに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号が入力された状態の画面が表示されます。

6 接続先を選んでタッチする

7 [接続する] または [しない] にタッチする

[接続する]	インターナビ情報センターと通信します。 →「インターナビ情報センターに接続する」(P234)
[しない]	インターナビ情報センターとの通信を中止します。

はじめて通信設定を行ったときは、設定完了後にパーソナル・ホームページとの同期が行われます。同期完了後「接続設定が完了しました」と表示されます。

お願い

- [接続する] にタッチする前に携帯電話を接続してください。

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

■マニュアル設定で通信の設定をする 標準

あらかじめ用意されている接続先を選んだり、さらに接続先を新規に設定や変更することができます。また、追加した接続先を消去することもできます。

接続先を設定する

あらかじめ用意されている接続先に設定したり、新規に接続先を設定することができます。

［メニュー］ボタン➜［機能設定］➜［通信機能設定］にタッチする

2 ［通信設定］を選んでタッチする

3 ［マニュアル通信設定］にタッチする

お知らせ

- 設定を初期の状態に戻す場合は、［初期値に戻す］にタッチします。

4 ［スタート］にタッチする

お知らせ

- 以前に通信設定が完了している場合は、この画面は表示されず、以下の画面が表示されます。

接続先を変更する場合は、［接続先変更］にタッチします。この後、手順6に進みます。

5 暗証番号を入力し［完了］にタッチする

→「文字入力のしかた」(P38)

▼

接続先のプロバイダのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- すでに暗証番号が設定されている場合は、暗証番号が入力された状態の画面が表示されます。

つづく➔

6 接続先を選ぶ

用意されている接続先を選ぶ場合

接続先を選んで [決定] にタッチします。接続先が設定された後、手順 23 に進みます。

新規に接続先を登録する場合

[新規接続先] を選んでタッチし、手順 7 に進みます。

7 設定する項目を選んでタッチする

設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定内容
[接続先名称]	プロバイダの名称
[電話番号]	アクセスポイントの電話番号
[ユーザー ID]	プロバイダ入会時に発行された ID
[パスワード]	プロバイダ入会時に発行されたパスワード
[DNS 設定]	自動か手動かを選びます。
[DNS1]/[DNS2]	DNS(IP アドレス)
[通信手段]	「モデム」「モデム (packet)」から選びます。
[Proxy 設定]	プロキシを使用するかしないかを選びます。
[Proxy アドレス]	プロキシの IP アドレスまたはホスト名
[Proxy ポート]	プロキシのポート

お知らせ

- 第三者に車を譲渡する場合は、新規に登録した接続先を消去しておいてください。→ *「接続先を消去する」(P231)*
- 接続先は 20 ヶ所まで追加できます。

8 接続先名称、電話番号、ユーザー ID、パスワードを設定するときは、文字や数字を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

9 [入力完了] または [完了] にタッチする

10 手順 7 〜 9 を繰り返し、必要な項目を設定する

11 DNS 設定を手動で行うときは、[DNS 設定]➜[手動] にタッチする

DNS 設定を自動で行うときは

DNS 設定の [自動] にタッチし、手順 14 に進みます。

12 [DNS1] または [DNS2] を選んでタッチする

13 DNS を入力し [完了] にタッチする

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- DNS(IP アドレス) がわからないときは、ご利用になっているプロバイダにご確認ください。
- DNS(IP アドレス) は、プロバイダによって 2 か所まで設定できます。2 か所設定する場合は手順 12 〜 13 を繰り返してください。

14 通信の手段を設定するときは、[通信手段]➜[モデム] または [モデム (Packet)] にタッチする

お知らせ

- パケット通信方式以外で接続するときは [モデム] にタッチします。
- パケット通信方式で接続するときは [モデム (Packet)] にタッチします。

15 プロキシを設定するときは、[Proxy 設定]➜[使用する] にタッチする

お知らせ

- プロキシを使用しない場合は手順 20 に進みます。

16 [Proxy アドレス] を選んでタッチする

17 プロキシアドレスを入力し [入力完了] にタッチする

18 [Proxy ポート] を選んでタッチする

19 プロキシポートを入力し [完了] にタッチする

つづく ➔

20 [設定終了] にタッチする

▼

接続先のプロバイダのリスト画面が表示されます。

21 設定した接続先を選んでタッチする

22 [決定] にタッチする

23 [接続する] または [しない] にタッチする

[接続する]	インターナビ情報センターと通信します。 → *「インターナビ情報センターに接続する」(P234)*
[しない]	インターナビ情報センターとの通信を中止します。

はじめて通信設定を行ったときは、設定完了後にパーソナル・ホームページとの同期が行われます。同期完了後「接続設定が完了しました」と表示されます。

お願い

- [接続する] にタッチする前に携帯電話を接続してください。

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

設定内容を編集する

新規に設定した接続先を編集することができます。

お知らせ

- あらかじめ用意されている接続先を編集することはできません。

1 接続先のプロバイダのリスト画面で接続先を選んでタッチする

→ *「接続先を設定する」(P227)*

2 [編集] にタッチする

以降の操作手順は、*「接続先を設定する」(→ P227)* の手順 7 以降と同じです。

接続先を消去する

お客さまが追加した接続先が不要になったときは、接続先を消去できます。

お知らせ

- あらかじめ用意されている接続先を消去することはできません。

1 **接続先のプロバイダのリスト画面で接続先を選んでタッチする**

→ *「接続先を設定する」(P227)*

2 **[消去] にタッチする**

3 **[消去する] にタッチする**

▼

登録されていた接続先が消去されます。

■暗証番号を変更する 簡単 標準

Honda インターナビシステムとパーソナル･ホームページに登録した暗証番号を変更することができます。Honda インターナビシステムの暗証番号を変更すると、パーソナル･ホームページに登録された暗証番号も変更されます。
暗証番号を変更するときは、インターナビ情報センターに接続する必要がありますので、あらかじめ携帯電話を接続しておいてください。

お知らせ

- パーソナル･ホームページの暗証番号を変更した場合は、Honda インターナビシステムの暗証番号も変更してください。
- パーソナル･ホームページとは、インターナビ･プレミアムクラブが提供するパソコン･携帯電話向けサービスです。インターナビ･プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ･プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P214)*

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[設定を変える]➜[通信機能設定] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[機能設定]➜[通信機能設定] にタッチする

▼

通信機能設定画面が表示されます。

2 **[通信設定] にタッチする**

つづく ➜

3 ［暗証番号変更］にタッチする

簡単

標準

4 新しい暗証番号を入力し［完了］にタッチする

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

再度、暗証番号の入力画面が表示されます。

5 確認のため再度、暗証番号を入力し［完了］にタッチする

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

暗証番号が設定されます。
インターナビ情報センターに接続し、パーソナル・ホームページの暗証番号も変更されます。

携帯電話の接続先（プロバイダ）を変更する 簡単 標準

接続するプロバイダを変更するときは、接続先を設定し直します。

プロバイダの異なる携帯電話で通信機能を使用するときに行う必要があります。*「かんたん設定で通信の設定をする」(→ P225)* または *「マニュアル設定で通信の設定をする」(→ P227)* で接続先を変更してください。

通信機能設定を初期値に戻す 簡単 標準

お客様が登録された通信機能の登録内容を消去する場合は、初期値に戻します。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［設定を変える］➜［通信機能設定］にタッチする

標準

［メニュー］ボタン ➜［機能設定］➜［通信機能設定］にタッチする

通信機能設定画面が表示されます。

2 ［通信設定］にタッチする

3 [初期値に戻す] にタッチする

標準

4 [初期値にする] にタッチする

接続先の設定が初期の状態に戻ります。

インターナビ情報を見る

インターナビ情報センターに接続すると、最新のニュースや交通情報などを取得することができます。

お知らせ

- インターナビ情報を見るには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→P214)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証(ログイン)を行わないとインターナビ情報はご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→P216)*
- インターナビ・プレミアムクラブが用意するコンテンツは随時更新されますので、コンテンツメニューなどは、本書に記載のものとは変わることがあります。

インターナビ情報センターに接続する 簡単 標準

1 **[メニュー]ボタン➔[internavi情報]にタッチする**

簡単

標準

▼

インターナビ情報画面が表示されます。

アドバイス

- internaviダイレクトを使ってインターナビ情報センターに接続することができます。→*「internaviダイレクトを使う」(P235)*

internavi ダイレクトを使う 簡単 標準

カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）から、インターナビ情報センターに接続し、よく使うインターナビ情報をすばやく呼び出すことができます。

1 **ナビゲーションの現在地画面で [ ] にタッチする**

カスタマイズメニュー（標準操作モード）、ワンプッシュメニュー（簡単操作モード）が表示されます。

2 **[internavi ダイレクト] にタッチする**

簡単

標準

▼

internavi ダイレクトのメニューが画面右側に表示されます。

お知らせ

- インターナビ情報センターに接続すると、[internavi ダイレクト] の項目は [回線切断] に変わります。→ *「接続を終了する」(P235)*
- internavi ダイレクトのメニューは、お好みの内容に設定することができます。（標準操作モードのみ）→ *「internavi ダイレクトを設定する」(P237)*

接続を終了する 簡単 標準

インターナビ情報画面やカスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）からインターナビ情報センターとの接続を終了します。

■インターナビ情報画面から終了する場合

1 **インターナビ情報画面で [回線切断] にタッチする**

→ *「インターナビ情報センターに接続する」(P234)*

▼

インターナビ情報センターとの接続が終了します。

■カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）から終了する場合

1 **ナビゲーションの現在地画面で［ ］にタッチする**

カスタマイズメニュー（標準操作モード）、ワンプッシュメニュー（簡単操作モード）が表示されます。

2 **［回線切断］にタッチする**

簡単

標準

▼

インターナビ情報センターとの接続が終了します。

コンテンツを閲覧する

簡単 標準

インターナビ情報画面のメニューにあるコンテンツは、表示された項目を選んで閲覧できます。ここでは、［最新の総合ニュース］を例にして操作を説明しています。

1 **インターナビ情報画面を表示する**

→*「インターナビ情報センターに接続する」(P234)*

2 **［最新のニュース］を選んでタッチする**

3 **［最新の総合ニュース］を選んでタッチする**

4 お好みのニュースを選んでタッチする

選んだニュースが表示されます。

お知らせ

- [読み上げ] にタッチすると、表示中の内容を読み上げます。
- [前の情報] または [次の情報] にタッチすると、他の情報に切り換えることができます。
- コンテンツ画面で [画像表示] や [地点] にタッチすると、画像や地点情報を表示することができます。
- 本文をスクロールさせるときは、▲、▼ または ⏫、⏬ にタッチします。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、電話番号にタッチしてください。
→ *「ハンズフリー電話を使う」(P292)*

internavi ダイレクトを設定する 標準

internavi ダイレクトのメニューは、お好みの内容に設定することができます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

お知らせ

- 簡単操作モードの場合は、標準操作モードで行った設定が反映されます。

1 [メニュー] ボタン ➜ [付加機能] にタッチする

2 [カスタマイズ] にタッチする

3 [internavi ダイレクト] にタッチする

現在の internavi ダイレクトのメニューが表示されます。

つづく ➜

変更したい項目を選んでタッチする

アドバイス

- メニュー項目を初期状態に戻す場合は、[初期値にする] にタッチします。

新たに登録したい項目を選んでタッチする

▼

internavi ダイレクトのメニューが変更されます。

お知らせ

- 入れ換え可能な項目は、インターナビ情報センターからダウンロードした項目です。なお、[読み上げ再開] は変更できません。

登録した情報をパーソナル・ホームページと同期する

簡単 標準

カーカルテ（→ P256）やマークリスト（→ P77）の情報をお客さまがパソコンなどで登録したパーソナル・ホームページの情報と同期させて、最新情報に更新します。

お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けのサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。（→ P214）

[メニュー] ボタン ➔ [internavi 情報] にタッチする

簡単

標準

▼

2 [すべての情報をパーソナル HP と同期する] を選んでタッチする

▼

情報が同期されます。

お知らせ

- 情報の同期は、Honda インターナビシステムとパーソナル・ホームページで日付の新しい情報に更新されます。
- 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

メールを使う

お知らせ

- メールを使うには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→P214)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証(ログイン)を行わないとメールはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→P216)*
- シークレットモードをONにしていると、メールの操作はできません。→*「シークレットモードを使う」(P328)*

メール画面を表示する

メールを使うときはメール画面を表示します。

■メール画面を表示する 簡単 標準

メール操作をするには次の手順で画面を表示させます。

1 **[メニュー]ボタン➔[internavi情報]にタッチする**

簡単

標準

2 **[メール]を選んでタッチする**

メール画面が表示されます。

■受信メールのリストを表示する

簡単 標準

メール画面で [受信リスト] にタッチする

▼

受信リストが表示されます。

アイコン	説明
(アイコン)	未読メール
(アイコン)	画像付きメール
(アイコン)	位置情報付きメール
(アイコン)	画像と位置情報付きメール
表示なし	既読メール

お知らせ

- 受信メールがない場合は選べません。
- 受信リストに保存できるメールは最大 200 件です。200 件を超えると、メールを消去しない限り、新しいメールを受信できません。
→「メールを消去する」(P254)
- 受信できるメールの文字数は、最大で全角 1000 文字です。

お知らせ

- 次のファイルをそれぞれ 1 点、添付ファイルとして受信できます。

種類	ファイル形式	ファイル容量
位置情報ファイル	POIX-H	10KB 以下
画像ファイル	BMP GIF JPEG PNG	1 件あたり 50KB 以下

受信リストを並び換える

受信リストは選んだ項目の順番に並び換えることができます。

1 受信リスト画面で [並べ換え] にタッチする

→「受信メールのリストを表示する」(P241)

アドバイス

- 画面上部の [送信者]、[タイトル]、[受信日] にタッチすると並べ換えの項目を変更できます。

2 [項目] を選んでタッチする

つづく →

並べ換える項目にタッチする

[順番] にタッチする

[昇順] または [降順] にタッチする

▼

受信リストが並び換わります。

お知らせ

- [送信者]、[タイトル] を [昇順] にすると五十音順や、アルファベット順になり [降順] にすると、[昇順] の逆に並べます。
- [受信日] を [降順] にすると日付の新しいものから順に並び、[昇順] にすると日付の古いものから順に並びます。

■送信メールのリストを表示する 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは、送信リスト画面を表示することはできません。

メール画面で [送信リスト] にタッチする

→「メール画面を表示する」(P240)

送信リストが表示されます。

	位置情報付きメール
	保存したメール
	送信予約したメール
表示なし	送信済のメール

お知らせ

- 送信リストに保存できる送信メールは最大 200 件です。200 件を超えると、メールを消去しない限り、新しいメールを作成できません。→「メールを消去する」(P254)
- 送信できるメールの文字数は、署名を含めて最大で全角 5000 文字です。(返信、転送も同様)

お知らせ

- 次のファイルを１点のみ、添付ファイルとして送信できます。

種類	ファイル形式	ファイル容量
位置情報ファイル	POIX-H	10KB以下

アドバイス

- 送信リストは送信日、宛先、タイトルの順番に並び換えることができます。*「受信リストを並び換える」（→P241）*と同様の操作となります。

メール設定 標準

メールの署名に関する設定ができます。

お知らせ

- 名前、メールアドレスは、編集できません。

■署名を入力／編集する

1 メール画面で［メール設定］にタッチする

→「メール画面を表示する」（P240）

▼

メール設定画面が表示されます。

2 ［署名］を選んでタッチする

お知らせ

- まだ、署名がなにも入力されていない場合は、手順４に進みます。

3 ［署名編集］にタッチする

4 署名を入力／編集し［入力完了］にタッチする

→「文字入力のしかた」（P38）

5 署名の内容を確認し［戻る］にタッチする

6 ［設定終了］にタッチする

▼

編集した署名が設定されます。

■署名の自動添付を設定する

入力した署名「署名を入力／編集する」(→P243) をメール作成時に自動的に添付するかしないかを選ぶことができます。

お知らせ

- 署名 (→P243) が一文字も入力されていない場合、[署名添付] を選ぶことはできません。

1 メール設定画面で [署名添付] を選んでタッチする

→「署名を入力／編集する」(P243)

2 [する] または [しない] にタッチする

[する]	署名をメール作成時、自動的に添付します。
[しない]	署名を添付しません。

3 [設定終了] にタッチする

▼

署名添付の設定が完了します。

メールを作成する 標準

1 メール画面で [メール作成] にタッチする

→「メール画面を表示する」(P240)

2 [タイトル] を選んでタッチする

3 タイトルを入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

4 [入力完了] にタッチする

5 [宛先] を選んでタッチする

▼

宛先一覧画面が表示されます。

6 宛先を入力する

- 宛先をアドレス帳から選択するとき→ *「宛先をアドレス帳から選ぶとき」(P246)*
- アドレス帳に宛先が登録されていないとき→ *「アドレスを入力するとき」(P247)*

アドバイス

- 宛先は 32 件 (To/Cc/Bcc の合計) まで入力できます。

7 [本文] を選んでタッチする

8 本文を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

9 [入力完了] にタッチする

- 位置情報を添付するときは、手順 10 に進みます。
- 位置情報を添付しないときは、手順 12 に進みます。

10 [位置情報] を選んでタッチする

お知らせ

- インターナビ・プレミアムクラブに会員登録されているナビゲーションシステムに位置情報を送ることができます。送受信した位置情報を地図上で確認したり、目的地などに設定することができます。
- メールに添付した位置情報をパソコンで受信し確認することができます。詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス :
  http://premium-club.jp/
- 位置情報は POIX 形式で添付されます。

11 [添付する] にタッチする

▼

位置情報添付画面が表示されます。

- マークリストの登録地点を添付するとき *(→ P248)*
- 地図から選んだ地点を添付するとき *(→ P249)*
- 目的地を添付するとき *(→ P249)*
- 現在地を添付するとき *(→ P249)*

お知らせ

- 位置情報の添付をしない、または添付をやめる場合は、[添付しない] にタッチしてください。

つづく →

12 次の動作にタッチする

[すぐに送信]
作成したメールを送信します。
[送信予約]
送信を予約して終了します。→*「メールを送信する / 受信する」(P250)*
[保存]
作成中のメールが送信メールリストに保存されます。後で編集して送信することができます。→ *「送信したメールを編集する」(P252)*
[中止]
メール作成を中止します。

お知らせ

- 送信するメールに署名を添付することができます。→ *「メール設定」(P243)*

■宛先をアドレス帳から選ぶとき

1 宛先一覧画面で [新規追加] を選んでタッチする

→ *「メールを作成する」(P244)*

2 [アドレス帳 (名前)] または [アドレス帳 (番号)] にタッチする

お知らせ

- [アドレス帳 (名前)] を選ぶとアドレスの名前が五十音順にリストを表示します。
- [アドレス帳 (番号)] を選ぶとアドレスのメモリー番号順にリストを表示します。

3 宛先を選んでタッチする

4 [To で送る] にタッチする

お知らせ

- 宛先はメール 1 件に 1 人以上設定してください。
- Cc または Bcc で送りたいときは [Cc で送る] または [Bcc で送る] にタッチします。
- Cc や Bcc はメールを同報するときに使います。「参考までに」といった意味があります。Cc はメールの受信者に他の誰宛に同報されているかわかるのに対し、Bcc はわかりません。ただし、受信者のメールソフトによっては Bcc が見えてしまう場合があります。

5 手順 1 ～ 4 を繰り返して、送りたい相手を選ぶ

お知らせ

- すでに宛先に設定したアドレスを選んでタッチすると、[To に変更]、[Cc に変更]、[Bcc に変更] が行えます。
- すでに宛先に設定したアドレスを編集して別のアドレスに変更することができます。すでに宛先に設定したアドレスを選んでタッチし、[アドレス編集] にタッチします。文字入力画面が表示されますのでアドレスを編集してください。→ *「文字入力のしかた」(P38)*
- すでに宛先に設定したアドレスを消去することができます。消去したいアドレスを選んでタッチし、[消去] にタッチします。

6 [完了] にタッチする

▼

宛先が設定されます。

■アドレスを入力するとき

1 宛先一覧画面で [新規追加] を選んでタッチする

→ *「メールを作成する」(P244)*

2 [キーボード入力] にタッチする

3 アドレスを入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

4 [入力完了] にタッチする

つづく →

5 [To で送る] にタッチする

お知らせ

- 宛先はメール 1 件に 1 人以上設定してください。
- Cc または Bcc で送りたいときは [Cc で送る] または [Bcc で送る] にタッチします。
- Cc や Bcc はメールを同報するときに使います。「参考までに」といった意味があります。Cc はメールの受信者に他の誰宛に同報されているかわかるのに対し、Bcc はわかりません。ただし、受信者のメールソフトによっては Bcc が見えてしまう場合があります。

6 手順 1 ～ 5 を繰り返して、送りたい相手を選ぶ

お知らせ

- すでに宛先に設定したアドレスを選んでタッチすると、[To に変更]、[Cc に変更]、[Bcc に変更] が行えます。
- すでに宛先に設定したアドレスを編集して別のアドレスに変更することができます。すでに宛先に設定したアドレスを選んでタッチし、[アドレス編集] にタッチします。文字入力画面が表示されますのでアドレスを編集してください。→ *「文字入力のしかた」(P38)*
- すでに宛先に設定したアドレスを消去することができます。消去したいアドレスを選んでタッチし、[消去] にタッチします。

7 [完了] にタッチする

▼

宛先が設定されます。

■マークリストの登録地点を添付するとき

1 位置情報添付画面で [マークリストから添付] にタッチする

→ *「メールを作成する」(P244)*

2 マークを選んでタッチする

アドバイス

- マークのリストを並び換える場合は、[マーク順] または [登録順] にタッチします。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、 (8 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

▼

マークリストの登録地点が添付されます。

■地図から選んだ地点を添付するとき

1 **位置情報添付画面で［地図から添付］にタッチする**

→「メールを作成する」(P244)

2 **添付したい地点にカーソルを合わせて［地点選択］にタッチする**

▼

選んだ地点が添付されます。

■目的地を添付するとき

1 **位置情報添付画面で［目的地を添付］にタッチする**

→「メールを作成する」(P244)

▼

目的地が添付されます。

■現在地を添付するとき

1 **位置情報添付画面で［現在地を添付］にタッチする**

→「メールを作成する」(P244)

▼

現在地が添付されます。

アドレス帳からメールを作成するとき 標準

アドレス帳画面からアドレスを選んで、メールを作成することができます。

1 アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P306)

2 メールを送りたい相手のアドレスを選んでタッチする

3 宛先にするメールアドレスにタッチする

▼

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、「メールを作成する」(→P244)の手順2以降と同じです。

メールを送信する / 受信する 簡単 標準

送信予約したメールを送信したり、メールを受信します。

お知らせ

- 簡単操作モードでは、メールの送信はできません。

1 メール画面で [メール送受信] にタッチする

→「メール画面を表示する」(P240)

簡単

標準

▼

メールが送受信され、受信リストが表示されます。

お知らせ

- 電波状態が悪いと接続されないことがあります。
- インターナビ情報センターのメンテナンスなどにより、接続されないことがあります。
- 受信リストに 1 件もメールがない場合は表示されません。

メールを読む 簡単 標準

受信したメールや送信したメールの内容を確認します。

お知らせ

- 簡単操作モードでは、送信したメールを読むことはできません。

メール画面で [受信リスト] または [送信リスト] にタッチする

→「メール画面を表示する」(P240)

表示するメールを選んでタッチする

3

[表示] にタッチする

▼

メールの内容が表示されます。

- メール本文をスクロールさせるときは、メール表示中に ▲、▼ または ⏫、⏬ にタッチします。
- 受信メールでは、[読み上げ] にタッチすると、表示中のメールの内容を読み上げます。
  →「メールの読み上げ」(P274)
- [次のメール]、[前のメール] にタッチすると、前後のメールに表示を切り換えることができます。
- [返信] にタッチすると、表示中のメールの送信者にメールを送ることができます。
  →「メールを返信する」(P252)
- [転送] にタッチすると、表示中のメールを転送することができます。→「受信したメールを転送する」(P253)
- [消去] にタッチすると、表示中のメールを消去することができます。
  →「メールを消去する」(P254)
- 画像付きのメールであれば、[画像表示] にタッチすると、画像を表示することができます。[画像保存] にタッチすると、画像リストに追加されます。
- 位置情報付きのメールであれば、[位置情報] にタッチすると、位置情報の画面が表示されます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは、[返信]、[転送] は表示されません。
- 送信メールは読み上げることはできません。

送信したメールを編集する 標準

宛先を変えて送り直したり、作成途中で保存したメールを編集することができます。

1 **メール画面で [送信リスト] にタッチする**

→「メール画面を表示する」(P240)

2 **編集するメールを選んでタッチする**

3 **[表示] にタッチする**

4 **[再編集] にタッチする**

▼

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、*「メールを作成する」(→ P244)* の手順 2 以降と同様に行います。

お知らせ

- [次のメール]、[前のメール] にタッチすると、前後のメールに表示を切り換えることができます。
- 位置情報付きのメールであれば、[位置情報] にタッチすると、位置情報の画面が表示されます。
- [消去] にタッチすると、表示中のメールを消去することができます。→「メールを消去する」(P254)

メールを返信する 標準

送信者にメールを送ることができます。

1 **返信するメールを表示する**

→「メールを読む」(P251)

2 **[返信] にタッチする**

3 **設定する項目を選んでタッチする**

設定できる項目と設定は次のとおりです。

設定項目	設定
[返信先]	[送信者のみ]、[全員]
[本文を引用]	[する]、[しない]

お知らせ

- 宛先を追加する場合は、手順 6 以降のメール作成画面で行います。

4 **設定の内容にタッチする**

設定が変更されます。

5 手 順３～４を繰り返し、必要な項目を設定する

6 [メール作成] にタッチする

▼

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、*「メールを作成する」(→ P244)* の手順２以降と同様に行います。

お知らせ

- タイトルには、もとのメールのタイトルの頭に“Re:”が付加されたものが入ります。
- 本文を引用する場合は、引用する本文の行頭に“>”が自動的に付きます。

受信したメールを転送する 標準

1 転送するメールを表示する

→ *「メールを読む」(P251)*

2 [転送] にタッチする

▼

メール作成画面が表示されます。以降の操作手順は、*「メールを作成する」(→ P244)* の手順２以降と同様に行います。

お知らせ

- タイトルには、もとのメールのタイトルの頭に“Fw:”が付加されたものが入ります。

メールを消去する 簡単 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは、送信メールの消去はできません。

1 受信リスト画面または送信リスト画面を表示する

→ *「受信メールのリストを表示する」(P241)*
→ *「送信メールのリストを表示する」(P242)*

2 消去するメールを選んでタッチする

アドバイス

- リストのメールを一括で消去する場合は、[全消去]にタッチします。

3 [消去]にタッチする

4 [消去する]にタッチする

▼

選んだメールが消去されます。

アドバイス

- メール表示中に[消去]にタッチしても消去することができます。

メールの送信者や宛先をアドレス帳に登録する 簡単 標準

お知らせ

- 宛先は“To”に設定された最初の一人目が登録の対象となります。

1 受信リスト画面または送信リスト画面で登録したいメールを選ぶ

→ *「受信メールのリストを表示する」(P241)*
→ *「送信メールのリストを表示する」(P242)*

2 [送信者登録]または[宛先登録]にタッチする

3 [新規追加登録]または[上書き追加登録]にタッチする

▼

[新規追加登録]にタッチしたときは、アドレス帳登録画面が表示されます。[上書き追加登録]にタッチしたときは、アドレス帳上書き追加画面が表示されます。

お知らせ

- アドレス帳に登録できるアドレスは最大 1000 件です。
- 登録したアドレスはアドレス帳で編集することができます。
→「アドレスを編集する」(P308)

新規追加登録

[新規追加登録] にタッチしたときは、アドレス帳に新たにアドレスを追加して登録します。

アドレス帳登録画面を表示する

→「メールの送信者や宛先をアドレス帳に登録する」(P254)

各項目の内容を入力する

→「アドレスを登録する」(P306)

[入力完了] にタッチする

送信者または宛先のメールアドレスがアドレス帳に登録されます。

上書き追加登録

[上書き追加登録] にタッチしたときは、アドレス帳ですでにあるアドレスに送信者または宛先のメールアドレスを上書きして登録します。

アドレス帳上書き追加画面を表示する

→「メールの送信者や宛先をアドレス帳に登録する」(P254)

2 上書きする登録者を選んでタッチする

3 上書き登録したいアドレスの番号を選んでタッチする

送信者または宛先のメールアドレスがアドレス帳に上書きされて登録されます。

カーカルテ

インターナビ・プレミアムクラブが提供するパーソナル・ホームページのカーカルテと登録情報を同期させて使用します。
メンテナンス記録で部品（パーツ）の交換時期を管理したり、愛車メモに車検や保険の期限など、お車に関する重要な情報を登録して、更新時期を管理したりできます。
お知らせ機能により、更新時期が近づくと画面に表示したり、メールで通知したりできるので、重要な更新を見逃しません。

お知らせ

- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*（→ P214）*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証（ログイン）を行わないとカーカルテはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*（→ P216）*
- サービス内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する

カーカルテのメンテナンス情報や愛車メモ情報をパーソナル・ホームページと同期することにより、自宅からパソコンなどを使ってメンテナンス情報や愛車メモ情報を確認できます。

お知らせ

- メンテナンス記録や愛車メモを編集したときには、パーソナル・ホームページとの同期を行ってください。
- パーソナル・ホームページとの同期が必要なときは、画面上の最終同期日の日付が以下のように表示されます。

1 ［メニュー］ボタン ➜［internavi 情報］にタッチする

簡単

標準

2 [カーカルテ] を選んでタッチする

▼

カーカルテ画面が表示されます。

3 [パーソナル HP と同期] にタッチする

▼

同期が完了すると、カーカルテ画面に戻ります。

お知らせ

- 現在時刻が GPS から受信されていない状態では、正しく同期できない場合があります。

メンテナンス記録を見る

1 [メニュー] ボタン ➜ [internavi 情報] ➜ [カーカルテ] を選んでタッチする

▼

カーカルテ画面が表示されます。

2 [メンテナンス記録] にタッチする

▼

メンテナンス記録画面が表示されます。

3 交換項目を選んでタッチする

つづく ➜

パーツには次の 4 種類のアイコンが表示されます。

:	Honda 指定パーツ
:	Honda 指定パーツ (メンテナンス期限切れ)
:	お客様の登録したパーツ
:	お客様の登録したパーツ (メンテナンス期限切れ)

お知らせ

• 交換項目 (パーツ) は、パーソナル・ホームページとの同期を行うと表示されます。詳しくは*「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」*を参照してください。*(→ P256)*

4 [パーツ情報確認] にタッチする

▼

パーツ情報確認画面が表示されます。登録された各パーツの情報を見ることができます。

お知らせ

• Honda 指定のパーツ以外に自由にパーツを追加することができます。追加したパーツは編集や消去も行えます。

→「パーツを追加する」(P258)

→「パーツの交換サイクルを変更する」(P261)

→「パーツを消去する」(P262)

パーツを追加する

メンテナンス記録にパーツを追加できます。

1 **メンテナンス記録画面を表示する**

→「メンテナンス記録を見る」(P257)

2 **[交換項目追加] にタッチする**

3 **[名称] を選んでタッチする**

4 登録したいパーツを選んでタッチする

リストにないパーツを登録する場合は、[名称入力] にタッチすると作成することができます。

5 [交換距離] を選んでタッチする

6 登録したい距離を選んでタッチする

[指定なし] または [1000km ごと] ～ [10000km ごと](1000km 単位)、[20000km ごと] ～ [100000km ごと](10000km 単位) の範囲で選択できます。

7 [交換期間] を選んでタッチする

8 登録したい期間を選んでタッチする

[指定なし] または [6 ヶ月ごと] ～ [10 年ごと] の範囲で 6 ヶ月単位で選択できます。

9 [完了] にタッチする

▼

パーツが登録されます。

お知らせ

- あらかじめ Honda が指定するパーツは除き、登録できるパーツは 20 個までです。
- 「交換距離」および「交換期間」で共に [指定なし] を設定した場合は、[完了] を選ぶことができません。
- [名称]、[交換距離]、[交換期間] 以外の項目は設定できません。

交換記録をかんたんにする

パーツを交換した当日に日付や走行距離をかんたんに記録することができます。

1 **メンテナンス記録画面を表示する**

→「メンテナンス記録を見る」(P257)

2 **記録を付けたいパーツを選んでタッチする**

3 **[かんたん交換記録] にタッチする**

お知らせ

- お客様の指定パーツを選んでいた場合は、[記録をする] にタッチします。

4 **[記録する] にタッチする**

▼

日付と走行距離が記録されます。

交換記録を詳細にする

パーツ交換の日付や走行距離をお客様ご自身で指定して記録することができます。

お知らせ

- Honda 指定のパーツで以下の操作が行えます。

1 **メンテナンス記録画面を表示する**

→「メンテナンス記録を見る」(P257)

2 **記録を付けたいパーツを選んでタッチする**

3 **[マニュアル交換記録] にタッチする**

4 **[交換時走行距離] を選んでタッチする**

5 **距離を入力し、[完了] にタッチする**

→「文字入力のしかた」(P38)

▼

走行距離が記録されます。

6 [交換実施日] を選んでタッチする

7 日付にタッチする

お知らせ

• [前月] または [次月] にタッチするとカレンダーの月を切り換えることができます。

▼

日付が記録されます。

8 [完了] にタッチする

パーツの交換サイクルを変更する

お客様が追加登録したパーツは、記録されているメンテナンス情報の交換サイクルを変更することができます。

お知らせ

• 変更できるのは、お客様が追加登録したパーツのみで、あらかじめ Honda が指定するパーツは変更できません。

1 メンテナンス記録画面を表示する

→ *「メンテナンス記録を見る」(P257)*

2 変更したいパーツを選んでタッチする

3 [交換サイクルの変更] にタッチする

4 変更したい項目を選んでタッチする

▼

以降の操作手順は、*「パーツを追加する」(→ P258)* の手順 5 以降と同じです。

パーツを消去する

お客様が追加登録したパーツは、リストから消去することができます。

お知らせ

- 消去できるのは、お客様が追加登録したパーツのみで、あらかじめ Honda が指定するパーツは消去できません。

1 メンテナンス記録画面を表示する

→「メンテナンス記録を見る」(P257)

2 消去したいパーツを選んでタッチする

3 [交換項目の消去] にタッチする

4 [消去する] にタッチする

▼

パーツが消去されます。

お知らせの設定をする

パーツ交換時期が近づいたことを知らせる方法について設定します。

1 メンテナンス記録画面を表示する

→「メンテナンス記録を見る」(P257)

2 [お知らせ設定] にタッチする

3 [メッセージ表示 (起動時)] を選んでタッチする

4 [する] または [しない] にタッチする

[する] に設定すると、交換時期のおよそ 30 日前にエンジンスイッチを "I" または "II" にすると、お知らせメッセージを画面に表示します。[しない] に設定すると、メッセージは表示されません。

5 ［お知らせメール］を選んでタッチする

6 ［する］または［しない］にタッチする

［する］に設定すると交換時期のおよそ30日前にメールで通知します。［しない］に設定すると、メールによる通知はありません。

お知らせが設定されます。
お知らせ設定を有効にするにはパーソナル・ホームページの同期が必要です。
→*「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」(P256)*

愛車プロフィールを設定する

適切なメンテナンス時期をお知らせするために、普段の車の利用状態を設定します。

お知らせ

- 愛車プロフィールをご利用になるには、パーソナル・ホームページとの同期が必要です。詳しくは、*「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」(→P256)* を参照してください。

1 カーカルテ画面を表示する
→*「メンテナンス記録を見る」(P257)*

2 ［愛車メモ］にタッチする

3 ［愛車プロフィール］にタッチする

▼

愛車プロフィール画面が表示されます。

お知らせ

- ［車の利用］以外の項目は、本機の操作で編集できません。パーソナル・ホームページで編集してください。

車の利用状態を設定する

普段の車の利用状態について条件を設定します。

愛車プロフィール画面を表示する

→*「愛車プロフィールを設定する」(P263)*

[車の利用] にタッチする

3 該当する項目を選んでタッチする

タッチするたびに、[はい] と空欄が入れ換わります。走行距離の 30% 以上が当てはまる項目のみ [はい] にしてください。

4 [設定終了] にタッチする

▼

車の利用状態が設定されます。

緊急連絡先を設定する

緊急時の連絡先として Honda 販売店の担当者や保険会社、ロードサービスの電話番号などを登録します。

お知らせ

- 緊急連絡先を設定するには、パーソナル・ホームページとの同期が必要です。詳しくは、*「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」*(→*P256*) を参照してください。

1 カーカルテ画面を表示する

→*「メンテナンス記録を見る」(P257)*

2 [愛車メモ] にタッチする

3 [緊急連絡先] にタッチする

4 [My ディーラー]➜[担当者] を選んでタッチする

お知らせ

- My ディーラーの [担当者] 以外の項目は、本機の操作で編集できません。パーソナル・ホームページで編集してください。

5 名前を入力し、[入力完了] にタッチする

→「文字入力のしかた」(P38)

6 [任意保険] にタッチし、設定する項目を選んでタッチする

7 文字や数字を入力し、[入力完了] または [完了] にタッチする

→「文字入力のしかた」(P38)

8 [ロードサービス] にタッチし、設定する項目を選んでタッチする

9 文字や数字を入力し、[入力完了] または [完了] にタッチする

→「文字入力のしかた」(P38)

▼

緊急連絡先が登録されます。

お知らせ

- 緊急連絡先画面から電話をかける場合は、[発信] にタッチします。
- 電話のメニューから緊急連絡先に電話をかけることもできます。→「緊急連絡先に電話する」(P303)

マイカースケジュールを設定する

マイカースケジュールに設定しておくと、車検時期が近づいたときなどに画面のメッセージやメールで教えてくれます。

1 カーカルテ画面を表示する

→「メンテナンス記録を見る」(P257)

2 [愛車メモ] にタッチする

3 [マイカースケジュール] にタッチする

4 項目を選んでタッチする

5 設定したい予定にタッチする

[車検]、[任意保険]、[ロードサービス] は、[1 年後]、[2 年後]、[3 年後] から選べます。
[免許] は、[2 年後]、[3 年後]、[5 年後] から選べます。
必要な項目すべてに手順 4 ～ 5 を繰り返してスケジュールを入力します。

つづく →

直接日付を指定する場合

[カレンダー] にタッチすると、カレンダー画面が表示されます。

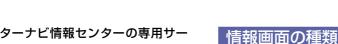
お知らせ

- [前月] または [次月] にタッチするとカレンダーの月を切り換えることができます。

[お知らせ設定] にタッチする

お知らせ設定をする

以降の操作手順は、*「お知らせの設定をする」**(→ P262)* の手順 3 以降と同じです。

インターナビ・ウェザーを見る 標準

インターナビ情報センターの専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を画面に表示させることができます。

お知らせ

- インターナビ・ウェザーを見るには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→P214)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証(ログイン)を行わないとインターナビ・ウェザーのサービスはご利用できません。詳しくは*「通信機能を使う」の「準備」*を参照してください。*(→P216)*
- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

情報画面の種類

気象情報

気象情報は、目的地または任意の地点の気象情報を見る操作を行ったときのほか、目的地を設定して最初のルート計算を行うときなどに取得されます。

気象情報のデータの取得が終わったあとに現在地画面で [現在地] ボタンを押すか、スクロールすると、自車位置周辺または、カーソル地点周辺の天気が気象予報アイコンで画面左上に表示されます。

気象予報アイコン

現在地画面やスクロール中の画面では、簡易気象予報アイコンが表示されます。(例 : ■)

現在地やカーソル地点周辺が気象情報の取得エリア外のときは、画面左上に「 未 」または「 未受信 」と表示されます。

[詳細な天気情報表示] を [する] に設定していると、気象情報の取得後に天気予報や台風情報、警報・注意報などの詳細な天気情報を表示させることができます。

→ *「取得情報の設定をする」(P272)*
→ *「詳細な天気情報を見る」(P271)*

3D マップ、ドライビングマップ表示時は、気象情報に応じて空の色が変化します。

気象警戒エリアの表示

地図のスケールが 5km 以下の場合に表示している地図内に、降雨・降雪、落雷、津波の気象情報がある気象警戒エリアを含んでいれば、そのエリアに対して各マークを表示します。

降雨・降雪のマークは、降水量によって変わります。

降水量	降雨メッシュ	降雪メッシュ
3～9mm		
10～19mm		
20～39mm		
40mm 以上		

雷は マークで表示されます。

津波の表示は、予報の規模によって表示が変わります。

津波注意報	津波警報	大津波警報

お知らせ

- 地図上に降雨・降雪、落雷、津波のマークは以下のすべての状態がそろっているとき表示できます。
  - 5km 以下のスケールのとき
  - [気象警戒エリア表示] が [する] のとき
  → 「取得情報の設定をする」(P272)
- 気象予報アイコンの天気マークは、表示されている時刻の予報天気を示しています。
- 降雨・降雪、落雷、津波の現況情報は、取得後 30 分を期限として表示されます。
- 気象情報は、要求に応じて専用サーバーから取得します。データが取得できていないときは、気象情報は表示されません。
- 専用サーバーによる天気予報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。

天気予報表示

受信した気象情報に天気予報の情報が含まれているときは､「今日･明日の天気」または「週間天気予報」を見ることができます。

今日・明日の天気

週間天気予報

お天気のアイコンには次の種類があります。

今日・明日の天気アイコン

天気
快晴
晴れ
薄曇り
曇り
弱い雨 (10mm/h 未満)
強い雨 (10mm/h 以上)
みぞれ
弱い湿雪 (5mm/h 未満)
強い湿雪 (5mm/h 以上)
弱い乾雪 (5mm/h 未満)
強い乾雪 (5mm/h 以上)

週間天気予報アイコン

天気	天気
晴れ	雨
晴れのち曇り	雨のち晴れ
晴れのち雨	雨のち曇り
晴れのち雪	雨のち雪
晴れ時々曇り	雨時々晴れ
晴れ時々雨	雨時々曇り
晴れ時々雪	雨時々雪
曇り	雪
曇りのち晴れ	雪のち晴れ
曇りのち雨	雪のち曇り
曇りのち雪	雪のち雨
曇り時々晴れ	雪時々晴れ
曇り時々雨	雪時々曇り
曇り時々雪	雪時々雨

お知らせ

- [マーク説明] にタッチすると、天気アイコンの説明を表示させることができます。

台風情報

受信した気象情報に台風の情報が含まれているときは、進路や詳細情報を表示します。

警報・注意報

受信した気象情報に警報・注意報の情報が含まれているときは、発表時刻、該当地域、内容を表示します。

気象情報を取得する

目的地や任意の地点の気象情報を見ることができます。

[メニュー] ボタン ➜[internavi 情報] にタッチする

標準

2　[internavi ウェザー] を選んでタッチする

3　[任意地点天気情報] または [目的地方面天気情報]、[現在地周辺の天気情報] を選んでタッチする

[目的地方面天気情報] または [現在地周辺の天気情報] を選んだ場合は、気象情報の画面 *(→ P267)* が表示されます。[任意地点天気情報] を選んだ場合は、手順４へ進みます。

アドバイス

- 回線を切断する場合は、カスタマイズメニュー (ワンプッシュメニュー)*(→ P26)* で [回線切断] にタッチします。

4　気象情報が知りたい地点にカーソルを合わせて [internavi VICS 接続] にタッチする

▼

気象情報が取得されます。

→「気象情報」(P267)

お知らせ

- サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は継続されます。

アドバイス

- 目的地を設定しているときに、カスタマイズメニューから [internavi ダイレクト] → [internavi ウェザー] にタッチすると、目的地周辺の気象情報を表示させることができます。→ *「internavi ダイレクトを使う」(P235)*
- [ルート案内開始時連動取得] を [する] に設定しておくと、目的地設定後の最初のルート計算時に自動的に気象情報が取得されます。
  → *「機能設定」(P182)*
  → *「取得情報の設定をする」(P272)*

詳細な天気情報を見る

気象情報を取得すると、さらに「今日・明日の天気」と「週間天気予報」を見ることができます。台風情報や警報・注意報がある場合は、優先して表示されます。

お知らせ

- 詳細な天気情報を見るには、[詳細な天気情報表示] を [する] に設定しておく必要があります。→ *「取得情報の設定をする」(P272)*

1 気象情報を取得する

→ *「気象情報を取得する」(P270)*

今日・明日の天気予報が表示されます。
→ *「天気予報表示」(P268)*

警報・注意報があるとき

取得した気象情報に警報・注意報が含まれていると、警報・注意報情報の画面が表示されます。

→ *「警報・注意報」(P269)*

台風情報があるとき

取得した気象情報に台風情報が含まれていて、案内中のルートが台風の予想進路にあたる場合には、台風情報の画面が表示されます。

→ *「台風情報」(P269)*

2 [次の情報] または [前の情報] にタッチし、見たい情報を表示する

お知らせ

- 取得した気象情報に詳細な天気情報が含まれていないときは、表示されません。
- インターナビ情報センターからのお知らせ情報を受信した場合は、最初にお知らせが表示されます。
- インターナビ VICS の簡易図形を受信した場合は、気象情報の前に表示されます。([簡易図形割込み](→ *P182*) が [する] のとき)

つづく →

お知らせ

- 取得した気象情報に台風情報や警報・注意報が含まれる場合は、天気予報画面の前にこれらの情報が表示されます。
- ルート計算などでナビゲーションシステムが自動的に取得した気象情報に、台風情報や警報・注意報が含まれていた場合にも、台風情報や警報・注意報の画面が表示されます。

取得情報の履歴を確認する

これまで取得した気象情報を 20 件まで表示することができます。

1 **[メニュー] ボタン ➜[internavi 情 報]➜[internavi ウ ェ ザ ー] にタッチする**

internavi ウェザー画面が表示されます。

2 **[取得情報履歴] を選んでタッチする**

履歴リストが表示されます。

3 **確認したい履歴を選んでタッチする**

お知らせ

- 履歴を消去するときは、[全消去] にタッチします。

4 **確認したい詳細情報を選んでタッチする**

[天気予報]、[警報注意報]、[台風情報] から選択できます。なお、選んだ履歴に存在しない詳細情報は表示されません。

▼

詳細情報が表示されます。

取得情報の設定をする

1 **[メニュー] ボタン ➜[internavi 情 報]➜[internavi ウ ェ ザ ー] にタッチする**

internavi ウェザー画面が表示されます。

2 **[取得情報設定] にタッチする**

3 **項目を選んでタッチする**

設定項目	設定内容
[気象警戒エリア表示]	降雨、降雪、雷、津波のアイコンを地図に表示するかしないかを選びます。
[気象予報アイコン表示]	地図画面の左上に気象予報アイコンを表示するかしないかを選びます。
[気象警戒エリアお知らせ]	ルート上に注意すべき警戒エリアがあった場合に、案内をするかしないかを選びます。
[ルート案内開始時連動取得]	[する] に設定すると、目的地設定後のルート計算時にインターナビ VICS の交通情報を受信したとき、同時に天気情報を取得することができます。 また、VICS 設定の [情報受信接続設定] を [状況変化時]*(→ P181)* に設定していたとき、サーバーに接続して天気情報に変化があれば自動的に情報を取得することができます。
[詳細な天気情報表示]	天気情報取得後に詳細な天気情報を表示するかしないかを選びます。
[天気音声案内]	[ルート案内開始時連動取得] が [する] のとき、ルート計算後、取得した到着予想時刻の天気予報および警戒・注意報の内容を読み上げるか読み上げないかを選ぶことができます。

アドバイス

- すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期値にする] にタッチします。

4 [する] または [しない] にタッチする

5 手順 3 ～ 4 を繰り返し、各項目を設定する

6 [設定終了] にタッチする

取得情報の設定が完了します。

読み上げ機能について

走行中は安全のため、コンテンツ画面の文字情報やメールの内容は画面に表示されません。
受信したメールや読み上げ機能に対応したコンテンツ画面では、内容を読み上げることができます。

- 読み上げる内容が表示されている内容と若干異なる場合があります。

コンテンツ画面の読み上げ

1 **コンテンツ表示画面で [読み上げ] にタッチする**

▼

読み上げ画面が表示され、自動的に読み上げが開始します。

お知らせ

- [停止] にタッチすると、読み上げを終了します。再度読み上げる場合は、[再生] にタッチします。
- [前の情報] または [次の情報] にタッチすると、読み上げる内容を選ぶことができます。

お知らせ

- 音量を調節する場合は、[−] または [＋] にタッチします。
- 元の情報画面に戻る場合は、[本文表示] にタッチします。

メールの読み上げ

1 **メール画面で [メール読み上げ] にタッチする**

→「メール画面を表示する」(P240)

簡単

標準

▼

読み上げ画面が表示され、自動的に読み上げが開始します。

お知らせ

- 読み上げさせることができるのは、受信メールのみです。
- [次のメール] または [前のメール] にタッチすると、他のメールを読み上げることができます。

アドバイス

- 受信メール表示画面でも右側のメニューから [読み上げ] にタッチすると、メールを音声で読み上げることができます。

- 簡単操作モードでは送信メール画面を表示することはできません。

再度読み上げるには

直前に読み上げたメールや情報画面の内容を再度読み上げることができます。

1 **internavi ダイレクトメニューを表示する**

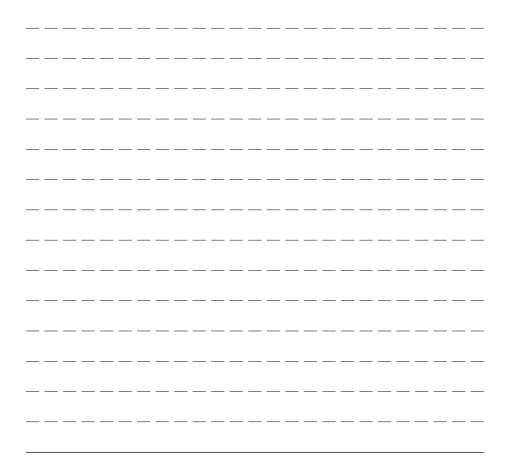
→ *「internavi ダイレクトを使う」(P235)*

[読み上げ再開] にタッチする

▼

読み上げ画面が表示され、直前の内容が読み上げられます。

お知らせ

- 読み上げた内容がない場合、[読み上げ再開] は表示されません。
- 読み上げた内容は、エンジンスイッチを "0" にするまで消えません。
- 読み上げを開始しないときもあります。

カードを使う 標準

カードを接続する 標準

ご自宅のパソコンでインターナビ・プレミアムクラブのホームページからスポット情報をPCカードにダウンロードすると、そのスポット情報をナビゲーションシステムのマークリストに追加することができます。
また、ナビゲーションシステムに登録された画像やマークリストを、保存したり読み込むことができます。さらに、PCカードに保存された画像を壁紙に設定することができます。

お願い

- 読み込みや書き込みの最中にPCカードを抜くと保存されたデータが消えてしまう場合がありますので、カードを途中で抜かないでください。
- PCカードは精密機器です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- 車内に放置するなどの要因による破損がありましても、保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 画像の設定(または変更)操作をした直後は、エンジンスイッチを"0"にしたり、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

お知らせ

- PCカードは、Hondaインターナビシステム対応のPCカードを使用してください。
- PCカードの使いかたに関する情報は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページで掲載しています。
  ホームページアドレス:
  http://premium-club.jp/
- Hondaインターナビシステムでお使いのPCカードにHondaインターナビシステム以外のデータを保存するとデータが破損するおそれがあります。PCカードはHondaインターナビシステム専用でご使用になることをお勧めします。

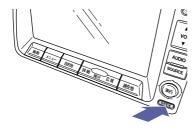
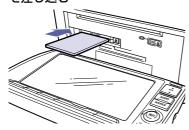
PC カードの入れかた

ナビゲーションシステム本体に PC カードを差し込みます。

⚠ 注意

- CD、DVD ビデオディスクを出し入れしたあとは、必ずパネルを閉めてください。パネルが開いていると、衝突したときなどにパネルにぶつかって思わぬ事故につながります。

1 [OPEN] ボタンを押す

パネルがスライドします。

2 PC カード挿入口に PC カードを差し込む

お知らせ

- おもて面を上にして、カードに記載されている矢印の向きに差し込んでください。
- PC カードの [⏏] ボタン (PC カード取り出しボタン) が手前に出るまでしっかりと差し込んでください。

PC カードの出しかた

1 PC カードの [⏏] ボタン (PC カード取り出しボタン) を押す

▼

PC カードが出てきます。
取り出した PC カードはケースに入れて保管してください。

2 [CLOSE] ボタンを押し、パネルを閉める

パネルがスライドします。

■ MP3/WMA ファイルについて

ご自宅のパソコンなどで MP3 ファイルまたは、WMA ファイルを PC カードに収録すると、サウンドコンテナで再生することができます。

→「MP3 ファイルについて」(P339)
→「WMA ファイルについて」(P341)
→「サウンドコンテナの聞きかた」(P388)

カードの操作 標準

PCカードは工夫しだいでさまざまな用途に利用できます。例えば、大切なデータのバックアップや友人とのデータ交換などのように、Honda インターナビシステムをさらに活用するための補助記憶媒体として役立ちます。

カードの詳細情報を確認する

PCカードの名称、種別、使用容量、空き容量を確認することができます。

[メニュー]ボタン➔[付加機能]にタッチする

[各種情報]にタッチする

3 [PCカード情報]にタッチする

▼

PCカードの詳細情報が表示されます。

お知らせ

• [初期化する]にタッチするとPCカードを初期化することができます。→ *「PCカードを初期化する」(P284)*

カードの保存情報を確認する

PC カードに保存されている情報を確認することができます。

お知らせ

- 本機で PC カードの保存情報を確認できる件数は次のとおりです。

壁紙	200 件
アドレス帳	1000 件
スケジュール	全てのスケジュール
マークリスト	200 件
ユーザーランドマーク非表示設定データ	100 件
回避エリア	100 件

- PC カードの容量によって、上記の件数を保存できないことがあります。
- 1 つあたり 2MB 以上のファイルは認識されません。
- 壁紙、アドレス帳では、PC カード内のフォルダ (ディレクトリ) は 8 階層 (ルートディレクトリを含む) まで認識できます。(スケジュールはルートディレクトリのみ)
- 壁紙で保存できる画像ファイルの形式は JPEG、BMP です。
- 画像が付いたマークも保存できます。
- アドレス帳は本機の操作で、PC カードに保存することはできません。アドレス帳を本機に読み込むには、あらかじめご自宅のパソコンなどで、vCard 形式のデータを PC カードに保存しておく必要があります。
- シークレットモードが設定されているとマークリストのマーク情報およびアドレス帳を確認することができません。→ *「シークレットモードを使う」(P328)*

1 ［メニュー］ボタン ➔［付加機能］にタッチする

2 ［データ編集］にタッチする

3 ［PC カード編集］にタッチする

4 ［PC カードデータ］にタッチする

▼

PC カードデータのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- ［ナビ本体データ］にタッチすると、ナビ本体側の情報を編集することができます。→ *「ナビ本体側の情報を編集する」(P283)*

つづく ➔

お願い

- 保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PCカードを抜かないでください。

お知らせ

- PCカードの容量が不足していると、メッセージが表示され、保存することができません。

カードの保存情報を編集する

PCカード内に保存された各情報を編集することができます。

PCカードデータのリスト画面で、編集したい項目を選んでタッチする

→ *「カードの保存情報を確認する」(P281)*

[個別編集] にタッチする

- 選んだ項目すべてのデータをハードディスク内に保存する場合は、[一括コピー] にタッチします。

各項目の編集画面が表示されます。以降の操作は、次の参照項目と同様に行います。

PCカードの編集項目

[壁紙]	*「画像を確認する」(→P313)* と同様の操作で、壁紙の設定、確認、消去が行えます。
[アドレス帳]	*「PCカードからアドレス帳を読み込む」(→P311)* と同様の操作で、PCカードからのデータ読み込み、消去が行えます。
[スケジュール]	*「PCカードへのスケジュールの保存／読み込み」(→P322)* と同様の操作で、PCカードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[マークリスト]	*「PCカードへのマークの保存／読み込み」(→P82)* と同様の操作で、PCカードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[ユーザーランドマーク]	*「PCカードへのユーザーランドマークの保存／読み込み」(→P194)* と同様の操作で、PCカードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[回避エリア]	*「PCカードへの回避エリア情報の保存／読み込み」(→P206)* と同様の操作で、PCカードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。
[非表示設定データ]	*「PCカードへの非表示設定データの保存／読み込み」(→P199)* と同様の操作で、PCカードへの保存、読み込み、消去を行うことができます。

ナビ本体側の情報を編集する

ハードディスク内に保存された各情報を編集することができます。

1 **PC カードデータのリスト画面で、[ナビ本体データ] にタッチする**

→ *「カードの保存情報を確認する」(P281)*

2 **編集したい項目にタッチする**

3 **[個別編集] にタッチする**

 お知らせ

- 選んだ項目すべてのデータを PC カード内に保存する場合は、[一括コピー] にタッチします。
- アドレス帳は [一括コピー] を選ぶことはできません。(本機から PC カードにアドレス帳のデータを保存することはできません。)

▼

各項目の編集画面が表示されます。以降の操作は、次の参照項目と同様に行います。

 お願い

- 保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを “0” にしたり、PC カードを抜かないでください。

ナビ本体側の編集項目

[壁紙]	壁紙画面が表示され、*「画像を確認する」(→ P313)* と同様の操作で、壁紙の設定、確認、消去が行えます。
[アドレス帳]	アドレス帳のリストが表示され、*「アドレス帳を登録 / 編集する」(→ P306)* と同様の操作で、新規登録、詳細情報の編集、消去などが行えます。
[スケジュール]	スケジュールリストが表示され、*「スケジュールリストを見る」(→ P321)* と同様の操作で、実行、編集、消去が行えます。
[マークリスト]	マークのリスト画面が表示され、*「マークを登録 / 編集する」(→ P77)* と同様の操作で、目的地セット、マーク情報編集、消去、パーソナル・ホームページとの同期などが行えます。
[ユーザーランドマーク]	ユーザーランドマークのリストが表示され、*「ユーザーランドマークを登録 / 編集する」(→ P192)* と同様の操作で、新規登録、マーク情報編集、消去などが行えます。
[回避エリア]	回避エリアのリストが表示され、*「回避エリアを登録 / 編集する」(→ P203)* と同様の操作で、新規登録、回避エリア情報編集、消去などが行えます。
[非表示設定データ]	非表示設定データのリストが表示され、*「非表示設定データを解除する」(→ P198)* と同様の操作で、非表示にしたランドマークを再び地図上に表示させることができます。

PC カードを初期化する 標準

PC カードを初期化すると、PC カード内のデータをすべて消去することができます。

お願い

- データを消去すると、復元することはできません。重要なデータでないことを確認してから消去してください。

[メニュー] ボタン➜[付加機能] にタッチする

[各種情報] にタッチする

3

[PC カード情報] にタッチする

4

[初期化する] にタッチする

5

[初期化する] にタッチする

▼

PC カードが初期化されます。

お願い

- 初期化中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを “0” にしたり、PC カードを抜かないでください。

ハンズフリー電話を使う

準備

ハンズフリー電話を使う前に携帯電話を接続します。

ハンズフリー電話について

話しかたによっては相手先に声が伝わりにくい場合や、相手の声が聞こえにくい場合があります。ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより不自然な音となる場合があります。

お願い

- 交通量の多い市街地や狭い道での操作は避けてください。

お知らせ

- 通話時は、大きめの声ではっきりとお話しください。
- 電話機のノイズキャンセラー機能、パワーセーブ機能はなるべく「OFF」に設定しておいてください。
- 通話中は窓を閉めてお話しください。
- Bluetooth 方式以外の携帯電話を接続する場合は、別売の接続ケーブルが必要になります。Honda 販売店にご相談ください。
- 携帯電話の接続コネクターからは、携帯電話用の電源は供給されていません。
- 携帯電話は、PDC 方式、au(CDMA 1X)方式および Bluetooth(ブルートゥース) 方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。

お知らせ

- Bluetooth 接続された携帯電話を直接操作して発信すると、携帯電話の機種によっては、ハンズフリー通話にならない場合があります。
- Bluetooth 通信機能のない、NTT ドコモの「FOMA/ フォーマ」には対応しておりません。
- Bluetooth 通信機能のない、ソフトバンクの「3G」には対応しておりません。
- Bluetooth 通信機能のない、au の「CDMA 1X WIN」には、一部の機種を除いて対応しておりません。
- Bluetooth 環境でパケット通信中は、Honda インターナビシステムで電話を受けることができません。
- 携帯電話の対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://premium-club.jp/

※「FOMA/ フォーマ」は NTT ドコモの登録商標です。

携帯電話を接続する

携帯電話の接続のしかたについては*「通信機能を使う」の「準備」(→ P216)* を参照してください。

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」、「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。

ハンズフリー電話の設定 簡単 標準

- ワンタッチダイヤル、電話帳、発信着信履歴にはシークレットモードが設定されています。シークレットモードを設定すると電話帳、発着信履歴はメニュー画面から選択できなくなります。また、ワンタッチダイヤルでは、登録されている項目が「＊」で表示されます。→*「シークレットモードを使う」(P328)*

電話の設定をする

通話中画面表示や自動着信の設定、通話音量、着信音量の設定方法を説明します。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[設定を変える]➜[電話設定] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[機能設定] ➜[電話設定] にタッチする

▼

通信機能設定画面が表示されます。

お知らせ

- [メニュー] ボタン→ [電話](簡単操作モードは [電話をかける]) → [電話設定] からも同様に設定できます。

2 **設定する項目を選んでタッチする**

設定できる項目と設定は次のとおりです。

設定項目	設定
[アドレス帳読み込み]	→*「携帯電話の電話帳を読み込む」(P289)*
[アドレス帳追加]	→*「携帯電話の電話帳を読み込む」(P289)*
[通話中画面表示]	**[する]**、[しない]
[自動着信]	**[する]**、[しない]
[電話着信音量]	7段階(0含まず)**[4]**
[電話通話音量]	7段階(0含まず)**[4]**

※太字は初期状態を示します。

つづく ➔

使う通信機能を
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテンツ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

お知らせ

- [自動着信] を [する] に設定しても、携帯電話のメッセージサービス、留守番サービス、転送サービスを 5 秒より短い設定にしていた場合や、呼出しなしにしておいた場合は、自動着信せず、携帯電話の設定が優先されます。

手順 2 を繰り返し、項目を設定する

アドバイス

- [初期値にする] にタッチします。

[設定終了] にタッチする

通話音量 / 着信音量を調節する

スピーカーから聞こえてくる相手の声の大きさ、または電話がかかってきたときにスピーカーから聞こえてくる着信音の大きさを調節することができます。

電話設定画面で [電話着信音量] または [電話通話音量] を選んでタッチする

→ *「電話の設定をする」(P287)*

2 [−] または [＋] にタッチする

3 [決定] にタッチする

音量が設定されます。

アドバイス

- 通話中に通話音量を調節するには [通話音量] の [−] または [＋] にタッチします。

電話帳

電話帳は、アドレス帳 *(→ P306)* に登録された名前と電話番号を抜粋して表示したものです。アドレス帳に登録した電話番号を確認したり電話をかけることができます。

■携帯電話の電話帳を読み込む

携帯電話に登録されている電話番号のリストをアドレス帳 *(→ P306)* に読み込むと、ハンズフリー機能の電話帳として使用できます。電話番号は、最大 1000 件の転送ができます。

アドバイス

- アドレス帳の登録 / 編集について詳しくは、*「アドレス帳を登録 / 編集する」(→ P306)* を参照してください。

お知らせ

- 読み込み中に [中止] にタッチすると、読み込みを中止します。
- 一度読み込みを完了したアドレス帳は、[アドレス帳読み込み] で新しく読み込むまで保持されます。
- [アドレス帳読み込み] で新しく読み込むと、すべてが上書きされ、古いアドレス帳は消去されます。
- グループ番号が 20 番以降の電話帳を読み込むとアドレス帳 *(→ P306)* をグループ番号順に表示したとき、“ ＊ ” で管理されます。
- 「 読み 」のない電話帳を読み込むとアドレス帳 *(→ P306)* を名前順に表示したとき、“ ＊ ” で管理されます。
- 携帯電話の機種によっては、電話番号を 1000 件まで読み込めない場合があります。
- 携帯電話側にシークレットの設定がされているものは、読み込まれません。
- 携帯電話の種類によっては、読み込んだ登録名称が正しく表示できないことがあります。

1 **電話設定画面で [アドレス帳読み込み] または [アドレス帳追加] を選んでタッチする**

→ *「電話の設定をする」(P287)*

[アドレス帳読み込み]	現在のアドレス帳のデータがすべて消去され、携帯電話からデータを読み込みます。
[アドレス帳追加]	携帯電話からデータを読み込み、現在のアドレス帳のデータに追加されます。[アドレス帳追加] を選んだ場合は、手順 3 に進みます。

お知らせ

- 名前のないデータは電話帳には表示されません。

[読み込む] にタッチする

Bluetooth 接続の場合、この後は携帯電話側から電話帳データを転送する操作を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

つづく →

お知らせ

- Bluetooth 対応の携帯電話から電話帳を読み込む方法について、詳しくはインターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://premium-club.jp/

3 携帯電話の暗証番号を入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

 [完了] にタッチする

▼

データが転送されます。

お知らせ

- 暗証番号を入力すると、他人に読み取られないように“＊”で表示されます。
- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を次の 2 種類用意している場合があります。
  - 電話機本体の各種機能を操作するためのもの
  - 通信会社による各種サービスを一般電話から利用するためのもの (携帯電話契約時に登録した暗証番号)

  ご利用の携帯電話によっては、どちらの暗証番号を入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。

■電話帳を確認する

電話帳を確認することができます。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[電話をかける] にタッチする

標準

[メニュー] ボタン ➜[電話] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

2 [電話帳] にタッチする

電話帳画面が表示されます。

■電話帳を消去する

電話帳画面から電話帳のデータを消去することはできません。電話帳のデータを消去する場合は、アドレス帳から行います。→ *「アドレスを消去する」(P308)*

ワンタッチダイヤル

■登録する

携帯電話からアドレス帳に電話番号データを読み込むと、メモリー番号の小さい順に 5 件のデータが、自動的にワンタッチダイヤルに登録されます。
登録された電話番号データは次の手順で変更できます。

電話帳画面を表示する

→ *「電話帳を確認する」(P290)*

登録したい相手を選んでタッチする

3 [詳細情報] にタッチする

▼

アドレス帳の詳細情報が表示されます。

- [(電話番号)] または [発信] にタッチすると、選んだ相手に電話をかけることができます。→ *「電話帳でかける」(P293)*

4 登録したいワンタッチ番号にタッチする

▼

選んだワンタッチ番号に電話番号データが登録されます。

 お知らせ

- 再度、携帯電話からアドレス帳に電話番号を読み込むと、メモリー番号の小さい順に 5 件のデータでワンタッチダイヤルが上書きされます。
- 別の電話番号をワンタッチダイヤルに登録、またはアドレス帳のデータを消去 (*→ P308)* するまで、ワンタッチダイヤルは消去できません。
- 読み込んだデータに情報がない詳細項目は空白になります。また、各項目の内容を編集する場合は、アドレス帳から行います。→ *「アドレスを編集する」(P308)*

ハンズフリー電話を使う

電話をかける

1 **ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押す**

電話のメニューが表示されます。

お知らせ

- [メニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) にタッチしても電話のメニューが表示されます。→ *「電話帳を確認する」(P290)*

[ダイレクト発信] にタッチする

電話番号を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

[発信] にタッチする

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。
- 通話中画面表示を [しない] に設定し、現在地を表示している場合、通話中は画面左に ☎ が表示されます。

5 **通話が終了したら、ハンドルの [☎] オンフックスイッチを押して、電話を切る**

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、通話中に次の操作ができます。
  - [通話録音]
    通話内容を約 30 秒録音します。
    → *「通話録音するには」(P301)*
  - [通話音量]
    [−] または [+] にタッチして相手の声の大きさを調節します。
    → *「通話音量 / 着信音量を調節する」(P288)*
  - [終了]
    電話を切ります。

ワンタッチダイヤルでかける

お知らせ

- ワンタッチダイヤルは走行中も操作することができます。

1 ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す

電話のメニューが表示されます。

お知らせ

- [メニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) にタッチしても電話のメニューが表示されます。→ *「電話帳を確認する」(P290)*

2 電話をかけたい相手にタッチする

ワンタッチダイヤル

通話が開始されます。

3 通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] にタッチしても電話を切ることができます。

電話帳でかける

1 ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す

電話のメニューが表示されます。

お知らせ

- [メニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) にタッチしても電話のメニューが表示されます。→ *「電話帳を確認する」(P290)*

2 [電話帳] にタッチする

3 電話をかけたい相手を選んで [発信] にタッチする

アドバイス

- 画面上部の「あ、い、う・・・(名前順)」、「0 ～ 49、50 ～ 99・・・(メモリー番号順)」または「Gr1、Gr2・・・(グループ番号順)」にタッチするとリストを切り換えることができます。

つづく →

アドバイス

- [リスト表示順] にタッチすると [名前順]、[メモリ番号順]、[グループ順] に電話帳の表示を並び換えることができます。
- 電話番号が複数登録されている場合は、次の画面が表示されますので電話番号を選んで [発信] にタッチします。

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

4 通話が終了したら、ハンドルの [☎] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] にタッチしても電話を切ることができます。

履歴から電話をかける

1 ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押す

電話のメニューが表示されます。

お知らせ

- [メニュー] ボタンを押して [電話](簡単操作モードでは [電話をかける]) にタッチしても電話のメニューが表示されます。→ *「電話帳を確認する」(P290)*

2 [発信着信履歴] にタッチする

3 [発信履歴] または [着信履歴] にタッチする

4 電話をかける履歴を選んで [発信] にタッチする

▼

通話が開始されます。

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

5 **通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る**

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] にタッチしても電話を切ることができます。

履歴をアドレス帳に登録する

履歴の電話番号をアドレス帳 (→ P306) に登録すると、電話帳 (→ P289) で使用できるようになります。

1

簡単

[メニュー] ボタン ➔ [電話をかける] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➔ [電話] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

2 **[発信着信履歴] にタッチする**

履歴のリストが表示されます。

3 **[発信履歴] または [着信履歴] にタッチする**

4 **登録したい履歴を選んでタッチする**

5 **[新規追加] または [上書き追加] にタッチする**

▼

[新規追加] にタッチしたときは、アドレス帳登録画面が表示されます。
[上書き追加] にタッチしたときは、アドレス帳上書き追加画面が表示されます。

新規追加を選んだとき

[新規追加] を選んだ場合は、アドレス帳に新たにアドレスを追加して登録します。

アドレス帳登録画面を表示する

→ *「履歴をアドレス帳に登録する」(P295)*

各項目の内容を入力する

→ *「アドレスを登録する」(P306)*

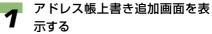
[入力完了] にタッチする

▼

履歴がアドレス帳に新たに登録されます。

上書き追加を選んだとき

[上書き追加] を選んだ場合は、アドレス帳ですでにあるアドレスに履歴の電話番号を上書きして登録します。

1 アドレス帳上書き追加画面を表示する

→ *「履歴をアドレス帳に登録する」(P295)*

2 上書きする登録者を選んでタッチする

3 上書き追加したい電話番号の番号を選んでタッチする

▼

履歴がアドレス帳に上書きされて登録されます。

履歴を消去する

1

簡単

[メニュー] ボタン ➔[電話をかける] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➔[電話] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

2 **[発信着信履歴] にタッチする**

履歴のリストが表示されます。

3 **[発信履歴] または [着信履歴] にタッチする**

4 **消去する履歴を選んでタッチする**

アドバイス

- 発信履歴または着信履歴を一括で消去する場合は、[全消去] にタッチします。

5 **[消去] にタッチする**

6 **[消去する] にタッチする**

▼

選んだ履歴が消去されます。

地図に登録された電話番号にかける

地図上に登録された施設やマークに電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

■施設情報の画面から電話をかける

電話をかけたい施設を地図上で探して、電話をかけます。

1 **電話をかけたい施設にカーソルを合わせる**

メニューが表示されます。

2 **[情報] にタッチする**

つづく ➔

3 [発信] にタッチする

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

4 通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] にタッチしても電話を切ることができます。

■マークリストから電話をかける 標準

標準操作モードでは、電話をかけたいマークの情報画面をマークリストから表示して、電話をかけます。

1 [目的地] ボタン ➜ [探し方 2] の [マークリスト] にタッチする

2 電話をかけたいマークを選んでタッチする

アドバイス

- [登録順] または [マーク順] にタッチするとリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順のとき [(アイコン)] または ◀、▶ (6 種類以上のときのみ) にタッチすると、マークの種類ごとにリストを切り換えることができます。

3 [マーク情報] にタッチする

アドバイス

- [メニュー] ボタン→ [付加機能] →[データ編集]→[マークリスト] で電話をかけたいマークを選び、[マーク情報] にタッチしてもマーク情報画面が表示されます。

4 [発信] にタッチする

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押すことでも通話が開始されます。

5 通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] にタッチしても電話を切ることができます。

アドレス帳から電話をかける

アドレス帳画面からアドレスを選んで、電話をかけることができます。

1 アドレス帳を表示する

→ *「アドレス帳を表示する」(P306)*

2 電話をかけたい相手を選んでタッチする

3 電話をかける電話番号にタッチする

▼

通話が開始されます。

4 通話が終了したら、ハンドルの [ ] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] にタッチしても電話を切ることができます。

電話を受ける

■電話がかかってくると

着信音が鳴り、通話中画面が表示されます。

通話中の画面表示を [する] に設定する場合
→ *「電話の設定をする」(P287)*

お知らせ

- 通話中画面表示を [しない] に設定している場合、電話の着信を案内するメッセージが表示されます。
- 電話帳に登録されている電話からかかってきたときは、登録されている名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によって、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されない場合があります。
- 自動着信を [する] に設定している場合は、着信してから約 5 秒で自動的に通話中になります。→ *「電話の設定をする」(P287)*

■かかってきた電話に出るには

1 **ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す**

▼

通話が開始されます。

お知らせ

- 通話中画面表示を [しない] に設定している場合、または地図画面を表示している場合、通話中は画面左に が表示されます。

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合、電話がかかってくると次の操作ができます。
  - [着信音量]
    着信音の大きさを調節します。
    → *「通話音量 / 着信音量を調節する」(P288)*
  - [応答保留]
    応答を保留にします。→ *「応答保留するには」(P301)*
  - [通話]
    電話に出ます。

  また、通話中には次の操作ができます。
  - [通話録音]
    通話内容を約 30 秒録音します。
    → *「通話録音するには」(P301)*
  - [通話音量]
    相手の声の大きさを調節します。
    → *「通話音量 / 着信音量を調節する」(P288)*
  - [終了]
    電話を切ります。

通話が終了したら、ハンドルの [☎] オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[終了] にタッチしても電話を切ることができます。

■応答保留するには

ハンドルの [☎] オンフックスイッチを押す

▼

応答保留になります。

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[応答保留] にタッチしても応答保留にすることができます。

応答保留中の電話に出るには、ハンドルの [☎] オフフックスイッチを押す

アドバイス

- 通話中画面表示を [する] に設定している場合は、[通話] にタッチしても電話に出ることができます。

■通話録音するには

通話中画面表示に [通話録音] が表示され、通話内容を音声メモに録音できます。

お知らせ

- 通話中画面表示を [する] に設定しておく必要があります。→*「電話の設定をする」(P287)*
- 再生は音声メモより行います。
→ *「音声メモを再生する」(P326)*

通話中画面表示から [通話録音] にタッチする

▼

録音中は「音声メモ」と表示されます。録音が終了すると、通常の通話中画面表示に戻ります。

お知らせ

- 録音は約 30 秒経つと自動的に止まります。また録音中に [録音停止] にタッチすると録音が停止します。

■割込通話

通話中に別の人から電話がかかってくると、「キャッチホンがかかっています」というメッセージが画面に表示されます。

相手を切り換えて、話すことができます。

お知らせ

- 割込通話を利用するには、接続する携帯電話が割込通話サービスに加入している必要があります。
- Bluetooth 対応の携帯電話の場合は、割込通話が使用できないことがあります。

1 **「キャッチホンがかかっています」というメッセージが画面に表示されているときに、ハンドルの [ ] オフフックスイッチを押す**

通話中だった相手を保留にして、別の相手に切り換わります。

お知らせ

- もう一度 [ ] オフフックスイッチを押すと、もとの通話者に切り換わります。
- 携帯電話または電話会社によって、[ ] オンフックスイッチを押したときの動作は、次の 3 つの内のどれかになります。
  ①両方の通話とも終了する
  ②通話中の相手が終了し、新しくかかってきた方は保留になる。
  ③通話中の相手が終了し、新しくかかってきた方が通話になる。
  お使いの携帯電話の動作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

QQ コールを利用する

ドライブ中に不意のトラブルにあったときなど、QQ コールに電話をかけて必要な処置を聞いたり手配を頼んだりできます。

お知らせ

- QQ コール (有料サービス) を使うには、Honda 販売店での申込みと Honda インターナビシステムの設定が必要です。
- QQ コールについて詳しくは Honda 販売店にお問い合わせいただくか、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス :
  http://premium-club.jp/

1

簡単

[メニュー] ボタン ➜[電話をかける] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

標準

[メニュー] ボタン ➜[電話] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

2 **[QQ コール] にタッチする**

QQ コールに電話がかかります。オペレーターとお話しください。

お知らせ

- 通話中画面の［マップコード読上］にタッチすると、自動的にマップコードを読み上げて自車位置をQQ コールセンターに伝えることができます。

アドバイス

- 携帯電話が接続されていない場合には、画面に QQ コールの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。お近くの電話から QQ コールに電話をかけ、マップコードをお伝えください。

緊急連絡先に電話する

緊急連絡先として登録されている Honda 販売店「My ディーラー」や保険会社、ロードサービスに電話をかけることができます。

お知らせ

- ［My ディーラー］の連絡先はパーソナル・ホームページと同期を行うと Honda インターナビシステムに送られます。パーソナル・ホームページで連絡先を変更した場合は、再度、同期を行ってください。
→ *「カーカルテの登録情報をパーソナル・ホームページと同期する」(P256)*
- パーソナル・ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P214)*
- ［任意保険］と［ロードサービス］は、あらかじめ電話番号を登録しておく必要があります。→ *「緊急連絡先を設定する」(P264)*

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［電話をかける］にタッチする

電話のメニューが表示されます。

標準

［メニュー］ボタン ➜［電話］にタッチする

電話のメニューが表示されます。

つづく ➔

[緊急連絡先] にタッチする

3 [My ディーラー] または [任意保険]、[ロードサービス] にタッチする

4 [発信] にタッチする

5 [電話する] にタッチする

▼

選んだ緊急連絡先に電話がかかります。

ロードサービスを利用する

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどにあったときは、最寄りの JAF やカーレスキュー 70 のロードサービスに電話をかけることができます。

- 「カーレスキュー 70」は翼システム株式会社が運営するロードサービスです。

簡単

[メニュー] ボタン ➜[電話をかける] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

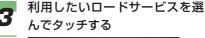
[メニュー] ボタン ➜[電話] にタッチする

電話のメニューが表示されます。

[ロードサービス] にタッチする

3

利用したいロードサービスを選んでタッチする

▼

選んだロードサービスに電話がかかります。

便利な機能

アドレス帳を登録 / 編集する

頻繁にメールを送る相手のメールアドレスや電話をかける相手の電話番号はアドレス帳に登録しておくと、メール作成時の宛先入力や電話をかけるときの番号入力が簡単にできます。

お知らせ

- アドレス帳にはシークレットモードが設定できます。シークレットモードを設定するとアドレス帳は、メニュー画面から選択できなくなります。→ *「シークレットモードを使う」(P328)*

アドレス帳を表示する

[メニュー] ボタン ➜[アドレス帳] にタッチする

簡単

標準

▼

アドレス帳が表示されます。

アドバイス

- アドレス帳は名前順、メモリー番号順、グループ番号順に並び換えることができます。→ *「アドレス帳のリストを並び換える」(P309)*
- 画面上部の「あ、か、さ･･･(名前順)」、「0 ～ 49、50 ～ 99･･･(メモリー番号順)」または「Gr1、Gr2･･･(グループ番号順)」にタッチするとリストを切り換えることができます。

アドレスを登録する

アドレス帳に名前、読み、電話番号 (最大 3 件)、メールアドレス (最大 2 件)、グループ番号 (最大 20 件) を登録することができます。

お知らせ

- アドレス帳には最大 1000 件のデータを登録することができます。
- 携帯電話の電話帳を読み込んでアドレス帳に登録することもできます。→ *「携帯電話の電話帳を読み込む」(P289)*

1 **アドレス帳を表示する**

→ *「アドレス帳を表示する」(P306)*

2 [新規登録] を選んでタッチする

3 項目を選んでタッチする

お知らせ

- [読み] を入力しているとメニュー音声読み上げ (→ *P183*) 時に使用されます。
- [電話番号種別○] または [メール種別○] にタッチすると、[自宅]、[携帯]、[職場]、[その他] から種別を選ぶことができます。

4 項目の内容を入力する
→ *「文字入力のしかた」(P38)*

5 [入力完了] にタッチする

6 手順３～５を繰り返し、必要な項目を設定する

7 [入力完了] にタッチする

アドレス帳の登録が完了します。

お知らせ

- 編集項目でグループの番号を選ぶと、アドレスをグループで管理することができます。グループは 00 ～ 19 の計 20 個まで管理することができます。また、グループ名を編集することができます。→ *「グループ名を編集する」(P309)*
- PC カードに保存されたアドレスのデータを読み込むことができます。→ *「PC カードからアドレス帳を読み込む」(P311)*

アドレスを編集する

登録済みのアドレスを編集 / 消去することができます。

1 アドレス帳を表示する

→ *「アドレス帳を表示する」(P306)*

2 編集したいアドレスを選んでタッチする

3 [詳細情報] にタッチする

▼

アドレス詳細情報画面が表示されます。以降の操作手順は、*「アドレスを登録する」(→ P306)* の手順 3 以降と同様に行います。

アドレスを消去する

1 アドレス帳を表示する

→ *「アドレス帳を表示する」(P306)*

2 消去するアドレスを選んでタッチする

アドバイス

- アドレス帳のアドレスを一括で消去する場合は、[全消去] にタッチします。

3 [消去] にタッチする

4 [消去する] にタッチする

▼

選んだアドレスが消去されます。

アドレス帳のリストを並び換える

アドレス帳のリストを名前順、メモリー番号順、グループ番号順に切り換えることができます。

1 アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P306)

2 [機能] にタッチする

3 [名前順]、[メモリ番号順] または [グループ番号順] にタッチする

▼

アドレス帳のリストが選んだ順序に切り換わります。

お知らせ

- 携帯電話の電話帳を読み込んだとき、グループ番号が 20 番以降のアドレスは、グループ番号順で表示すると“＊”で管理されます。
- 「読み」が入力されていないアドレスは名前順で表示すると“＊”で管理されます。

グループ名を編集する

グループ名を編集することができます。

1 アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P306)

2 [機能]➜[グループ名編集] にタッチする

▼

グループのリストが表示されます。

3 変更したいグループの番号を選んでタッチする

4 [グループ名] または [読み] を選んでタッチする

5 グループ名または読みを入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- [読み] を入力しているとメニュー音声読み上げ (→ P183) 時に使用されます。

つづく ➔

6 [入力完了] にタッチする

7 [入力完了] にタッチする

▼

グループ名の編集が完了します。

アドレスを検索する

すでに登録したアドレスをすばやく探すことができます。
アドレス帳からメールを作成したり (→ *P250*)、電話をかけたり (→ *P299*) するときに便利です。

1 アドレス帳を表示する

→ *「アドレス帳を表示する」(P306)*

2 [検索] にタッチする

3 探しているアドレスで覚えている項目にタッチする

お知らせ

- 表示された項目の中から入力できるもの (覚えているもの) を選んでください。

4 選んだ項目の内容を入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

5 [入力完了] にタッチする

検索が開始され、入力した項目に該当するアドレスのリストが表示されます。

6 探しているアドレスを選んでタッチする

▼

アドレスのメニューが表示されます。

お知らせ

- メールを作成する場合は、メールアドレスにタッチすると、メール作成画面が表示されます。→ *「アドレス帳からメールを作成するとき」(P250)*
- 電話をかける場合は、電話番号にタッチすると、電話をかけることができます。→ *「アドレス帳から電話をかける」(P299)*
- アドレスを編集する場合や詳細な内容を確認するときは、[詳細情報] にタッチします。→ *「アドレスを編集する」(P308)*
- アドレスを消去する場合は、[消去] にタッチします。→ *「アドレスを消去する」(P308)*

PC カードからアドレス帳を読み込む

あらかじめ PC カードに保存されたアドレスのデータをアドレス帳に読み込むことができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P278)* を参照してください。
- あらかじめご自宅のパソコンなどから vCard 形式でデータを PC カードに保存しておく必要があります。
- 電話番号は最大 3 件、メールアドレスは最大 2 件まで読み込むことができます。
- 住所録やメールのソフトによっては、アドレス帳で正しく表示されない場合があります。

vCard 形式について

- vCard 形式とは、名刺データを扱うための共通フォーマットで Honda インターナビシステムでは、Ver.2.1 および Ver.3.0 に対応しています。
- ご自宅のパソコンで vCard 対応のメールソフトや住所録のソフトがあれば、その中のデータを vCard 形式に書き出し (エクスポート) し、そのファイルを PC カードに保存すればアドレス帳に読み込むことができます。
- PC カード内のフォルダ (ディレクトリ) は 8 階層 (ルートディレクトリ含む) まで認識できます。

つづく →

アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P306)

2 [機能]➔[PC カード] にタッチする

3 [データ読み込み] にタッチする

4 読み込みたいアドレスを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべてのアドレスを読み込む場合は、[全コピー] にタッチします。

▼

選んだアドレスがアドレス帳に保存されます。

■PC カードのアドレスを消去する

PC カード内のアドレス帳のデータを選んで消去します。また、PC カード内のすべてのアドレスを一括して消去することもできます。

アドレス帳を表示する

→「アドレス帳を表示する」(P306)

2 [機能]➔[PC カード] にタッチする

3 [データ消去] にタッチする

4 消去したいアドレスを選んでタッチする

お知らせ

- PC カード内のすべてのアドレスを消去する場合は、[全消去] にタッチします。

5 [消去する] にタッチする

▼

PC カード内の選んだアドレスが消去されます。

画像を確認する 標準

よく行く地点やマークに登録した画面、インターナビ情報センターから取得した画像や壁紙用の画像など、ハードディスクやPCカードの画像データを確認することができます。また、画像データを消去することもできます。

お知らせ

- 確認できる画像のファイル形式は、BMP(.bmp)、JPEG(.jpg)です。
- プログレッシブ方式のJPEGファイルには対応していません。
- 確認できる画像データは、もとの大きさがJPEGで2048×1536ドット、BMPで488×240ドットまでです。
- 1つあたり2MB以上のファイルは認識されません。
- 大きな画像を画面表示する際には、縮小して表示されます。
- デジタルカメラなどで撮影した画像を確認するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーションシステム本体にセットしてください。
- 文字数は、拡張子を含めて半角で243文字です。「ファイル名+(.bmp、.jpg)」の名前が、画像データのリストに表示されます。
- ハードディスク内に保存できる画像ファイルは最大で200個(Hondaナビゲーション、星空を除き)です。
- Hondaインターナビシステムで表示できるPCカード内の画像ファイルは最大で200個です。200個を超えるとPCカード内の画像ファイルがリスト表示されません。

お知らせ

- PCカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリを含む)まで認識できます。
- 画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- PCカードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→P278)*を参照してください。

画像を確認する

1 **[メニュー]ボタン➜[付加機能]にタッチする**

2 **[壁紙設定]にタッチする**

▼

画像データのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- リストには、ハードディスク内の画像のあとにPCカード内の画像が表示されます。

つづく ➔

3 見たい画像を選んでタッチする

※ 壁紙の画像はサンプルのため、実車とは異なります。

4 [画像確認] にタッチする

▼

選んだ画像が表示されます。

画像を保存する

PC カード内の画像をハードディスクに、ハードディスク内の画像を PC カードに保存することができます。

お知らせ

- PC カードをナビゲーションシステム本体に接続しておく必要があります。
  → *「カードを接続する」(P278)*

1 画像データのリスト画面で保存したい画像を選んでタッチする

→ *「画像を確認する」(P313)*

PC カード内にある画像を選んだときは、ハードディスクに保存されます。ハードディスク内にある画像を選んだときは PC カードに保存されます。

2 [画像確認] にタッチする

3 [画像保存] にタッチする

▼

選んだ画像が保存されます。

選んだ画像を壁紙に設定する

選んだ画像を壁紙に設定することができます。

1 画像データのリスト画面で壁紙に設定したい画像を選んでタッチする

→「画像を確認する」(P313)

2 [壁紙セット] にタッチする

▼

壁紙が設定されます。

お知らせ

- PC カード内の画像データを選んでいた場合は、[壁紙セット] と同時にハードディスク内にその画像が保存されます。

アドバイス

- [画面] ボタン→ [画面消] → [壁紙設定] からでも同様に壁紙を設定することができます。

画像を消去する

画像を選んで消去できます。PC カード内の画像も消去することができます。

お知らせ

- [Honda ナビゲーション] と [星空] の画像は消去することができません。

1 画像データのリスト画面で消去したい画像を選んでタッチする

→「画像を確認する」(P313)

アドバイス

- リスト内のすべての画像を消去する場合は、[全消去] にタッチします。

2 [消去] にタッチする

3 [消去する] にタッチする

選んだ画像が消去されます。

スケジュールを使う 標準

カレンダーにスケジュールを設定して、指定した時刻に、指定した操作を実行させることができます。
スケジュールでは、次の操作を指定できます。

- 目的地を設定する
- 周辺施設を検索する
- メッセージを表示する
- 音声メモを再生する
- TV を見る
- ラジオ (FM/AM) を聞く
- DVD/CD/MP3/WMA を再生する
- サウンドコンテナを再生する
- スケジュールリストから選ぶ

お願い

- 音声を再生するスケジュールが実行されると、大きな音量で音楽が再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

お知らせ

- 2054 年 12 月 31 日までのスケジュールを作成できます。
- 最大 100 件までスケジュールを作成できます。

スケジュールを作成する

ここでは、例として指定した時刻にメッセージを表示する方法を説明します。

1 [メニュー] ボタン➜[付加機能] にタッチする

2 [スケジュール設定] にタッチする

3 スケジュールを設定したい日付にタッチする

お知らせ

- 本日の日付は、“[ ]” で囲まれます。
- [前月]、[次月] にタッチすると、月送りされます。
- 今月のカレンダーを表示しているときは、年月が “[ ]” で囲まれます。
- スケジュールが設定されている日付は色が変わります。その日にタッチすると、スケジュールの項目が表示されます。
- スケジュールを追加する場合は、[新規作成] を選んでタッチし、手順 4 に進んでください。

4 スケジュールの実行時刻の [時間指定] または [起動時] にタッチする

[時間指定]	指定した時刻にスケジュールを実行させることができます。
[起動時]	指定した日の最初にエンジンスイッチを“I”または“II”にしたときにスケジュールを実行させることができます。[起動時] にタッチした場合は、手順 7 に進みます。

5 スケジュールの実行時刻を 24 時間制で入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

[○○時○○分] または

[○○時○○分〜○○時○○分] と入力します。

お知らせ

- 設定済みのスケジュールと同じ時刻を入力したときは、最後に設定したスケジュールが実行されます。

6 [完了] にタッチする

7 スケジュールを設定したい周期にタッチする

[毎日]、[当日のみ]、[毎週]、[毎月]、[毎年] から選べます。

つづく →

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

[毎日]	毎日、同じ時刻に指定した機能を実行します。
[当日のみ]	当日のみ、設定した時刻に指定した機能を実行します。
[毎週]	毎週、同じ曜日の同じ時刻に指定した機能を実行します。
[毎月]	毎月、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行します。
[毎年]	毎年、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行します。

8 **[メッセージを表示する] を選んでタッチする**

[メッセージを表示する] 以外のイベントについては、*「その他のイベントについて」(→ P319)* を参照してください。

9 **[新規作成] を選んでタッチする**

お知らせ

- 登録済みのメッセージを編集する場合は、編集したいメッセージを選んでタッチします。
次に、[編集] にタッチします。

10 **メッセージを入力する**

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- メッセージは全角で 16 文字 (半角で 32 文字) まで入力できます。
- メッセージは 20 件まで登録できます。20 件を超えて登録しようとすると、一番古いメッセージの消去を確認する画面が表示されます。

11 **[入力完了] にタッチする**

▼

設定内容を確認する画面が表示されます。

12 **内容を確認して [登録] にタッチする**

▼

スケジュールが登録され、カレンダーに戻ります。

スケジュールが設定された日の色が変わります。

その他のイベントについて

[メッセージを表示する] 以外の項目を選んだときは、次表の *「以降の操作」* に従ってください。

イベント項目	内容	以降の操作
[目的地を設定する]	指定した時刻に、目的地を設定することができます。	目的地設定をすると、設定内容を確認する画面が表示されます。 → *「場所を探す」(P88)*
[周辺検索をする]	指定した時刻に、自車位置周辺の施設を検索することができます。	探したい施設を指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。 → *「場所を探す」(P88)*
[音声メモを再生する]	指定した時刻に、設定した音声メモを再生することができます。	音声メモを指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[TV を見る]	指定した時刻に、設定したチャンネルの放送を受信することができます。	チャンネルを指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[FM を聞く]	指定した時刻に、設定した放送局の放送を受信することができます。	放送局を指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[AM を聞く]	指定した時刻に、設定した放送局の放送を受信することができます。	放送局を指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[DVD/CD/MP3(WMA) を再生する]	指定した時刻にセットしたディスクを再生することができます。 ディスクが挿入されていないときは実行されません。	設定内容を確認する画面が表示されます。
[サウンドコンテナを再生する]	指定した時刻に、設定したサウンドコンテナのプレイリストを再生することができます。	プレイリストを指定すると、設定内容を確認する画面が表示されます。
[スケジュールリストから選ぶ]	指定した時刻に、設定したスケジュールの項目を実行することができます。	スケジュールリストが表示されます。スケジュールを選ぶと設定内容を確認する画面が表示されます。

スケジュール実行時の確認画面

スケジュールを実行する時刻になると、次のような確認のメッセージが表示されます。

メッセージに従って操作してください。

お知らせ

- スケジュールが重複した場合は、最後に設定したスケジュールが実行されます。
- その日に実行できなかったスケジュールがあると当日中は マークが地図左側に表示されます。（次の日になるとマークは消えます。）
- 指定期日にエンジンスイッチが“I”または“II”になっていないなど、Honda インターナビシステムがスケジュールを実行できない状態になっていた場合は実行されません。

スケジュールを確認 / 変更する

日付からスケジュールの設定内容を確認したり、変更することができます。

1 **［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［スケジュール設定］にタッチする**

カレンダーが表示されます。

2 **スケジュールを確認または変更したい日付にタッチする**

3 **確認または変更したいスケジュールを選んでタッチする**

4 **［編集］にタッチする**

スケジュールの設定内容を確認する画面が表示されます。

アドバイス

- ［実行］にタッチすると、スケジュールが実行されます。
- ［消去］にタッチすると、スケジュールが消去されます。→ *「スケジュールを消去する」(P322)*

5 変更したい項目を選んでタッチする

▼

各項目の編集画面が表示されます。

6 各項目を変更する

各項目の設定のしかたは、*「スケジュールを作成する」(→ P316)* を参照してください。

アドバイス

- [イベント] とは、*「スケジュールを作成する」(→ P316)* の手順8で設定した項目です。

7 [編集完了] にタッチする

▼

スケジュールの設定内容が変更されます。

スケジュールリストを見る

設定されているスケジュールの実行履歴を確認することができます。

1 [メニュー] ボタン ➜ [付加機能] ➜ [スケジュール設定] にタッチする

カレンダーが表示されます。

2 [スケジュールリスト] にタッチする

▼

スケジュールリストが表示されます。実行済み (グレー)、実行できず (黄色)、実行されていない (マークなし) を区別して表示します。

アドバイス

- [日時指定] と [繰り返し指定] にタッチすると画面を切り換えることができます。
- スケジュールリスト画面でスケジュールを選んでタッチすると、スケジュールの実行、編集、消去が行えます。以降の操作手順は、*「スケジュールを確認 / 変更する」(→ P320)* の手順4以降または *「スケジュールを消去する」(→ P322)* の手順4以降と同じです。

スケジュールを消去する

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能] ➜[スケジュール設定] にタッチする**

カレンダーが表示されます。

2 **スケジュールを消去したい日付にタッチする**

設定されているスケジュールが表示されます。

3 **消去したいスケジュールを選んでタッチする**

お知らせ

- 選んだ日付のすべてのスケジュールを消去する場合は、[全消去] にタッチします。

4 **[消去] にタッチする**

5 **[消去する] にタッチする**

▼

選んだスケジュールが消去されます。

PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み

スケジュールを PC カードに保存したり、読み込んだりすることができます。

お知らせ

- PC カードの接続方法や利用方法について詳しくは、*「カードを接続する」(→ P278)* を参照してください。

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能] ➜[スケジュール設定] にタッチする**

カレンダーが表示されます。

2 **[PC カード] にタッチする**

▼

PC カードのメニュー画面が表示されます。

■PC カードにすべてのスケジュールを保存する

登録したすべてのスケジュールを PC カードに保存することができます。

お知らせ

- スケジュールを個別に保存することはできません。

PC カードのメニュー画面で、[データ保存] にタッチする

→「PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み」(P322)

[保存する] にタッチする

お知らせ

- PC カード内にスケジュールがすでに存在する場合は、[上書きする] または [しない] が表示されます。

[しない] にタッチすると保存は行われません。

PC カードへスケジュールを保存します。

■PC カードからすべてのスケジュールを読み込む

PC カードに保存されたすべてのスケジュールを読み込むことができます。

お知らせ

- スケジュールを個別に読み込むことはできません。
- PC カードからスケジュールを読み込むと現在のスケジュールに追加されます。Honda インターナビシステムのスケジュールと PC カード内のスケジュールがまったく同じ場合は、追加されません。
- 日時が同じで内容の異なるスケジュールを読み込んだ場合は追加されます。この場合、最後に読み込んだスケジュールが実行されます。

PC カードのメニュー画面で、[データ読み込み] にタッチする

→「PC カードへのスケジュールの保存 / 読み込み」(P322)

[読み込みする] にタッチする

▼

PC カードからスケジュールを読み込みます。

使う通信機能を
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

■PC カードのすべてのスケジュールを消去する

PC カード内のすべてのスケジュールを消去することができます。

お知らせ

- スケジュールを個別に消去することはできません。

PC カードのメニュー画面で、[データ消去] にタッチする

→「PC カードへのスケジュールの保存／読み込み」(P322)

2 **[全消去する] にタッチする**

▼

PC カード内のすべてのスケジュールが消去されます。

音声メモを使う 簡単 標準

音声メモを作成したり、通話を録音したりできます。約 30 秒の録音データを通話メモと合わせて最大 10 件まで、ハードディスクに保存することができます。

お知らせ

- 録音または再生するときに、「音声メモ準備中です」のメッセージが表示されることがあります。ハードディスクの準備中ですので、メッセージが消えるまでお待ちください。

音声を録音する

[メニュー] ボタン➜[付加機能] ➜[音声メモ] にタッチする

簡単

標準

▼

音声メモのリストが表示されます。

2 **[新規録音] を選んでタッチする**

▼

録音が始まります。

お知らせ

- 録音は約 30 秒経つと自動的に止まります。また録音中に [停止] にタッチすると、録音を停止することができます。
- 録音中に Honda インターナビシステムの各ボタンが押された場合は、録音が解除されます。
- 録音が完了すると、録音した日時が音声メモの名前として記録されます。
- すでに 10 件録音されているときは録音できません。不要なメッセージを消去してから録音してください。
→ *「音声メモを消去する」(P326)*

アドバイス

- 通話メモの録音については、*「通話録音するには」*(→ *P301*) を参照してください。

音声メモを再生する

録音した音声メモを再生します。

1 [メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[音声メモ] にタッチする

音声メモのリストが表示されます。

2 再生したい音声メモを選んでタッチする

[音声メモ] から録音した音声メモは 、通話中の通話録音は ☎ が表示されます。

アドバイス

- リスト順にすべての音声メモを再生する場合は、[全件再生] にタッチします。

3 [再生] にタッチする

▼

再生が開始されます。

アドバイス

- 再生中、[－]、[＋] にタッチすると、音量を調節できます。
- [停止] にタッチすると途中で再生を終了することができます。

音声メモを消去する

録音した音声メモを消去します。

1 [メニュー] ボタン➜[付加機能]➜[音声メモ] にタッチする

音声メモのリストが表示されます。

2 消去したい音声メモを選んでタッチする

アドバイス

- 音声メモを一括で消去する場合は、[全消去] にタッチします。

3 [消去] にタッチする

4 [消去する] にタッチする

▼

選んだ音声メモが消去されます。

タイトルを編集する

音声メモのタイトルは、自動的に録音時の日付と時刻になります。あとから名称を入力することができます。

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能] ➜[音声メモ] にタッチする**

音声メモのリストが表示されます。

2 **編集したい音声メモを選んでタッチする**

3 **[名称編集] にタッチする**

4 **編集したい項目を選んでタッチする**

お知らせ

- 最初、名称は入力されていません。
- [読み] は音声操作で使用します。また、メニュー音声読み上げ *(→ P183)* 時にも使用されます。

5 **文字を入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

6 **[入力完了] にタッチする**

7 **[編集完了] にタッチする**

▼

タイトルが更新されます。

シークレットモードを使う

シークレットモードを使うと、アドレス帳、電話帳、メールおよびマーク情報の表示をパスワードが入力されないと表示できないようにできます。

シークレットモードを設定する

シークレットモードの設定にはパスワードの設定が必要になります。パスワードの設定後、シークレットモードを ON に設定します。

1 [メニュー] ボタン➔[付加機能]➔[シークレットモード] にタッチする

標準

2 4 桁の数字を入力し [完了] にタッチする

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

再度、パスワードの入力画面が表示されます。

3 確認のため再度 4 桁の数字を入力し [完了] にタッチする

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

4 [ON] にタッチする

▼

シークレットモードが設定されます。

- すでにパスワードが設定されている場合は、手順 3 は不要です。

アドバイス

- シークレットモードが設定されているときに、アドレス帳や、電話帳、メールの表示操作を行うと、シークレットモードが ON であることを伝えるメッセージが表示されます。

シークレットモードを解除するには「*シークレットモードを解除する*」(→ *P329*) を参照してください。

シークレットモードを解除する

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能] ➜[シークレットモード] にタッチする**

パスワードの入力画面が表示されます。

2 **パスワードを入力し [完了] にタッチする**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

3 **[OFF] にタッチする**

▼

シークレットモードが解除されます。

パスワードを変更する

1 **[メニュー] ボタン➜[付加機能] ➜[シークレットモード] にタッチする**

パスワードの入力画面が表示されます。

2 **[パスワード変更] にタッチする**

3 **現在のパスワードを入力し [完了] にタッチする**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

新しいパスワードの入力画面が表示されます。

4 **新しいパスワードを入力し [完了] にタッチする**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

再度、パスワードの入力画面が表示されます。

5 **確認のため再度新しいパスワードを入力し [完了] にタッチする**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

▼

パスワードが変更されます。

パスワードを忘れたときは

パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて再設定してください。
パスワードをクリアするには、未入力状態のパスワード入力画面で次のように操作します。

文字未入力の状態で [修正] を5 回連続でタッチする

▼

パスワードがクリアされます。

お知らせ

- パスワードをクリアすると、パスワード未設定の状態となり、設定したアドレス帳や電話帳、メール、マークリストなどのシークレットモードも解除されます。

オーディオ・テレビ

ディスクの取り扱いについて

Honda インターナビシステムはオーディオ機能を標準装備しており、DVD や CD、MP3 ファイルまたは、WMA ファイルが記録された CD-R/RW などをお楽しみいただけます。

- 再生できるディスクの種類は、*「再生できるディスクの種類」(P337)* を参照してください。
- 再生できる MP3 ファイルについては、*「MP3 ファイルについて」(→ P339)* を参照してください。
- 再生できる WMA ファイルについては、*「WMA ファイルについて」(→ P341)* を参照してください。
- 各機能の操作方法は *「音楽 CD を再生する」(→ P354)*、*「MP3/WMA ディスクを再生する」(→ P357)*、*「DVD ビデオを再生する」(→ P369)* を参照してください。

ディスクを取り出す / 入れる

ナビゲーション本体に音楽 CD、CD-R/RW、DVD ビデオなどのディスクを挿入する方法を説明します。

⚠ 注意

- CD、DVD ビデオディスクを出し入れしたあとは、必ずパネルを閉めてください。パネルが開いていると、衝突したときなどにパネルにぶつかって思わぬ事故につながります。

1 **[OPEN] ボタンを押し、パネルを開ける**

2 **ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてディスクを差し込む**

自動的に再生が始まり、画面上にトラック情報が表示されます。

お願い

- ディスクを差し込む前に、すでにディスクが入っていないかどうかをディスクインジケーターで確認してください。

音楽 CD の場合 : 内蔵のデータベースからタイトル情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、「No Title」と表示されます。情報が複数取得できたときは、最も正しいと思われる 1 件を自動的に選択します。

アドバイス

- Honda インターナビシステムのハードディスクに内蔵しているタイトル情報のデータベースは Gracenote CDDB を利用しています。→ *「Gracenote CDDB について」(P419)*

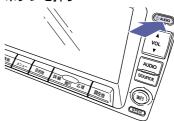
MP3 ディスクの場合 :ID3 Tag から情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、MP3 のファイル名とフォルダ名が表示されます。

WMA ディスクの場合 :WMA タグから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、WMA のファイル名とフォルダ名が表示されます。

DVD の場合 : タイトル No. やチャプター No. が表示されます。

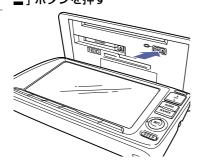
お知らせ

- サウンドコンテナの出荷時の CD 録音モードは自動録音です。再生した音楽 CD は、自動的にサウンドコンテナに録音されます。→ *「CD 録音モードを設定する」(P398)*
- 音楽 CD などをデジタル録音した記録媒体 (CD-R/RW など) から、サウンドコンテナに録音 (コピー) することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。
- CD シングル (8cmCD) はアダプターを付けないで挿入します。アダプターは使用しないでください。

3 **再生を止めるには、[⏻ AUDIO] ボタンを押す**

お知らせ

- 音楽 CD をサウンドコンテナに録音中に他の音源に切り換えた場合は、CD の自動録音が継続されます。→ *「サウンドコンテナに録音する」(P398)*

つづく →

4 ディスクを取り出すには、[DISC ▲] ボタンを押す

ディスクの正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- ハート型などの異型のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。
- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- ディスクは、インストルメントパネル上など直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 長時間使用しないときは、本機から取り出し、ディスクがそらないように必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。（画面の表示切り換えが遅くなることがあります。）
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、ナビゲーションシステム本体内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。（結露）
  このようなときは、1 時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

お願い

- ディスク挿入口から内部にジュースや水などが入ると故障の原因となります。カップホルダーをご使用の際はご注意ください。

お知らせ

- ディスクをゴミやほこりから保護するため、ディスクが排出されたまましばらくすると、自動的に内部に引き込まれます。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。オーディオシステムは NTSC(日本のテレビ方式) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ / 再生	最大再生時間
DVD ビデオ	DVD ビデオ 12cm/ 片面　1 層 　　　　　　2 層 12cm/ 両面　1 層 　　　　　　2 層	(MPEG 2 方式) 133 分 242 分 266 分 484 分
	DVD ビデオ 8cm/ 片面　1 層 　　　　　2 層 8cm/ 両面　1 層 　　　　　2 層	(MPEG 2 方式) 41 分 75 分 82 分 150 分
CD	CD 12cm/ 片面	74 分
	CD シングル 8cm/ 片面	20 分
CD-R	CD-R 12cm/ 片面	―
CD-RW	CD-RW 12cm/ 片面	―

お知らせ

- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。また、一部の DVD ビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
  リージョン番号については *「DVD ビデオに表示されているマークの意味」(→ P338)* を参照してください。
- Mixed Mode CD や CD-Extra などの音楽 / データ混在ディスクの場合は、音楽 CD として再生できないことがあります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ファイナライズしていない CD-R/RW ディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク (追記可能なディスク) は再生が始まるまで時間がかかります。

お知らせ

- PC(パソコン)で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト販売元にお問い合わせください。)
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れなどにより、再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RW ディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD(Double Density CD) 形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 本オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■DVD ビデオに表示されているマークの意味

DVD ビデオディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
2	音声(言語)の数
2	字幕の数
3	アングルの数
16:9 LB	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種別
2 ALL	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号(地域番号)は、[2] です。リージョン番号が [2] や [ALL] など [2] を含んでいるディスクを再生することができます。

■ディスクの操作について

DVD では、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上一部の操作ができないことがあります。このような場合、画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

DOLBY DIGITAL

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

MP3 ファイルについて

本機ではパソコンから CD-R/RW のディスクに書き込まれた MP3 形式ファイルを再生することができます。使用できるファイルやメディアについては制限がありますので MP3 形式ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。また、お手持ちの CD-R/RW ドライブやレコーディングソフトの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

お願い

- 音楽 CD から書き込んだ (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配る等の行為、インターネット等のサーバーへアップロードする行為は違法ですので行わないでください。

■MP3 とは？

MP3 とは「MPEG-1 Audio Layer3」の略称です。MPEG とは「Motion Pictures Experts Group」の略でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の一つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより高音質で少ないデータ容量のファイルを作ることができます。音楽 CD の内容をほとんど音質を損なうことなく約 1/10 のデータ容量に圧縮することができるため、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ書き込むことが可能になります。

■MP3 について

- MP3 ファイル内には曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名などの情報が "ID3 Tag" と呼ばれるデータで記録されており、ディスプレイなどでその情報を表示することができます。
- パソコン同様にフォルダの階層を認識することができ [ジャンル] → [アーティスト] → [アルバム] → [曲 (MP3 ファイル)] といった階層で曲を検索することができるようになります。

お願い

- MP3 以外のファイルに拡張子「.mp3」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生してしまうため、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損するおそれがあります。

お知らせ

- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子がつかない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからディスクに書き込んでください。

■再生できるMP3ファイルについて

以下の仕様に基づいて、CD-R、CD-RW、PCカードに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

項目		内容
規格		MPEG1 AUDIO LAYER Ⅲ
		MPEG2 AUDIO LAYER Ⅲ
サンプリング周波数[Hz]	MPEG1	32k/44.1k/48k
	MPEG2	16k/22.05k/24k
ビットレート[kbps]		32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160/192/224/256/320
VBR（可変ビットレート）		対応
マルチセッション		対応
ファイルシステム		ISO9660 レベル 1/ レベル 2 Joliet
チャンネルモード		ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル
最大階層数		8 階層 (ルートディレクトリを含む)
最大フォルダ数		256 フォルダ
最大ファイル数		400 ファイル (ディスク内合計数、mp3、wma ファイル以外は含まず)
ID3 タグ		Ver.1.0、Ver.1.1
フォルダ名 / ファイル名文字数※1		フォルダ名 : 最大 23 文字 (全角) ファイル名 : 最大 16 文字 (全角)
ID3 タグ文字数		最大 15 文字 (全角)

※ 1 ：ユニット内部で扱える文字数は、レベル 1 は、8 文字以下 (拡張子 .mp3 は除く)、レベル 2 は 31 文字以下、Joliet は 64 文字以下です。

WMA ファイルについて

本機ではパソコンから CD-R/RW のディスクに書き込まれた WMA 形式ファイルを再生することができます。使用できるファイルやメディアについては制限がありますので WMA 形式ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。また、お手持ちの CD-R/RW ドライブやレコーディングソフトの取扱説明書もよくお読みになり正しくご使用ください。

お願い

- 音楽 CD から書き込んだ (コピーした) ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配る等の行為、インターネット等のサーバーへアップロードする行為は違法ですので行わないでください。

■WMA とは？

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、は米国 MicrosoftCorporation の米国およびその他の国における登録商標です。

■WMA について

- WMA は、著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、著作権で保護された WMA ファイルを再生するには、ライセンスキーが発行されたプレイヤーに限定されています。
  本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルについては再生することができません。
- WMA ファイル内には曲名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名などの情報が“WMA タグ”と呼ばれるデータで記録されており、ディスプレイなどでその情報を表示することができます。
- パソコン同様にフォルダの階層を認識することができ [ジャンル] → [アーティスト] → [アルバム] → [曲 (WMA ファイル)] といった階層で曲を検索することができるようになります。

お願い

- WMA 以外のファイルに拡張子「.wma」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生してしまうため、大きな雑音が出てスピーカーを破損するおそれがあります。

お知らせ

- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子がつかない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.wma」を追記してからディスクに書き込んでください。

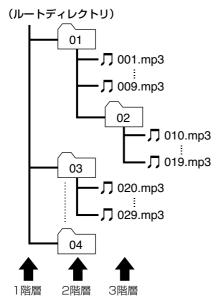
■再生できる WMA ファイルについて

以下の仕様に基づいて、CD-R、CD-RW、PC カードに記録された WMA ファイルを再生することができます。

項目	内容
規格	Windows Media Audio Version7.0
サンプリング周波数 [Hz]	16k/22.05k/32k/44.1k/48k
ビットレート [kbps]	32/40/48/64/80/96/128/160/192
VBR（可変ビットレート）	対応
マルチセッション	対応
ファイルシステム	ISO9660 レベル 1/ レベル 2 Joliet
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
最大階層数	8 階層 (ルートディレクトリを含む)
最大フォルダ数	256 フォルダ
最大ファイル数	400 ファイル (ディスク内合計数、mp3、wma ファイル以外は含まず)
WMA タグ	ASF TOP-LEVEL HEADER OBJECT 形式 曲名、アーティスト名、アルバム名のみ対応 ただし、アルバム名は Windows Media Player 形式に限る
フォルダ名 / ファイル名文字数※1	フォルダ名 : 最大 23 文字 (全角) ファイル名 : 最大 16 文字 (全角)

※ 1：表示する文字数は、上記の通りですが、ユニット内部で扱える文字数は、レベル 1 は、8 文字以下 (拡張子 .wma は除く)、レベル 2 は 31 文字以下、Joliet は 64 文字以下です。

フォルダとMP3/WMAファイルについて

MP3/WMA ファイルが CD-R/RW に収録されているイメージを下図に示します。

上図のフォルダについている番号は演奏順番を説明するものであり、画面上のフォルダ番号とは異なります。

- MP3/WMA ファイルは、左図の例では、ファイル名に示される順番 (001.mp3・・・、009.mp3、・・・) で認識されます。
- MP3/WMA ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されないことがあります。
- 8 段階 (ルートディレクトリ含む) まで MP3/WMA ファイルの再生に対応していますが、フォルダがたくさんあるディスクおよび PC カードは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- CD-R/RW に MP3/WMA ファイルを書き込む際にご使用のソフトによって演奏順番が異なります。
- ディスクに含まれるフォルダは 256 個まで、MP3/WMA ファイルは 400 個、1 フォルダ内のファイルは 255 個まで再生できます。
  PC カード内の MP3/WMA ファイルは 99 個まで再生できます。
- PC カード内の MP3/WMA ファイルは、各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

オーディオ・テレビの基本操作
お願い

- 車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では、安全運転のさまたげになります。また運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。

お知らせ

- 本ナビゲーションシステム装備車は、専用のパワーアンプを装着しています。アンプは消費電力が大きいのでエンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

ナビゲーション画面とオーディオ画面の切り換え

1 [AUDIO] ボタンを押す

押すたびに、オーディオ画面とナビゲーション画面が切り換わります。

ナビゲーション画面

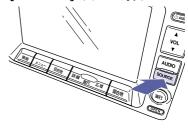
オーディオ画面

オーディオ機能が ON になり、最後に操作していた音源 (テレビ、ラジオ、各ディスク再生、サウンドコンテナ) が始まります。

■各オーディオ機能を切り換える

オーディオ機能を切り換えるには、それぞれ以下のボタンを使います。

[SOURCE] ボタンを押す

▼

オーディオソース切り換え画面が表示されます。

切り換えたい映像や音源 (オーディオソース) にタッチする

タッチした映像や音源 (オーディオソース) に切り換わります。

■オーディオ機能を OFF にする

1 [⏻ AUDIO] ボタンを押す

すべてのオーディオを終了します。

音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に [VOL] ボタンを押して調節する

音量が表示されます。

[▲]	音量を大きくするとき
[▼]	音量を小さくするとき

音質を調節する

４つの調節を行います。

BASS　　：低音の調節を行います。
TREBLE　：高音の調節を行います。
FADER　　：前後のスピーカー音量バランスを調節します。
BALANCE：左右のスピーカー音量バランスを調節します。

1 オーディオ画面で [音質調整] にタッチする

2 各項目にタッチして調節する

つづく →

BASS:
低音の調節を行います。低音を強調したいときは [+]、弱くしたいときは [−] にタッチします。
TREBLE:
高音の調節を行います。高音を強調したいときは [+]、弱くしたいときは [−] にタッチします。
FADER:
前後のスピーカー音量バランスを調節します。フロントのスピーカー音量を大きくしたいときは、[FR]、リヤのスピーカー音量を大きくしたいときは [RR] にタッチします。
BALANCE:
左右のスピーカー音量バランスを調節します。左のスピーカー音量を大きくしたいときは、[L]、右のスピーカー音量を大きくしたいときは [R] にタッチします。

■自動で音量を調節させる

走行中、自車のスピードに応じて音量を自動的に大きくしたり、小さくしたりすることができます。

アドバイス

- スピードが速いときに車外からの騒音が大きくなり、車内のオーディオの音声が聞き取りにくいという場合に使用すると便利です。

1 音質調整の画面で [車速連動音量] にタッチする

→「音質を調節する」(P345)

車速連動音量の設定画面が表示されます。

2 [LO] または [MID]、[HI] にタッチし、自動的に調節されるレベルを設定する

[LO]	自車のスピードが上がると少しだけ音量を上げます。
[MID]	自車のスピードが上がると [LO] のときよりも音量を上げます。
[HI]	自車のスピードが上がると [MID] のときよりも音量を上げます。

お知らせ

- [OFF] にタッチすると、車速連動音量をしない設定になります。

車速連動音量の設定が完了します。

色を調節する

テレビや DVD では色の濃さ、色合いを調節することができます。

テレビまたは DVD 再生中に [画面] ボタンを押す

→ *「テレビの見かた」(P363)*
→ *「DVD ビデオの見かた」(P369)*

[色調整] にタッチする

アドバイス

- [画面調整] にタッチすると画面の調節ができます。→ *「画面の明るさを調節する」(P64)*
- [画面消] にタッチすると画面を消すことができます。→ *「ナビゲーション画面 / オーディオ画面を消す」(P28)*

色合い

[赤] または [緑] にタッチする

色の濃さ

[−] または [+] にタッチする

[決定] にタッチする

色の調節が完了します。

お知らせ

- 画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合で、別々に設定することができます。
- テレビ、DVD ごとに、設定することができます。

ワイド画面の切り換え

テレビや DVD では通常の画面表示の他に 3 種類のワイドモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

テレビまたは DVD 再生中に [画面] ボタンを押す

→ *「テレビの見かた」(P363)*
→ *「DVD ビデオの見かた」(P369)*

[ワイド切換] にタッチする

アドバイス

- [画面調整] にタッチすると画面の調節ができます。→ *「画面の明るさを調節する」(P64)*
- [画面消] にタッチすると画面を消すことができます。→ *「ナビゲーション画面 / オーディオ画面を消す」(P28)*
- 画面のモードは次の中から選ぶことができます。

	ノーマル
	ワイド
	フル
	ズーム

つづく →

使う通信機能を
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
テレビ・オーディオ
サウンドコンテンツ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

切り換えたいワイドモードにタッチする

[決定] にタッチする

ワイドモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比 4:3、ワイド画面は縦横比 16:9 です。
- テレビ、DVD ごとに設定することができます。
- 通常のテレビ放送の番組で、映像の縦横比が異なるモード (ワイド、フル) を選ぶと、本来の映像と異なって見えます。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると (フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと)、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

ラジオを聞く 標準

ラジオの聞きかた

■選局する

[SOURCE] ボタン ➜[FM] または [AM] にタッチする

ラジオの音声が流れます。

• AM の場合は、手順 3 に進みます。

アドバイス

• すでにラジオが受信されており、ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してラジオのオーディオ画面に切り換えることができます。

2

FM の場合

[FM1] または [FM2] にタッチする

3

[TUNE/SEEK] の [|◀◀] または [▶▶|] にタッチして、選局する

[|◀◀]	低い周波数を選ぶとき
[▶▶|]	高い周波数を選ぶとき

手動選局するには、[|◀◀]、[▶▶|] を短めにタッチしてください。1 ステップずつ周波数が変化します。
自動選局するには、[|◀◀]、[▶▶|] をしばらくタッチし続けて、タッチスイッチから手を離してください。自動選局が始まります。

アドバイス

• FM を 12 局、AM を 6 局まで記憶させることができます。→ *「お好みの放送局を記憶させる」(P350)*、*「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(P351)*
• ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

■記憶された放送局を呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局を呼び出すことができます。

[SOURCE] ボタン ➜[FM] または [AM] にタッチする

ラジオの音声が流れます。

2 聞きたい放送局にタッチする

• FM の場合、[FM1] または [FM2] にタッチすると記憶された放送局を切り換えることができます。

▼

選ばれている放送局は色が変わり、画面上部にも表示されます。

お好みの放送局を記憶させる

よく聞く放送局を FM1 に 6 局、FM2 に 6 局、AM に 6 局まで記憶させることができます。

• 一度電源が切れた場合 (バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど) は、記憶した放送局が消えます。再度放送局を記憶させてください。

記憶させたい放送局を受信する

→ *「ラジオの聞きかた」(P349)*

• ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

記憶させたいプリセット No. にピッと鳴るまでタッチする

▼

タッチしたプリセット No. に選局した放送局が記憶されます。

• プリセット No. とは、放送局を記憶する番号です。

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに、一時的に受信状態の良い放送局を記憶させたり、自動的にその地域の放送局に変更させることができます。

■一時的に記憶させる場合

現在地で受信状態の良い放送局を、一時的にFM を 12 局、AM を 6 局まで自動的に記憶させることができます。(オートセレクト)
オートセレクトを解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

アドバイス

- オートセレクトで選局された放送局を別の放送局に手動で記憶し直すこともできます。
  →「お好みの放送局を記憶させる」(P350)

1 ラジオを受信する

→「ラジオの聞きかた」(P349)

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 [オーディオメニュー] にタッチする

3 [AUTO SELECT] にタッチする

AUTO SELECT 中の表示

自動的に受信できる放送局を探し始めます。(「AUTO-SELECT」が点滅します)
終了すると、放送局リストが表示されます。

お知らせ

- 受信状態の良い放送局が記憶できる数より少ない場合は、放送局リストに“0”が表示されます。

オートセレクトを解除するには

オートセレクトを解除する場合は、再度 [オーディオメニュー] → [AUTO SELECT] にタッチします。

■自動的に変更させる場合

自車位置の移動に伴い、その地域の放送局をFM は 12 局、AM は 6 局まで自動的にリストアップします。(エリア選局)
エリア選局を解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

お知らせ

- エリア選局で選局された放送局を手動で別の放送局に記憶し直すことはできません。

ラジオを受信する

→「ラジオの聞きかた」(P349)

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

[オーディオメニュー]➔[エリア選局] にタッチする

エリア選局中の表示

自車位置で、その地域の放送局リストが表示されます。

お知らせ

- その地域の放送局が記憶できる数より少ない場合は、放送局リストに“0”が表示されます。

エリア選局を解除するには

エリア選局を解除する場合は、再度 [オーディオメニュー] → [エリア選局] にタッチします。

放送局をスキャンする

現在地で受信できる放送局を探すことができます。

ラジオを受信する

→「ラジオの聞きかた」(P349)

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

[オーディオメニュー]➔[SCAN] にタッチする

自動的に受信できる放送局を探し始めます。

SCAN 中に点滅します。

受信できた放送局は 10 秒間だけ音声を流し、再び次の放送局を探します。

3 聞きたい放送局を受信したら、[実行] を押す

選んだ放送局を受信します。

アドバイス

- 再度 [オーディオメニュー]→[SCAN] にタッチしても選んだ放送局を受信することができます。

スキャンを解除するには

スキャンを解除する場合は、再度 [オーディオメニュー]→[SCAN] にタッチします。

交通情報を聞く

交通情報を受信するには、次のようにします。

お知らせ

- この機能は、ラジオ以外が選ばれていても、またはオーディオ機能が OFF でも操作できます。

[SOURCE] ボタン➔[交通情報] にタッチする

アドバイス

- すでに交通情報が受信されており、ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押して交通情報のオーディオ画面に切り換えることもできます。

受信したい周波数にタッチする

受信周波数

選んだ周波数の交通情報を受信します。

音楽 CD を再生する

CD の聞きかた

CD を聞くには、次のようにします。

ディスク挿入口に、タイトル面を上にして CD を差し込む

自動的に再生が始まります。

 お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。
- すでに CD が挿入されている場合は、[SOURCE] ボタン → [CD] にタッチしてください。

再生中のトラック No.
トラックタイトル

ディスクタイトル、
アーティスト

音源

トラック No.

トラックタイトル

再生中トラックの経過時間

内蔵のデータベースから情報が取得できた場合や CD-TEXT では、リスト上部にディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示されます。オーディオ画面にしていた場合は、トラックタイトルリストが表示されます。

お知らせ

- ディスクの判別や録音準備を行うため、再生するまでに、時間がかかります。
- 走行中はトラックタイトルリストにトラックタイトルは表示されません。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が複数取得できたときは、最も正しいと思われる 1 件を自動的に選択します。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示されます。
- 音楽 CD をサウンドコンテナに録音することができます。初期の状態では CD 再生時に自動的にサウンドコンテナへの録音が開始されます。→ *「サウンドコンテナに録音する」(P398)*
- サウンドコンテナに未録音の曲はトラックタイトルリストのトラック No. の左に R が表示されます。
- サウンドコンテナに録音された曲を再生する場合、サウンドコンテナで取得または編集したタイトルが表示されます。

お知らせ

- サウンドコンテナへの録音は約４倍速で行われます。また、サウンドコンテナに録音中でも再生することができます。録音中の場合は、サウンドコンテナに録音されたデータで再生されます。録音が終了すると自動的に CD の再生になります。
- トラック間 (曲間) にブランク (無音部分) がない CD を再生すると、サウンドコンテナに録音している場合のみ、曲間が無音で再生されますが、故障ではありません。

2 [TRACK] の [|◀◀] または [▶▶|] にタッチして、聞きたい曲を選ぶ

[|◀◀]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[▶▶|]	次の曲を選ぶとき

巻戻しする場合は、[|◀◀] をタッチし続けます。
早送りする場合は、[▶▶|] をタッチし続けます。

アドバイス

- [HOME] にタッチすると再生中の曲が表示されるようにリストを切り換えます。
- トラックリストの曲名を選んでタッチすると、その曲を再生することができます。

CD の終了のしかた

ディスク取り出しボタンを押して、CD を取り出す

再生を中止して、CD が出てきます。

CD のいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生が行えます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

[オーディオメニュー] にタッチする

[REPEAT] にタッチする

リピート再生中の表示

リピート再生します。

リピート再生を解除するには

再度 [オーディオメニュー] → [REPEAT] にタッチすると、リピート再生が解除されます。

■ランダム再生

再生中の CD を、順不同に曲順を変えて再生することができます。

[オーディオメニュー]➜[RANDOM]にタッチする

▼

ランダム再生中の表示

ランダム再生します。

ランダム再生を解除するには

再生中の曲が選ばれている状態で [実行] を押すか、再度 [オーディオメニュー] → [RANDOM] にタッチすると、ランダム再生が解除されます。

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

[オーディオメニュー]➜[SCAN]にタッチする

▼

スキャン再生中の表示

スキャン再生します。

お知らせ

- スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

2 聞きたい曲が再生されたら、[実行] を押す

選んだ曲から再生します。

アドバイス

- 再度 [オーディオメニュー] → [SCAN] にタッチしても選んだ曲を再生することができます。

スキャン再生を解除するには

再度 [オーディオメニュー] → [SCAN] にタッチすると、スキャン再生が解除されます。

MP3/WMA ディスクを再生する 簡単 標準

MP3/WMA ディスクの聞きかた

CD-R/RW に記録された MP3 ファイルまたは WMA ファイルを聞くには、次のようにします。

再生できる MP3 ファイルまたは WMA ファイルについては、*「MP3 ファイルについて」(→ P339)* または*「WMA ファイルについて」(→ P341)* を参照してください。

お知らせ

- 本書は主に MP3 の再生での説明を記載しておりますが、WMA の再生についても同様の操作方法となります。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にして CD-R/RW を差し込む

自動的に再生が始まります。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。
- すでに CD-R/RW が挿入されている場合は、[SOURCE] ボタン → [CD] にタッチしてください。
- WMA ファイルの場合は、音源が「WMA」と表示されます。

ID3 Tag*(→ P339)*、WMA タグ*(→ P341)* からタイトル情報を取得できた場合は、リスト上部にディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示されます。オーディオ画面にしていた場合は、トラックタイトルリストには、フォルダ名またはファイル名が表示されます。

お知らせ

- 走行中はトラックタイトルリストにフォルダ名またはファイル名は表示されません。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- CD-RW ディスクはディスクを挿入してから再生がはじまるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかります。
- ID3 Tag*(→ P339)*、WMA タグ*(→ P341)* からタイトル情報を取得できなかった場合は、MP3 または WMA のフォルダ名がディスクタイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてリスト上部に表示されます。アーティストは表示されません。
- トラックタイトルリストは ID3 Tag*(→ P339)*/WMA タグ *(→ P341)* のタイトル情報に関係なく、フォルダ名またはファイル名のリストになります。
- 再生できない MP3 ファイルまたは WMA ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。MP3 ファイルまたは WMA ファイルを含まないフォルダは表示されません。

つづく →

[FOLDER] の [◀]、[▶] または [TRACK] の [⏮]、[⏭] にタッチして、聞きたい曲を選ぶ

フォルダの階層

[FOLDER]	
[◀]	前のフォルダの最初の曲を選ぶとき
[▶]	次のフォルダの最初の曲を選ぶとき

[TRACK]	
[⏮]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

巻戻しする場合は、[⏮] をタッチし続けます。
早送りする場合は、[⏭] をタッチし続けます。

アドバイス

- フォルダ階層のタッチスイッチにタッチすると、そのフォルダのリストに切り換えることができます。
- フォルダリストのフォルダ名を選んでタッチすると、そのフォルダのトラックリストに切り換えることができます。
- トラックリストのファイル名を選んでタッチすると、そのファイル名の曲を再生することができます。

MP3/WMA ディスクの終了のしかた

ディスク取り出しボタンを押して、CD-R/RW を取り出す

再生を中止して、CD-R/RW が出てきます。

MP3/WMA ディスクのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生が行えます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

[オーディオメニュー] にタッチする

2 [REPEAT] にタッチする

リピート再生が始まります。

3 再度 [REPEAT] にタッチする

タッチするたびに、[REPEAT] → [FOLDER-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

[REPEAT]	再生中の曲をリピート再生します。
[FOLDER-REPEAT]	再生中のフォルダをリピート再生します。
[OFF]	リピート再生を解除します。

▼

リピート再生中の表示

■ランダム再生

再生中の曲を、順不同に曲順を換えて再生することができます。

[オーディオメニュー]➜[RANDOM]にタッチする

▼

ランダム再生が始まります。

再度 [RANDOM] を押す

タッチするたびに、[RANDOM] → [FOLDER-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダム再生します。
[FOLDER-RANDOM]	全フォルダのすべての曲をランダム再生します。
[OFF]	ランダム再生を解除します。

▼

ランダム再生中の表示

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつ聞くことができます。

聞きたい曲を探すときに使います。

[オーディオメニュー]➜[SCAN]にタッチする

▼

スキャン再生が始まります。

2 再度 [SCAN] にタッチする

タッチするたびに、[SCAN] → [FOLDER-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のフォルダ内にあるすべての曲をスキャン再生します。
[FOLDER-SCAN]	全フォルダの先頭曲をスキャン再生します。
[OFF]	スキャン再生を解除します。

▼

スキャン再生中の表示

お知らせ

- スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

聞きたい曲が再生されたら、[実行] を押す

選んだ曲から再生します。

CD チェンジャーを再生する

Honda 純正の CD チェンジャー接続時

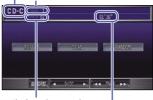
CD チェンジャーの聞きかた

CD チェンジャーを聞くには、次のようにします。

[SOURCE] ボタン ➔[CD-C] にタッチする

自動的に再生が始まります。

音源

ディスク No.

再生中のトラック No.

再生中トラックの経過時間

- CD チェンジャーではタイトル情報を表示できません。

アドバイス

- すでに CD チェンジャーが再生されており、ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押して CD チェンジャーのオーディオ画面に切り換えることができます。

[DISC] の [◀]、[▶] または [TRACK] の [⏮]、[⏭] にタッチして、聞きたい曲を選ぶ

[DISC]

[◀]	前のディスクを選ぶとき
[▶]	次のディスクを選ぶとき

[TRACK]

[⏮]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

巻戻しする場合は、[⏮] をタッチし続けます。

早送りする場合は、[⏭] をタッチし続けます。

CD チェンジャーの終了のしかた

[⏻ AUDIO] ボタンを押す

CD チェンジャーの再生が停止します。

CD チェンジャーのいろいろな再生のしかた

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

[REPEAT] にタッチする

▼

リピート再生が始まります。

再度 [REPEAT] にタッチする

タッチするたびに、[REPEAT] → [DISC-REPEAT] → [OFF] と切り換わります。

[REPEAT]	再生中の曲をリピート再生します。
[DISC-REPEAT]	再生中のディスクをリピート再生します。
[OFF]	リピート再生を解除します。

リピート再生中の表示

■ランダム再生

再生中の曲を、順不同に曲順を換えて再生することができます。

[RANDOM] にタッチする

▼

ランダム再生が始まります。

再度 [RANDOM] にタッチする

タッチするたびに、[RANDOM] → [DISC-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中のディスク内にあるすべての曲をランダム再生します。
[DISC-RANDOM]	全ディスクのすべての曲をランダム再生します。
[OFF]	ランダム再生を解除します。

ランダム再生中の表示

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつ聞くことができます。
聞きたい曲を探すときに使います。

[SCAN] にタッチする

▼

スキャン再生が始まります。

再度 [SCAN] にタッチする

タッチするたびに、[SCAN] → [DISC-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のディスク内にあるすべての曲をスキャン再生します。
[DISC-SCAN]	全ディスクの先頭曲をスキャン再生します。
[OFF]	スキャン再生を解除します。

▼

スキャン再生中の表示

お知らせ

- スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

3 聞きたい曲が再生されたら、[TRACK] の [|◀◀] にタッチする

選んだ曲の先頭から再生を開始します。

テレビを見る

テレビは、安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

お願い

- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

■テレビの受信について

テレビの受信は、車の走行にともない、受信状態が変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔の近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

アナログテレビジョン放送のチャンネル変更について

アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度再設定を行ってください。
放送局名は、本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。
また、音声操作においても、本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

テレビの見かた

■選局する

1 **[SOURCE] ボタン ➜[TV] にタッチする**

テレビに切り換わります。ナビゲーション画面では音声のみ流れます。

アドバイス

- すでにテレビが受信されており、ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してテレビの映像画面に切り換えることができます。

2 **画面にタッチする**

▼

テレビの操作画面が表示されます。

つづく ➔

3 [TV1] または [TV2] にタッチする

TV1,TV2 表示

4 [TUNE/SEEK] の [|◀◀] または [▶▶|] にタッチして、選局する

放送局の表示

[|◀◀]	前のチャンネルを選ぶとき
[▶▶|]	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局するには [|◀◀]、[▶▶|] を短めにタッチしてください。1 チャンネルずつ選局します。

自動選局するには、[|◀◀]、[▶▶|] をタッチし続けて、タッチスイッチから手を離してください。自動選局が始まります。

お知らせ

- 受信できるチャンネルは、1ch ～ 62ch です。

■記憶されたチャンネルを呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局を呼び出すことができます。

1 [SOURCE] ボタン ➔[TV] にタッチする

テレビに切り換わります。ナビゲーション画面では音声のみ流れます。

2 画面にタッチする

テレビの操作画面が表示されます。

3 [TV1] または [TV2] にタッチする

4 見たい放送局にタッチする

選ばれた放送局は色が変わり、画面上部にも表示されます。

お好みの放送局を記憶させる

よく見る放送局を TV1、TV2 それぞれ 6 局まで記憶することができます。

お知らせ

- 一度電源が切れた場合 (バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど) は、記憶した放送局が消えます。再度放送局を記憶させてください。

1 記憶させたい放送局を受信する

→「テレビの見かた」(P363)

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 記憶させたいプリセット No. にピッと鳴るまでタッチする

タッチしたプリセット No. に選局した放送局が記憶されます。

お知らせ

- プリセット No. とは、放送局を記憶する記憶番号です。

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

旅行先などチャンネルの異なる地域に移動したときに、一時的に受信状態の良い放送局を記憶させたり、自動的にその地域の放送局に変更させることができます。

■一時的に記憶させる場合

現在地で受信状態の良い放送局を、一時的に TV1、TV2 それぞれに 6 局まで自動的に記憶させることができます。(オートセレクト)
オートセレクトを解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

アドバイス

- オートセレクトで選局された放送局を別の放送局に手動で記憶し直すこともできます。→「お好みの放送局を記憶させる」(P365)

1 テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P363)

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 画面にタッチする

テレビの操作画面が表示されます。

3 [オーディオメニュー] にタッチする

つづく →

4 [AUTO SELECT] にタッチする

AUTO SELECT 中の表示

自動的に受信できる放送局を探し始めます。(「AUTO-SELECT」が点滅します)
終了すると、放送局リストが表示されます。

お知らせ

- 受信状態の良い放送局が記憶できる数より少ない場合は、放送局リストに“0”が表示されます。

オートセレクトを解除するには

再度[オーディオメニュー]→[AUTO SELECT] にタッチします。

■自動的に変更させる場合

自車位置の移動に伴い、その地域の放送局をTV1、TV2 それぞれ 6 局まで自動的にリストアップすることができます。(エリア選局)
エリア選局を解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

お知らせ

- エリア選局で選局された放送局を手動で別の放送局に記憶し直すことはできません。

1 テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P363)

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 画面にタッチする

テレビの操作画面が表示されます。

3 [オーディオメニュー]➜[エリア選局] にタッチする

エリア選局中の表示

自車位置で、その地域の放送局リストが表示されます。

お知らせ

- その地域の放送局が記憶できる数より少ない場合は、放送局リストに“0”が表示されます。

エリア選局を解除するには

エリア選局を解除する場合は、再度［オーディオメニュー］→［エリア選局］にタッチします。

放送局をスキャンする

現在地で受信できる放送局を探すことができます。

1 **テレビを受信する**

→「テレビの見かた」(P363)

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

画面にタッチする

テレビの操作画面が表示されます。

3 **［オーディオメニュー］➔[SCAN] にタッチする**

▼

SCAN 中の表示

受信した放送局から順に 10 秒間だけ映像を流します。

見たい放送局を受信したら、［実行］を押す

選んだ放送局を受信します。

スキャンを解除するには

スキャンを解除する場合は、再度［オーディオメニュー］→ [SCAN] にタッチします。

音声を切り換える

二ヶ国語放送の主音声、副音声を切り換えることができます。

テレビを受信する

→「テレビの見かた」(P363)

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2

画面にタッチする

テレビの操作画面が表示されます。

[オーディオメニュー]➔[音声切換] にタッチする

お知らせ

- 二ヶ国語放送ではない番組では [音声切換] を選ぶことはできません。

[音声切換] にタッチするたび「主 (主音声)」→「副 (副音声)」→「主 + 副 (主音声 + 副音声)」と切り換わります。

DVD ビデオを再生する 簡単 標準

DVD は、安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

お願い

- DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 両面仕様の DVD ビデオディスクの場合は、A/B 面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他の音源から DVD ビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。
- ディスクによっては、ディスクに収録されたメニュー画面が表示されるものがあります。ディスクメニューが表示された場合は、ジョイスティックを上下左右に倒して項目を選び、[実行] を押してください。

DVD ビデオの見かた

■再生する

DVD ビデオを再生するには、次のようにします。

1 **ディスク挿入口に、タイトル面を上にして DVD ビデオディスクを差し込む**

DVD ビデオの終了のしかた

1 **ディスク取り出しボタンを押して、DVD ビデオディスクを取り出す**

再生を中止して、DVD ビデオディスクが出てきます。

■メニュー画面の操作

1 **再生中に画面にタッチする**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

各項目にタッチする

再生中 / 一時停止中の操作項目

[再生](→ P369)
[一時停止](→ P374)
[停止](→ P373)
[スロー](→ P373)
[リターン](→ P376)
[メニュー](→ P370)
[サーチ](→ P371)
[音声](→ P374)
[字幕](→ P375)
[アングル](→ P375)
[数字入力](→ P372)
[音質調整](→ P345)
[◀ TITLE ▶](→ P371)
[⏮ CHAPTER ⏭](→ P371,P372)

停止中の操作項目

[再生](→ P369)
[停止](→ P373)
[トップメニュー](→ P370)
[タイトルサーチ](→ P371)
[初期設定](→ P377)

お知らせ

- [トップメニュー] にタッチするとディスクに収録されたトップメニューが表示されます。
- [メニュー] にタッチするとディスクに収録されたメニューが表示されます。再度タッチするとメニュー表示前の画面に戻ります。

■DVD ビデオディスクのメニューを表示する

DVD ビデオに収録されている情報はいくつかに区切られており、その 1 つ 1 つにタイトルが設定されています。そのタイトルのメニューを「トップメニュー」と言います。
さらに 1 つのタイトルもいくつかに区切られており、その 1 つ 1 つをチャプターと言い、そのチャプターのメニューを「メニュー」と言います。
ここでは、DVD ビデオディスクに収録された各メニューの表示のしかたを説明します。

お知らせ

- DVD ビデオディスクによっては各メニューがない場合や、場面によって表示できない場合があります。その場合、以下の操作を行うと、画面に ⊘ (禁止マーク) が表示されます。

1 **再生中または停止中、画面にタッチする**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[メニュー] または [トップメニュー] にタッチする**

各メニューが表示されます。

お知らせ

- 表示されるメニューや内容はディスクによって異なります。表示に従って操作してください。
- ディスクに収録されているメニューはジョイスティックを上下左右に倒して選んでください。

■タイトルを進める / 戻す

タイトルとチャプターでは、ディスクの操作状態によって、選択の対象が変わります。

1 **再生中、画面にタッチする**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[TITLE] の [◀]、[▶] にタッチする**

タイトル

[◀]	前のタイトルを選ぶとき
[▶]	次のタイトルを選ぶとき

■チャプターを進める / 戻す

タイトルとチャプターでは、ディスクの操作状態によって、選択の対象が変わります。

1 **再生中、画面にタッチする**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[CHAPTER] の [⏮]、[⏭] にタッチする**

チャプター

[⏮]	前のチャプター / 再生中のチャプターの始めを選ぶとき
[⏭]	次のチャプターを選ぶとき

■タイトルやチャプターを選ぶ (サーチ)

1 **再生中、画面にタッチする**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[サーチ] にタッチする**

お知らせ

- 停止中に画面にタッチしたときは、[タイトルサーチ] にタッチします。(チャプターのサーチはできません) 以降の操作は、手順 4 に進みます。

3 **[TITLE] または [CHAPTER] にタッチする**

4 **見たいタイトル番号またはチャプター番号を入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

(入力例)

[5] を選ぶ場合 :

[5] にタッチする。

または [0] にタッチし、次に [5] にタッチする。

[10] を選ぶ場合 :

[1] にタッチし、次に [0] にタッチする。

[25] を選ぶ場合 :

[2] にタッチし、次に [5] にタッチする。

つづく →

5 ［決定］にタッチする

▼

指定したタイトルまたはチャプターから再生されます。

■数字入力による再生

タイトルやチャプターを数字入力により選んで再生することができます。

1 **再生中、画面にタッチする**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 ［数字入力］にタッチする

3 **数字を入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

（入力例）

[5] を選ぶ場合：

[5] にタッチする。

または [0] にタッチし、次に [5] にタッチする。

[10] を選ぶ場合：

[1] にタッチし、次に [0] にタッチする。

[25] を選ぶ場合：

[2] にタッチし、次に [5] にタッチする。

4 ［決定］にタッチする

▼

指定したタイトルまたはチャプターから再生されます。

お知らせ

- ［テンキー移動］にタッチするとテンキーの位置が右側または左側に移動します。

■早送り / 巻戻しをする

再生中、画面にタッチする

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

[CHAPTER] の［⏮］、［⏭］にタッチし続ける

巻戻しをする場合は、［⏮］をタッチし続けます。

早送りをする場合は、［⏭］をタッチし続けます。

お知らせ

- ディスクによって、早送り / 巻戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。

■スロー再生をする

1 **再生中、画面にタッチする**
DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[スロー] にタッチする**

▼

再生速度が遅くなるスロー再生が開始されます。

お知らせ
- [スロー] にタッチするごとに、1/2 → 1/8 → 1/32 → 1/2･･･と再生速度が変わります。
- スロー再生を解除する場合は、[再生] にタッチします。

■再生を停止する

1 **再生中、画面にタッチする**
DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[停止] にタッチする**

▼

再生を停止します。

お知らせ
- 再生を停止した場所が記憶され、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます。(続き再生) また、記憶した場所を消去することができます。→ *「記憶した場所を消去する」(P373)*
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘ (禁止マーク) が表示され、停止できないことがあります。

記憶した場所を消去する

再生を停止した場所の記憶を消去することができます。
記憶した場所を消去すると、次回再生時は先頭からの再生となります。

お知らせ
- 再生を停止した場所を記憶していると、▶ マークが点滅表示されています。

停止中、画面にタッチする
DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

[停止] にタッチする

▼

再生を停止した場所の記憶が消去され、■ マークになります。

使う 通信機能を
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンド・コンテンツ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

DVD ビデオのいろいろな再生のしかた

静止画再生、音声、字幕、アングルなどの切り換えができます。

■静止画再生

再生中、画面にタッチする

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

[一時停止] にタッチする

映像が一時停止します。

お知らせ

- ディスクまたは再生位置によっては、🚫（禁止マーク）が表示され、停止できないことがあります。

通常の再生に戻すには

[再生] にタッチします。

■音声を切り換える

言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます。(マルチ音声)

再生中、画面にタッチする

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[音声] にタッチする**

現在の音声言語が表示されます。
再度 [音声] にタッチすると別の音声に切り換わります。この後、[音声] にタッチするごとに別の音声に切り換わります。

お知らせ

- DVD ディスクのパッケージについている ② マークの数字が、音声の収録数を示します。
- ディスクによっては、DVD に収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- 本オーディオシステムは、dts 音声には対応しておりませんので、dts 音声は出力されません。dts 音声以外の音声を選んでください。
- DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなど、多チャンネル方式で記録された音声は、本オーディオシステムでは、ステレオ 2ch で出力されます。

■字幕を切り換える

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕言語を切り換えることができます。(マルチ字幕)

再生中、画面にタッチする

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

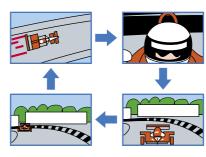
[字幕]にタッチする

現在の字幕言語が表示されます。
再度[字幕]にタッチすると別の字幕に切り換わります。この後、[字幕]にタッチするごとに別の字幕言語に切り換わります。

お知らせ

- DVD パッケージについている 2 マークの数字が、字幕言語の収録数を示します。
- ディスクによっては、DVD に収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。

■アングルを切り換える

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます。
(マルチアングル)

お知らせ

- マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングルマークが表示されます。アングルマークの表示を[する]/[しない]は、初期設定メニューの[アングルマーク表示]で行います。→ *「初期設定を変更する」(P377)*

1 マルチアングルが収録されている場面を再生中、画面にタッチする

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 [アングル]にタッチする

つづく →

現在のアングルが表示されます。
再度［アングル］にタッチすると別のアングルに切り換わります。この後、［アングル］にタッチするごとに別のアングルに切り換わります。

お知らせ

- DVD パッケージについている 🎥 マークの数字が、アングルの収録数を示します。

■リターン再生をする

あらかじめディスク側で決められた特定の範囲を再生することができます。

1　再生中、画面にタッチする

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2　［リターン］にタッチする

▼

リターン再生が開始されます。

お知らせ

- リターン再生を解除する場合は、［再生］にタッチします。

■視聴制限のある DVD ビデオを再生する

視聴制限の設定 (→ P379) で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のある DVD ビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。
また、DVD ビデオディスクによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面が表示される場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

お知らせ

- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して、視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

1　視聴制限のあるシーンに差し掛かり、パスワードを入力する画面が表示されたら、［戻る］にタッチする

視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

お知らせ

- ディスクによっては、［戻る］にタッチしても継続して再生することができない場合があります。
- パスワードを入力する画面で、*「視聴制限を設定する」* *(→ P379)* で設定したパスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを飛ばすことなく再生することができます。

初期設定をする

DVD ビデオ機能をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える必要がありません。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 音声言語
- 字幕言語
- メニュー言語
- アングルマーク表示
- 音声圧縮 (ダイナミックレンジコントロール)
- 視聴制限 (パレンタルロック)

■初期設定を変更する

1 **再生中、画面にタッチする**

DVD ビデオの操作メニューが表示されます。

2 **[停止] にタッチする**

3 **[初期設定] にタッチする**

初期設定メニューが表示されます。

4 **変更したい項目を選んでタッチする**

5 **項目の設定にタッチする**

▼

初期設定が変更されます。

アドバイス

- 初期設定メニューで、[初期値にする] にタッチすると、視聴制限以外の項目が初期状態に戻ります。

初期設定値一覧

設定値の太文字は、購入直後に選ばれている設定 (初期設定) です。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定内容</th><th>設定</th></tr>
<tr><td>音声言語</td><td>優先して聞きたい音声の言語を設定します。</td><td rowspan="3">[日本語]/[英語]/[フランス語]/[スペイン語]/[ドイツ語]/[イタリア語]/[オランダ語]/[中国語]/[韓国語]/[タイ語]/[その他]
[その他] を選んだ場合は、言語コード表 (→ P382) より、4 桁の言語コードを入力し、[決定] にタッチします。
→ 「文字入力のしかた」(P38)</td></tr>
<tr><td>字幕言語</td><td>優先して表示させたい字幕の言語を設定します。</td></tr>
<tr><td>メニュー言語</td><td>ディスクに収録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アングルマーク表示</td><td rowspan="2">マルチアングル (→ P375) の場面を再生しているときにアングルマークを表示するかしないかを設定します。</td><td>[する]：マルチアングル場面の再生時に、アングルマークを表示します。</td></tr>
<tr><td>[しない]：マルチアングル場面の再生時に、アングルマークを表示しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音声圧縮</td><td rowspan="2">DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の幅を一定に制御します。
→ 「音声圧縮 (ダイナミックレンジコントロール)」(P379)</td><td>[する]：音声を制御します。</td></tr>
<tr><td>[しない]：音声を制御しません。</td></tr>
<tr><td>視聴制限</td><td>視聴制限を設定します。
→ [視聴制限を設定する](P379)</td><td>[レベル 1] ～ [レベル 8]</td></tr>
</table>

お知らせ

- [音声言語]、[字幕言語]、[メニュー言語] では、選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が設定されます。

■音声圧縮(ダイナミックレンジコントロール)

DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御(ダイナミックレンジコントロール)し、小さな音でも聞きやすくする機能です。DVD ビデオ再生中の音声を制御するかしないかを選ぶことができます。

お知らせ

- 音声圧縮(ダイナミックレンジコントロール)の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

1 初期設定メニューで[音声圧縮]を選んでタッチする

→*「初期設定を変更する」(P377)*

2 [する]または[しない]にタッチする

▼

音声圧縮の[する]/[しない]が切り換わります。

■視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

お知らせ

- 最初にご使用になるときは、パスワードを設定してください。視聴制限は、パスワードが設定されないと操作できません。
- 視聴制限されたディスクを再生すると、パスワードの入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しいパスワードを入力しないと視聴制限シーンを再生できません。→*「視聴制限のある DVD ビデオを再生する」(P376)*
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して、視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

パスワードと視聴制限レベルの設定

初期設定メニューで [視聴制限] を選んでタッチする

→ *「初期設定を変更する」(P377)*

▼

パスワード入力画面が表示されます。

4 桁のパスワードを入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

お知らせ

- 設定したパスワードは、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

3 **[入力完了] にタッチする**

確認のため再度 4 桁のパスワードを入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

[入力完了] にタッチする

▼

パスワードが設定され、視聴レベルを変更する画面が表示されます。

6 **レベルを入力し [決定] にタッチする**

レベル 8	ディスクをすべて再生します。
レベル7～2	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル 1	子供向けディスクのみ再生します。

視聴制限のレベルが設定されます。

レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルは変更することができます。

初期設定メニューで [視聴制限] を選んでタッチする

→ *「初期設定を変更する」(P377)*

2 **登録したパスワードを入力する**

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

[入力完了] にタッチする

視聴制限レベルの変更が可能になります。

4 **レベルを入力し [決定] にタッチする**

変更した視聴制限のレベルが設定されます。

パスワードを変更する

設定したパスワードを変更することができます。

1 **パスワード入力画面で［パスワード変更］にタッチする**

→ *「パスワードと視聴制限レベルの設定」(P380)*

2 **現在のパスワードを入力し［入力完了］にタッチする**

3 **新しいパスワードを入力し［入力完了］にタッチする**

4 **確認のため再度新しいパスワードを入力し［入力完了］にタッチする**

パスワードの変更が完了します。

パスワードを忘れたときは

パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。

パスワードをクリアするには、未入力の状態のパスワードを入力する画面で次のように操作します。

パスワード入力画面を表示する

→ *「パスワードと視聴制限レベルの設定」(P380)*

2 **文字未入力の状態で［修正］を5回連続でタッチする**

メッセージが表示され、パスワードがクリアされます。

言語コード表

言語名	入力コード
アファル語	6565
アブバジア語	6566
アフリカーンス語	6570
アムハラ語	6577
アラビア語	6582
アッサム語	6583
アイマラ語	6589
アゼルバイジャン語	6590
バキシール語	6665
白ロシア語	6669
ブルガリア語	6671
ビハーリー語	6672
ビスラマ語	6673
ベンガル語	6678
チベット語	6679
ブルトン語	6682
カタロニア語	6765
コルシカ語	6779
チェコ語	6783
ウェルシュ語	6789
デンマーク語	6865
ドイツ語	6869
ブータン語	6890
ギリシア語	6976
英語	6978
エスペラント語	6979
スペイン語	6983
エストニア語	6984
バスク語	6985
ペルシャ語	7065
フィンランド語	7073
フィジー語	7074
フェロー語	7079
フランス語	7082
フリジア語	7089
アイルランド語	7165
スコットランドゲール語	7168
ガルシア語	7176
グアラニー語	7178
グジャラード語	7185
ハウサ語	7265
ヘブライ語	7269
ヒンディー語	7273
クロアティア語	7282
ハンガリー語	7285
アルメニア語	7289

言語名	入力コード
国際語	7365
インドネシア語	7368
インターリング	7369
イヌピア語	7375
アイスランド語	7383
イタリア語	7384
日本語	7465
ジャワ語	7487
グルジア語	7565
カザフ語	7575
グリーンランド語	7576
カンボジア語	7577
カンナダ語	7578
韓国語	7579
カシミール語	7583
クルド語	7585
キルギス語	7589
ラテン語	7665
リンガラ語	7678
ラオス語	7679
リトアニア語	7684
ラトビア語	7686
マダガスカル語	7771
マオリ語	7773
マケドニア語	7775
マラヤーラム語	7776
モンゴル語	7778
モルダビア語	7779
マラータ語	7782
マレー語	7783
マルタ語	7784
ビルマ語	7789
ナウル語	7865
ネパール語	7869
オランダ語	7876
ノルウェー語	7879
オキタン語	7967
オロモ語	7977
オリヤー語	7982
パンジャブ語	8065
ポーランド語	8076
パシュトー語	8083
ポルトガル語	8084
ケチュア語	8185
レトロアンス語	8277
キルンディ語	8278

言語名	入力コード
ルーマニア語	8279
ロシア語	8285
キヤーワンダ語	8287
サンスクリット語	8365
シンド語	8368
サンゴ語	8371
セルボクロアティア語	8372
シンハリー語	8373
スロバキア語	8375
スロベニア語	8376
サモア語	8377
ショナ語	8378
ソマリア語	8379
アルバニア語	8381
セルビア語	8382
シスワティ語	8383
セストゥ語	8384
スンダ語	8385
スウェーデン語	8386
スワヒリ語	8387
タミル語	8465
テルグ語	8469
タジク語	8471
タイ語	8472
ティグリニャ語	8473
トゥルクメン語	8475
タガログ語	8476
セツワナ語	8478
トンガ語	8479
トルコ語	8482
ツォンガ語	8483
タタール語	8484
トウィ語	8487
ウクライナ語	8575
ウルドゥー語	8582
ウズベク語	8590
ベトナム語	8673
ヴォラピュック語	8679
ウォロフ語	8779
コーサ語	8872
イディッシュ語	8973
ヨルバ語	8979
中国語	9072
ズールー語	9085

サウンドコンテナ

サウンドコンテナとは

CD を Honda インターナビシステムのハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生できる機能です。

サウンドコンテナには、さらに次の機能があります。

- PC カード内の MP3/WMA ファイルの再生
- 録音時に自動作成されるオリジナルプレイリストによる再生 (録音した音楽 CD と同じ曲、同じ曲順)
- お好みで収録できるユーザープレイリストによる再生→ *「プレイリストを作成する」(P408)*
- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストをグループごとに管理

お知らせ

- 音楽 CD を録音する方法は選択できます。
  → *「CD 録音モードを設定する」(P398)*
- DVD ビデオやテレビなど、音楽 CD 以外の音声は録音できません。
- 本オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディクスの動作保証および性能保証は致しかねます。
- 音楽 CD などをデジタル録音した記録媒体 (CD-R/RW、PC カード) から、サウンドコンテナに録音 (コピー) することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。
- サウンドコンテナに録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスクなど) に複製することはできません。

グループ、プレイリスト、トラックについて

サウンドコンテナでは、グループ→プレイリスト→トラック (曲) の階層で管理されています。

■グループとは

複数のプレイリストを収録することができる場所で、季節に応じて聞きたいプレイリストや、家族の中で好みのプレイリストを分けておく場合に便利です。グループには大きくわけて [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード]、[(新規グループ)] の 4 つがあります。

→ *「グループの種類」(P387)*

■プレイリストとは

複数のトラック (曲) を収録することができる場所で、1 つのプレイリストに最大 99 曲のトラックを収録することができます。

オリジナルプレイリストとは

音楽 CD から録音するときに自動で作成されるプレイリストで、通常は音楽 CD のアルバムごとに管理されます。
ユーザープレイリストとは異なり、実際のデータとなるトラックが収録されます。

ユーザープレイリストとは

お客様自身がオリジナルプレイリスト内のお好みのトラックを選んで、収録することができるプレイリストです。お好みの曲を集めたアルバムを作成するときに便利です。
ユーザープレイリスト内のトラックはオリジナルプレイリストのトラックを参照している分身のようなもので、参照しているオリジナルプレイリストのトラックを消去すると、ユーザープレイリスト内のトラックも一緒に消去されます。

サウンドコンテナのイメージ

サウンドコンテナ

グループ番号 01
オリジナル
(オリジナルプレイリスト)
♪トラック(曲)
(オリジナルプレイリスト)

グループ番号 02
お気に入り/よく聴いた曲ベスト
お気に入り
よく聴いた曲ベスト

グループ番号 03
PC カード
音楽データ
♪トラック(曲)

グループ番号 04
(新規グループ)
(ユーザープレイリスト)
(ユーザープレイリスト)
♪トラック(曲)

グループ番号 05
(新規グループ)

グループ番号 99
(新規グループ)

グループ　プレイリスト　トラック

グループの種類

[オリジナル]	(グループ番号 :01)　音楽 CD から録音するときに自動で作成されるオリジナルプレイリストが収録される場所で、ユーザープレイリストを登録することはできません。また、グループの名称変更、削除はできません。最大 9999 個のオリジナルプレイリストを収録することができます。
[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]	(グループ番号 :02)　サウンドコンテナで再生した情報をもとに自動作成するプレイリストなどを収録する場所で、[お気に入り]、[よく聴いた曲ベスト] のプレイリストが収録されています。ユーザープレイリストを追加することはできません。また、グループの名称変更、削除はできません。
[PC カード]	(グループ番号 :03)　挿入された PC カード内の曲を表示させる場所で、[音楽データ] のプレイリストが収録されています。PC カードが挿入されていない、または再生可能な圧縮形式の音楽データがない場合は、[PC カード] 内のリストは表示されません。また、グループの名称変更、削除はできません。
[(新規グループ)]	(グループ番号 :04 ～ 99)　お客様が作成したユーザープレイリストを収録する場所で、1 つのグループ内に最大 999 個のユーザープレイリストを収録することができます。グループの名称変更、削除ができます。

サウンドコンテナの聞きかた

登録されている全プレイリスト内の曲が再生されます。

再生できる PC カード内の MP3 ファイルについては、*「MP3 ファイルについて」(→ P339)* を、WMA ファイルについては、*「WMA ファイルについて」(→ P341)* を参照してください。

お知らせ

- すべてのプレイリストが繰り返し再生されます。(小さい No. のプレイリストより順に再生され、最後のプレイリストの再生が終わると最初のプレイリストに戻り、再生を始めます。)
- 再生順序を変更することができます。
  →「プレイリストの再生順番を変更する」(P415)
- 音楽 CD の録音中にもサウンドコンテナを再生することができます。録音中の曲は、録音が完了するまでサウンドコンテナで再生することはできません。

PC カード内の MP3/WMA ファイルについて

- フォルダがたくさんある PC カードは、再生が始まるまで時間がかかります。
- [PC カード] のグループで表示できる曲は最大 99 曲までです。
- 各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。
- PC カードが挿入されていても MP3/WMA ファイルが PC カード内に存在しない場合は、「PC カード」グループ内のリストは表示されません。
- ID3 Tag*(→ P339)*、WMA タグ *(→ P341)* からタイトル情報を取得できた場合は、リスト上部にトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。アーティスト名は表示されません。
- 再生中に PC カードを抜くと [オリジナル] グループの一番小さい番号のプレイリストの 1 曲目の再生が開始されます。ハードディスク内にプレイリストがない場合は、再生が停止します。

お知らせ

- 再生の順番は MP3/WMA ファイルの作成日時の古い順になります。パソコンで PC カードに複数のファイルをまとめてコピーしたり、フォルダごとにコピーした場合は、パソコンのファイルシステムに依存します。

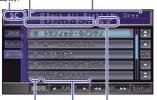
1 [SOURCE] ボタン ➜[SC] にタッチする

▼

サウンドコンテナに切り換わります。

アドバイス

- すでにサウンドコンテナが再生されており、ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してサウンドコンテナのオーディオ画面に切り換えることができます。

2 [PLAYLIST] の [◀]、[▶] または [TRACK] の [⏮]、[⏭] にタッチして、聞きたい曲を選ぶ

[PLAYLIST]

[◀]	前のプレイリストを選ぶとき
[▶]	次のプレイリストを選ぶとき

[TRACK]

[⏮]	前の曲 / 再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[⏮] をタッチし続けます。
早送りする場合は、[⏭] をタッチし続けます。

お知らせ

- 走行中はトラックリストにトラックタイトルは表示されません。(グループリスト、プレイリストも同様)

グループリスト、プレイリスト、トラックリストを切り換える

[GROUP]、[PLAYLIST] または [TRACK] にタッチする

グループリスト、プレイリストとトラックリストが切り換わります。グループやプレイリスト、トラックにタッチすることで選ぶことができます。

→ *「聞きたい曲を探す」(P393)*

サウンドコンテナの終了のしかた

[⏻ AUDIO] ボタンを押す

サウンドコンテナの再生が停止します。

サウンドコンテナのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生が行えます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。
- グループ単位で曲のリピート再生、ランダム再生、スキャン再生をすることはできません。

■リピート再生

再生中の曲、またはその曲を含むプレイリスト内のすべての曲を繰り返し聞くことができます。

[オーディオメニュー] にタッチする

[REPEAT] にタッチする

▼

リピート再生が始まります。

3 再度 [REPEAT] を押す

タッチするたびに、[REPEAT] → [PLAYLIST-REPEAT] → [OFF] と切り換わります

[REPEAT]	再生中の曲をリピート再生します。
[PLAYLIST-REPEAT]	再生中のプレイリストをリピート再生します。
[OFF]	リピート再生を解除します。

▼

リピート再生中の表示

■ランダム再生

再生中のプレイリスト内の曲順、または [オリジナル] グループ内のプレイリストの順番とリスト内の曲順を変えて再生することができます。

[オーディオメニュー]➔[RANDOM]にタッチする

▼

ランダム再生が始まります。

2 再度 [RANDOM] にタッチする

タッチするたびに、[RANDOM] → [PLAYLIST-RANDOM] → [OFF] と切り換わります。

[RANDOM]	再生中のプレイリスト内にあるすべての曲をランダム再生します。
[PLAYLIST-RANDOM]	[オリジナル] のグループ内にあるすべての曲および PC カード内の曲をランダム再生します。
[OFF]	ランダム再生を解除します。

▼

ランダム再生中の表示

■スキャン再生

再生中のプレイリスト内の曲、または再生中のグループ内にある全プレイリストの先頭曲の始めの部分を、約 10 秒間ずつ聞くことができます。
聞きたい曲を探すときに使います。

1 **[オーディオメニュー]➔[SCAN] にタッチする**

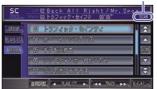
▼

スキャン再生が始まります。

2 **再度 [SCAN] にタッチする**

タッチするたびに、[SCAN] → [PLAYLIST-SCAN] → [OFF] と切り換わります。

[SCAN]	再生中のプレイリスト内にあるすべての曲をスキャン再生します。
[PLAYLIST-SCAN]	再生中のグループ内にあるすべてのプレイリストの先頭曲をスキャン再生します。
[OFF]	スキャン再生を解除します。

スキャン再生中の表示

お知らせ

- スキャン再生は、始めた曲まで戻ると自動的に解除されます。

3 **聞きたい曲が再生されたら、[実行] を押す**

選んだ曲を再生します。

聞きたい曲を探す 簡単 標準

グループ、プレイリスト、トラックのリスト画面を見ながら探したり、ジャンルやアーティスト名を指定して探したりすることができます。

お知らせ

- 曲を探しているときに、再生中の曲のトラックリストを表示させたいときは[HOME] にタッチします。

リスト画面から探す

聞きたい曲が収録されているグループやプレイリストを選んだり、トラック（曲）を選んで再生することができます。

サウンドコンテナを再生する

→ *「サウンドコンテナの聞きかた」(P388)*

サウンドコンテナの操作画面が表示されます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

聞きたい曲が収録されているグループを選んで [PLAYLIST] にタッチする

▼

選んだグループに収録されているプレイリストのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- リスト上のグループにタッチしてもプレイリストのリスト画面が表示されます。

3 聞きたい曲が収録されているプレイリストを選んで [TRACK] にタッチする

▼

選んだプレイリストに収録されているトラックのリスト画面が表示されます。

お知らせ

- リスト上のプレイリストにタッチすると、収録されているトラックの1曲目が再生されます。
- [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループにある [よく聴いた曲ベスト] にタッチすると、*「よく聴いた曲を設定する」(→ P402)* で指定した条件でトラックのリストが更新されます。

つづく →

4 聞きたい曲を選んでタッチする

▼

選んだトラックの曲が再生されます。

検索機能を使って探す

サウンドコンテナでは、大量に登録された曲を探すため、さまざまな条件を指定して探すことができる検索機能があります。録音した時期、ジャンル、プレイリスト名、トラック名、アーティスト名、再生回数、再生した時期、の指定を組み合わせて探すことができます。

1 サウンドコンテナの操作画面で [オーディオメニュー] にタッチする

2 [機能設定] にタッチする

3 [検索] にタッチする

4 各項目を選んでタッチする

5 設定したい条件にタッチする

以降、手順４～５を繰り返し、さまざまな条件を指定します。

6 [検索開始] にタッチする

▼

検索条件に該当した曲のリストが表示されます。

7 聞きたい曲を選んでタッチする

▼

選んだ曲の再生が開始されます。

お知らせ

- 検索条件に該当したリスト内の曲を１つのプレイリストに登録することができます。→ *「検索結果をプレイリストに登録する」(P397)*

検索条件一覧

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定 (初期状態) です。

項目	条件	内容
録音した時期	**[期限なし]**	録音した時期を検索条件から外します。
	[1 週間以内]	過去 1 週間以内に録音された曲を探します。
	[1 ヶ月以内]	過去 1 ヶ月以内に録音された曲を探します。
	[半年以内]	過去半年以内に録音された曲を探します。
	[半年以上前]	過去半年以上前に録音された曲を探します。
	[1 年以内]	過去 1 年以内に録音された曲を探します。
	[1 年以上前]	過去 1 年以上前に録音された曲を探します。
	[3 年以内]	過去 3 年以内に録音された曲を探します。
	[3 年以上前]	過去 3 年以上前に録音された曲を探します。
ジャンル※ 1	**[制限なし]**	ジャンルを検索条件から外します。
	[(ジャンル名)]	該当するジャンルの曲を探します。選択できるジャンルは 1 つです。
プレイリスト名※ 2	**[制限なし]**	プレイリスト名を検索条件から外します。
	[キーボード入力]	文字入力画面で、指定するプレイリスト名の一部を入力して探します。→ *「文字入力のしかた」(P38)*
	[(プレイリスト名)]	該当するプレイリスト名の曲を探します。選択できるプレイリスト名は 1 つです。
トラック名※ 3	**[制限なし]**	トラック名を検索条件から外します。
	[キーボード入力]	文字入力画面で、指定するトラック名の一部を入力して探します。→ *「文字入力のしかた」(P38)*
	[(トラック名)]	該当するトラック名の曲を探します。選択できるトラック名は 1 つです。
アーティスト名※ 4	**[制限なし]**	アーティスト名を検索条件から外します。
	[キーボード入力]	文字入力画面で、指定するアーティスト名の一部を入力して探します。→ *「文字入力のしかた」(P38)*
	[(アーティスト名)]	該当するアーティスト名の曲を探します。選択できるアーティスト名は 1 つです。
再生回数	**[制限なし]**	再生回数を検索条件から外します。
	[0 回]	過去に再生したことがない曲を探します。
	[1 ～ 5 回]	過去に 1 回～ 5 回再生した曲を探します。
	[6 回以上]	過去に 6 回以上再生した曲を探します。

つづく →

項目	条件	内容
再生した時期	**[期限なし]**	再生した時期を検索条件から外します。
	[半年以内]	過去半年以内に再生された曲を探します。
	[半年以上前]	過去半年以上前に再生された曲を探します。
	[1 年以内]	過去 1 年以内に再生された曲を探します。
	[1 年以上前]	過去 1 年以上前に再生された曲を探します。
	[3 年以内]	過去 3 年以内に再生された曲を探します。
	[3 年以上前]	過去 3 年以上前に再生された曲を探します。

※ 1　タイトル情報 *(→ P419)* でジャンルが指定されていない場合は条件のリストに表示されません。
※ 2　タイトル情報 *(→ P419)* でプレイリスト名が登録されていない場合は条件のリストに表示されません。
※ 3　タイトル情報 *(→ P419)* でトラック名が登録されていない場合は条件のリストに表示されません。
※ 4　タイトル情報 *(→ P419)* でアーティスト名が登録されていない場合は条件のリストに表示されません。

■検索結果をプレイリストに登録する

「検索機能を使って探す」(→ P394) での検索結果で表示されたリスト内の曲を、新しくプレイリストを作り登録することができます。

アドバイス

- ここで作成するプレイリストはすべてユーザープレイリストです。
  → *「ユーザープレイリストとは」(P386)*

1 検索機能を使って曲を探す

→ *「検索機能を使って探す」(P394)*

2 検索結果のリスト画面で [プレイリスト登録] にタッチする

3 収録したいグループを選んでタッチする

お知らせ

- 収録するグループを選ぶには、あらかじめ [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] 以外のグループを作成しておく必要があります。
  → *「グループを作成する」(P404)*

お知らせ

- グループを作成していなかった場合は、自動的に日付名のグループが作成され、手順 4 に進みます。
- グループ名は編集することができます。
  → *「グループ名を変更する」(P404)*

4 新規プレイリストのタイトルを入力する

→ *「文字入力のしかた」(P38)*

お知らせ

- あらかじめ日付がプレイリスト名として入力されています。

5 [入力完了] にタッチする

▼

新しく作成したプレイリストに検索結果の曲が登録され、選んだグループに収録されます。

サウンドコンテナに録音する

**音楽 CD から録音したオリジナルプレイリストはすべて [オリジナル] のグループに収録されます。
ここでは、録音前の設定および録音方法について説明します。**

お知らせ

- 音楽 CD からサウンドコンテナへの録音は約 4 倍速で行われます。
- サウンドコンテナに録音中でも、録音済みのプレイリストを再生することができます。

録音設定をする

■CD 録音モードを設定する

音楽 CD の録音モードを設定します。

→ *「CD 再生中に自動的に録音する」(P400)*
→ *「CD を手動で録音する」(P400)*
→ *「CD の 1 曲目だけを自動的に録音する」(P401)*

お知らせ

- 録音中に設定する場合は、録音をいったん停止してください。
- 出荷時の録音モードは [自動録音] です。

CD の操作画面で [オーディオメニュー] にタッチする

2 **[録音設定] にタッチする**

3 **設定したい録音モードにタッチする**

録音設定画面では、次の設定ができます。

[自動録音]	CD を再生すると、自動的にサウンドコンテナに録音されます。
[手動録音]	CD 再生中に、タッチ操作してサウンドコンテナに録音します。
[シングル録音]	CD の 1 曲目だけが自動的にサウンドコンテナに録音されます。

▼

録音モードが設定されます。

■録音についての注意事項

録音する前にお読みください。

お知らせ

- お客様の録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音したものは、原音とは音質が異なったり、ノイズが発生する可能性があります。
- 著作権保護のため、法人登録車ではサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

■CD 録音の制限について

すべての録音モード

- 録音中の曲は CD の音声 (原音) で聞くことができません。(録音中は、オーディオ画面が CD になっていても録音済みのサウンドコンテナの音声で再生されています。)
- サウンドコンテナで録音中の曲を聞くことができますが、録音開始直後は再生までに若干時間がかかります。
- 録音中は早送り / 早戻しはできません。
- 録音中はリピート再生、ランダム再生、スキャン再生はできません。
- CD 以外の音源が選択されても、サウンドコンテナは CD の録音を継続します。
- 録音中は Honda インターナビシステムの操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びしてエラーが検出された場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- トラック間 (曲間) にブランクがない CD を録音すると、曲間に無音が録音されます。
- サウンドコンテナの録音可能時間 (ハードディスク容量) が CD の演奏時間より短い場合は、録音できません。(録音機能は働きません。)
- 地図画面のときは、画面中段左端に録音中のマーク R が表示されます。
- 本オーディオシステムは音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- 音楽 CD などをデジタル録音した記録媒体 (CD-R/RW など) から、サウンドコンテナに録音 (コピー) することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。

自動録音 / シングル録音モード

- すでに録音済みの曲は、同じ CD から重複して録音できません。
- エンジンスイッチを“0”にすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、エンジンスイッチを“0”にしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- 録音中に CD を取り出すと、録音中だった曲は消去されます。
- 選曲すると、録音中の曲が消去され、次の未録音の曲から録音を開始します。([自動録音] 選択時のみ)

手動録音モード (1 曲のみ)

- CD 録音モードを [自動録音] に切り換えると、次の曲から録音を開始します。
- CD 録音モードを [シングル録音] に切り換えると、次の未録音の曲がトラック 1 のときのみ録音を開始します。

CD 再生中に自動的に録音する

CD を再生すると、自動的にサウンドコンテナに録音されます。

録音設定の画面で録音モードを[自動録音] にする

→ *「CD 録音モードを設定する」(P398)*

2 CD を再生する

→ *「CD の聞きかた」(P354)*

録音中の表示 (赤色) ※

CD の録音が始まります。

※ 再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。

すべての曲の録音が終了すると「REC」マークが消えます。

録音を停止する場合は、*「録音を停止する」(→P401)* を参照してください。

CD を手動で録音する

CD の曲を、ボタンを操作してサウンドコンテナに録音します。

録音設定の画面で録音モードを[手動録音] にする

→ *「CD 録音モードを設定する」(P398)*

録音したい曲を再生する

→ *「CD の聞きかた」(P354)*

CD の操作画面で [オーディオメニュー]➜[録音開始] にタッチする

録音中の表示 (赤色)

再生中の曲は始めに戻って再生され、録音が始まります。

録音が完了すると、「REC」マークが消えます。

録音を停止する場合は、*「録音を停止する」(→P401)* を参照してください。

CD の 1 曲目だけを自動的に録音する

CD を再生すると、1 曲目だけが自動的にサウンドコンテナに録音されます。

録音設定の画面で録音モードを[シングル録音] にする

→ *「CD 録音モードを設定する」(P398)*

CD を再生する

→ *「CD の聞きかた」(P354)*

録音中の表示 (赤色)

CD の録音が始まります。

1 曲目の録音が終了すると、「REC」マークが消えます。

お知らせ

- シングル録音では 1 曲目以外を再生中に、[録音開始] にタッチしても、録音を開始させることはできません。

録音を停止する

CD の操作画面で [オーディオメニュー]➜[録音停止] にタッチする

▼

録音が停止します。

よく聴いた曲を設定する

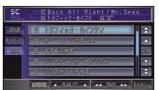
[よく聴いた曲ベスト] の条件設定や [お気に入り] へ曲を追加することができます。

お知らせ

- [よく聴いた曲ベスト] や [お気に入り] は [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループ内にあるプレイリストです。詳しくは、*「グループ、プレイリスト、トラックについて」(→ P386)* を参照してください。

よく聴いた曲ベストの条件を設定する

[よく聴いた曲ベスト] のプレイリストを作成するための検索期間を設定することができます。

1 サウンドコンテナの操作画面で [オーディオメニュー] にタッチする

2 [よく聴いた曲設定] にタッチする

3 設定したい条件にタッチする

▼

選んだ条件が設定されます。

よく聴いた曲の設定条件

[過去 30 日によく聴いた曲]	当日からさかのぼって 30 日間でよく聴いた曲が登録されます。
[過去 3 ヶ月によく聴いた曲]	当月を含む過去 3 ヶ月でよく聴いた曲が登録されます。
[過去 6 ヶ月によく聴いた曲]	当月を含む過去 6 ヶ月でよく聴いた曲が登録されます。

■再生履歴を消去する

過去に再生した曲すべての履歴を消去することができます。

1 **[オーディオメニュー]➔[よく聴いた曲設定] にタッチする**

2 **[再生履歴消去] にタッチする**

3 **[消去する] にタッチする**

▼

過去に再生した曲すべての履歴が消去されます。

お気に入りに登録する

サウンドコンテナで曲を再生しているときに気に入った曲があったとき、[お気に入り] のプレイリストに登録することができます。

1 **[オーディオメニュー]➔[お気に入りに追加] にタッチする**

2 **[追加する] にタッチする**

▼

[お気に入り] のプレイリストに再生していた曲が登録されます。

グループを編集する

ユーザープレイリストを収録するグループを作成、編集することができます。

グループを作成する

ユーザープレイリストを収録するためのグループを新規作成し、サウンドコンテナのグループのリストに追加することができます。

1 サウンドコンテナの操作画面で［オーディオメニュー］にタッチする

2 ［新規グループ作成］にタッチする

3 新規グループのタイトル名を入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- あらかじめ日付がグループ名として入力されています。

4 ［入力完了］にタッチする

▼

新しいグループがグループのリストに追加されます。

グループ名を変更する

作成したグループの名称を変更することができます。

お知らせ

- ［オリジナル］、［お気に入り / よく聴いた曲ベスト］、[PC カード］のグループは、グループ名を変更できません。

1 ［オーディオメニュー］➜［機能設定］にタッチする

2 ［タイトル編集］にタッチする

3 いずれかのユーザープレイリストを選んでタッチする

お知らせ

- あらかじめ、*「グループを作成する」(→P404)* で作成したグループにユーザープレイリストを収録しておく必要があります。→*「プレイリストを作成する」(P408)*

▼

ユーザープレイリストの編集画面が表示されます。

アドバイス

- ユーザープレイリストの編集画面では、タイトル名やアーティスト名の変更などができます。詳しくは*「プレイリストを編集する」(→P412)* を参照してください。

4 [グループ] にタッチする

5 名称を変更したいグループを選んで [グループ名編集] にタッチする

6 グループ名を編集する

→*「文字入力のしかた」(P38)*

7 [入力完了] にタッチする

▼

選んだグループの名称が変更されます。

使う通信機能を
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

収録するグループを変更する

ユーザープレイリストの編集画面で収録するグループを変更することができます。

お知らせ

- 収録するグループを [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] のグループへ変更することはできません。
- [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] のグループ内のプレイリストを別のグループに変更することはできません。
- トラック編集画面では、グループの変更はできません。

1 ユーザープレイリストの編集画面を表示する

→「グループ名を変更する」(P404)

2 [グループ] にタッチする

3 収録したいグループを選んでタッチする

▼

選んだグループへ変更されます。

グループの再生順番を変更する

お知らせ

- 通常の再生では、グループ番号順に再生されます。

1 [オーディオメニュー]➜[機能設定] にタッチする

2 [プレイリスト編集] にタッチする

3 [プレイリスト再生順変更] にタッチする

4 [GROUP] にタッチする

5 [グループ再生順変更] にタッチする

6 [移動] にタッチする

お知らせ

- 再生順番を初期状態 (グループ番号順) に戻すときは、[標準] にタッチします。

7 再生順番を変更したいグループを選んでタッチする

選んだグループは色が変わって表示されます。

8 挿入したい位置を選んでタッチする

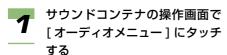
▼

選んだ位置にグループが移動します。

プレイリストを作成する

プレイリストには、オリジナルプレイリストとユーザープレイリストの２種類があります。
→「プレイリストとは」(P386)
ここでは、新しくユーザープレイリストを作成し曲を登録する方法を説明します。

- プレイリストは、１つのグループ内に 999 個まで作成できます。
- １つのプレイリストには、99 曲 (トラック) まで登録できます。

1 サウンドコンテナの操作画面で [オーディオメニュー] にタッチする

2 [機能設定] にタッチする

3 [新規プレイリスト作成] にタッチする

4 収録したいグループを選んでタッチする

お知らせ

- 収録するグループを選ぶには、あらかじめ [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] 以外のグループを作成しておく必要があります。→「グループを作成する」(P404)
- グループを作成していなかった場合は、自動的に日付名のグループが作成され、手順５に進みます。グループ名は後で変更することができます。→「グループ名を変更する」(P404)

5 新規プレイリストのタイトルを入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

お知らせ

- あらかじめ日付がプレイリスト名として入力されています。

6 ［入力完了］にタッチする

▼

曲の検索方法を選択する画面が表示されます。

- ［プレイリストから探す］を選んだ場合は、リスト画面から曲を探してプレイリストに登録することができます。
  →「リスト画面から曲を探して登録する」(P409)
- ［条件を指定して探す］を選んだ場合は、さまざまな条件を設定して曲を検索し、検索に該当した曲をプレイリストに登録することができます。
  →「検索機能で曲を探して登録する」(P410)

リスト画面から曲を探して登録する

登録したい曲が収録されているグループやプレイリストからトラック（曲）を選んで、新しく作成したプレイリストに登録することができます。

1 **曲の検索方法を選択する画面で、［プレイリストから探す］にタッチする**

→「プレイリストを作成する」(P408)

2 **登録したい曲を選んでタッチする**

曲の探しかたは、「リスト画面から探す」(→P393) と同様の操作となります。

▼

選んだ曲は色が青色に変わって表示されます。この操作を繰り返して登録したいすべての曲を選択していきます。

お知らせ

- PC カード内の曲は選択できません。

つづく →

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

3 [決定] にタッチする

▼

登録が完了し、新しく作成したプレイリストにトラックのリストが表示されます。

4 [完了] にタッチする

お知らせ

- [トラック追加] にタッチすると、さらに曲を追加することができます。*「プレイリストに曲を追加する」(→ P415)* と同様の操作となります。
- [トラック消去] にタッチすると、登録した曲を選んで消去することができます。*「グループ、プレイリスト、トラックを消去する」(→ P418)* と同様の操作となります。
- [再生順変更] にタッチすると、プレイリスト内の曲の再生順番を変更することができます。*「曲の再生順番を変更する」(→ P417)* と同様の操作となります。

登録操作が完了します。

アドバイス

- [戻る] にタッチしても完了します。

検索機能で曲を探して登録する

録音した時期、ジャンル、プレイリスト名、トラック名、アーティスト名、再生回数、再生した時期、の指定を組み合わせて検索し、検索結果の曲すべてを新しく作成したプレイリストに登録することができます。

1 曲の検索方法を選択する画面で [条件を指定して探す] にタッチする

→*「プレイリストを作成する」(P408)*

▼

検索メニュー画面が表示されます。

2 各項目を選んでタッチする

3 設定したい条件を選んでタッチする

以降、手順 2 〜 3 を繰り返し、さまざまな条件を指定します。

条件の設定内容については、*「検索機能を使って探す」(→ P394)* を参照してください。

4 [検索開始] にタッチする

検索条件に該当した曲のリストが表示されます。

お知らせ

- ここで表示されたリストの曲がすべて登録されます。曲を選んでタッチすると、登録対象から外したり入れたりすることができます。
- 登録する対象の曲は、青色に表示されています。

5 [決定] にタッチする

▼

登録が完了し、新しく作成したプレイリストにトラックのリストが表示されます。

6 [完了] にタッチする

お知らせ

- [トラック追加] にタッチすると、さらに曲を追加することができます。*「プレイリストに曲を追加する」(→ P415)* と同様の操作となります。
- [トラック消去] にタッチすると、登録した曲を選んで消去することができます。*「グループ、プレイリスト、トラックを消去する」(→ P418)* と同様の操作となります。
- [再生順変更] にタッチすると、プレイリスト内の曲の再生順番を変更することができます。*「曲の再生順番を変更する」(→ P417)* と同様の操作となります。

▼

登録操作が完了します。

アドバイス

- [戻る] にタッチしても完了します。

プレイリストを編集する

プレイリストやトラックの詳細情報の編集や、トラックの追加および再生順序の変更を行うことができます。

リストの詳細情報を表示する

登録されているプレイリストまたはトラックの情報を編集します。

- PC カード内の曲は編集できません。
- パソコンから PC カード内の曲の ID3 Tag、WMA タグを変更しても、トラック情報が更新されないことがあります。更新されないときは、PC カード内の該当するファイルをいったん消去して保存し直してください。

1 サウンドコンテナの操作画面で [オーディオメニュー] にタッチする

2 [機能設定] にタッチする

3 [タイトル編集] にタッチする

4 編集したいプレイリストまたはトラックを選んでタッチする

→「リスト画面から探す」(P393)

▼

編集画面が表示されます。

プレイリスト編集画面

※図はオリジナルプレイリストの編集画面です。ユーザープレイリストの編集画面のときは、[ジャンル] は表示されません。

トラック編集画面

■タイトルや読みを変更する

タイトルは表示や検索に、読みは音声操作で曲を選ぶときに使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDのタイトル表示に反映されます。

編集画面で[タイトル]または[タイトル読み]にタッチする

→「リストの詳細情報を表示する」(P412)

タイトルまたは読みを入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

[入力完了]にタッチする

▼

タイトルまたは読みが変更されます。

アドバイス

- タイトルや読みを変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。→「タイトル情報を取得する」(P419)

■アーティスト名を変更する

アーティスト名は検索に使用します。また、プレイリストの編集画面の場合[アーティスト読み]が編集できます。読みは音声操作で曲を選ぶときに使用します。

プレイリスト編集画面では[アーティスト]、トラック編集画面では[トラックアーティスト]にタッチする

→「リストの詳細情報を表示する」(P412)

[キーボード入力]にタッチする

お知らせ

- すでに登録されているアーティスト名からアーティストを選ぶときはリストから選んでタッチします。

つづく→

3 アーティスト名を入力する

→「文字入力のしかた」(P38)

4 [入力完了] にタッチする

▼

アーティスト名が変更されます。

アドバイス

- アーティスト名を変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。→「タイトル情報を取得する」(P419)

■グループを変更する

ユーザープレイリストの編集画面で [グループ] にタッチするとグループ名の変更や、別のグループへの移動が行えます。

→「グループ名を変更する」(P404)
→「収録するグループを変更する」(P406)

お知らせ

- [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] はグループの変更はできません。

■ジャンルを変更する

オリジナルプレイリストの場合、ジャンルを変更することができます。

お知らせ

- ユーザープレイリストでは [ジャンル] は表示されません。

1 編集画面で [ジャンル] にタッチする

→「リストの詳細情報を表示する」(P412)

2 ジャンルを選んでタッチする

▼

ジャンルが変更されます。

アドバイス

- ジャンルを変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。→「タイトル情報を取得する」(P419)

プレイリストに曲を追加する

ユーザープレイリストに曲を追加できます。

お知らせ

- オリジナルプレイリストには曲を追加できません。
- [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループ内にあるプレイリストには曲を追加できません。
- [PC カード] のグループ内にある [音楽データ] のプレイリストには曲を追加できません。

1 サウンドコンテナの操作画面で曲を追加したいユーザープレイリストを選ぶ

2 [オーディオメニュー]➜[機能設定] にタッチする

3 [プレイリスト編集] にタッチする

4 [トラック追加] にタッチする

▼

曲の検索方法を選択する画面が表示されます。
以降の操作手順は、*「リスト画面から曲を探して登録する」(→ P409)* または *「検索機能で曲を探して登録する」(→ P410)* と同様に行います。

再生順番を変更する

■プレイリストの再生順番を変更する

お知らせ

- 通常の再生では、プレイリスト画面に表示される順番で再生します。

1 サウンドコンテナの操作画面でプレイリストの再生順番を変更したいグループを選ぶ

2 [オーディオメニュー]➜[機能設定] にタッチする

つづく ➔

3 [プレイリスト編集] にタッチする

4 [プレイリスト再生順変更] にタッチする

5 [移動] にタッチする

お知らせ

- [移動] 以外の項目を選択した場合は、以降の操作は必要ありません。[移動] 以外の項目は以下の通りです。

[録音の古いものから]	録音した時期の古い順に変更されます。
[録音の新しいものから]	録音した時期の新しい順に変更されます。
[プレイリスト名称順]	名称順 (50 音順、次にアルファベット順) に変更されます。

6 順番を変更したいプレイリストを選んでタッチする

選んだプレイリストは色が変わって表示されます。

7 挿入したい位置を選んでタッチする

▼

選んだ位置にプレイリストが移動します。

■曲の再生順番を変更する

ユーザープレイリスト内の曲の再生順番を変更することができます。

お知らせ

- オリジナルプレイリストでは曲の再生順番を変更できません。
- [お気に入り / よく聴いた曲ベスト] のグループ内にある [よく聴いた曲ベスト] のプレイリストは曲の再生順番を変更できません。
- [PC カード] のグループ内にある [音楽データ] のプレイリストは曲の再生順番を変更できません。

1 サウンドコンテナの操作画面で曲の再生順番を変更したいユーザープレイリストを選ぶ

2 [オーディオメニュー]➜[機能設定] にタッチする

3 [プレイリスト編集] にタッチする

4 [トラック再生順変更] にタッチする

5 順番を変更したい曲を選んでタッチする

選んだ曲は色が変わって表示されます。

6 挿入したい位置を選んでタッチする

▼

選んだ位置に曲が移動します。

グループ、プレイリスト、トラックを消去する

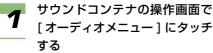
簡単　標準

お知らせ

- サウンドコンテナの録音した曲を一括で消去することができます。→ *「サウンドコンテナの曲をすべて消去する」(P425)*
- [オリジナル]、[お気に入り / よく聴いた曲ベスト]、[PC カード] のグループは消去できません。
- プレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータ (録音した曲) を消去します。
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去し、トラックデータ (録音した曲) は消去しません。

- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されます。
- PC カード内の曲は消去できません。

1 サウンドコンテナの操作画面で [オーディオメニュー] にタッチする

2 [機能設定] にタッチする

3 [消去] にタッチする

4 [GROUP]、[PLAYLIST] または [TRACK] を選ぶ

5 消去したいグループ、プレイリストまたはトラックを選んでタッチする

6 [消去する] にタッチする

▼

選んだグループ、プレイリストまたはトラックが消去されます。

タイトル情報を取得する

標準

プレイリストのタイトル情報は、Honda インターナビシステムのハードディスクに内蔵している Gracenote CDDB のデータベースから取得することができます。また、インターネット経由でも Gracenote CDDB のデータベースから取得することができます。(タイトルサーチ)タイトル情報を取得することにより、サウンドコンテナの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

■取得できる情報

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルの読み
- アルバムのアーティスト
- アルバムのアーティストの読み
- トラックタイトル
- トラックタイトルの読み
- トラックのアーティスト
- ジャンル

お知らせ

- CD または曲によっては取得できない情報もあります。
- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは通信で探すことができます。
- オリジナルプレイリスト以外は、タイトル情報は取得できません。

■Gracenote CDDB について

会社概要

音楽認識技術及び関連データ情報は、グレースノート及びグレースノート CDDB 音楽認識サービスにより、提供されます。グレースノートは音楽認識技術及び関連データ情報配信における業界標準となっています。詳細については、www.gracenote.com をご覧ください。

- 本体内蔵の Gracenote CDDB のデータベース、インターネットの Gracenote CDDB のデータベースともに、データの内容を 100% 保証するものではありません。
- Gracenote CDDB のインターネットのデータベースはメンテナンス等により予告なく停止することがあります。

特許及び商標

特許および商標については、*「Gracenote CDDB® Music Recognition Service について」**(→ P488)* を参照してください。

タイトル情報を取得するには

通常、音楽 CD を本機に挿入すると、自動的に内蔵のハードディスクからタイトル情報の取得を行います。取得したタイトル情報が別のものだった場合や、タイトル情報が取得できなかった場合は、通信や PC カードを使ってタイトル情報を取得することができます。

お知らせ

- 音楽 CD を挿入したときに内蔵のデータベースからタイトル情報が取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示されます。
- 通信または PC カードからタイトル情報を取得するには、インターナビ・プレミアムクラブにご入会いただく必要があります。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」*の*「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P214)*
- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録および通信機能の設定、携帯電話の接続、インターナビ情報センターの認証 (ログイン) を行わないと通信でタイトル情報を取得することはできません。詳しくは*「通信機能を使う」*の*「準備」*を参照してください。*(→ P216)*
- 通信で探すときハンズフリー電話を使用している場合は、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信を使ったタイトルサーチ中に電話がかかってきたときには、タイトルサーチが中断されます。
- 通信で情報を取得する場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

音楽 CD 録音後、タイトル情報を取得するには、サウンドコンテナから操作する必要があります。

タイトル情報を取得する

まず内蔵ハードディスクのデータベースからタイトル情報を取得します。取得できなかった場合も、続いて通信で取得することができます。

1 **プレイリストまたはトラックの編集画面で [情報取得] にタッチする**

→「リストの詳細情報を表示する」(P412)

ハードディスクから取得できたアルバム名

内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面が表示されます。

[(アルバム名)]	内蔵のハードディスクに収録されているデータベースから情報を取得できた場合に表示されます。
[該当タイトルなし]	タイトルは登録されません。プレイリスト編集画面またはトラック編集画面から、好みのタイトルを入力してください。→ *「タイトルや読みを変更する」(P413)*
[通信で取得]	携帯電話を使って、Gracenote CDDB のインターネットのデータベースから情報を取得します。
[No Title リストに登録する]	No Title リストに登録され、後で通信や PC カードを使って、タイトル情報を取得することができます。→ *「通信で取得する」(P421)* → *「PC カードを使って取得する」(P422)*

2 **登録したいタイトルを選んでタッチする**

▼

選んだタイトルが登録されます。

No Title リストのタイトル情報を取得する

[No Title リスト] に登録したプレイリストは通信機能や PC カードを使ってタイトル情報を取得することができます。

■通信で取得する

[No Title リスト] に登録したプレイリストは通信機能を使ってタイトル情報を取得することができます。

お知らせ

- 内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できなかったプレイリストを [No Title リスト] に登録しておく必要があります。→ *「タイトル情報を取得する」(P420)*

1 **サウンドコンテナの操作画面で [オーディオメニュー] にタッチする**

2 **[機能設定] にタッチする**

つづく →

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

3 [No Title リスト] にタッチする

▼

タイトル情報が取得できなかったプレイリストの一覧 (No Title リスト) が表示されます。

[一括] にタッチする

お知らせ

- 個別に取得する場合は、取得したいプレイリストを選んで、[通信で取得] にタッチします。

[通信で取得] にタッチする

▼

タイトル情報が取得されます。

- タイトル情報が取得できたプレイリストは [No Title リスト] から自動的に登録が解除されます。

■PC カードを使って取得する

PC カードを使ってタイトル情報を取得する場合は、以下の手順で行います。

1. [No Title リスト] のプレイリスト情報を PC カードに書き出す *(→ P423)*

▼

2. ご自宅のパソコンからパーソナル・ホームページに接続して、PC カード内のプレイリスト情報に該当するタイトル情報を取得する

お知らせ

- パーソナル･ホームページとは、インターナビ・プレミアムクラブが提供するパソコン・携帯電話向けサービスです。インターナビ・プレミアムクラブについては、*「通信機能を使う」の「インターナビ・プレミアムクラブとは」*を参照してください。*(→ P214)*

3. 再び本機に PC カードを挿入し、PC カードからタイトル情報を一括取得する *(→ P423)*

PC カードに情報を書き出す

PC カードにタイトル情報が取得できなかったプレイリストの情報を書き出します。

お知らせ

- PC カードから取得するためには、内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できなかったプレイリストを [No Title リスト] に登録しておく必要があります。→ *「タイトル情報を取得する」(P420)*
- 本機に PC カードを挿入しておく必要があります。→*「カードを接続する」(P278)*

No Title リストを表示する

→ *「通信で取得する」(P421)*

[一括]➔[PC カードへ書出し] にタッチする

▼

PC カードへプレイリストの情報を書き出します。

PC カードから情報を取得する

あらかじめ PC カードにタイトル情報を取得していれば、PC カードを使ってタイトル情報を一括で取得することができます。

お知らせ

- あらかじめご自宅のパソコンからパーソナル・ホームページに接続して、PC カード内のプレイリスト情報に該当するタイトル情報を取得しておく必要があります。

No Title リストを表示する

→ *「通信で取得する」(P421)*

[一括]➔[PC カードから取得] にタッチする

▼

PC カード内のタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報が取得できたプレイリストは No Title リストから自動的に登録が解除されます。

No Title リストの登録を解除する

No Title リストに登録されているプレイリストを解除します。

お知らせ

- ここでは、NoTitle リストの登録を解除するのみで、曲のデータを消去することはできません。
- 一括解除することはできません。1 件ずつ解除してください。

No Title リストを表示する

→ *「通信で取得する」(P421)*

解除したいプレイリストを選んで [リストから消去] にタッチする

▼

選んだプレイリストを No Title リストの登録から解除します。

お知らせ

- 再び登録する場合は、*「タイトル情報を取得する」(→ P420)* の手順 2 で [No Title リストに登録する] にタッチしてください。

サウンドコンテナの曲をすべて消去する

録音した曲をすべて一括消去することができます。
オリジナルプレイリスト、ユーザープレイリストを問わず、すべての曲を消去します。

- 一度全消去すると、元に戻せません。
- 車を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。

1 サウンドコンテナの操作画面で［オーディオメニュー］にタッチする

2 ［機能設定］にタッチする

3 ［サウンドコンテナの全消去］にタッチする

4 ［全消去する］にタッチする

5 ［実行する］にタッチする

▼

録音したすべての曲が消去されます。

アドバイス

- 標準操作モードの場合、［メニュー］ボタン→［付加機能］→［データ編集］→［サウンドコンテナの全消去］でも同様に消去することができます。

その他

GPSの測位について

現在地がわかるしくみ

ナビゲーションシステムでは、現在地(自車位置)を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星(人工衛星)から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS(Global Positioning System: グローバル・ポジショニング・システム)です。GPS衛星は、地球の周り高度21,000kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。

種類	内容
3次元測位	4個以上のGPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度/経度/高度の3次元で測位できます。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度/経度の2次元で測位します。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜センサーで、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、車速パルスとジャイロセンサーによる自立航法に、傾斜センサーで検出した高度差を考慮することにより、高精度な測位が可能です。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスと、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能です。

3D ハイブリッドセンサーの特長

- **高度差の測位も可能です**
  平面的な測位の場合、立体交差や上下に高速道路と一般道路がある場所では、側道と本道、あるいは高速道路と一般道路のどちらにいるのか判断できないことがありました。
  3D ハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、地図上では高速道路と一般道路が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。

- **ワインディングロードや坂道で生じる距離誤差も修正します。**
  山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、自車位置の先走りといった現象が起きることがありました。
  3D ハイブリッドセンサーは、測位した高度差から誤差を修正して、高精度な測位を可能にしています。

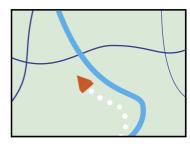
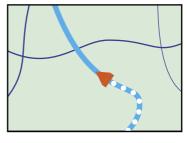
- **誤差の学習や補正を行います**
  - 3D ハイブリッドセンサーは、自分自身で計算した現在地と GPS 測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。
  - 学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。
  - 走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

お願い

- 3D ハイブリッドセンサーは、GPS 衛星の電波が受信できないときは、学習・補正効果を高めるため、学習や補正を行いません。したがって、GPS による測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。このようなときは、GPS 受信状態で 1 時間程度走行すると、精度が回復します。

■マップマッチング

GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外 (例えば川の中) になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていない場合

マップマッチングしている場合

本ナビゲーションシステムでは、GPS と自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能です。

道路データについて

市街地図で道路が表示されていても、その道路をルート計算またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

現在地や軌跡の誤差について

GPS や自立航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができます。ただし、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

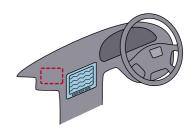
- 2 つ以下の GPS 衛星の電波しか受信できないときは、GPS による測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場

2 層構造の高速道路の下

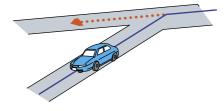
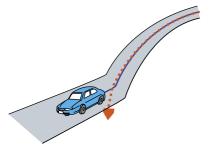
高層ビルの群衆地帯

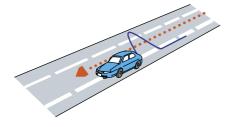
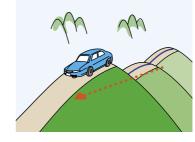
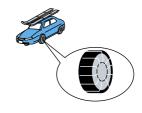
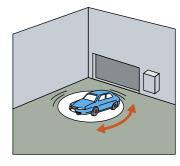
密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  - 車載のテレビで 56 チャンネル (UHF) を受信している。
  - GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPS アンテナの上部やまわりに金属製の物などを置くなどしないでください。また、ウインドーに金属を含有するウインドーフィルムなどを貼り付けないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。
  GPS アンテナは、インストルメントパネルの中央裏側にあります。

GPS 衛星自体による誤差

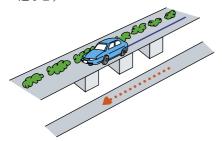
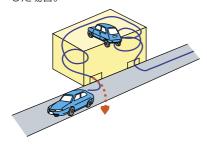
- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3 次元測位のときは、約 10m ～ 100m の誤差で現在地を測位します。2 次元測位のときは、3 次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS 衛星の配置が悪いとき (衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき) には、十分な精度が得られないことがあります。(GPS 測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信したときに、 最も良い精度が得られるようになっています。)
- GPS 測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下 (地球の裏側) に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

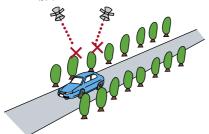
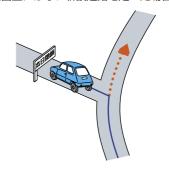
その他の誤差について

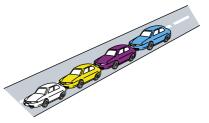
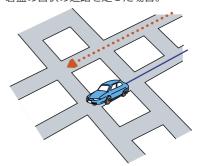
- 角度の小さな Y 字路を走った場合。

- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。

- 蛇行運転をした場合。

- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。

- チェーンを装着したときやサイズの違うタイヤに交換したとき、またタイヤの空気圧が正しく調整されていない場合。

- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

- ヘアピンカーブが続いた場合。

つづく →

- 道路が近接している場合。（高速道路と側道など）

- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。

- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。

- ループ橋などを通った場合。

- 地図上にはない新設道路を走った場合。

- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。

- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。

- 碁盤の目状の道路を走った場合。

- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

高速 / 高架道路での誤差について

高速道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3D ハイブリッドセンサーが傾斜を検知します。本ナビゲーションシステムはこの傾斜の検知とディスクに収録されている道路の傾斜のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、傾斜を検知しても道路の傾斜のデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

おすすめルートについて

ルート計算の仕様

お知らせ

- ルート計算をすると、自動的にルート案内／音声での案内が設定されます。交通規制情報はルート計算した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 計算されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本ナビゲーションシステムが求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート計算(学習ルートを含む)は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。市街地図にだけ表示される道路は対象となりません。なお、市街地図に表示されない道路でも、100mスケールの地図に表示されていれば、市街地図ルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます。(本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが計算されます)
- フェリー航路に関してはルート計算の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路をルート計算すると、エラーメッセージが表示されます。
- 案内地点には、右左折や高速道路出口などを案内する音声が自動的に設定されます。

ルート計算のしかた

- 出発地(自車位置)から最も近い、道路前方の交差点が第1案内地点となります。
- 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
- 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 回避エリアを登録しても、その場所が回避されない場合があります。
- VICSルート計算、フェリー使用などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。

- 推奨できるルートが 5 本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 経由地、乗り降り IC の指定、および音声操作によるルート計算、自宅ルート計算を行った場合、ルートは 1 本のみ計算されます。
- 最長 5,000km 程度までルート計算できます。
- 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。
  場所によってはルート計算できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に経由地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路 (100m スケールでグレー表示の細い道) 以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。(音声での案内は継続されます。)

音声での案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 高速道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D 交差点拡大図は、交差点とその 150m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路が直交する交差点では、交差点拡大図の下から自車マークが交差点内に現れます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向から現れます。
- 第 1 案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

ルート候補選択画面での高速料金について

- 特殊な料金体系の高速道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 高速道路上およびランプ上からルートを計算したときや、高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく表示されないことがあります。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 高速料金は改定される場合がありますので、あくまでも目安としてお使いください。
- 高速道路をまったく使用しないときは、「0 円」と表示されます。

オートリルートについて

目的地、経由地付近に時間規制があり、ルート設定時は通行できたが、走行中に通行不可となることがあります。このときオートリルートをすると、ルート設定に失敗し、画面にはメッセージが「自動ルート再計算に失敗しました」と表示され、誘導が中止になります。
この場合は、目的地、経由地の場所を変更する必要があります。

VICS について

VICS センターからのおことわり

VICS センターは、何らかの理由により情報が送信できなくなった場合、メッセージを送信します。

メッセージ内容は、VICS センターから送られるものです。
地図画面表示中にメッセージを受信した場合は、約 15 秒間割り込み表示します。
他の画面表示時に受信した場合は、メッセージ受信後、他の画面から地図画面に表示を切り換えたときにメッセージを表示します。

お知らせ

- VICS 設定 *(→ P180)* で「文字情報割込み」を「する」に設定されていないと、ことわり情報は表示されません。
- 自動割り込みされたことわり情報は [割込情報] から再表示することができます。*(→ P150)*

VICS 情報の提供について注意事項

以下のような状況下においては、VICS 情報が良好に受信できなくなることがあります。

■電波ビーコン

- 大型車が障害となり、受信状態が悪くなることがあります。
- ビーコン送受信機の上に電波をさえぎるものを置くと、受信が困難になります。
- 高速道路の高架下を走行したとき、高速道路の電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- 車両がビーコンの横を完全に通過しても、受信が完了するまでに若干時間がかかります。

■光ビーコン

- 大型車が障害となり、受信状態が悪くなることがあります。
- ビーコン送受信機の上に光をさえぎるものを置くと、受信が困難になります。
- ビーコン送受信機の取付角度がずれていると、うまく受信できないことがあります。
- 積雪などのしゃへい物があると、うまく受信できないことがあります。
- 太陽やネオンサインの影響でうまく受信できないことがあります。
- 車両がビーコンの横を完全に通過しても、受信が完了するまでに若干時間がかかります。

■FM 多重放送

- 電車の架線 / 高圧線 / 信号機 / ネオンサインなどの近くでは、受信状態が悪くなることがあります。
- 車の位置によっては、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
- 他の電波送信用アンテナの近くでは、受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内は電波が届きにくくなり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送局から遠くなると電波が届きにくくなり、受信状態が悪くなります。
- FM 放送が聞こえていても、その放送局の VICS 情報の受信状態が悪い場合があります。

■インターナビ VICS

- 携帯電話の通話状態が悪いと受信状態が悪くなります。
- 管理者システムで情報収集されていない道路については、VICS 情報は提供されていません。
- VICS センターおよびインターナビ情報センターのメンテナンスなどにより VICS 情報が提供されない場合があります。

■VICS 情報について

- エンジン始動直後や、放送局が切り換わった直後は、受信できた情報から表示可能となるため、受信完了していないページがとばされることがあります。
- 電波ビーコン、光ビーコン、FM 多重の各形態から提供される情報の密度や対象道路などがそれぞれ異なっている場合があり、また情報の更新がおよそ 5 分間隔で行われるため、地図上の VICS 情報の表示が増えたり減ったりする場合があります。
- 新しい VICS 情報を長時間 (およそ 30 分) 受信しない場合には、データが自動的に消去され、表示が消える場合があります。
- 渋滞情報は VICS センターでの収集、編集、送信に若干 (5 ～ 10 分程度) 時間がかかりますので、実際の状況が変化している場合があります。
- 全ての道路について情報が提供されているわけではありません。また情報の収集ができていない場合には、情報が提供されません。
- VICS リンクの番号が更新されると、今まで VICS 情報が表示されていた道路で表示されなくなる場合があります。
  地図データが更新されナビゲーションシステムの VICS 番号が更新されると、VICS 情報が正しく表示されるようになります。
- VICS リンクの更新は年 1 回行われ、新しく道路ができたり、道路がなくなったり、新たに VICS リンクとして定義された道路がある場合に、それらに接続する道路の VICS リンク番号が変更されることがあります。VICS リンクの番号変更については、VICS センターにお問い合わせください。
- 登録された駐車場のみ駐車場の情報が表示されます。
- VICS 情報には、時間や地域が重要な要素なので、走行中の自車位置に最も必要な情報をいつでも受信できるように本機では自車位置の情報とレシーバーの受信状態から最適と思われる放送局を自動選局するように設定してあります。なお、必要に応じて手動で放送局選択を行ってください。
- 放送局により、放送局名称の提供を行っていない場合があったり、自車位置よりも遠方の放送局を選択している場合などがあります。
- 自車位置から遠方の地域を選択すると、選択している地域以外の VICS 情報を受信する場合があります。
- VICS ルート計算では、渋滞箇所の通過にかかる時間と迂回した場合の時間をリンク旅行時間情報により計算し、迂回するかどうかを決定しますので、全ての渋滞箇所を迂回するとは限りません。
- 情報提供のない道路の計算は、通常のナビゲーションシステム同様のルート計算になります。したがって、VICS 情報のない道路が渋滞していてもそのルートを選択する場合があります。また、ルート計算後に渋滞が発生する場合もあります。

つづく →

- 自車位置から遠方にある通行止め、ランプ閉鎖の場合には、そこを迂回する幹線の適切なルートがない場合、迂回しない場合があります。
- VICS 情報の中に、その事象の位置データがない場合は、該当する VICS リンクの始点が案内対象位置 (マーク表示位置) となるため、事象発生場所と異なる場合があります。また、渋滞に関しては時間とともに状況が変化するためあくまで参考としてお考えください。

VICS センターの運用時間

FM 多重放送	24 時間 (ただし月曜日午前 1 時～ 5 時は運用休止) ※ 3 月および 9 月に、深夜 0 時～ 5 時までをメンテナンスウィークとして保守のため運用を休止することがあります。
ビーコン	24 時間 ※メンテナンスのため運用を休止することがあります。
インターナビ	24 時間 ※メンテナンスのため運用を休止することがあります。

お知らせ

- VICS の運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

VICS 情報についてのお問い合わせ

- **VICS 車載器の調子や使用方法、受信の可否に関して**
- **地図表示 (レベル 3) の内容に関して**
- **VICS 情報の受信エリアや内容の概略に関して**
- **インターナビ VICS の簡易図形表示の内容に関して**

などのお問い合わせは、巻末に記載している本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡ください。

- **文字表示 (レベル 1) の内容に関して**
- **簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して**
- **VICS の概念、サービス提供エリアに関して**

などのお問い合わせは、下記 VICS センターまでご連絡ください。

(財)VICS センター (東京センター)

受付番号	**0570-00-8831 (全国から市内通話料金でご利用になれます) PHS 専用 東京 03-3592-2033 大阪 06-6209-2033**
電話受付時間	**9:30 ～ 17:45 (ただし土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)**
受付 FAX 番号	**03-3592-5494(全国)**
FAX 受付時間	**24 時間**

また VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

ホームページアドレス http://www.vics.or.jp/

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、巻末に記載している本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡いただくことをお勧めします。

VICS 使用時のメッセージについて

	状況	音声での案内
規制	通行止めの規制がある場合	この先通行止めです
	速度規制がある場合 (例 50km/h 規制)	この先 50 キロ規制です この先徐行区間です この先速度規制があります
	車線規制がある場合	この先車線規制があります
	片側規制がある場合	この先対面通行です この先片側通行です
	チェーン規制がある場合	この先チェーン規制があります
	オンランプ規制およびオフランプ規制がある場合	この先ランプ閉鎖です
事象	事故が発生した場合	この先事故発生地点です
	火災が発生した場合	この先走行に注意してください
	故障車がある場合	この先故障車があります
	路上障害物がある場合	この先障害物があります
	工事箇所がある場合	この先工事中です
	作業箇所がある場合	この先作業中です
	気象の案内	この先凍結のおそれがあります この先悪天候です この先走行に注意してください
	災害の発生	この先通行障害があります
渋滞	渋滞	この先渋滞です
	混雑	この先混雑しています

地図 / その他情報について

この Honda インターナビシステムの「地図」は「全国デジタル道路地図データベース」(財団法人日本デジタル道路地図協会作成) と「交通規制データベース」(財団法人日本交通管理技術協会作成) をもとに、株式会社ゼンリンが独自に収集した情報 (高速道路・有料道路は 2007 年 4 月までに、国道・都道府県道は 2007 年 2 月現在までに)[2008 年冬版 バージョン (VER)13.08 の場合] を網羅し、作成したものです。

本品に収録されている情報は、調査時期やその取得方法により、現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては、実際の道路状況および交通規制に従ってください。地図の内容は、予告なく新しい地図データに更新されることがあります。

■地図版権について

- このナビゲーションに搭載されている地図の内容の一部または全部の複製を禁じます。
- ©1990 財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しています。(測量法第 30 条に基づく成果使用承認 平 17 総使、第 598-195 号)
- この地図作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 40 条に基づく成果使用承認 89-068)
- 本品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき、全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制原図を用いて、(財) 日本交通管理技術協会 (TMT) が作成したものを使用しています。(承認番号 07-5)
- 本品に使用している交通規制データは 2006 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- 本品に使用している交通規制データの著作権は、(財) 日本交通管理技術協会が有し、株式会社ゼンリンは二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本品に使用している交通規制データを、無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 「VICS」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 本品に使用している祭事の画像情報の一部は「金森盈写真文庫」から提供を受けています。

本製品は、山崎 敏氏が開発し著作権を有するオープンソフトウェア「yz2」が含まれております。なお、「yz2」の不具合に起因するすべての損害につき、同氏はいかなる保証を行うものではありません。

地図のバージョンを確認する

簡単 標準

地図のバージョンを確認することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［各種情報］➜［地図バージョン］にタッチする

標準

［メニュー］ボタン➜［付加機能］➜［各種情報］➜［バージョン情報］にタッチする

▼

地図バージョンおよびプログラムバージョンが表示されます。

バージョンアップについて

Honda インターナビシステムは、ハードディスクを利用したシステムです。本機をバージョンアップするには、内蔵ハードディスクのデータを書き換えます。

バージョンアップを行うときは、Honda 販売店にご連絡ください。

ハードディスク容量を確認する

ハードディスクの容量 (使用状況) を確認することができます。

[メニュー] ボタン ➜ [付加機能] ➜ [各種情報] ➜ [ハードディスク容量] にタッチする

簡単

標準

▼

容量 (使用状況) が表示されます。現在の空き容量が百分率 (100%) で表示されます。

お知らせ

- 空き容量とは、サウンドコンテナに音楽データが保存できる容量のことです。音楽データにはプレイリストなどの管理情報も含みます。
- 10% 程度の空きがあっても、システム上保存できない場合があります。

保存データを消去する 標準

ハードディスクに保存したユーザーデータをすべて消去することができます。

お願い

- 一度全消去すると、元に戻せません。また、ユーザーデータばかりでなく、案内中のルートなどの情報も消去されます。保存しておきたい地点や情報などがある場合は、PC カードに保存してから行ってください。→ *「ナビ本体側の情報を編集する」(P283)*
- 車を譲渡するときなどは、お客様が設定した画像、登録地、回避エリア、メール、アドレス帳、電話帳、プレイリストなどのユーザーデータを消去してください。

1 [メニュー] ボタン ➜ [付加機能] にタッチする

2 [データ編集] にタッチする

3 [保存情報の全消去] にタッチする

4 [全消去する] にタッチする

5 [実行する] にタッチする

▼

保存情報が消去され、起動画面が表示されます。

おすすめドライブナビゲーターで目的地を探す

標準

日本の観光コースを都道府県ごとに探すことができます。また、探したコースをルートとして設定することもできます。

[目的地] ボタン ➜[探し方 2] の [おすすめドライブナビゲーター] にタッチする

地方を選んでタッチする

3

都道府県を選んでタッチする

4

お好みのコースを選んでタッチする

▼

選んだコースの情報画面が表示されます。

5

[コース設定] を選んでタッチする

▼

コース設定の画面が表示されます。

お知らせ

- 地点にタッチすると個別に情報を確認したり、変更することができます。

- 地点の情報を確認するときは、[本文表示] にタッチします。
- 地点を別の場所に変更するときは、[変更] にタッチします。
- 地点の通過する順番を変更するときは、[入替え] にタッチします。
- 地点を個別に通過しないようにするときは、[消去] にタッチします。消去した地点は [未設定] に変更されます。

お知らせ

- [未設定] にタッチすると場所の検索画面が表示され、お好みの場所を通過地点にすることができます。→ *「場所を探す」(P88)*

6 [ルート計算] にタッチする

アドバイス

- スポットを現在地から近い順に並べ換えて表示する場合は、[自動入れ替え] にタッチします。

▼

ルート計算が始まり、コースが設定されます。以降の操作手順は *「目的地までのルートを案内させる」**(→ P121)* を参照してください。

アドバイス

- 設定したいコースの詳細情報を表示したり、周辺の観光スポットや食事スポットを表示したりすることができます。

→ *「コースの情報が知りたいとき」(P445)*
→ *「周辺の観光スポットが知りたいとき」(P446)*
→ *「コース周辺で食事がしたいとき」(P447)*

コースの情報が知りたいとき

コースの情報を詳しく確認することができます。

1 コースの情報画面で [コース情報] を選んでタッチする

▼

コースについてのコメントや走行距離、所要時間などが表示されます。

2 [スポット情報] にタッチする

3 確認したいスポットを選んでタッチする

▼

スポットの情報が表示されます。

つづく →

お知らせ

- [前の情報] または [次の情報] にタッチすると、他の情報に切り換えることができます。
- 情報画面で [画像表示] や [地点] にタッチすると、画像や地点情報を表示することができます。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、電話番号にタッチしてください。→*「ハンズフリー電話を使う」(P292)*

周辺の観光スポットが知りたいとき

コース周辺にある観光スポットを確認することができます。

コースの情報画面で [周辺スポット] を選んでタッチする

2 **確認したい観光スポットを選んでタッチする**

観光スポットの情報が表示されます。

お知らせ

- [前の情報] または [次の情報] にタッチすると、他の情報に切り換えることができます。
- 情報画面で [画像表示] や [地点] にタッチすると、画像や地点情報を表示することができます。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、電話番号にタッチしてください。→「ハンズフリー電話を使う」(P292)

コース周辺で食事がしたいとき

コース周辺の食事スポットの情報を確認することができます。

コースの情報画面で [食事スポット] を選んでタッチする

2 確認したい店を選んでタッチする

店の情報が表示されます。

お知らせ

- [前の情報] または [次の情報] にタッチすると、他の情報に切り換えることができます。
- 情報画面で [画像表示] や [地点] にタッチすると、画像や地点情報を表示することができます。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、電話番号にタッチしてください。→ *「ハンズフリー電話を使う」(P292)*

通信機能を使う
カードを使う
ハンズフリー電話を使う
便利な機能
オーディオ・テレビ
サウンドコンテナ
その他
困ったときの手引き
機能設定一覧
索引

用語解説

●インターナビ・プレミアムクラブ (→P214)

スムーズで快適なドライブをサポートする情報サービスです。

●オートリルート (→P128)

ルート案内中に、曲がるべき交差点で曲がれなかったりしておすすめのルートから離れてしまったとき、自動的に他のルートを探して元のルートに戻す機能です。

●傾斜センサー (→P428)

自車の上り、下りを調べる部品です。

●結露 (→P336)

真冬に車内を暖かくしていると、窓ガラスが曇ってきます。これは、車内の空気中にある水蒸気が外気で急速に冷やされて水滴になるためです。このような状態を結露といいます。寒いとき、暖房を始めたばかりの車内などでは、ディスクが結露しやすくなります。

●自車 (→P20,P31)

このナビゲーションシステムを装着しているお客様のお車のことです。

●車速センサー (→P428)

車の走行距離を調べる部品です。

●振動ジャイロセンサー (→P428)

車の進行方向を調べる部品です。

●走行軌跡 (→P31)

地図には、自車が走ってきた道に印 (点線) がつきます。この印 (点線) を走行軌跡といいます。

●測位 (→P21)

GPS 衛星からの電波を受信して、自車の位置を測定することです。

●マップマッチング (→P20,P429)

実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

●ランドマーク (→P55)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

●リンク旅行時間 (→P155)

VICS センターが算出した該当する区間 (リンク) を車両で通過した場合の予想所要時間のことをいいます。

●3D ハイブリッドセンサー (→P20,P428)

車の進行方向、車の高度差、車の走行距離を調べる部品です。

●Bluetooth(ブルートゥース) (→P217)

産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.45GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。

Bluetooth®

●dts（ディーティーエス）

（→P374）

dts は、Digital Theater Systems（デジタル・シアター・システム）の略称です。世界 13,000 館以上の映画館で採用されている劇場用デジタル・サウンド・システムの新方式です。

※dtsは米国Digital Theater Systems,Inc.の登録商標です。

●GPS（ジーピーエス）

（→P21,P428）

GPS は、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPS は、米国が開発運用しているシステムで、高度約 21,000km の宇宙空間で周回している 3 つ以上の GPS 衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

●PDC（ピーディーシー）

（→P215,P286）

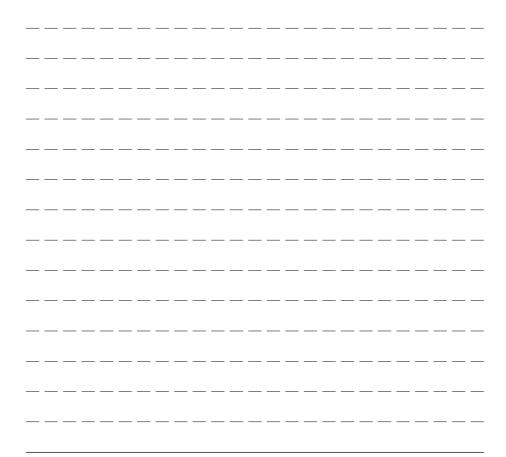
PDC は Personal Digital Cellular（パーソナル・デジタル・セルラー）の略称です。800MHz/1.5GHz の周波数帯を使った日本標準のデジタル携帯電話方式です。

●VICS（ビックス）

（→P142,P436）

VICS は、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。VICS レシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

●VICS リンク （→P437）

電波ビーコン、光ビーコン、FM 多重放送を通じて、車両に提供される交通情報の道路の統一的な表現手段を定義したもので、リンクは、道路や交差点やインターチェンジなどで分割し、それぞれを一つの単位として番号付けしたものです。

困ったときの手引き

困ったときの手引き

故障かなと思ったら
修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは
Honda 販売店にご連絡ください。

ナビゲーション

症状	原因	処置のしかた
画面を表示しない。	画面が[表示OFF]になっている。 車内の温度が上がり、液晶表示画面が高温になった。	[現在地]ボタンを押してください。 車内の温度が下がれば自動的に復帰します。
ルート案内中に音声案内が出ない。	案内音量がOFFになっている。	案内音量を確認してください。 →*「音量を調節する/消す」(P37)*
車のライトをONにしても夜画面に切り換わらない。	イルミキャンセル状態になっている。	イルミネーションコントロールの操作でイルミキャンセルを解除してください。
走行軌跡が表示されない。	走行軌跡を表示しない設定になっている。	走行軌跡表示の設定を[する]にしてください。 →*「機能設定」(P172)*
映像が暗い。	日没時刻が過ぎている。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。(地図色時刻連動切換が[する]に設定されている場合)
誤差が大きくなった。	TVの56chを受信している。	TVのチャンネルを変えるか、TVをOFFにしてください。

VICS 関連項目

症状	原因	処置のしかた
地図上に VICS 情報が表示されない。	VICS のサービスエリア外では VICS 情報は受信できません。	
	提供される情報がいつでもすべてそろっているとは限りません。	
	受信状況によっては情報がそろわない場合があります。	
	VICS 情報対象外の道路を走行している可能性があります。	
	設置されたすべてのビーコンが稼動しているとは限りません。	
	新設道路の情報は地図データが古いと表示されません。	
	携帯電話を外している。	インターナビの VICS 情報は携帯電話を接続して受信してください。 → *「携帯電話を接続する」(P216)*
	VICS 設定の [渋滞表示] が [しない] を選んでいる。	VICS 設定の [渋滞表示] を [しない] 以外にしてください。 → *「機能設定」(P180)*
	地図表示が 1km スケール表示より広域になっている。	地図表示を 10m スケール表示から 1km スケール表示にしてください。 → *「地図のスケールを切り換える」(P46)*
FM 多重情報が表示されない。	FM 多重情報が放送されていない。	放送を休止している場合があります。
	地下や路線脇など受信状態の悪い場所にいる。	受信状態によっては情報を表示できない場合があります。
ビーコン情報が表示されない。	ビーコン送受信機の上部およびその周辺に物を置くなどして、電波をさえぎっている。	電波をさえぎらないようにしてください。また、ビーコン送受信機の取付角度がずれていると受信しにくくなります。

通信機能

症状	原因	処置のしかた
回線接続できない。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話が接続されていることを確認してください。
	通信機能設定で設定した通信手段 (携帯電話) が接続されていない。	
	ユーザー ID またはパスワードが正しくない。	インターネットプロバイダのユーザー ID またはパスワードが正しいことを確認してください。
	暗証番号が正しくない。	インターナビ情報センターが発行する暗証番号と合っていることを確認してください。
	電波状態が良くない、または圏外にいる。	再度操作してみてだめな場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。
回線接続しない。	キャッシュにデータが残っている。	キャッシュにデータが残っている場合には回線接続不要と判断して回線接続を行いません。
通信中に回線が切れてしまった。	電波状態が良くない、または圏外にいる。	再度操作してみてだめな場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。
	操作がなかった。	何も操作がない場合には、回線交換方式では 3 分、パケット方式では 10 分で自動切断する仕組みになっています。
メール関連機能が使用できない。	シークレットモード設定になっている。	シークレットモードを解除してください。 *→「シークレットモードを解除する」(P329)*

DVD/CD/MP3/WMA ディスク

症状	原因	処置のしかた
再生できない。	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 → *「ディスクの取り扱いについて」(P334)*
	オーディオシステムで再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 → *「再生できるディスクの種類」(P337)*
	PAL 方式のディスクを挿入している。	NTSC 方式のディスクに交換してください。
	オーディオシステムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	オーディオシステムのリージョン番号は [2] です。リージョン番号は [2] または [ALL] のディスクに交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	[AUDIO] ボタンで画面を切り換えてください。
DVD の音が出ない。	静止画再生中である。	静止画再生中に、音声を聞くことはできません。
CD 再生中に、大きな雑音が出る /CD の再生が途中で止まる。	ディスクにキズやそりがある。	他のディスクと交換してください。改善されれば、ディスクの不良です。
	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 → *「ディスクの取り扱いについて」(P334)*
	ディスクに曇りや水滴が付いている。	ディスクの曇りや水滴を拭き取ってください。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。 → *「視聴制限を設定する」(P379)*

症状	原因	処置のしかた
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →「視聴制限を設定する」(P379)
	暗証番号を忘れてしまった。	文字未入力の状態で [修正] を 5 回タッチし、暗証番号を解除します。 →「視聴制限を設定する」(P379)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていない DVD を再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD を再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていない DVD では、選んだ言語に切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていない DVD を再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの現象が出るものもあります。(故障ではありません。)
⃠ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	[停止] にタッチしてから、もう一度再生してください。

MP3/WMA ファイル

症状	原因	処置のしかた
CD - R や CD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。 →「再生できるディスクの種類」(P337)
MP3 ファイルを再生できない。	MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」を付けた CD - R/RW に交換してください。
	320kbps を超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが 320kbps 以下で記録された MP3 ファイルにしてください。
WMA ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」を付けた CD - R/RW に交換してください。
	192kbps を超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが 192kbps 以下で記録された WMA ファイルにしてください。
MP3 ファイル再生中に大きな雑音が出る /MP3 ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3 形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(MP3 形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けた CD - R/RW を再生しないでください。)
WMA ファイル再生中に大きな雑音が出る /WMA ファイル再生中に音が出なくなる。	WMA 形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。(WMA 形式でないファイルに「.wma」拡張子を付けた CD - R/RW を再生しないでください。)
聞きたい MP3 ファイルが見つからない。	MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子がついていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」を付けた CD - R/RW に交換してください。
聞きたい WMA ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」の拡張子がついていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」を付けた CD - R/RW に交換してください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2,Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2,Joliet に準拠して記録したディスクに交換してください。
MP3 ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3 ファイルは、記録したときの順番通りに再生されないことがあります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字 (01、02 など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

サウンドコンテナ

症状	原因	処置のしかた
CD が録音されていない。	CD の録音が中止された。	CD の録音制限を確認してください。 → *「CD 録音の制限について」(P399)*
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	携帯電話が接続されていない。	携帯電話の接続を確認してください。
	インターナビの通信機能が使用できる状態になっていない。	インターナビが使用できる状態 (通信設定、接続、認証) にしてください。 → *「通信機能を使う」(P213)*
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

エラーメッセージと対処方法

■ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
ハードディスクが入っておりません 詳細は取扱説明書をご覧ください	ハードディスクが取り外されている（修理やバージョンアップ等の際、販売店にてハードディスクをお預かりすることがあります）	販売店にご相談ください。
ハードディスクが読めません 詳細は取扱説明書をご覧ください	ハードディスクにデータが読み書きできない。ハードディスクの高温 / 低温または振動異常が発生しました	しばらくして、通常の状態に復帰しない場合は販売店にご相談ください。
液晶パネルの熱保護の為ディスプレイの電源を OFF します 車内の温度が下がれば画面は自動的に復帰します	ディスプレイが高温になったため、保護機能が働いた。	温度が下がるまでお待ちください。
ルート計算できませんでした	自車と目的地が近すぎる。	目的地の位置を変えてください。
	自車と経由地が近すぎる。	経由地の位置を変えてください。
	隣接する経由地同士が近すぎる。	経由地の位置を変えてください。
	経由地と目的地が近すぎる。	目的地または経由地の位置を変えてください。
	自車の近くに計算対象道路がない。	道路の近くに移動してから再度計算してください。
	目的地または経由地の近くに計算対象道路がない。	目的地または経由地の位置を変えてください。
	目的地が遠すぎる。	途中に経由地を追加してください。
	到達可能な経路がない。（フェリー航路のない島嶼部への探索など）	目的地の位置を変えてください。
保存できませんでした PC カードをご確認ください	PC カードの空き容量が不足している。	十分な空き容量のある PC カードを使用してください。
消去できませんでした PC カードをご確認ください	PC カードのデータがリードオンリー属性になっている。	PC カードのデータのリードオンリー属性を解除してください。
読み込みできませんでした PC カードをご確認ください	PC カードのデータが壊れている。	正常なデータを使用してください。

■通信機能

メッセージ	原因	処置
1分以上通信が行われなかったので回線を切断します	サーバーとの接続認証が1分以内に終わらなかった。	しばらく経ってから再接続してみてください。
携帯電話を確認してください	携帯電話が接続されていない。	携帯電話の接続を確認してください。
接続に失敗しました 暗証番号を再度お確かめください	認証したユーザー情報に誤りがある。	通信設定の暗証番号の設定を確認してください。→*「通信機能の設定をする」(P224)*
回線が混雑していますのでしばらく待ってから接続してください	接続先が話中などで接続できない。	しばらく経ってから再接続してみてください。
インターネットに接続できません 通信設定をご確認ください	通信設定(マニュアル通信設定)または接続先(かんたん通信設定)に誤りがある。	設定を確認してください。
○分以上通信が行われなかったので回線を切断します	一定時間操作や通信が行われなかった。	必要に応じて再接続してください。
情報を取得できませんでした	サーバーからデータが送られてこなかった。	しばらく経ってから再接続してみてください。
発信できません 携帯電話を確認して下さい	ハンズフリー未対応の電話機接続時にハンズフリーで発信しようとした。	ハンズフリーで発信可能な電話機を使用してください。

■DVD/CD/MP3/WMA ディスク

メッセージ	原因	処置
フォーカスエラーのため再生ができません ディスクを取り出してください	ほこりや結露などでディスクの表面が汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクの表裏を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
再生ができません ディスクを取り出してください	ほこりや結露などでディスクの表面が汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのあるディスクは使用しないでください。
	ディスクの表裏を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本ナビゲーションシステムで再生できないディスクを使用している。	本ナビゲーションシステムで再生できるディスクに交換してください。→*「再生できるディスクの種類」(P337)*

メッセージ	原因	処置
高温のため再生できません ディスクを取り出してください	ナビゲーション本体の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
高温のため録音できません		
低温のため DISC ドライブが動作しません	ナビゲーション本体の内部温度が低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のためハードディスクにデータが書き込めませんでした		
ハードディスクに空き容量が不足しています	ハードディスクの残容量が足りないため録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。→ *[グループ、プレイリスト、トラックを消去する」(P418)*
このトラックはすでに録音されています	マニュアルモードで録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは同じ CD から重複して録音できません。
CD の録音に問題が発生しました 録音を停止します	CD が正常に読み込みできなかった。	ディスクを確認してください。
再生できない地域のディスクです	PAL 方式で記録された DVD ディスクを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ディスクを使用してください。
リージョンコードが違います	本ナビゲーションシステムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョンコード [2] を含むディスクに交換してください。
メカエラーのため再生ができません	ディスクドライブが正常動作できなかった。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。正常なディスクを使用しても状況が改善しない場合は、販売店にご相談ください。

■ サウンドコンテナ

メッセージ	原因	処置
この CD は録音できません	コピー禁止のディスクから録音しようとしている。	コピー可能なディスクに交換してください。
高温のため録音データが読めません	ナビゲーション本体の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
サウンドコンテナの再生・録音機能は利用できません	著作権保護のための録音抑止状態です。	販売店にご相談ください。
しばらくお待ちください	振動などによりハードディスクのデータが読めない	安全な場所に停車し、しばらくお待ちください。
低温のためハードディスクから録音データが読み出せませんでした	ナビゲーション本体の内部温度が低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
ハードディスクをご確認ください	ハードディスクが取り外されている（修理やバージョンアップ等の際、販売店にてハードディスクをお預かりすることがあります）	販売店にご相談ください。
ハードディスクに異常があります 販売店にご相談ください	ハードディスクに異常がある。	販売店にご相談ください。
サウンドコンテナのデータ転送に失敗しました 販売店にご相談ください	サウンドコンテナの音楽データに異常がある。	販売店にご相談ください。

■ CD チェンジャー (Honda 純正のプレーヤー接続時)

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生ができません	CD チェンジャーの取扱説明書をご覧ください。	
高温のため再生ができません ディスクを取り出してください		
フォーカスエラーのため再生ができません		
マガジン動作異常が発生しました		
再生できないディスクです		

機能設定一覧

機能設定一覧

表示設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
ビル立体表示	**[する]**	[しない] 固定
	[しない]	
3D アイコン表示	**[する]**	
	[しない]	
3D ポリゴン表示	**[する]**	
	[しない]	
走行軌跡表示	[する]	
	[しない]	
走行軌跡表示消去	走行軌跡を消去します。	消去できません。
軌跡自動消去	[自宅到着時]	[しない] 固定
	[しない]	
施設文字	**[標準]**	[標準] 固定
	[小文字]	
	[表示しない]	
3D 角度調整	10 段階で設定 **[5]**	機能なし
地図色 昼	**[ホワイト]**	[ホワイト] 固定
	[ブルー]	
	[グリーン]	
	[ベージュ]	
地図色 夜	[ホワイト]	[ブルー] 固定
	[ブルー]	
	[グリーン]	
	[ベージュ]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
操作パネル色	**[ブルー]**	[ブルー] 固定
	[グリーン]	
	[アンバー]	
	[レッド]	
道路ふち取り表示	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
現在地情報の表示	**[地名]**	[地名] 固定
	[路線名]	
	[しない]	
路線番号表示	**[する]**	[しない] 固定
	[しない]	
高速ガイド表示	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
行程ガイド IC 省略	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
都市高速マップ表示	**[する]**	
	[しない]	
スクロール方面表示	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
時計表示	**[する]**	
	[しない]	
サマータイム表示	[する]	
	[しない]	
時間表示	**[12時間表示]**	[12 時間表示] 固定
	[24時間表示]	
地図色時刻連動	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
行政界色分け表示	[する]	
	[しない]	
2 画面同時スクロール	[する]	
	[しない]	

誘導設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
リアル拡大図表示	**[する]** [しない]	[する] 固定
到着予想時刻表示	[目的地] **[経由地]** [しない]	[目的地] 固定
直線誘導線表示	[する] **[しない]**	[しない] 固定
方面看板表示	**[すべての交差点]** [案内交差点のみ] [しない]	[すべての交差点] 固定
レーン情報	**[表示する]** [表示しない]	[表示する] 固定
代替ルート計算	**[する]** [しない]	[する] 固定
回避エリア考慮	**[する]** [しない]	機能なし
センシングリルート	**[する]** [しない]	[する] 固定
一般道路の車速	**[25km/h]** 5km/h ～ 80km/h の間で 5km/h 刻みで設定	[25km/h] 固定
高速道路の車速	**[70km/h]** 5km/h ～ 120km/h の間で 5km/h 刻みで設定	[70km/h] 固定
有料道路の車速	**[50km/h]** 5km/h ～ 100km/h の間で 5km/h 刻みで設定	[50km/h] 固定
ルート計算条件	**[推奨]** [一般道] [距離] [道幅]	標準操作モードの設定と同じになります。
ルート学習	**[する]** [しない] [リセット]	[する] 固定
冬期閉鎖考慮	[する] **[しない]**	[しない] 固定
繁華街駐車場	**[通知する]** [通知しない]	[通知しない] 固定
フェリー使用	[する] **[しない]**	[しない] 固定
横付けルート計算	**[する]** [しない]	[する] 固定
VICS ルート計算	**[する]** [しない]	
時間曜日規制考慮	**[する]** [しない]	
合流案内	**[する]** [しない]	
踏み切り案内	**[する]** [しない]	
右左折専用レーン案内	**[する]** [しない]	
事故多発地点案内	**[する]** [しない]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
音声案内設定※		
VICS 案内	**[する]** [しない]	[する] 固定
到着予想時刻案内	**[する]** [しない]	
交差点目印案内	[する] **[しない]**	[しない] 固定
料金案内	**[する]** [しない]	[する] 固定
交差点名称案内	[する] **[しない]**	[しない] 固定
JCT 名称案内	**[する]** [しない]	[する] 固定
一般道方面名称案内	[する] **[しない]**	[しない] 固定
高速道方面名称案内	[する] **[しない]**	

※ [シンプル設定] にタッチすると、[VICS 案内] のみが [する] の設定になります。

※ [詳しい設定] にタッチすると、すべての項目が [する] の設定になります。

VICS 設定 (VICS 情報表示)

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
図形情報割込み	**[する]** [しない]	[する] 固定
文字情報割込み	[する] **[しない]**	[しない] 固定
一般道情報表示	**[する]** [しない]	[する] 固定
高速道情報表示	**[する]** [しない]	
渋滞表示	[する] **[点滅表示]** [しない]	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [点滅表示] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
混雑表示	**[する]** [点滅表示] [しない]	
順調表示	[する] [点滅表示] **[しない]**	
規制表示	**[する]** [しない]	VICS 情報表示が ON の場合は、すべて [する] になります。OFF の場合は、すべて [しない] となります。初期値は ON となります。
VICS 駐車場マーク表示	**[する]** [しない]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
VICS 強調地図表示	[する]	[しない] 固定
	[しない]	
情報保持時間	**[30 分]**	[30 分] 固定
	[60 分]	
情報受信接続設定※	[状況変化時]	標準操作モードの設定と同じになります。
	[5 分]	
	[15 分]	
	[30 分]	
	[60 分]	
	[しない]	
自動ルート再計算※	**[する]**	
	[しない]	
自動更新ポイント設定※	**[する]**	
	[しない]	
フローティングカーシステム※	**[する]**	
	[しない]	
簡易図形割込み※	**[する]**	
	[しない]	
駐車場セレクト※	**[すべて]**	
	[条件つき]	
駐車場セレクト条件設定※	条件を設定します。(→ P165)	

※インターナビ VICS の設定です。

通信機能設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

お知らせ

- 簡単操作モード、標準操作モードで設定内容は共有されます。

設定項目	設定 標準 簡単
通信設定	選んでタッチすると通信の設定ができます。(→ P224)
Bluetooth 設定	選んでタッチすると Bluetooth の設定ができます。(→ P217)
電話機の接続	**[ケーブル]**
	[Bluetooth]

電話設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定 (初期状態) です。

お知らせ

- 簡単操作モード、標準操作モードで設定内容は共有されます。

設定項目	設定 標準 簡単
アドレス帳読み込み	選んでタッチすると現在のアドレス帳のデータを消去して新規に読み込みます。
アドレス帳追加	選んでタッチすると現在のアドレス帳にデータを追加で読み込みます。
通話中画面表示	**[する]**
	[しない]
自動着信	**[する]**
	[しない]
電話着信音量	7 段階で設定 **[4]**
電話通話音量	7 段階で設定 **[4]**

その他設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定(初期状態)です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
メニュー音声読み上げ	[する]	[走行中のみ] 固定
	[しない]	
	[走行中のみ]	
ふらつき検知警報	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
カーブ警告	**[舗装路]**	[舗装路] 固定
	[圧雪路]	
	[しない]	
シートベルト警告	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
パーキングブレーキ警告	**[する]**	
	[しない]	
県境案内	**[する]**	
	[しない]	
ETC 案内	**[する]**	
	[しない]	
カーソル移動音量	3 段階で設定 **[2]**	標準操作モードの設定と同じになります。
選択実行音量	3 段階で設定 **[2]**	

索引

メニュー索引

簡単操作モード　簡単

お知らせ

- メニューを表示させたときの状態により、表示されない項目や選択できないメニューがあります。

VICS 交通情報を見る
VICS 図形情報 P148
internaviVICS P159
VICS 文字情報 P147
この先の交通情報 P151
割込情報 P150
VICS 地域選択 P153
FM 文字多重 P167
VICS 情報表示 P151
アドレス帳
新規登録 P306
全消去 P308
機能
名前順 P309
メモリ番号順 P309
グループ番号順 P309
グループ名編集 P309
PC カード P311
検索 P310
ルートを変える
ルート再計算 P133
ルート表示 P132
誘導中止（誘導開始） P140
付加機能
各種情報
地図バージョン P441
ハードディスク容量 P442
音声操作
音声操作ガイド 取扱説明書「音声操作編」
発話例 取扱説明書「音声操作編」
声を覚えさせる 取扱説明書「音声操作編」
設定変更 取扱説明書「音声操作編」
音声メモ P325
シークレットモード P328
標準モードにする P29
音声音量を変える P37
設定を変える
表示設定 P172
VICS 情報表示 P180
自宅変更（自宅登録） P67(P66)
通信機能設定 P224
電話設定 P287

［画面］ボタン
地図向きを変える
北を上に表示 P49
進行方向を上に表示 P49
ランドマーク表示 P55
画面明るさ調整
明るさ P64
コントラスト P64
黒の濃さ P64
画面を消す P28
表示の設定を変える P172

［目的地］ボタン
施設のジャンルで探す P93
住所で探す P100
名称で探す
施設名 P97
地名 P99
電話番号で探す P102
自宅に帰る
（自宅を登録する） P104
(P66)
目的地を消去する P122

標準操作モード 標準

お知らせ

- メニューを表示させたときの状態により、表示されない項目や選択できないメニューがあります。

[メニュー] ボタン

VICS
VICS 図形情報 P148
internaviVICS P159
VICS 文字情報 P147
この先の交通情報 P151
割込情報 P150
駐車場情報 P148
FM 文字多重 P167
VICS 地域選択 P153
VICS 設定 P152
アドレス帳
新規登録 P306
全消去 P308
機能
名前順 P309
メモリ番号順 P309
グループ番号順 P309
グループ名編集 P309
PC カード P311
検索 P310
ルート
ルート再計算 P133
計算条件変更
一般道優先 P133
距離優先 P133
推奨 P133
道幅優先 P133
5 ルート計算 P132
IC 指定 P137
迂回計算 P131
全ルート表示 P129
誘導中止（誘導開始） P140
経由地リスト P134
（経由地スキップ） (P136)
付加機能
音声操作
音声操作ガイド 取扱説明書「音声操作編」
発話例 取扱説明書「音声操作編」
声を覚えさせる 取扱説明書「音声操作編」
設定変更 取扱説明書「音声操作編」

データ編集
ランドマークデータ P192,P198
回避エリア P203
サウンドコンテナの全消去 P425
マークリスト P77
保存情報の全消去 P443
PC カード編集 P281
各種情報
バージョン情報 P441
ハードディスク容量 P442
PC カード情報 P280,P284
シークレットモード P328
音声メモ P325
カスタマイズ
カスタマイズメニュー P185
internavi ダイレクト P237
壁紙設定 P313
ユーザー定型文編集
新規作成 P43
全消去 P43
スケジュール設定 P316
簡単モード P29
音声音量設定 P37
機能設定
表示設定 P172
誘導設定 P175
VICS 設定 P180
通信機能設定 P224
電話設定 P287
その他設定 P183
現在地修正 P189

[画面] ボタン
方位・マップモード切換
1 画面地図または左画面 (2 画面地図時) の場合
北を上に表示 P49
進行方向を上に表示 P49
3D マップ P49
右画面 (2 画面地図時) の場合
北を上に表示 P49
進行方向を上に表示 P49
画面上部のメニュー
1 画面地図 P51
2 画面地図 P51
ドライビングマップ P51
行程ガイド P52
高速ガイド P52
画面下部のメニュー
右画面縮尺 P46
画面調整
明るさ P64
コントラスト P64
黒の濃さ P64
ランドマーク表示 P55
画面消 P28
表示設定 P172

[目的地] ボタン
探し方 1
自宅へ誘導 (自宅登録)
P104(P66)
よく行く地点
P105
施設ジャンル
P93
電話番号
P102
周辺検索
P91
地図から
P89
住所
P100
探し方 2
名称で探す
P97,P99
郵便番号
P102
マップコード
P103
おすすめドライブナビゲーター
P444
マークリスト
P105
internavi ドライブ情報
P109
目的地履歴
P106
目的地消去
P122

用語索引

用語索引

■五十音順

さ行

た行

な行

は行

ま行

数字・アルファベット順

V

W

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1)　VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2)　VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3)　加 入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4)　VICS デスクランブラー
ＦM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

(1)　文 字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2)　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3)　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

(契約の単位)

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域 (全都道府県の区域で概ね NHK －ＦM放送を受信することができる範囲内) とします。
ただし､そのサービス提供区域であっても､電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機 (VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機) を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

(1)　加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2)　加 入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

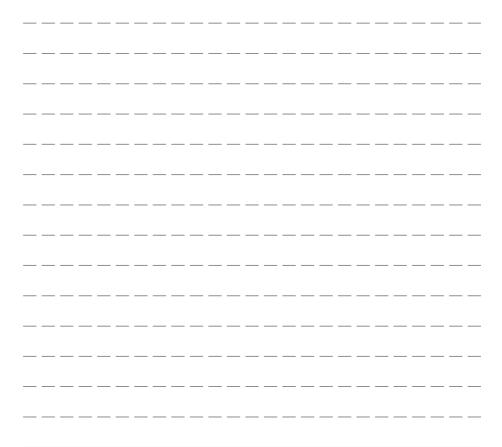
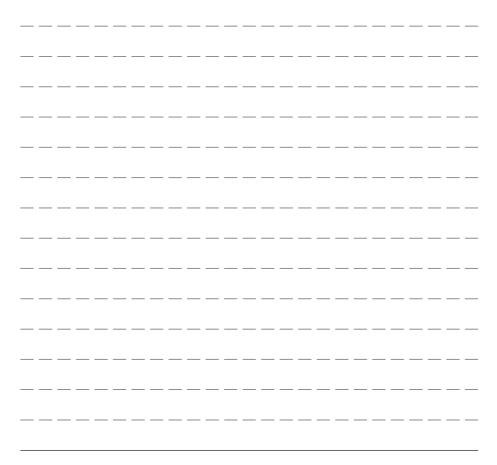
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表

視聴料金　315 円（うち消費税 15 円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

Gracenote CDDB® Music Recognition Service℠ について

グレースノート社からの CD 情報及び音楽関連データ ©2000-2005 Gracenote, Inc. Gracenote CDDB® クライアントソフトウエア ©2000-2005 Gracenote, Inc. この製品及びサービスは以下の米国特許技術の 1 つもしくは複数で実現されています。#5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593 及びその他の特許や申請中特許。米オープングローブ社からの米国特許 #6,304,523 のライセンスにより、供与されるサービスまた製造されるデバイス製品。

Gracenote と CDDB は、グレースノート社の登録商標です。
Gracenote ロゴ及びロゴ標記､及び" Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市の Gracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品は Gracenote の技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術は Gracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Data にアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded Software または Gracenote Data の譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外での Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたの Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Database の全ての使用をやめることに同意すること。
- Gracenote は Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Software の所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenote はこの同意のもとで、Gracenote の名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded Software や Gracenote Data の各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote は、すべての Gracenote Data の正確さに関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。Gracenote は Gracenote が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。Gracenote Embedded Software が、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Software の機能が断絶しないものであるという保証は致しません。
Gracenote は新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来 Gracenote が提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenote は、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenote は、Gracenote Component またはいかなる Gracenote Server の利用により生じた結果について保証しません。
Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

End User License Agreement for Devices (Revision J-2-1)

地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行について

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は 2011 年 7 月に終了することが、国の方針として決定されています。

アナログテレビジョン放送のチャンネル変更について

アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度再設定を行ってください。
放送局名は、本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。
また、音声操作においても、本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

本ナビゲーションシステムは、地上デジタルテレビジョン放送には対応しておりません。

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00 ～ 12:00　13:00 ～ 17:00
〒 351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。
①車検証記載事項
　車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
②車種名、タイプ名、走行距離
③ご購入年月日
④販売店名

HONDA
The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manualのホームページ
http://www.honda.co.jp/manual/

30SNB800
00X30-SNB-8005

Ⓝ (MI) 1000.2008.05.6